

利用上の注意

- 1 表の順位は、数値の大きい順としています。
ただし、数値の小さい方が望ましいとされている項目は、*印を付し、数値の小さい順としています。
- 2 同順位の場合は、標準地域コードによる都道府県順としています。
ただし、岡山県と同順位の場合、岡山県を上位にしています。
- 3 統計表の右下に、調査時期（期間）、算出方法、資料出所等を記載しています。
- 4 資料中、年とあるものは1月から12月までの期間を、年度とあるものは4月から翌年3月までの会計年度の期間を示しています。
- 5 統計表の符号は次のとおりです。
「△」……マイナス
「…」……該当数値なし
- 6 四捨五入しているため、数値は内訳や全国計と一致しないものがあります。

目次

ページ (順位)

ページ (順位)

A 自然環境

1	総面積	1 (17)
2	可住地面積割合	3 (26)
3	降水量 1 mm未満の日数 (平年値)	5 (1)
4	年間日照時間	7 (18)
5	*年間降水量	9 (9)
6	年平均気温	11 (22)
B 人口・世帯		
7	総人口	13 (21)
8	人口密度 (1 km ² 当たり)	15 (24)
9	年少人口割合 (0-14 歳)	17 (10)
10	生産年齢人口割合 (15-64 歳)	19 (26)
11	老年人口割合 (65 歳以上: 高齢化率)	21 (21)
12	後期高齢者人口割合 (75 歳以上)	23 (24)
13	百歳以上人口割合 (人口10万人当たり)	25 (12)
14	在留外国人割合	27 (21)
15	総世帯数	29 (18)
16	人口増減率	31 (11)
17	都道府県間の人口移動状況 (転入超過数)	33 (11)

18	出生率 (人口千人当たり)	35 (10)
19	合計特殊出生率	37 (19)

C 経済・産業

20	県民所得 (人口1人当たり)	39 (28)
21	県内総生産 (名目)	41 (22)
22	新設住宅着工戸数	43 (20)
23	第2次産業就業者割合	45 (17)
24	第3次産業就業者割合	47 (26)
25	農業産出額	49 (23)
26	食料自給率 (カロリーベース)	51 (27)
27	事業所数	53 (21)
28	製造業事業所数	55 (21)
29	製造品出荷額等	57 (13)
30	製造業付加価値額	59 (18)
31	年間商品販売額 (卸売・小売業)	61 (19)

D 労働

32	就業率	63 (25)
33	女性就業率	65 (25)
34	女性役員比率	67 (8)
35	有効求人倍率	69 (5)
36	*労働時間数	71 (40)
37	常用労働者現金給与総額	73 (10)
38	*非正規雇用者比率	75 (13)

E 教育・文化

39	*小学校児童数 (教員1人当たり)	77 (23)
40	*中学校生徒数 (教員1人当たり)	79 (30)
41	県内就職率 (高等学校卒業後の状況)	81 (19)
42	大学・短大進学率	83 (21)
43	大学・短大数 (人口10万人当たり)	85 (3)
44	公立学校の耐震化率 (幼・小・中・高・特別支援学校)	87 (44)
45	*小・中・高 (児童生徒千人当たり)	89 (41)
46	*小・中・高等学校の暴力行為発生件数 (児童生徒千人当たり)	91 (42)
47	*小・中・高等・特別支援学校のいじめ 認知件数 (児童生徒千人当たり)	93 (18)
48	外国人留学生数 (人口10万人当たり)	95 (7)
49	図書館数 (人口10万人当たり)	97 (20)
50	都道府県立図書館個人貸出数	99 (1)
51	美術館数	101 (5)
52	国宝・重要文化財数	103 (15)

F 医療・福祉

53	平均寿命 (男)	105 (15)
54	平均寿命 (女)	107 (8)
55	病院・一般診療所数 (人口10万人当たり)	109 (19)
56	医師数 (人口10万人当たり)	111 (7)
57	小児科従事医師数 (15歳未満人口10万人当たり)	113 (7)

58	産婦人科・産科従事医師数 (15-49歳女子人口10万人当たり)……………	115 (18)
59	看護職員数 (人口1万人当たり)……………	117 (20)
60	* 国民医療費 (人口1人当たり)……………	119 (30)
61	* 老人医療費 (1人当たり)……………	121 (31)
62	献血者数 (人口千人当たり)……………	123 (7)
63	* 周産期死亡率 (出生数千当たり) ……	125 (7)
64	* 主要死因死亡率 (人口10万人当たり)……………	127 (20)
65	* 自殺死亡率 (人口10万人当たり)……………	129 (8)
66	* 被生活保護者数 (月平均人口千人当たり)……………	131 (26)
67	保育所在籍人員……………	133 (18)
68	放課後児童クラブ数 (小学校1校当たり) ……	135 (25)
69	老人ホーム定員数 (65歳以上人口千人当たり)……………	137 (11)
70	NPO 認証法人数 (人口10万人当たり)……………	139 (18)
71	民生委員 (児童委員) 数 (人口10万人当たり)……………	141 (26)
G 家計・居住環境		
72	* ごみ排出量 (1人1日当たり)……………	143 (22)
73	ごみのリサイクル率……………	145 (5)
74	汚水処理人口普及率……………	147 (26)
75	道路総延長 (総面積1km ² 当たり)……………	149 (13)
76	都市公園面積 (都市計画区域人口1人当たり)……………	151 (11)
77	家計年間収入額 (2人以上の世帯、1世帯当たり)……………	153 (9)
78	1か月間の消費支出額 (2人以上の世帯、1世帯当たり)……………	155 (9)
79	貯蓄現在高 (2人以上の世帯、1世帯当たり)……………	157 (13)
80	乗用車保有台数 (人口千人当たり)……………	159 (14)
81	住宅用太陽光発電システム普及率 ……	161 (5)

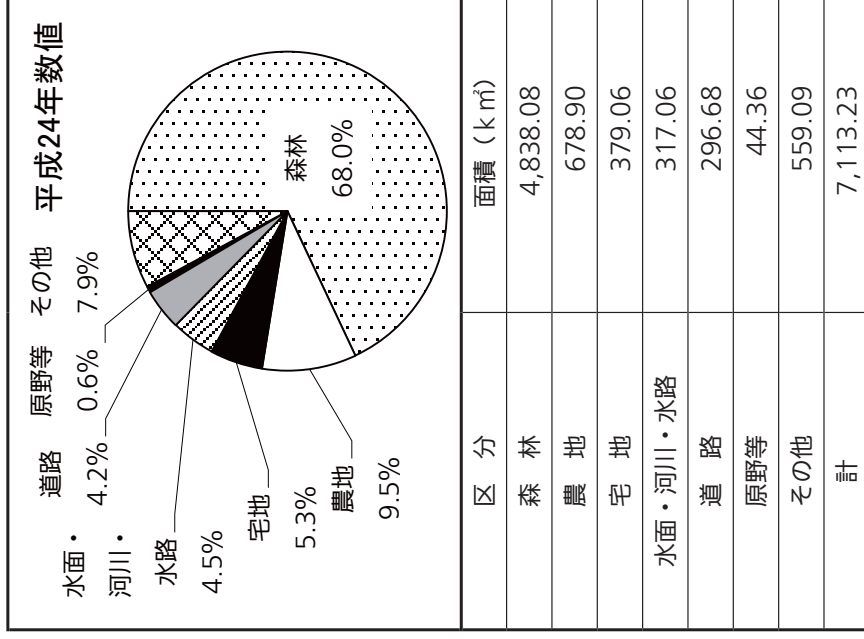
H 防災・安全		
82	自主防災組織率……………	163 (43)
83	* 自然災害被害総額……………	165 (28)
84	* 地震観測回数 (震度4以上)……………	167 (3)
85	火災発生件数 (人口1万人当たり)……………	169 (20)
86	消防吏員数 (人口千人当たり)……………	171 (30)
87	救急告示病院・診療所数 (人口10万人当たり)……………	173 (13)
88	* 救急自動車出動件数 (人口千人当たり)……………	175 (24)
89	* 交通事故 (人身事故) 発生件数 (人口千人当たり)……………	177 (41)
90	* 交通事故死亡者数 (人口10万人当たり)……………	179 (40)
91	* 高齢者 (第一当事者) 交通事故件数 (65歳以上1万人当たり)……………	181 (40)
92	* 刑法犯認知件数 (人口千人当たり)……………	183 (35)
93	重要犯罪検挙率……………	185 (3)
94	警察官数 (人口千人当たり)……………	187 (23)
95	防犯ボランティア団体構成員数 (人口1万人当たり)……………	189 (1)
I 財政		
96	財政規模 (人口1人当たり)……………	191 (36)
97	普通建設事業費比率……………	193 (31)
98	福祉費比率……………	195 (16)
99	県税収入比率……………	197 (18)
100	* 地方債現在高 (人口1人当たり)……………	199 (17)
101	* 地方公務員数 (人口千人当たり)……………	201 (15)
付表		
1	市町村編……………	203
2	岡山県の人口の推移……………	205
3	岡山県の年齢別人口……………	207

A 自然環境

A-1 総面積

A1

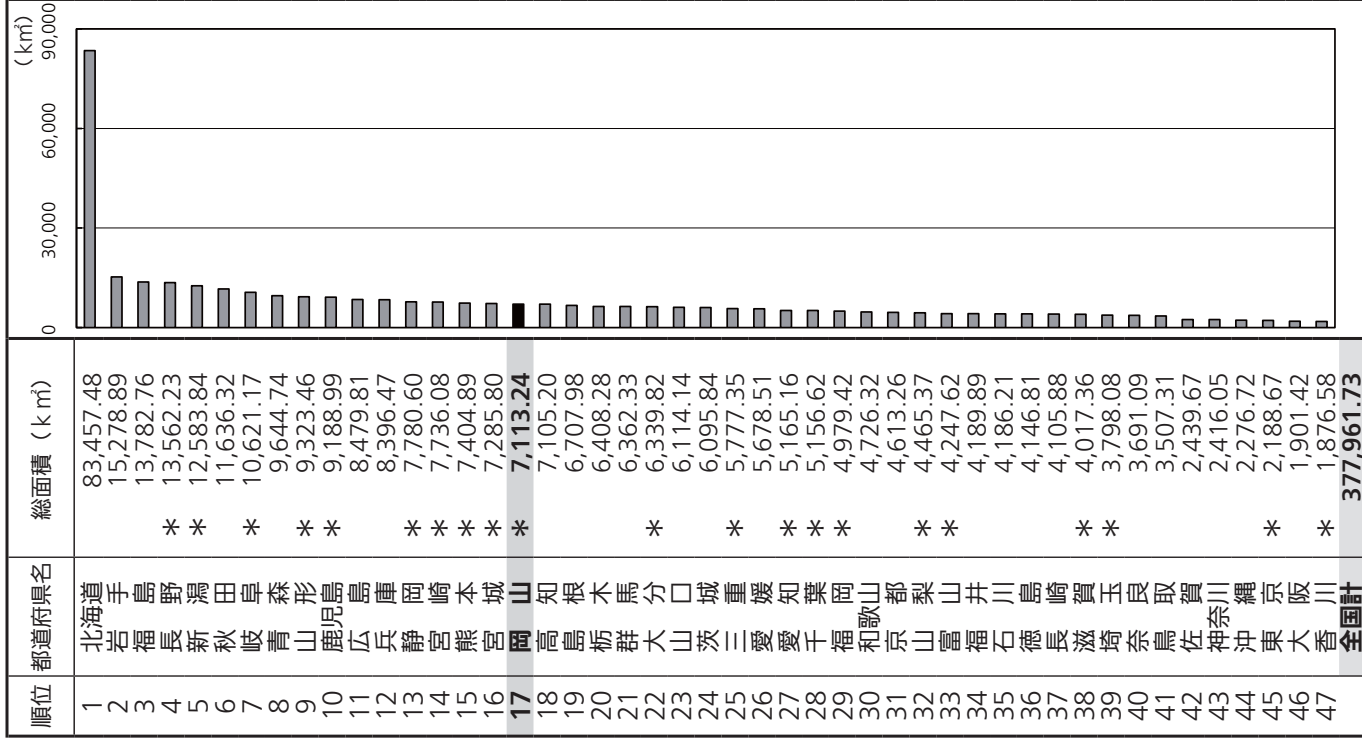
<岡山県土の利用状況>



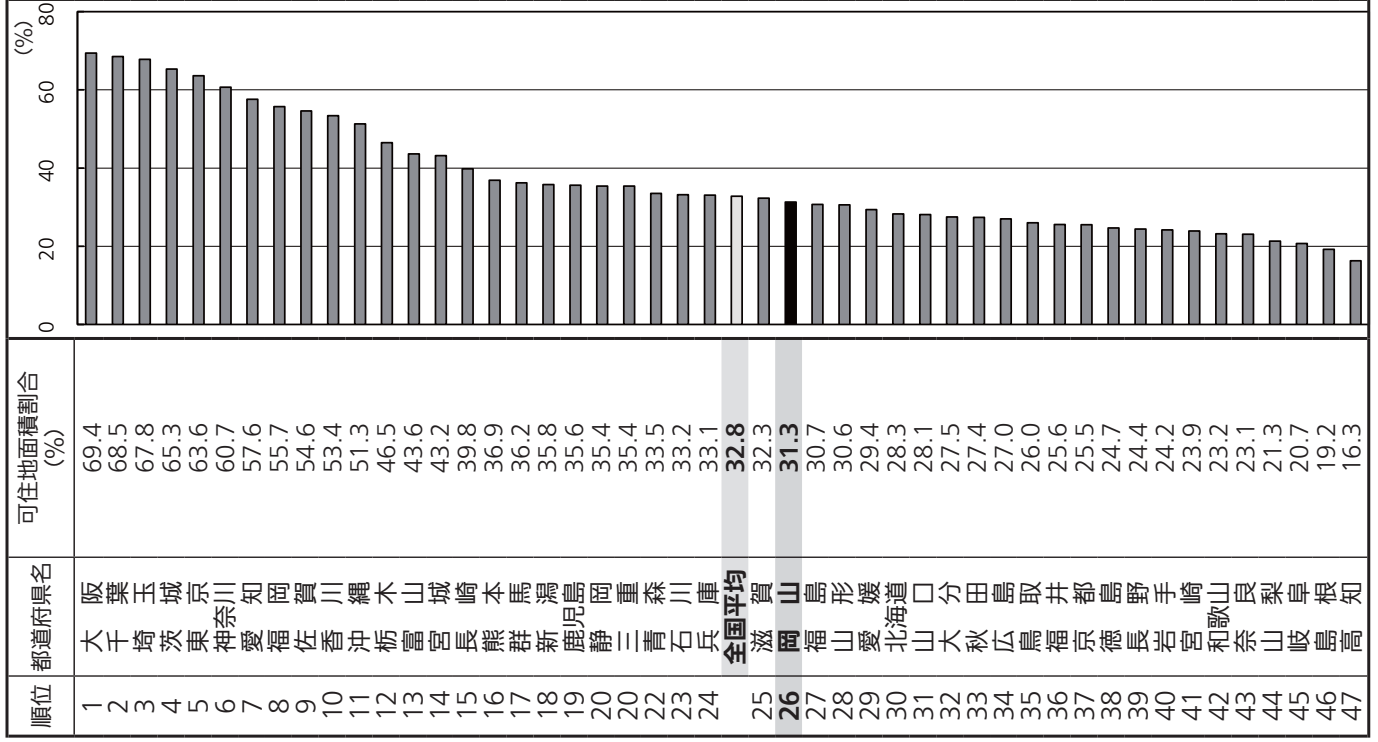
※県民生活交通課資料

<資料出所他>

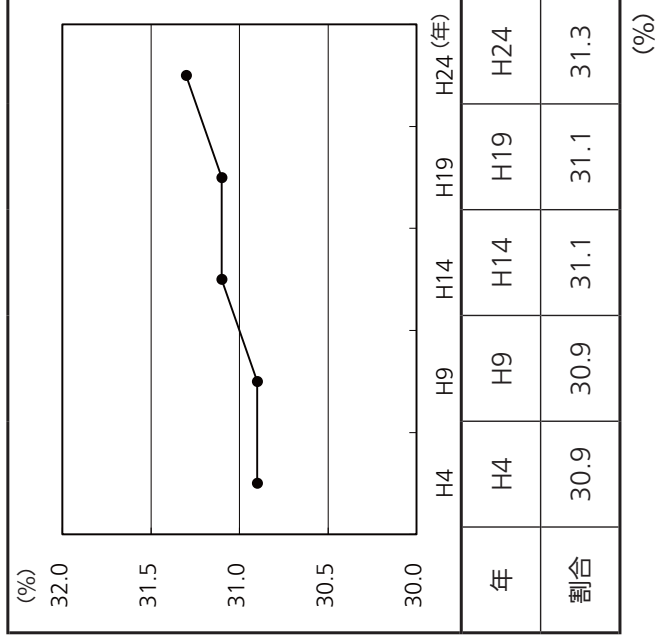
- ・調査時点 平成25年10月1日
- ・資料出所 国土地理院「全国道府県市区町村別面積調」
- ・総面積には、北方地域及び竹島を含む。
- ・*印は、一部境界未定のため総務省において推定



A-2 可住地面積割合



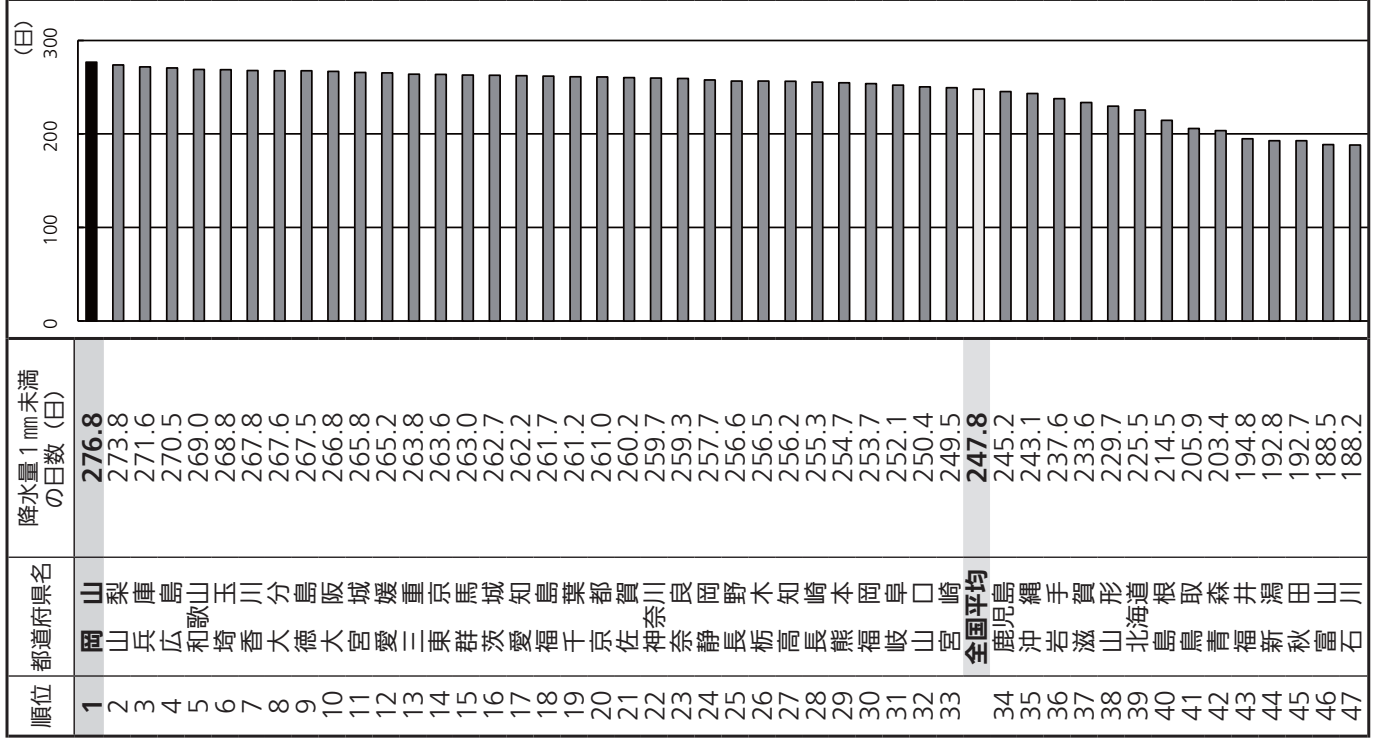
<岡山県の推移>



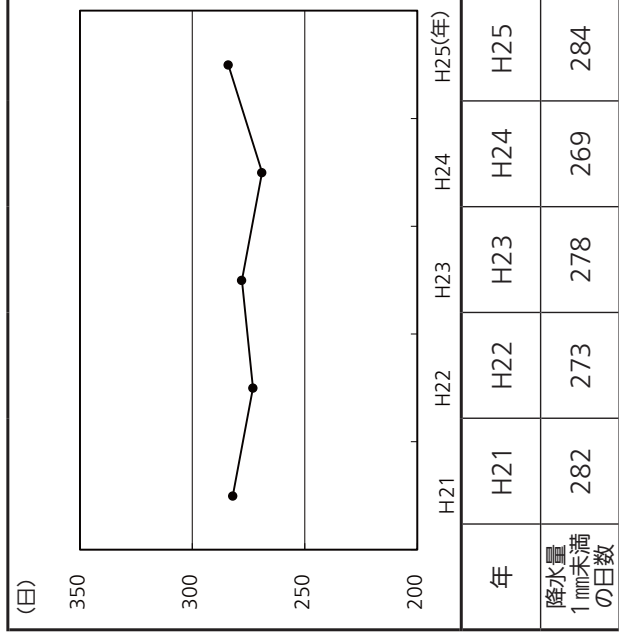
<資料出所他>

☆可住地面積とは、総面積（北方地域及び竹島を除く。）から林野面積と主要湖沼面積を差し引いたもの
 ・調査時点 平成24年10月1日
 ・算出方法 可住地面積÷総面積×100
 ・資料出所 総務省「社会生活統計指標」

A-3 降水量1mm未満の日数(平年値)



<岡山県の推移>



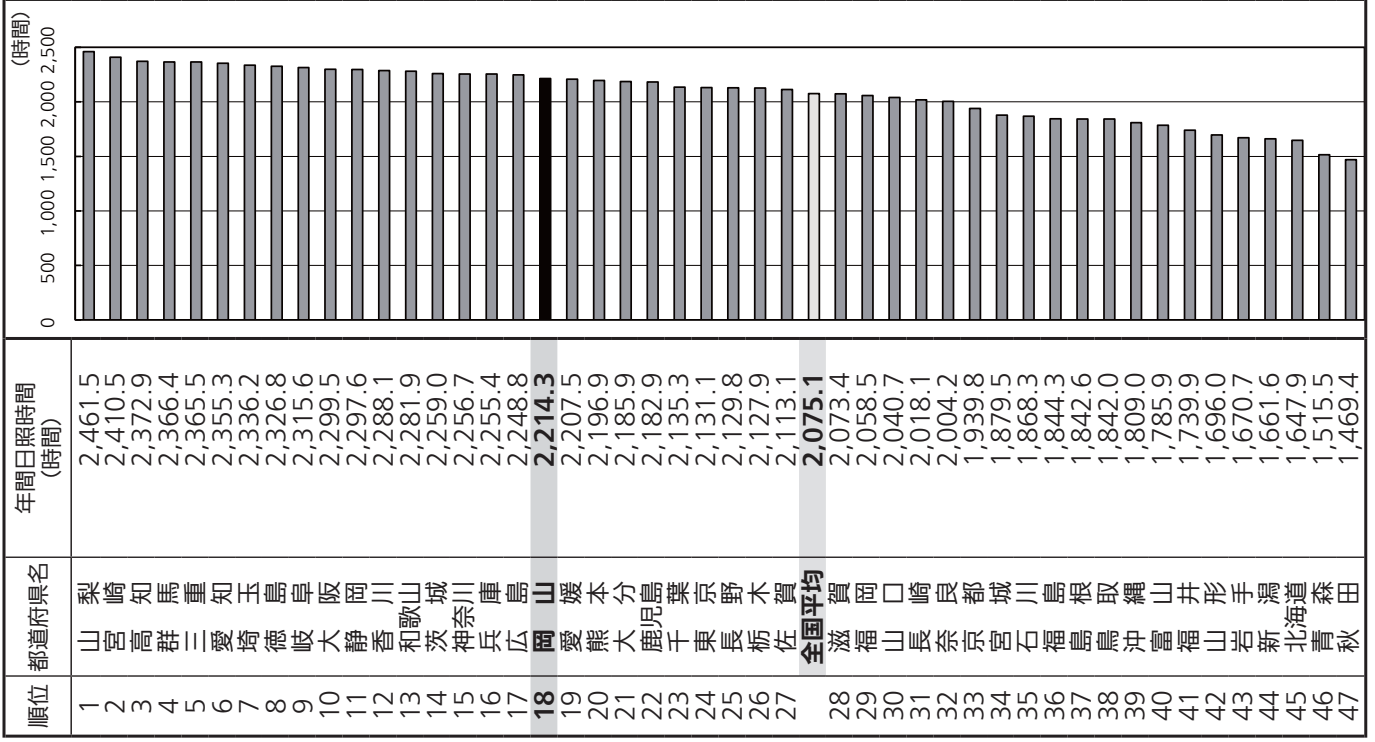
資料：気象庁資料

<資料出所他>

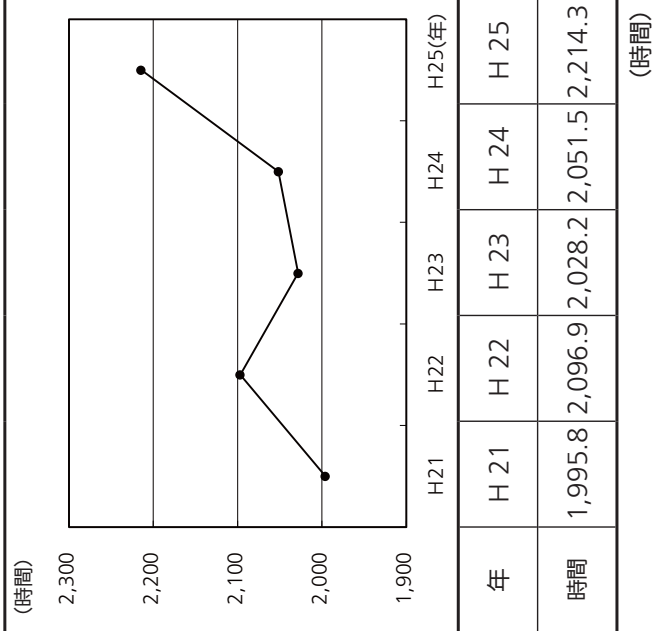
☆平年値とは、西暦年の1位が1の年から数えて連続する30年間の平均値のことで、現在の平年値は、1981年(昭和56年)から2010年(平成22年)の平年値

- ・算出方法 365日-降水量1mm以上の日数
- ・資料出所 気象庁資料(10年毎)
- ・観測地点は、埼玉県(熊谷市)、滋賀県(彦根市)を除き、都道府県庁所在地
- ・全国平均は全国47地点の単純平均

A-4 年間日照時間



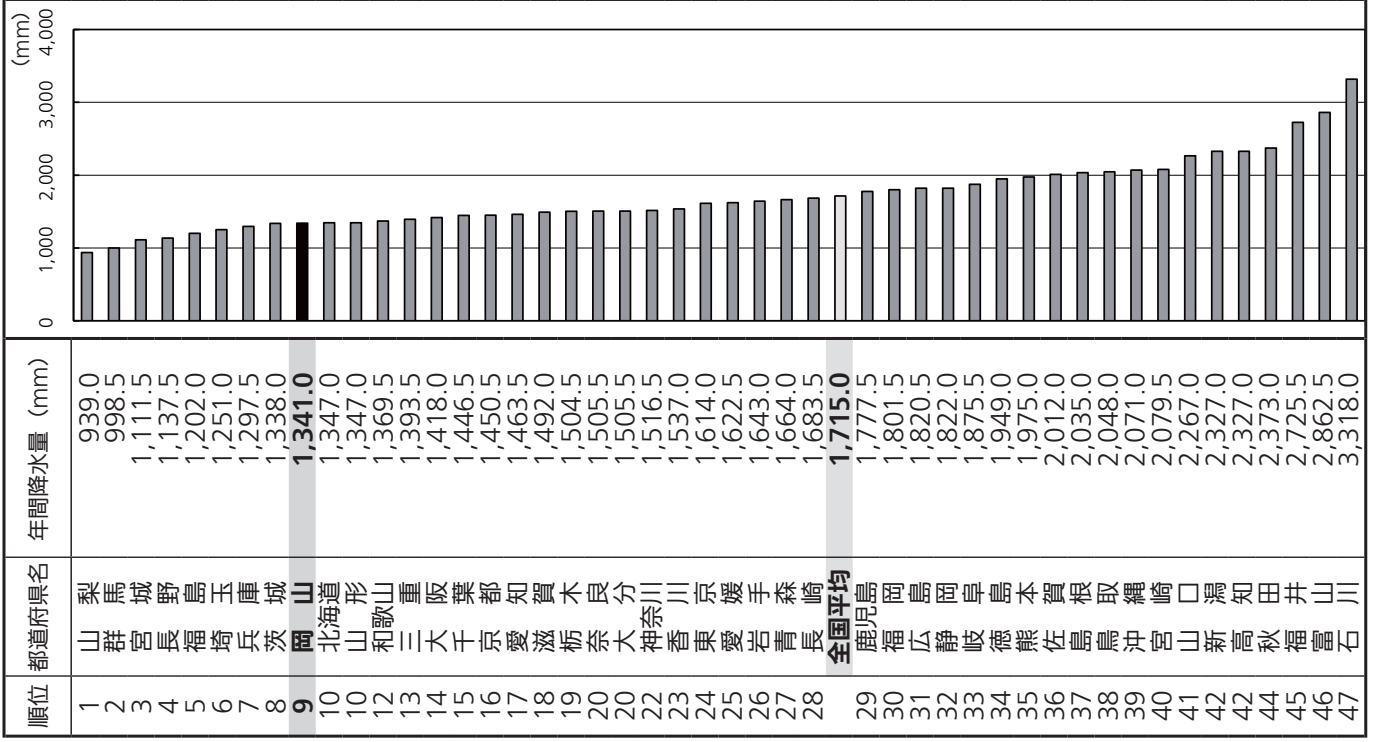
<岡山県の推移>



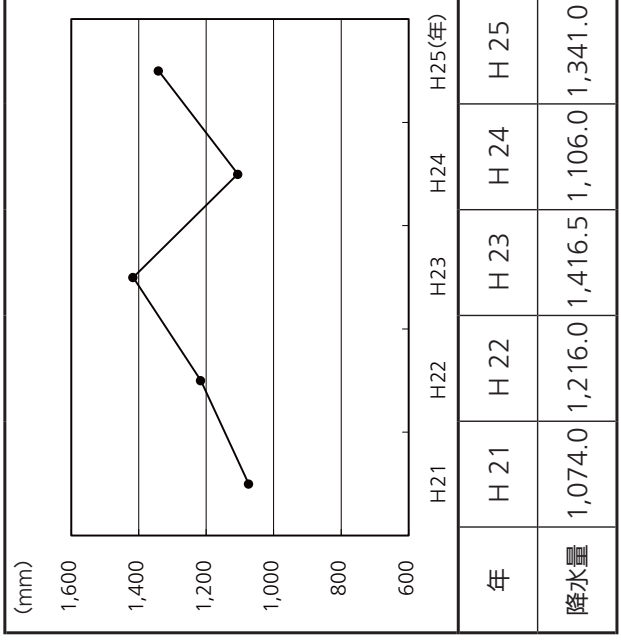
<資料出所他>

- 調査期間 平成25年(1.1~12.31)
- 資料出所 気象庁 資料
- 観測地点は、埼玉県(熊谷市)、滋賀県(彦根市)を除き、都道府県庁所在地
- 全国平均は全国47地点の単純平均

＊ A-5 年間降水量



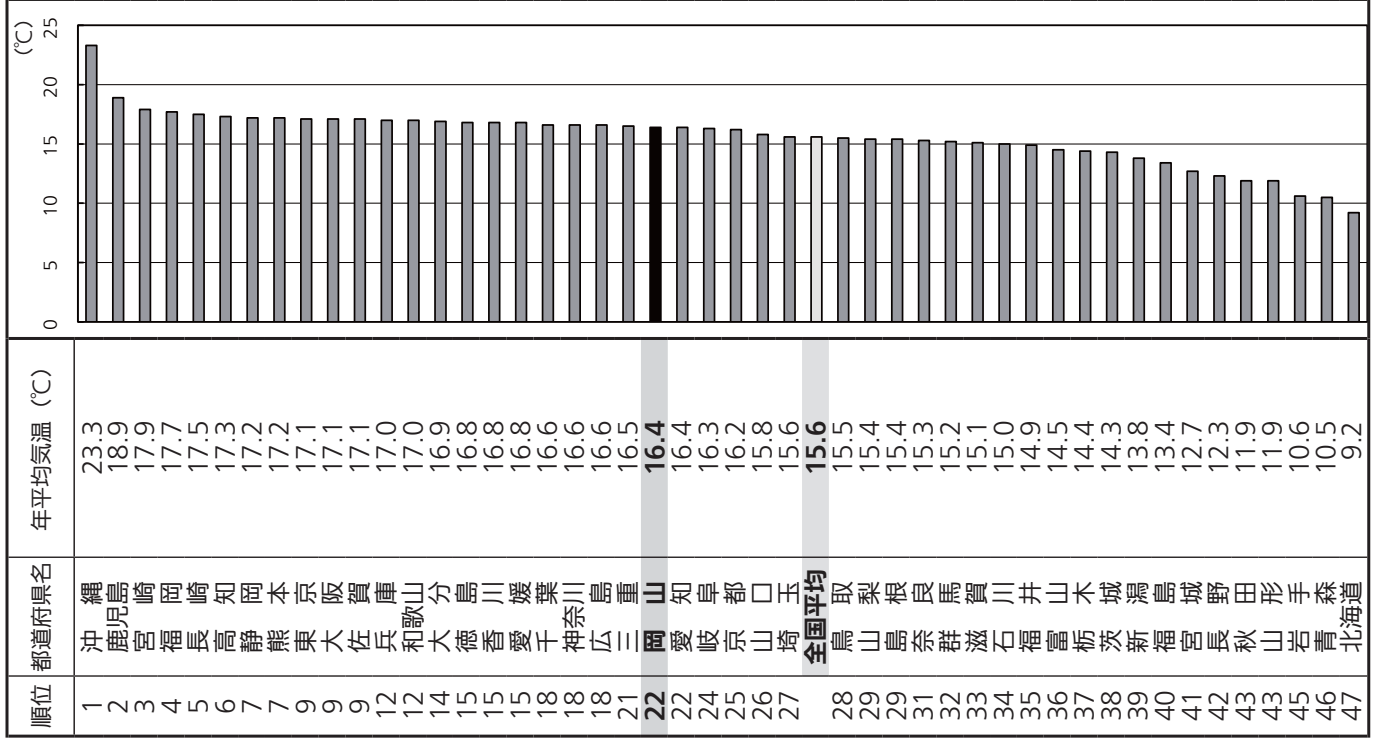
< 岡山県の推移 >



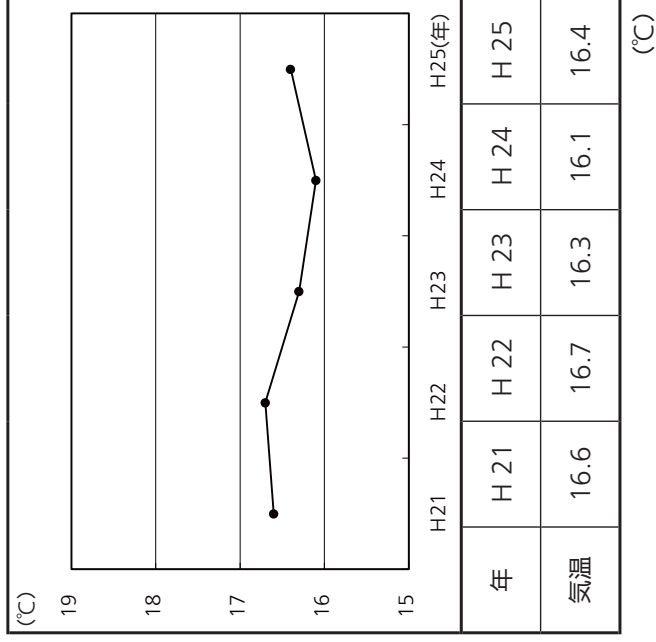
< 資料出所他 >

- ・ 調査期間 平成25年(1.1~12.31)
- ・ 資料出所 気象庁 資料
- ・ 観測地点は、埼玉県(熊谷市)、滋賀県(彦根市)を除き、都道府県庁所在地
- ・ 全国平均は全国47地点の単純平均

A-6 年平均気温



< 岡山県の推移 >

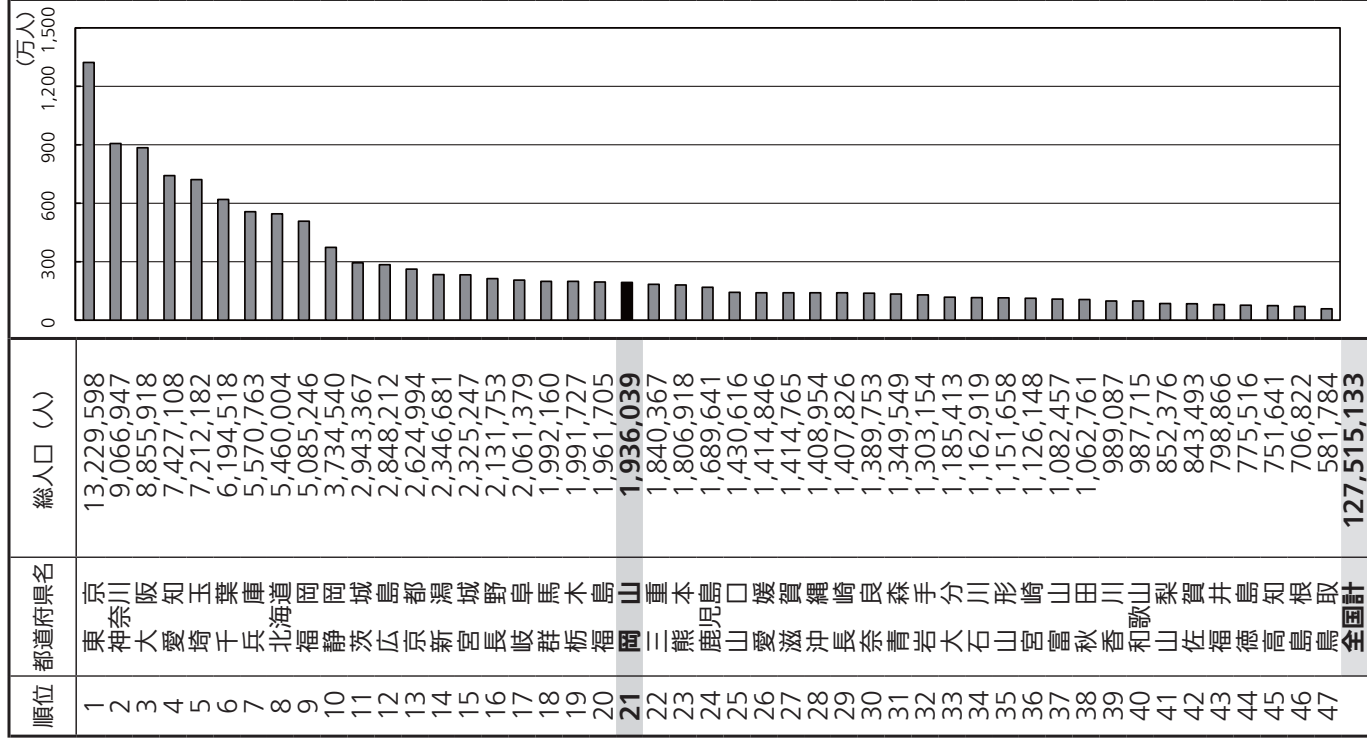


< 資料出所他 >

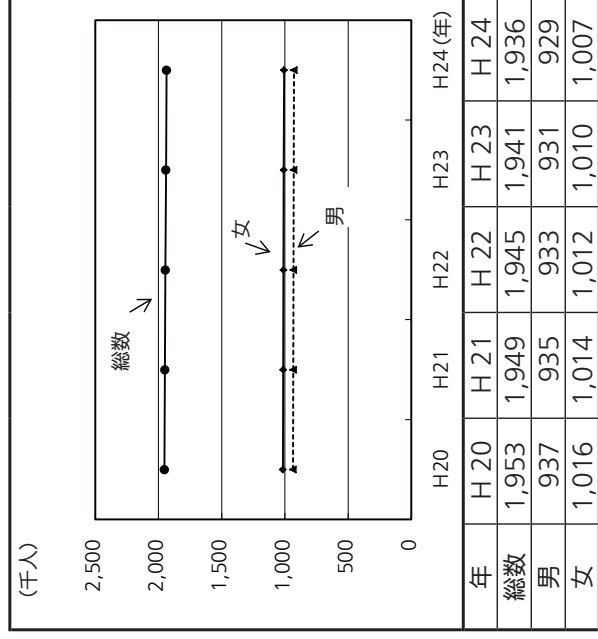
- ・ 調査期間 平成 25 年 (1.1 ~ 12.31)
- ・ 資料出所 気象庁 資料
- ・ 観測地点は、埼玉県 (熊谷市)、滋賀県 (彦根市) を除き、都道府県庁所在地
- ・ 全国平均は全国 47 地点の単純平均

B 人口・世帯

B-7 総人口

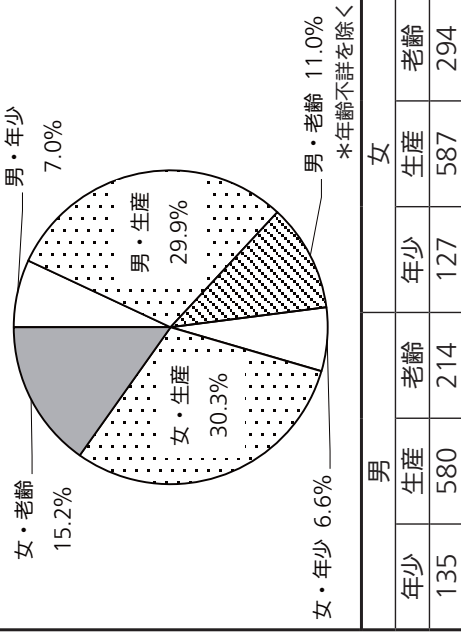


<岡山県の推移>



※平成22年は、総務省「国勢調査報告」による。(千人)

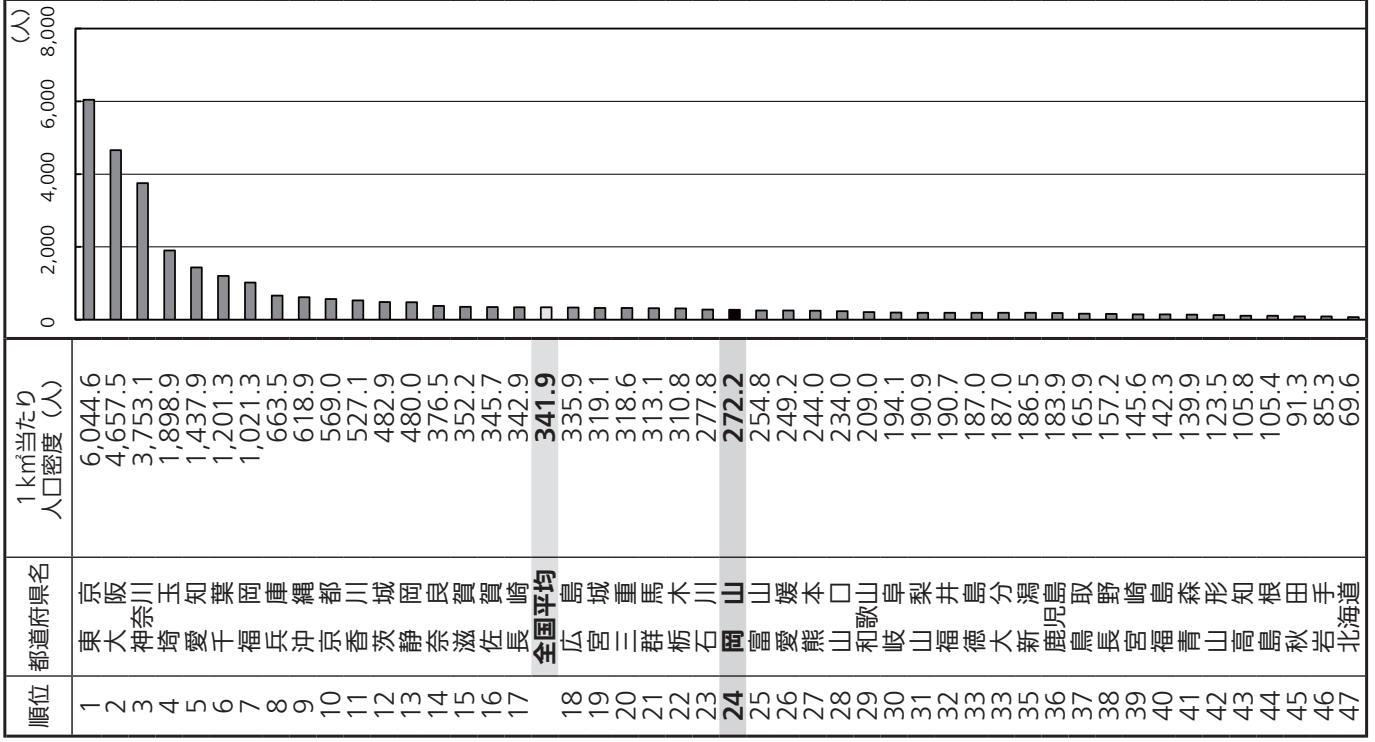
<岡山県の年齢・性別割合>



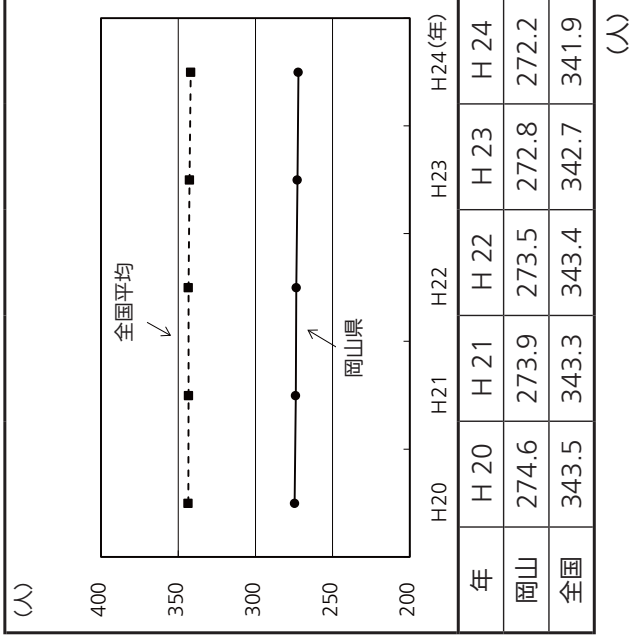
<資料出所他>

- ・調査時点 平成24年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計年報」

B-8 人口密度 (1km²当たり)



<岡山県の推移>



B8

<人口集中地区人口比率>

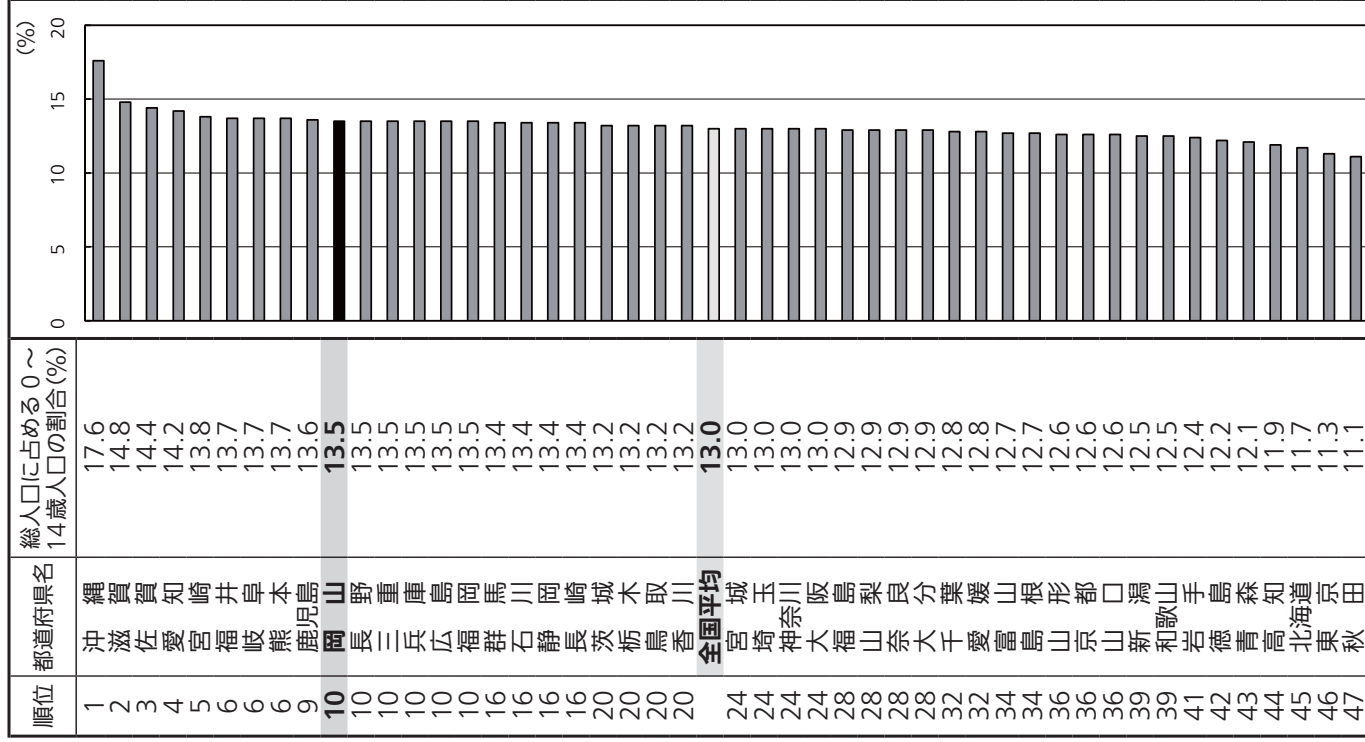
年	H2	H7	H12	H17	H22
岡山	38.2	40.9	42.3	43.7	45.6
全国	63.2	64.7	65.2	66.0	67.3

*人口集中地区とは1km²当たり4千人以上の基本単位区が隣接している地域のこと (%)

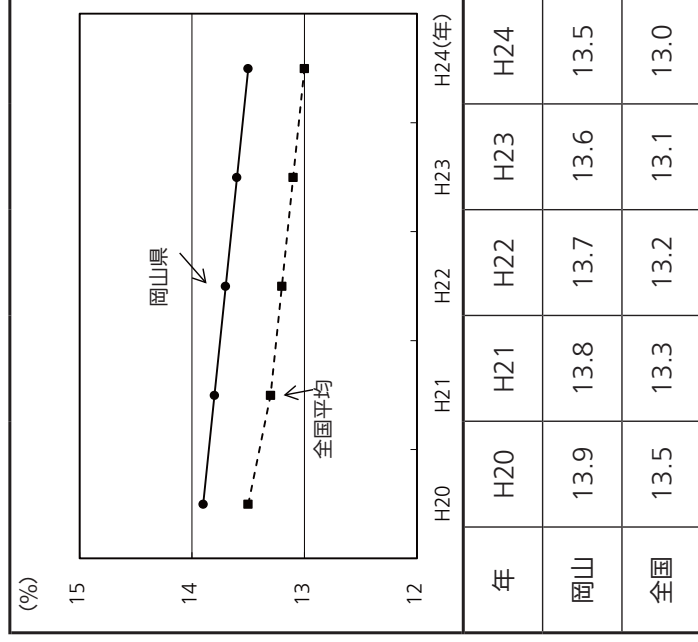
<資料出所他>

- ・調査時点 平成24年10月1日
- ・算出方法 総人口÷総面積
- ・資料出所 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
※北方地域及び竹島を除く。
総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用
平成22年は、総務省「国勢調査報告」を使用

B-9 年少人口割合（0～14歳）



<岡山県の推移>

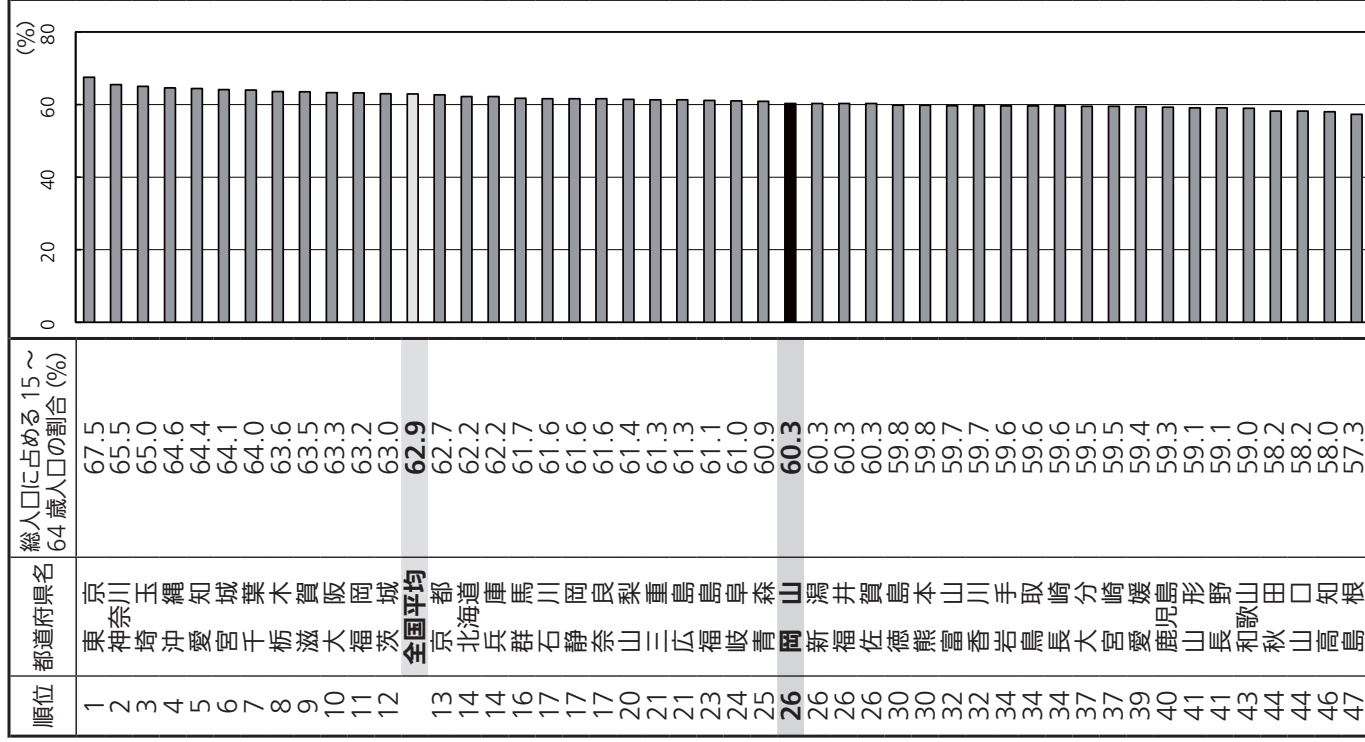


※平成22年は、総務省「国勢調査報告」による。（%）

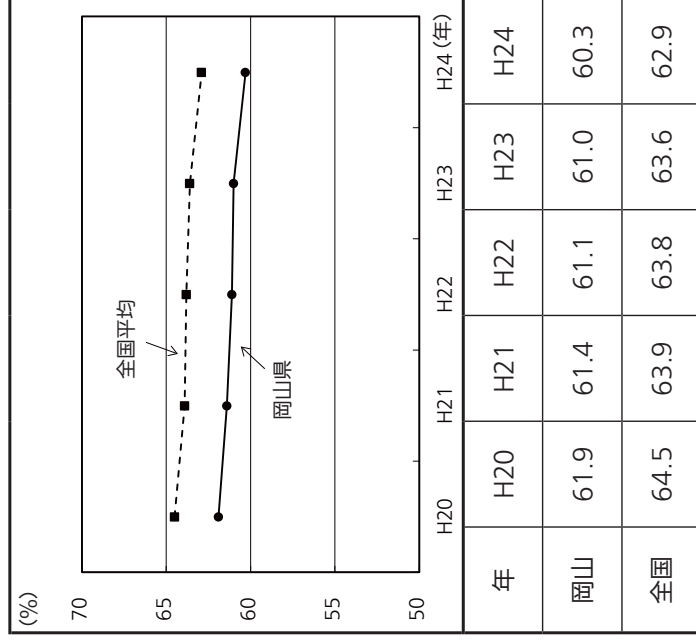
<資料出所他>

- ☆年少人口とは、14歳以下の人口
- 総人口には年齢不詳を含まない。
- ・調査時点 平成24年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計年報」

B-10 生産年齢人口割合（15～64歳）



<岡山県の推移>

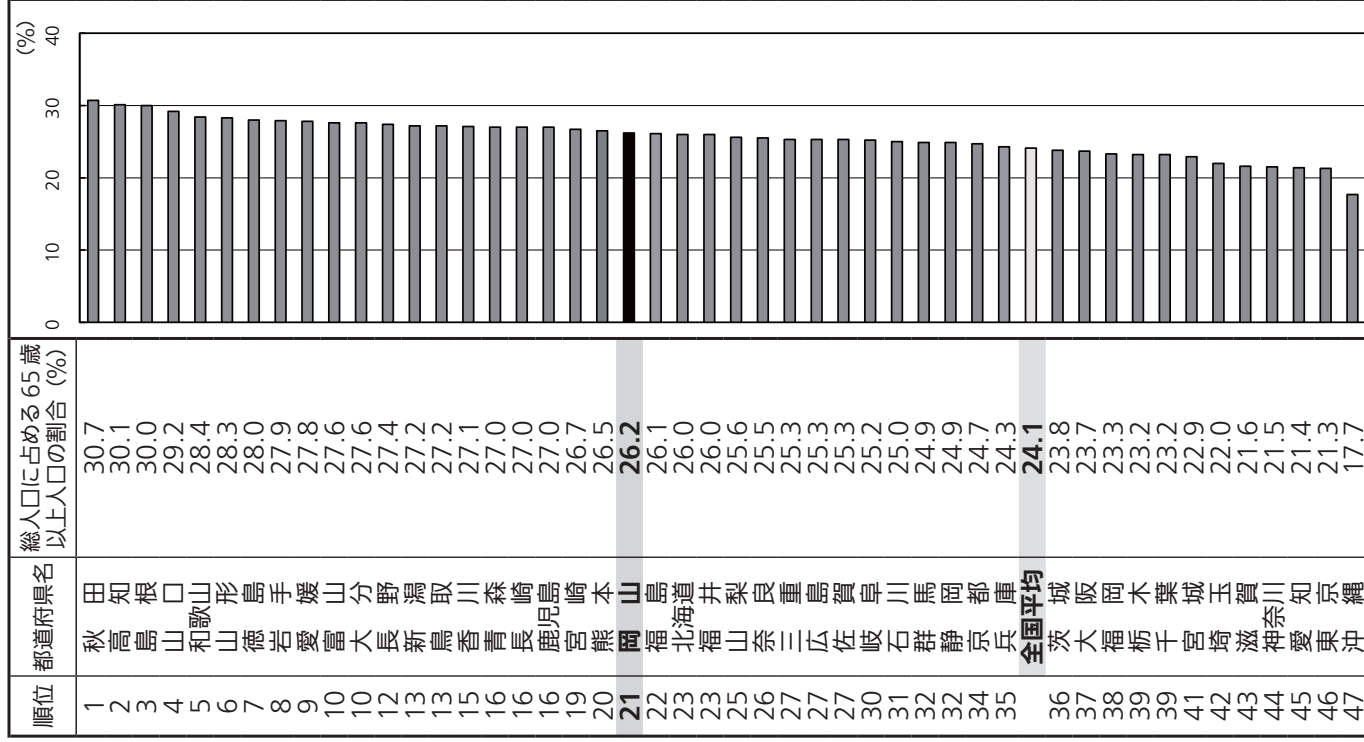


※平成22年は、総務省「国勢調査報告」による。(%)

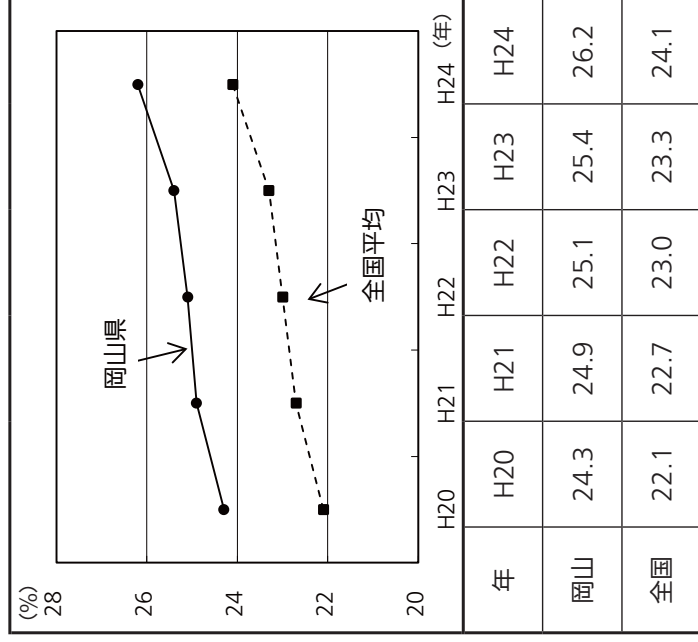
<資料出所他>

☆生産年齢人口とは、15～64歳の人口
 総人口には年齢不詳を含まない。
 ・調査時点 平成24年10月1日
 ・資料出所 総務省「人口推計年報」

B-11 老年人口割合（65歳以上：高齢化率）



<岡山県の推移>

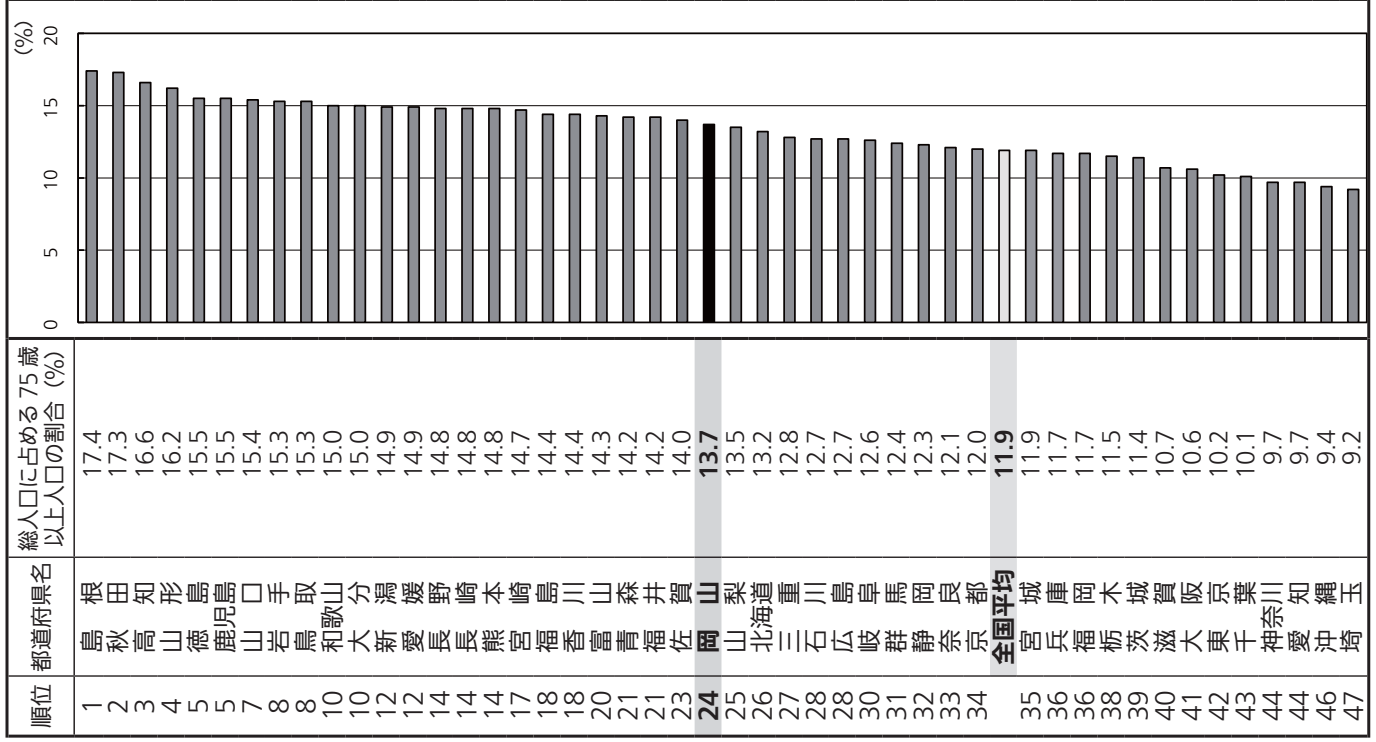


※平成22年は、総務省「国勢調査報告」による。（%）

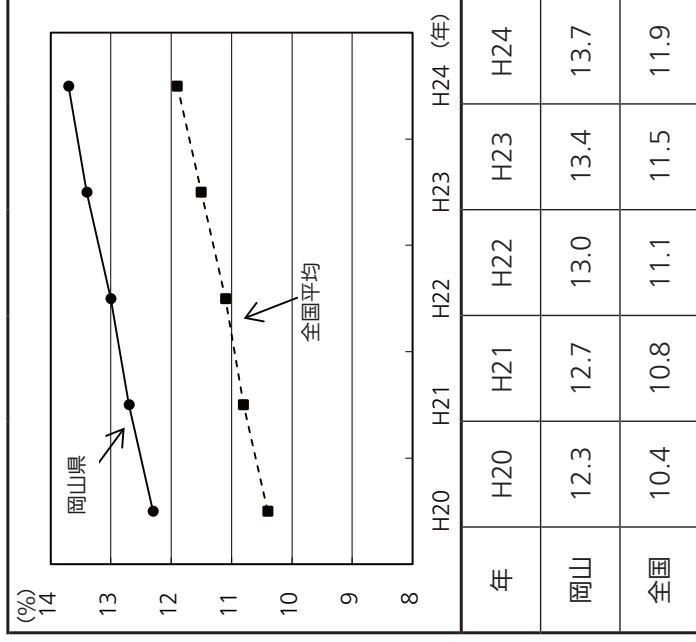
<資料出所他>

- ☆老年人口とは、65歳以上の人口
総人口には年齢不詳を含まない。
- ・調査時点 平成24年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計年報」

B-12 後期高齢者人口割合（75歳以上）



<岡山県の推移>

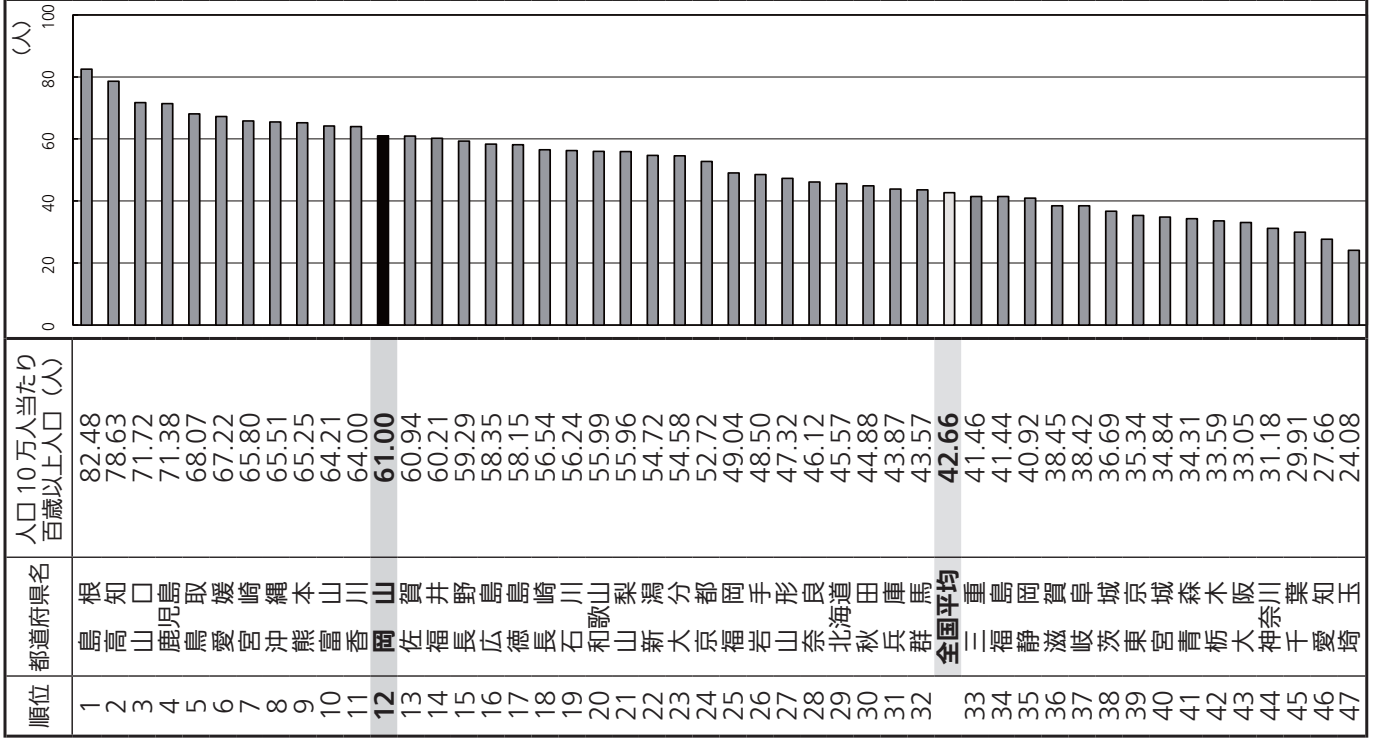


※平成22年は、総務省「国勢調査報告」による。（%）

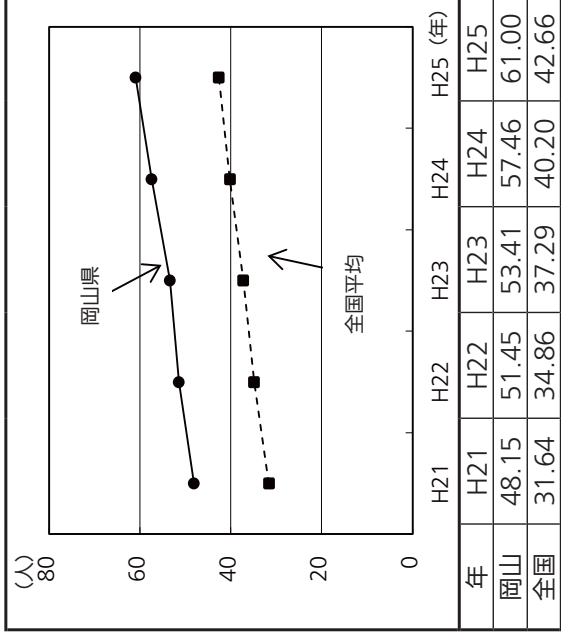
<資料出所他>

- ☆後期高齢者人口とは、75歳以上の人口
- 総人口には年齢不詳を含まない。
- ・調査時点 平成24年10月1日
- ・資料出所 総務省「人口推計年報」

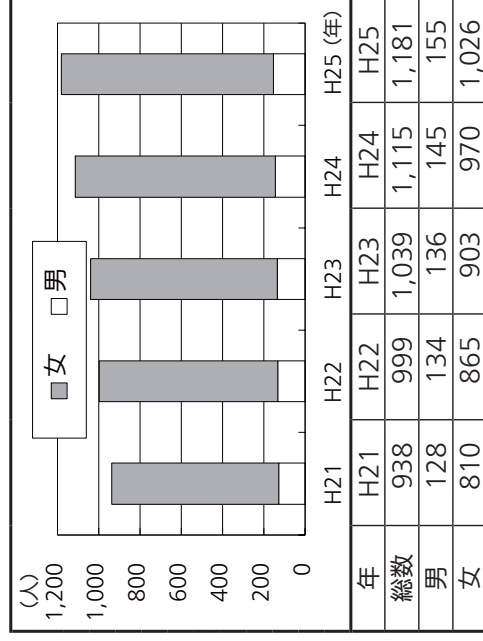
B-13 百歳以上人口割合（人口10万人当たり）



<岡山県の推移>



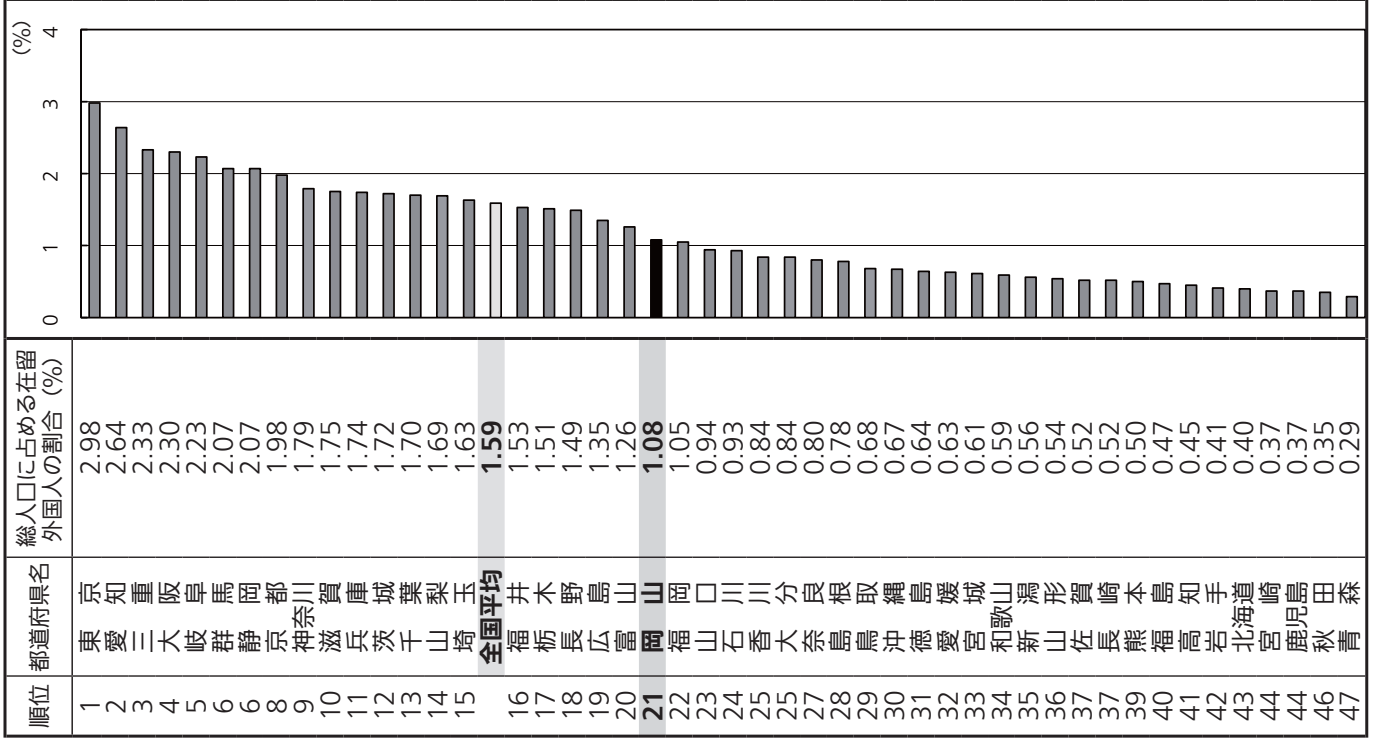
<岡山県の百歳以上人口>



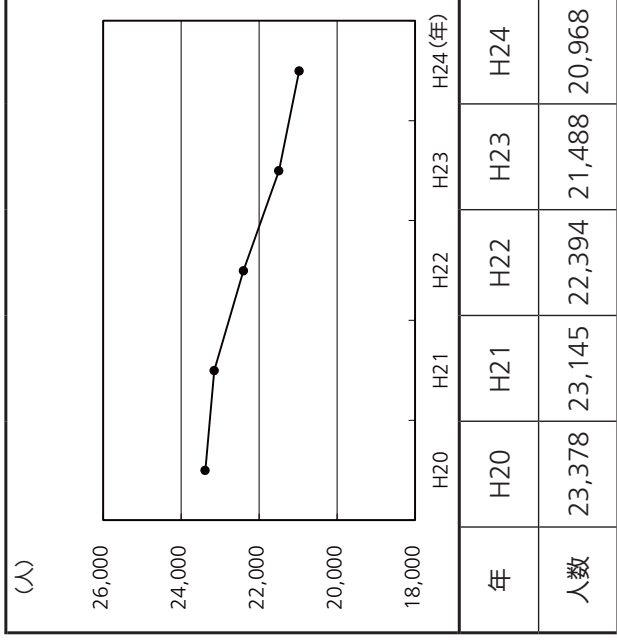
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年9月1日
- ・資料出所 厚生労働省資料「百歳以上高齢者数」
- ・総人口は、総務省「人口推計年報」（平成24年10月1日時点）を使用

B-14 在留外国人割合

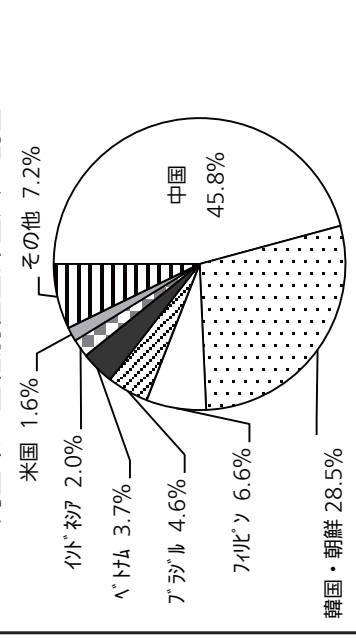


<岡山県の推移>



B14

<岡山県の国籍別在留外国人の割合>



<資料出所他>

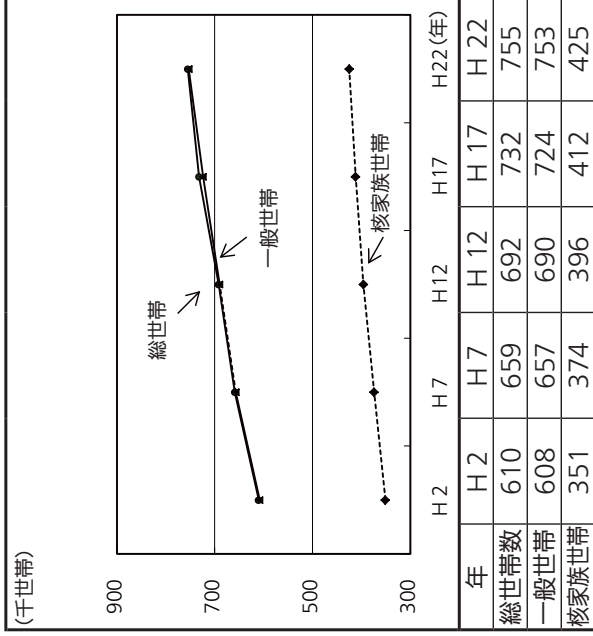
- 調査時点 平成24年12月31日
- 算出方法 在留外国人数 ÷ 総人口 × 100
- 資料出所 法務省「在留外国人統計」
総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

B-15 総世帯数

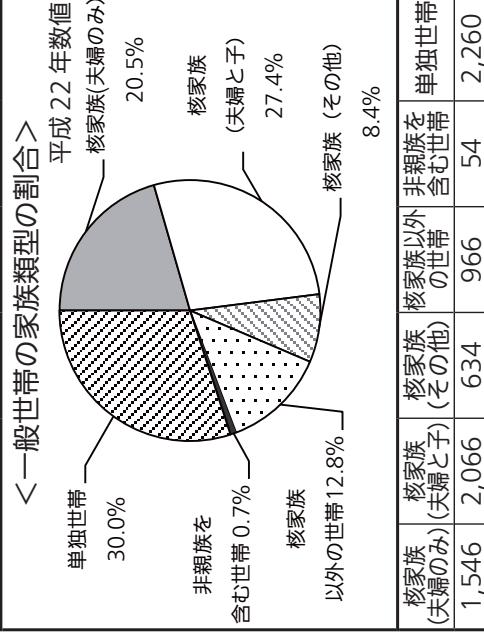
順位	都道府県名	総世帯数 (世帯)
1	東京都	6,393,768
2	神奈川県	3,844,525
3	大阪府	3,832,386
4	愛知県	2,933,802
5	埼玉県	2,841,595
6	千葉県	2,515,904
7	北海道	2,424,317
8	兵庫県	2,255,318
9	福岡県	2,110,468
10	静岡県	1,399,140
11	広島県	1,184,967
12	京都府	1,122,057
13	茨城県	1,088,411
14	宮城県	901,862
15	新潟県	839,039
16	長野県	794,461
17	群馬県	755,756
18	岡山県	754,511
19	栃木県	745,604
20	岐阜県	737,151
21	鹿嶋県	729,386
22	福島県	720,794
23	三重県	704,607
24	熊本県	688,234
25	山口県	597,432
26	山梨県	590,888
27	愛媛県	558,660
28	長崎県	523,523
29	沖縄県	520,191
30	滋賀県	517,748
31	青森県	513,385
32	岩手県	483,934
33	大宮県	482,051
34	石川県	460,505
35	和歌山県	441,170
36	香川県	393,553
37	秋田県	390,474
38	山形県	390,136
39	山梨県	388,608
40	富山県	383,439
41	高知県	327,721
42	徳島県	321,909
43	佐賀県	302,294
44	福井県	295,038
45	根拠	275,599
46	鳥取県	262,219
47	島根県	211,964
	全国計	51,950,504

(千世帯)

<岡山県の推移>



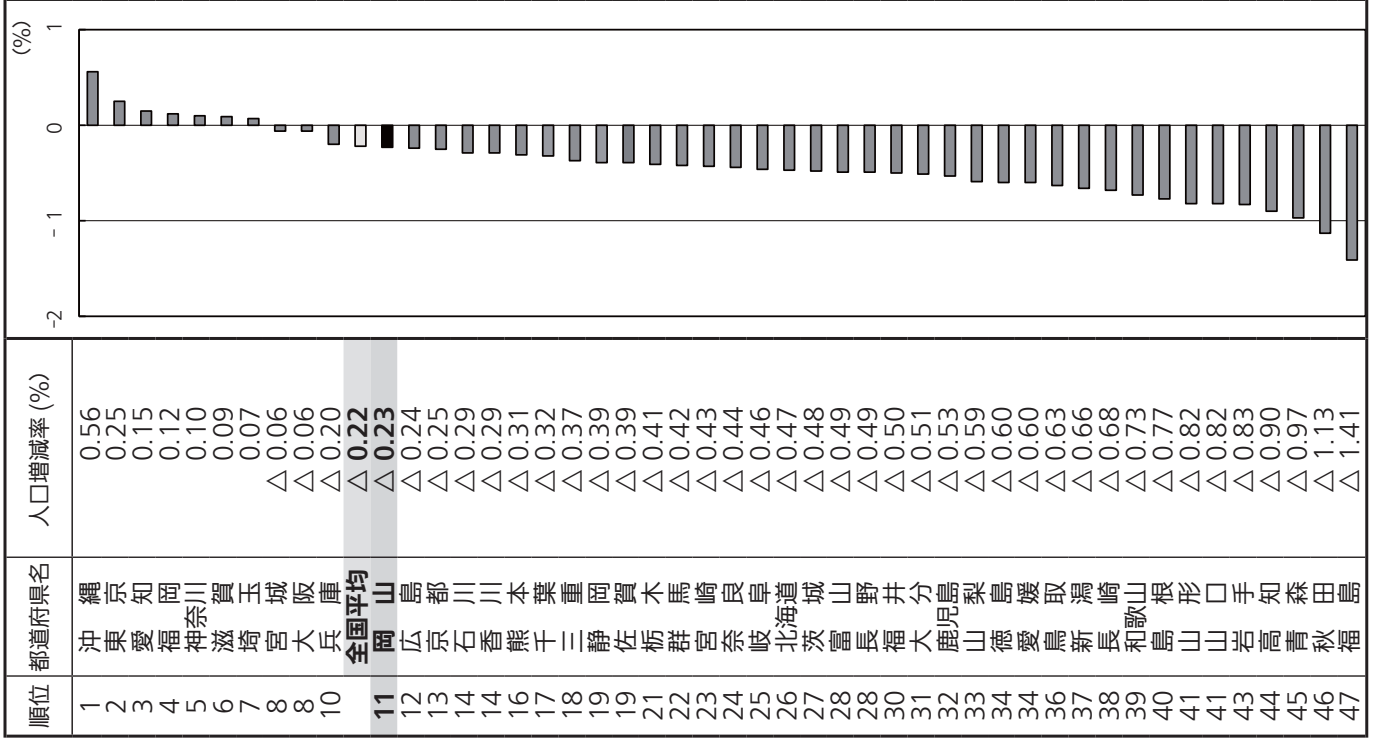
(千世帯)



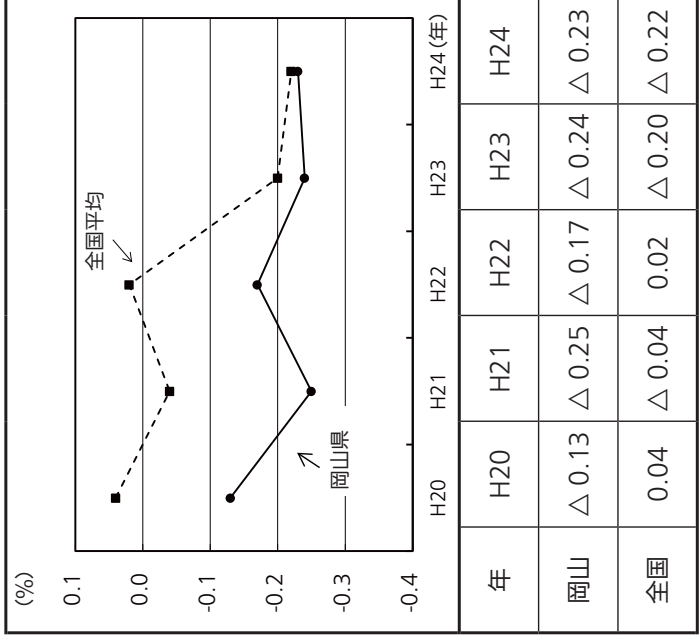
<資料出所他>

- ☆ 一般世帯数+施設等の世帯数
- ・ 調査時点 平成22年10月1日
- ・ 資料出所 総務省「国勢調査報告」

B-16 人口増減率



<岡山県の推移>

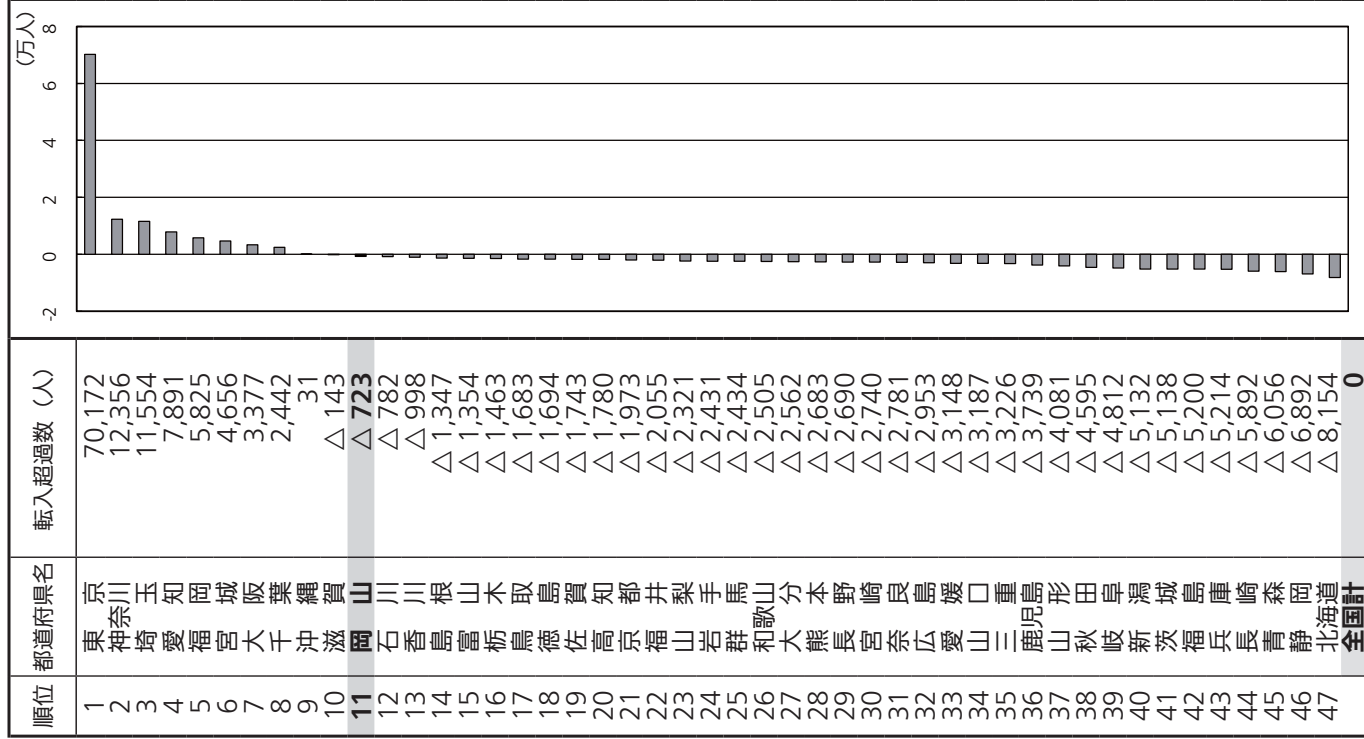


B16

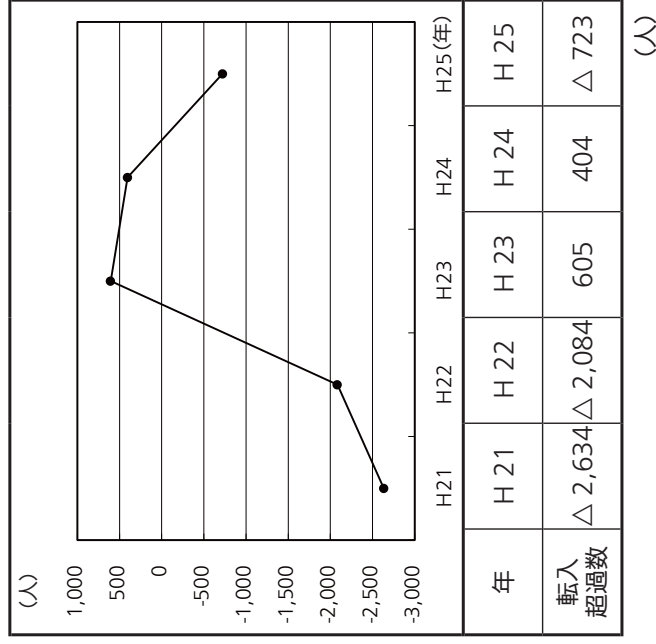
<資料出所他>

- ・ 調査期間 平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日
- ・ 算出方法
$$\frac{(H24.9.30 \text{人口}) - (H23.10.1 \text{人口})}{H23.10.1 \text{人口}} \times 100$$
- ・ 資料出所 総務省「人口推計年報」

B-17 都道府県間の人口移動状況（転入超過数）



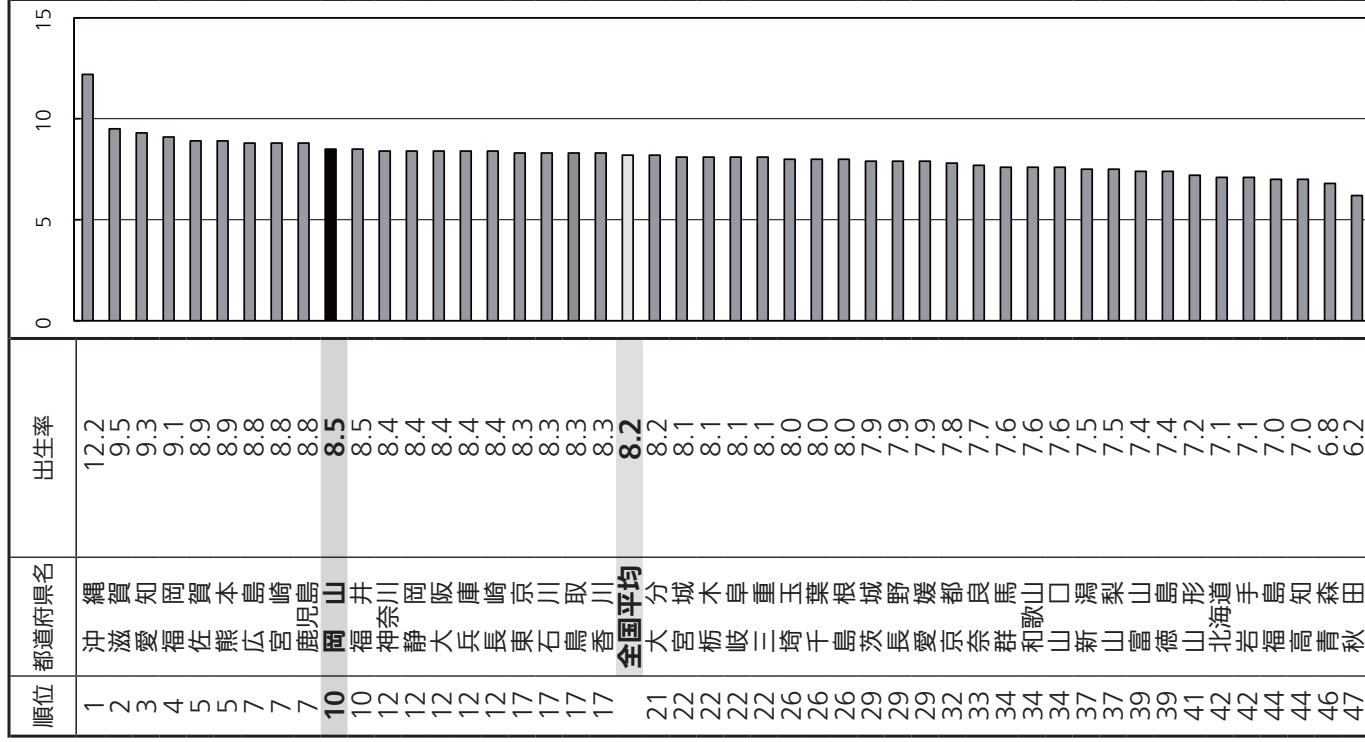
<岡山県の推移>



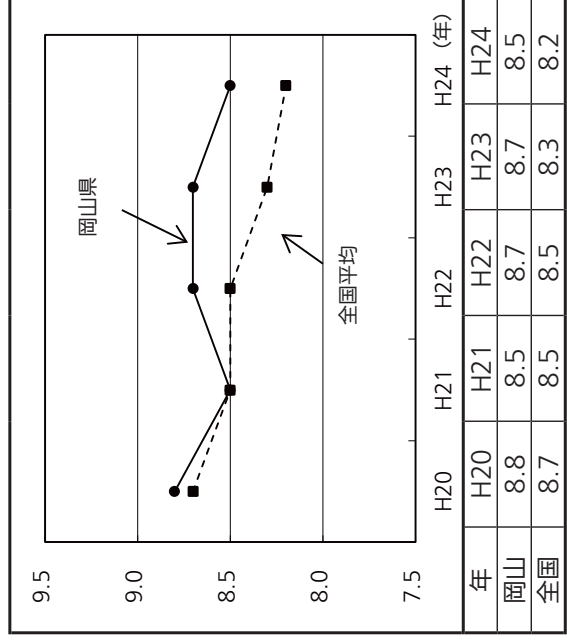
<資料出所他>

- ・ 調査期間 平成25年(1.1~12.31)
- ・ 資料出所 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

B-18 出生率（人口千人当たり）

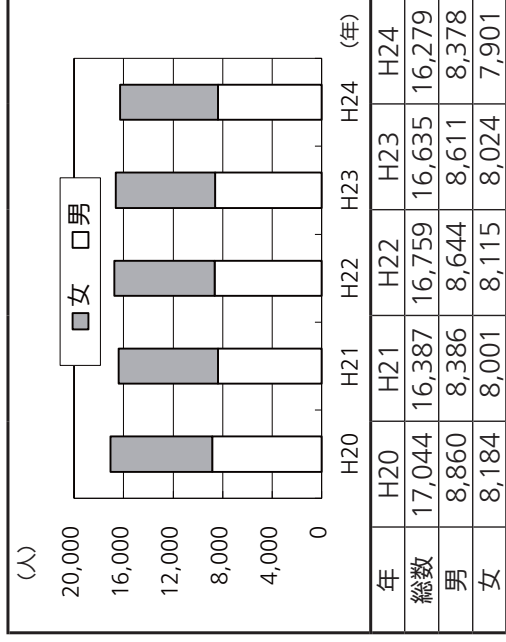


<岡山県の推移>



B18

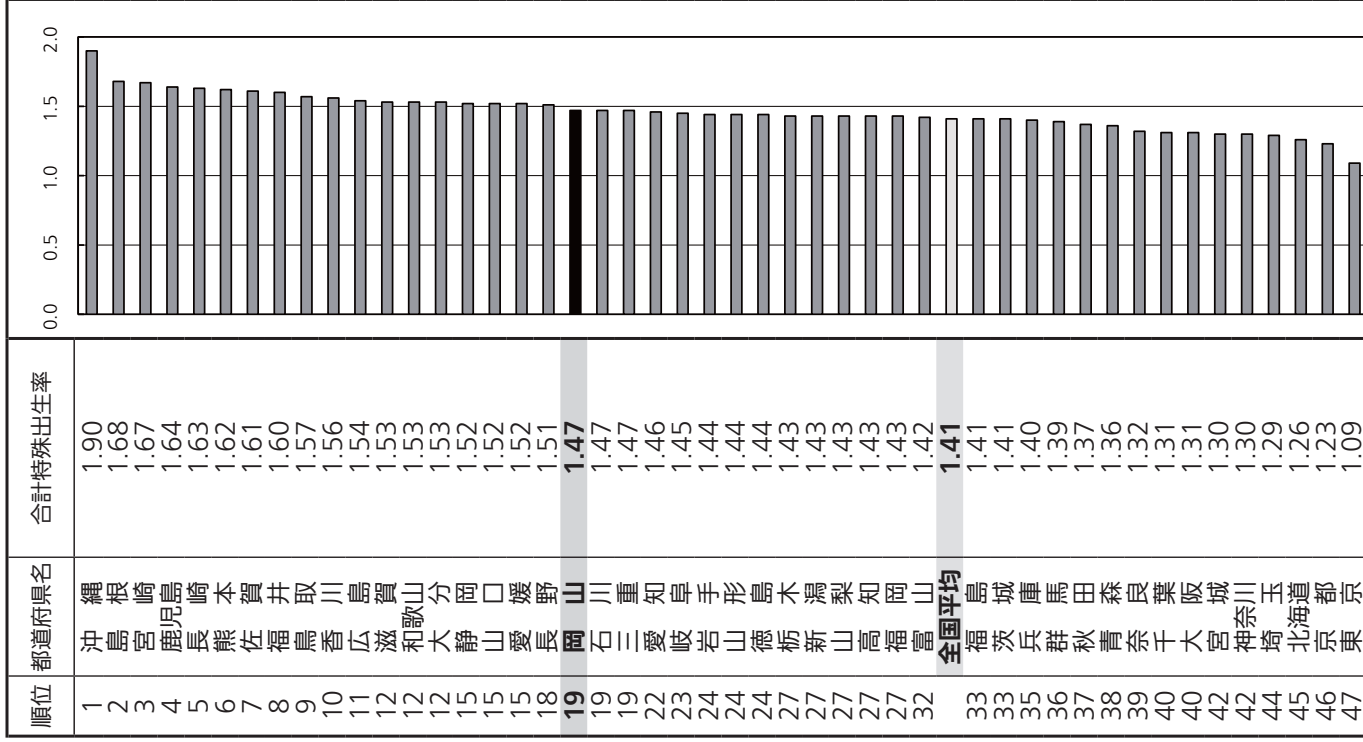
<岡山県の男女別出生数>



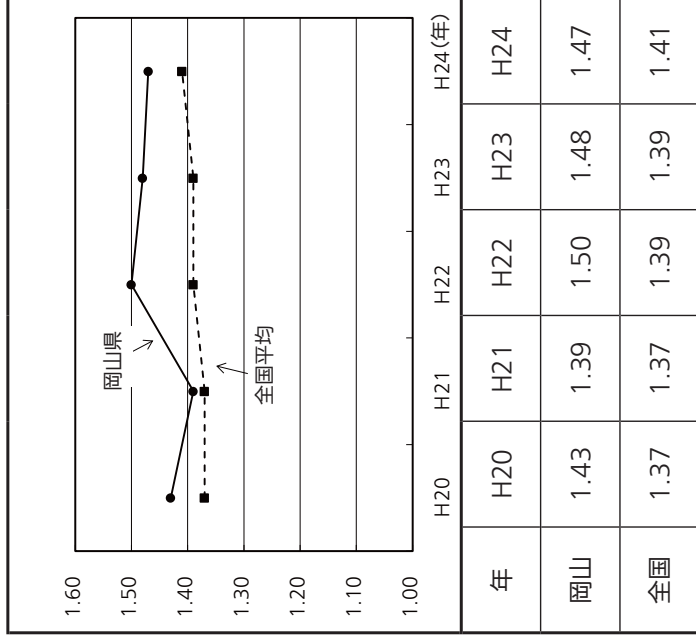
<資料出所他>

- ・ 調査期間 平成24年（1.1～12.31）
- ・ 資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
- ・ 集計客体 日本における日本人
- ・ 全国には、住所が外国・不詳を含む。

B-19 合計特殊出生率



<岡山県の推移>



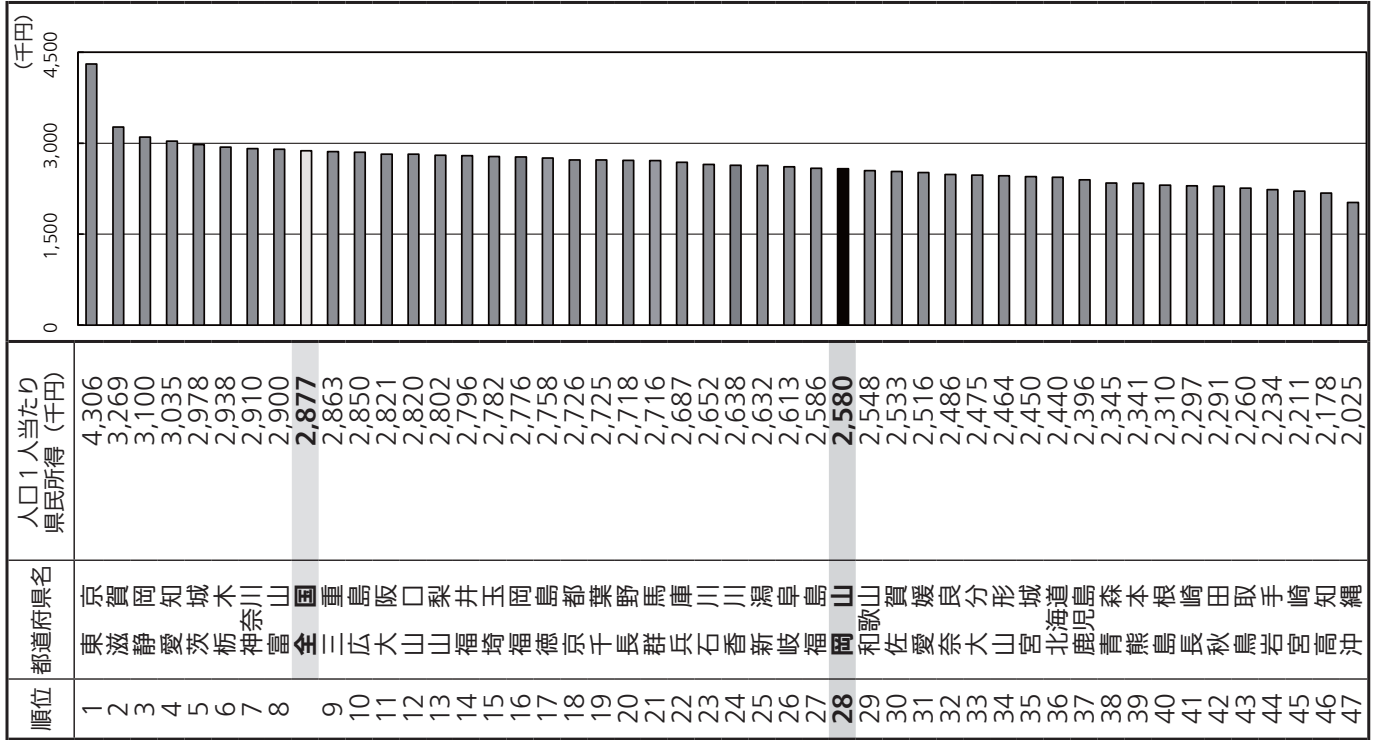
B19

<資料出所他>

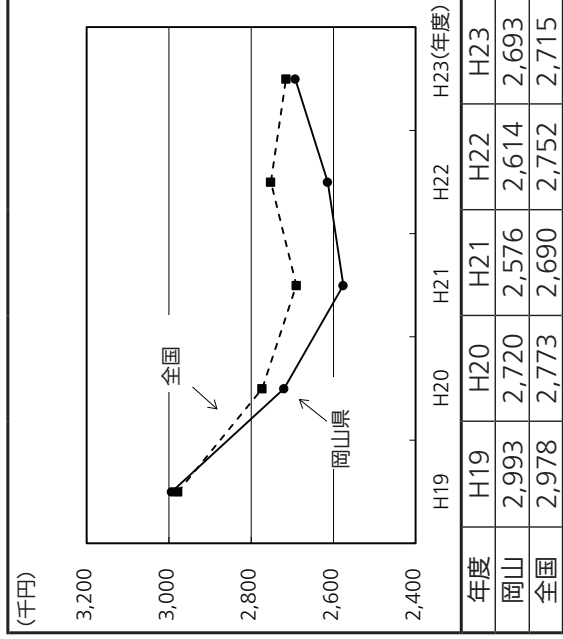
☆合計特殊出生率とは、1人の女性が15～49歳の間に生む平均の子供数
 ・調査期間 平成24年(1.1～12.31)
 ・資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
 ・集計客体 日本における日本人
 ・全国には、住所が外国・不詳を含む。

C 経済・産業

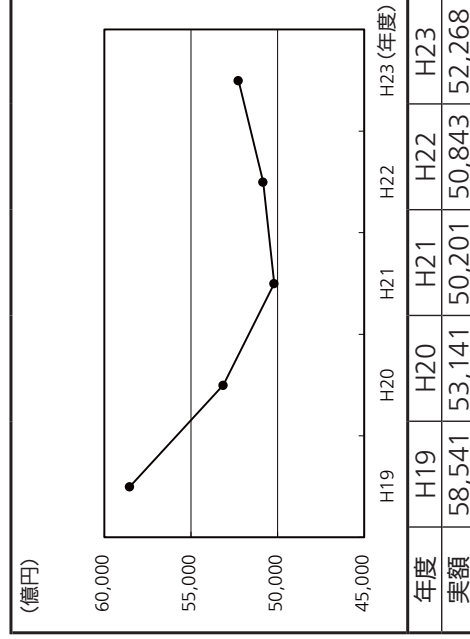
C-20 県民所得 (人口1人当たり)



<岡山県の推移>



<岡山県の県民所得の推移>

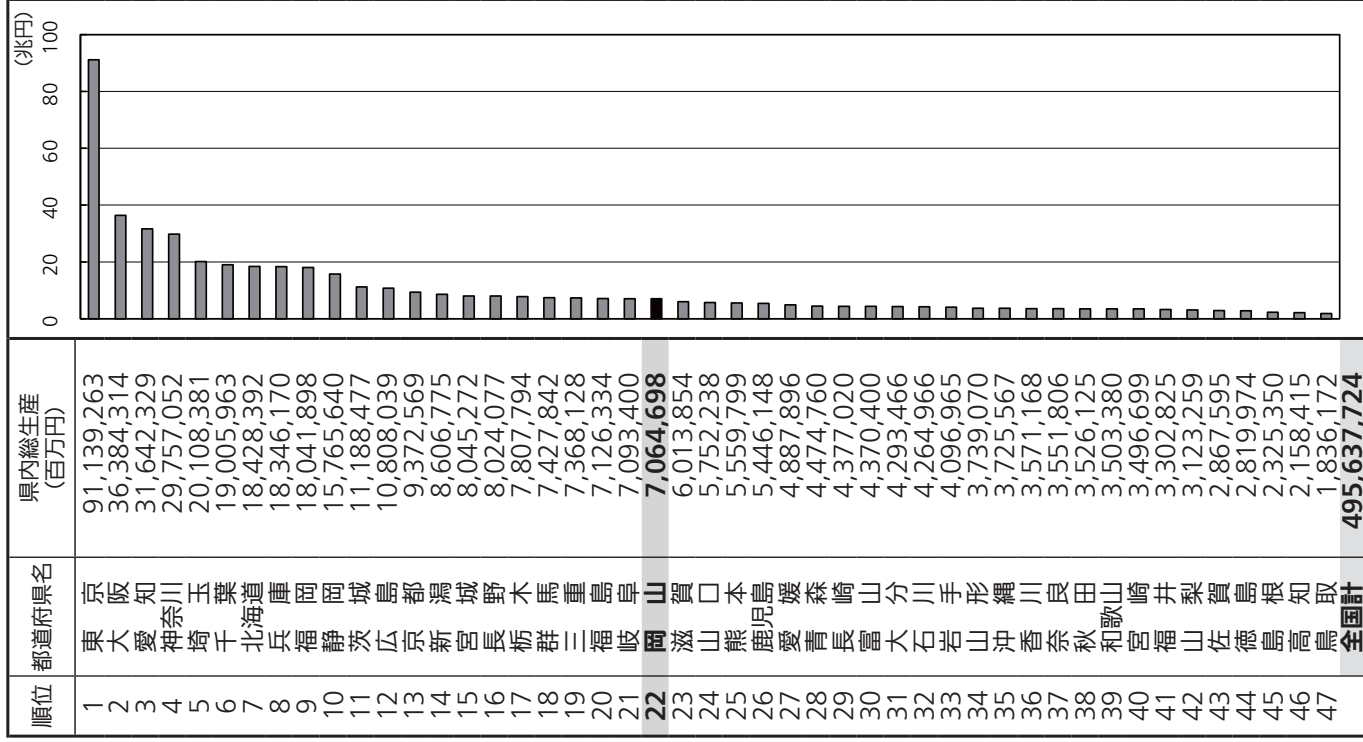


<資料出所他>

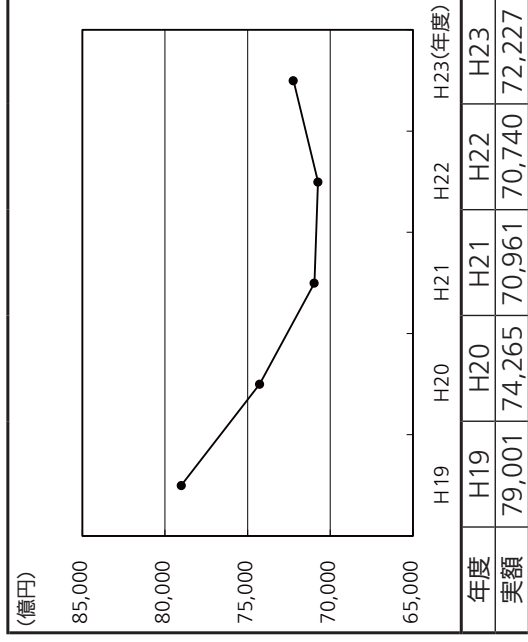
- 左表
 ・調査期間 平成22年度
 ・資料出所 内閣府「平成22年度県民経済計算」
 右表
 ・資料出所 岡山県「平成23年度岡山県県民経済計算」

C20

C-21 県内総生産（名目）

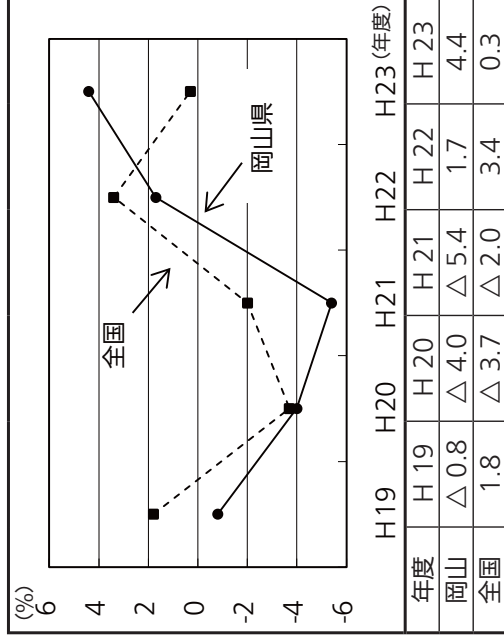


<岡山県の推移>



C21

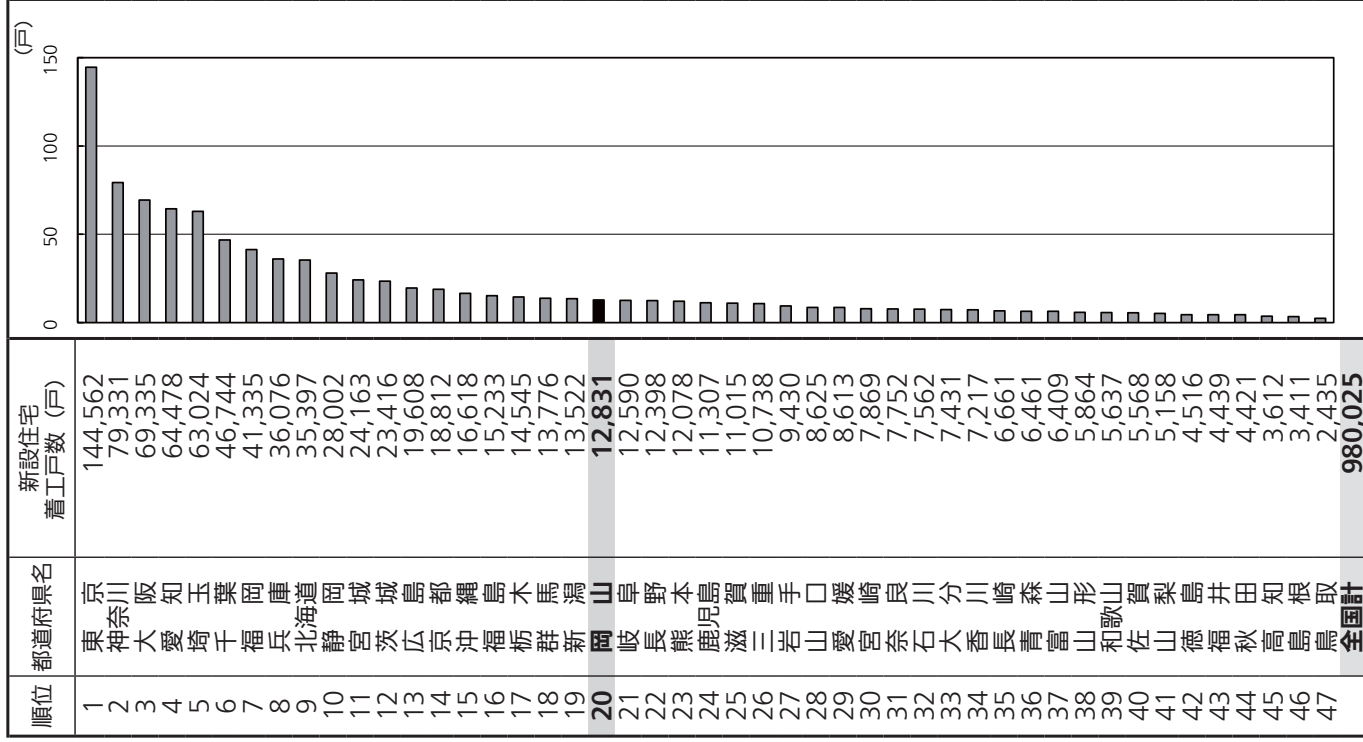
<実質経済成長率>



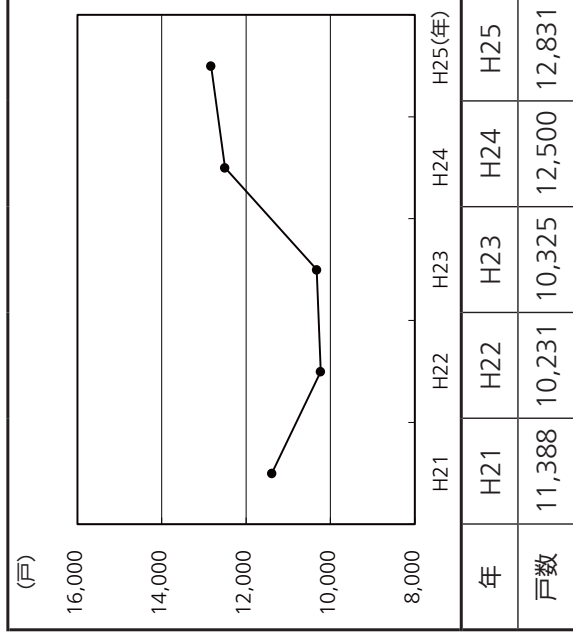
<資料出所他>

- 左表
- ・調査期間 平成22年度
 - ・資料出所 内閣府「平成22年度県民経済計算」
- 右表
- ・資料出所 岡山県「平成23年度岡山県県民経済計算」

C-22 新設住宅着工戸数

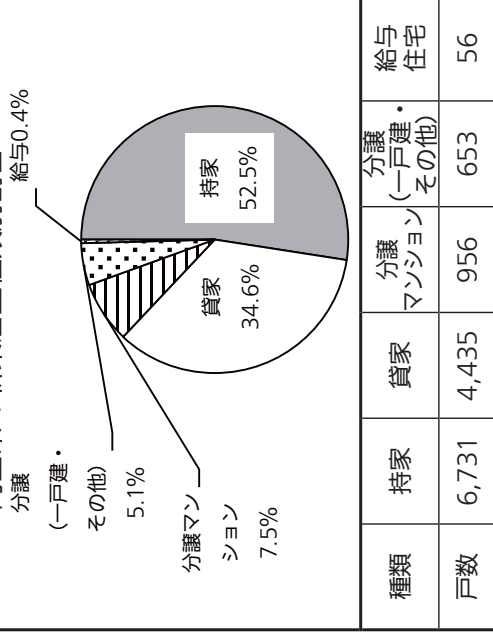


<岡山県の推移>



C22

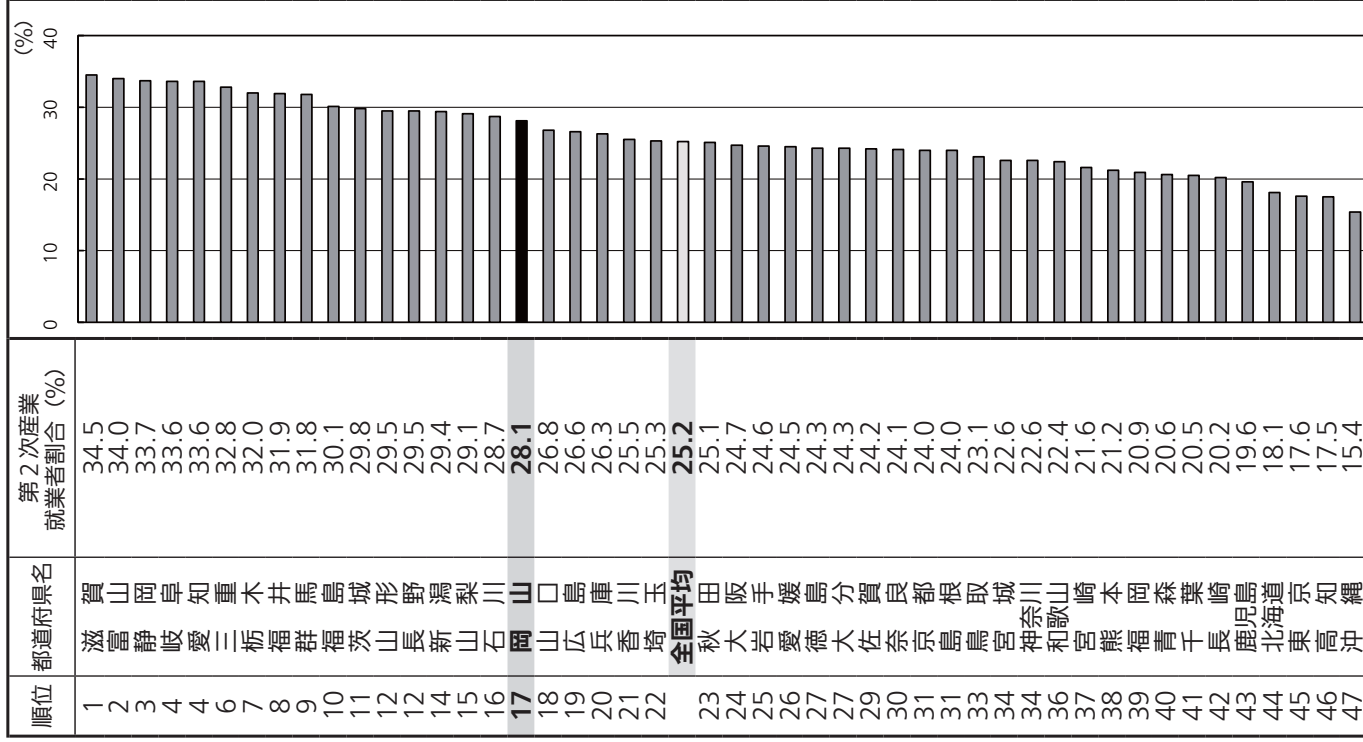
<岡山県の新築着工種類別割合>



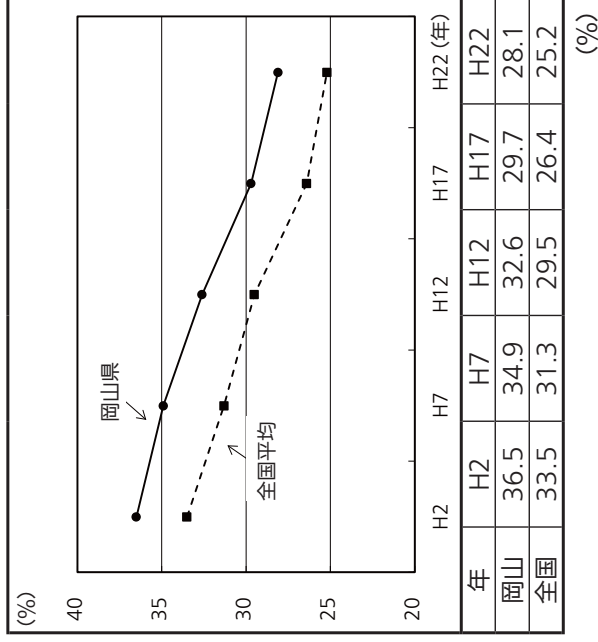
<資料出所他>

- ・調査期間 平成25年(1.1~12.31)
- ・資料出所 国土交通省「建築着工統計調査」

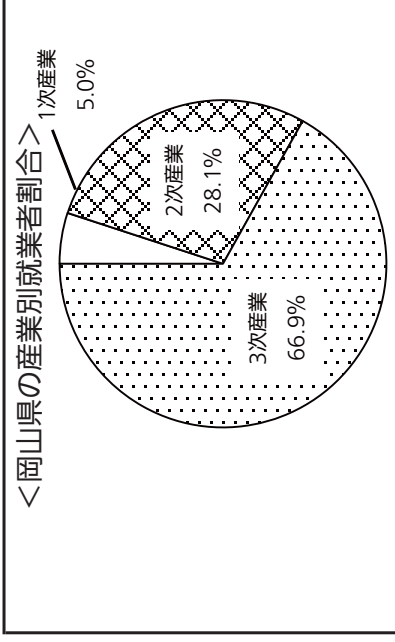
C-23 第2次産業就業者割合



<岡山県の推移>



C23



<資料出所他>

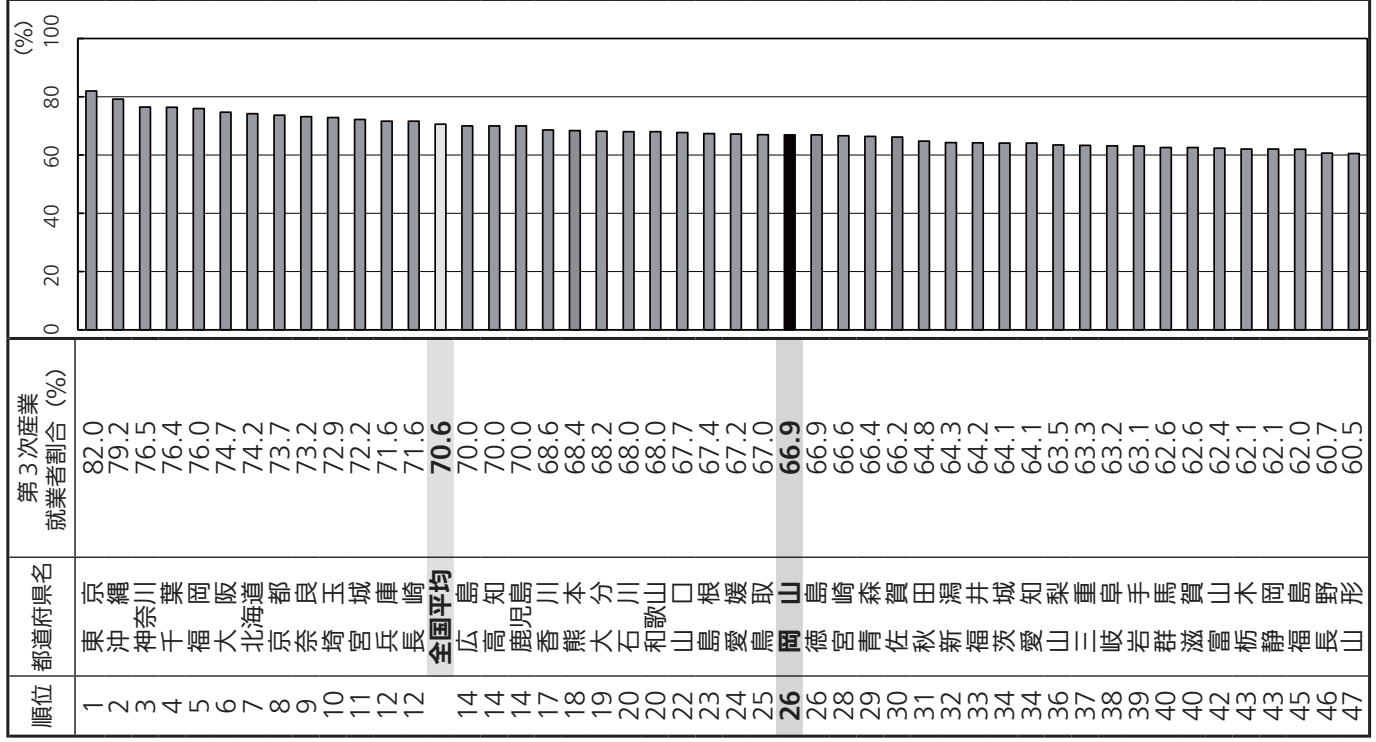
☆第2次産業とは、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業のこと

- ・調査時点 平成22年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 $\frac{\text{第2次産業就業者数}}{\text{15歳以上就業者数}} \times 100$

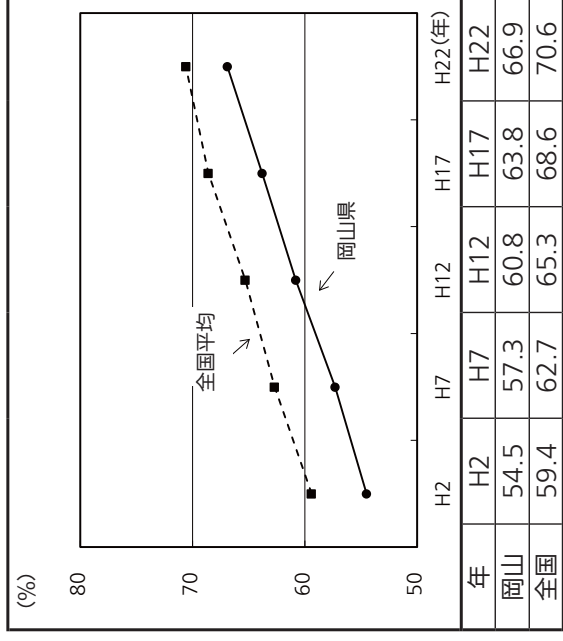
15歳以上就業者数には「分類不能の産業」を含まない。

・資料出所 総務省「国勢調査報告」

C-24 第3次産業就業者割合



<岡山県の推移>



C24

<岡山県の産業別就業者数>

	総数	第1次	第2次	第3次	分類不能
男女計	900,116	43,096	240,159	572,340	44,521
男	506,402	26,919	177,768	275,392	26,323
女	393,714	16,177	62,391	296,948	18,198

(人)

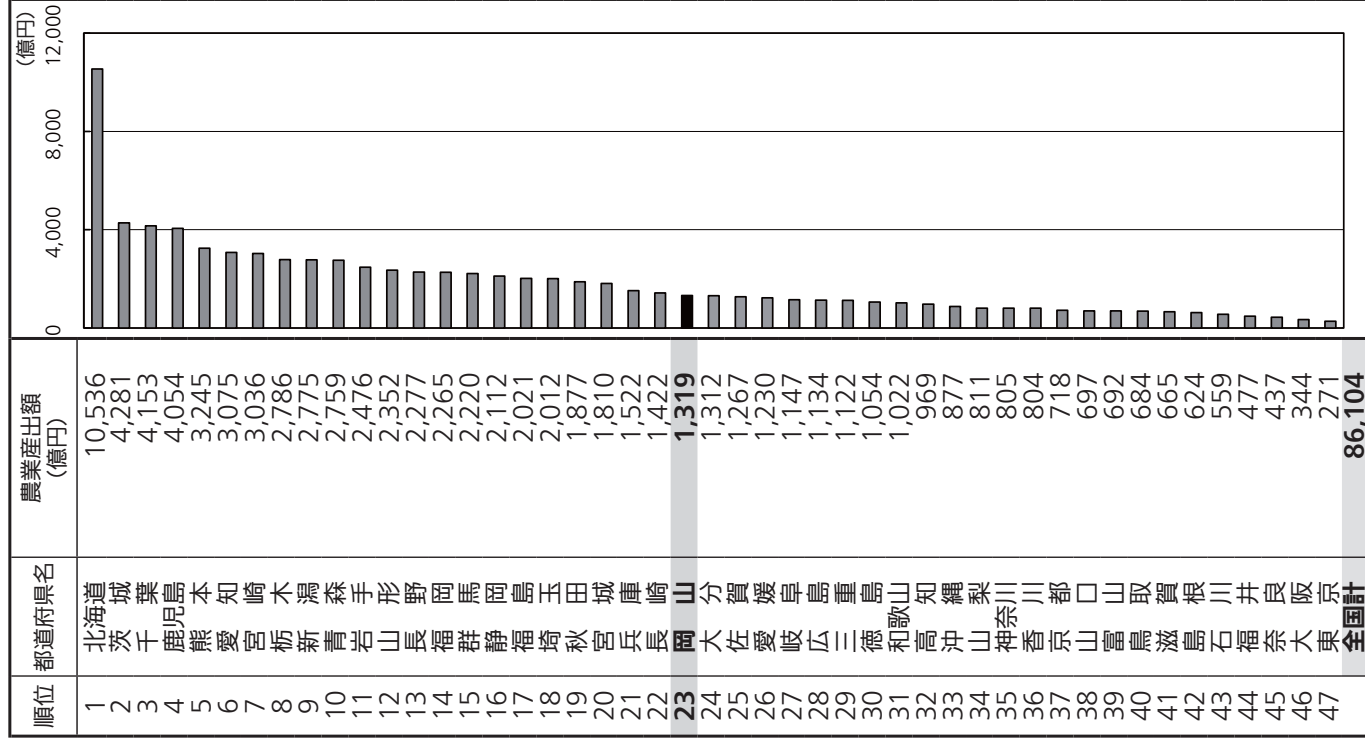
<資料出所他>

☆第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）のこと

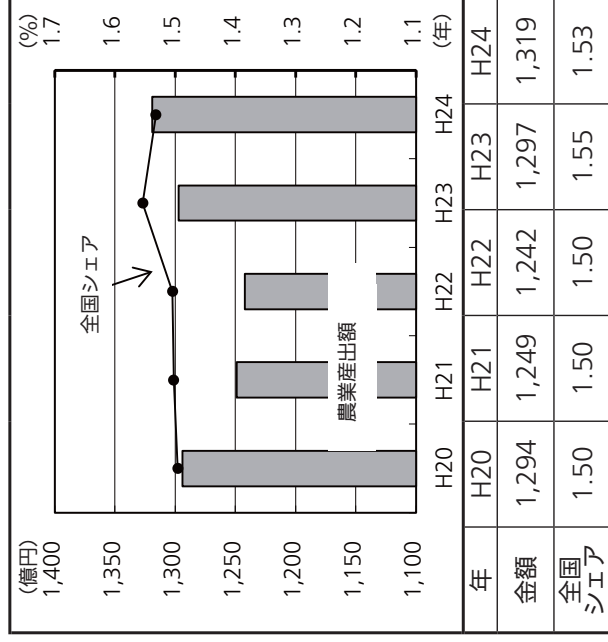
- ・調査時点 平成22年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 $\frac{\text{第3次産業就業者数}}{15\text{歳以上就業者数}} \times 100$

15歳以上就業者数には「分類不能の産業」を含まない。
・資料出所 総務省「国勢調査報告」

C-25 農業産出額

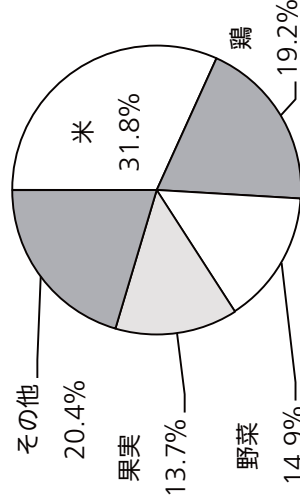


<岡山県の推移>



C25

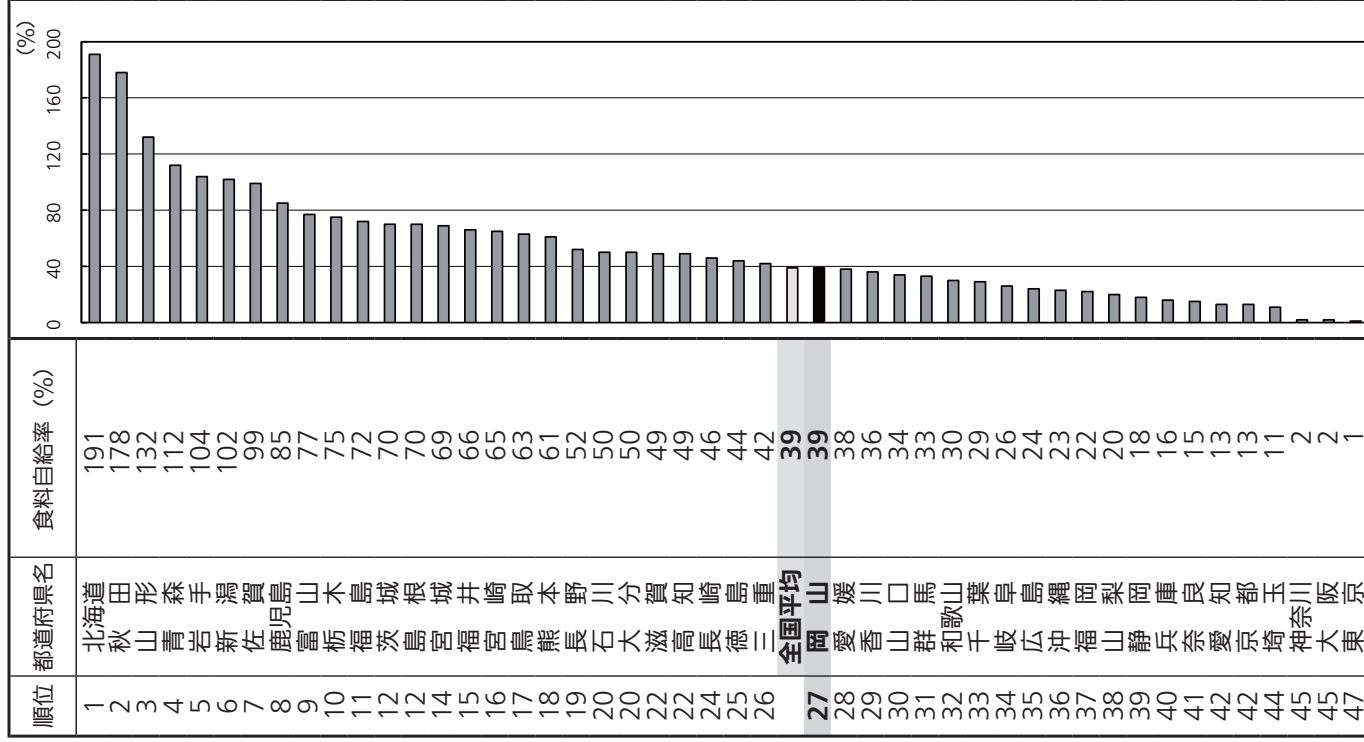
<岡山県の農業産出額の内訳>



<資料出所他>

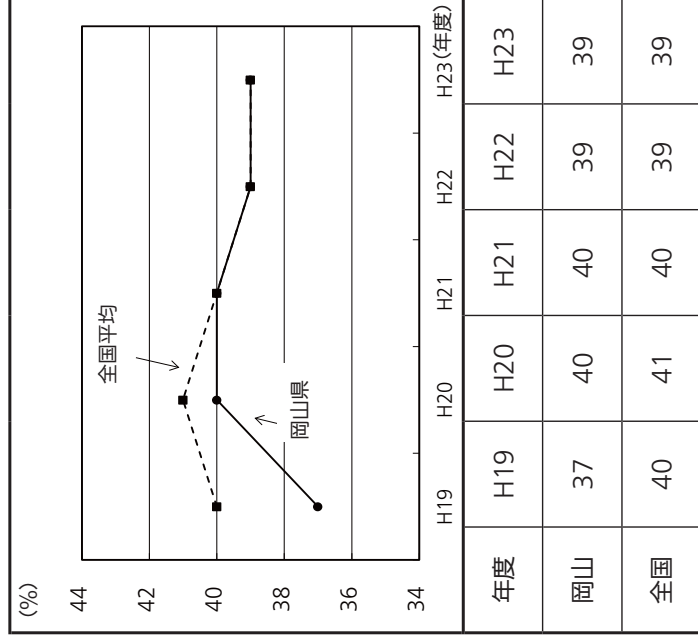
☆ 農業産出額とは、品目ごとの生産数量に農家庭先価格を乗じて求めたもの
 ・調査期間 平成24年(1.1~12.31)
 ・資料出所 農林水産省「生産農業所得統計」

C-26 食料自給率 (カロリーベース)



<岡山県の推移>

C26

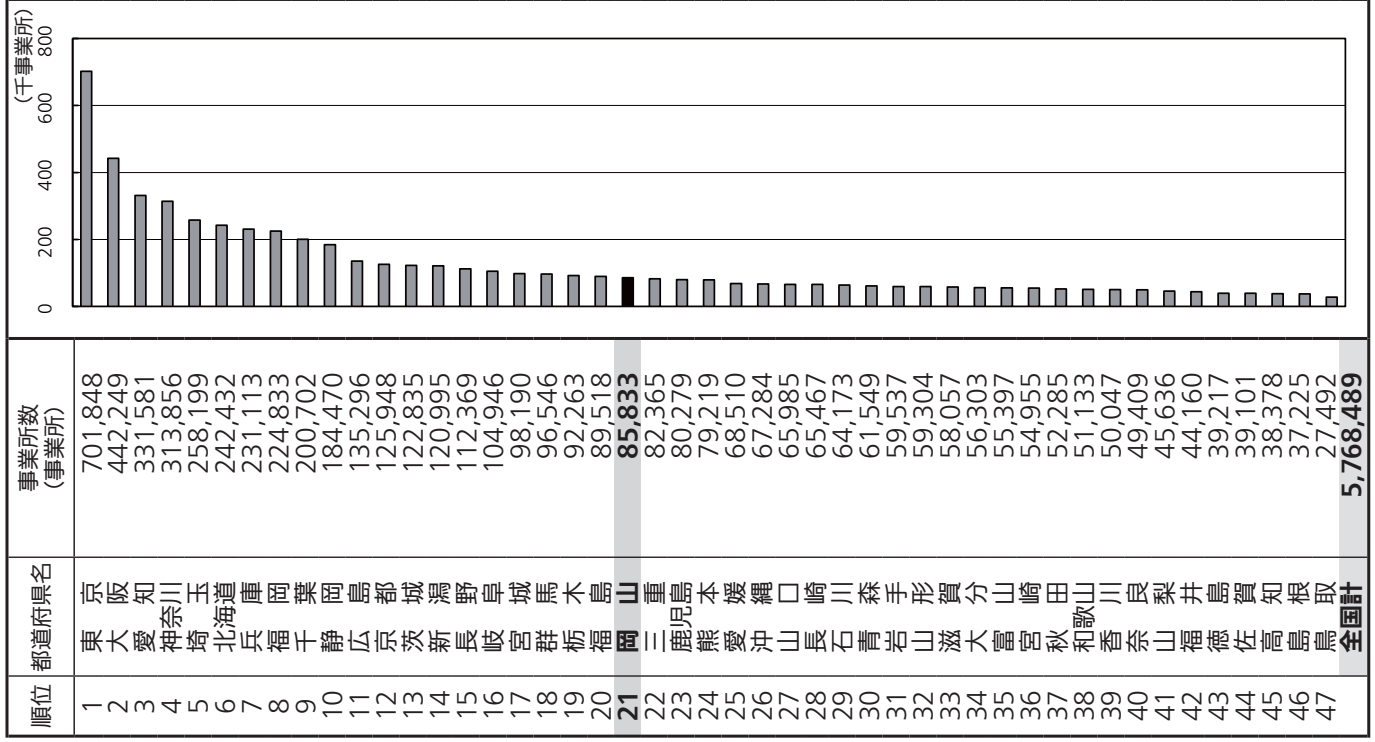


※ H22年度以前：確定値
H23年度：概算値

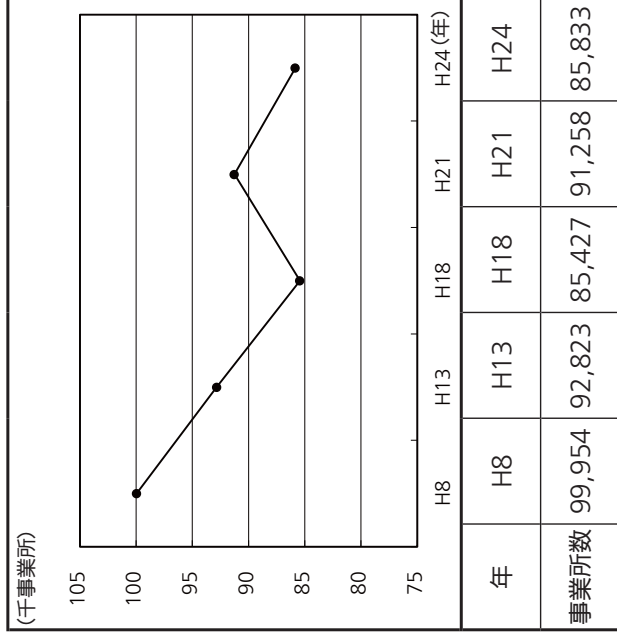
<資料出所他>

- ・ 調査時点 平成23年度
- ・ 資料出所 農林水産省「都道府県別食料自給率」

C-27 事業所数



<岡山県の推移>



C27

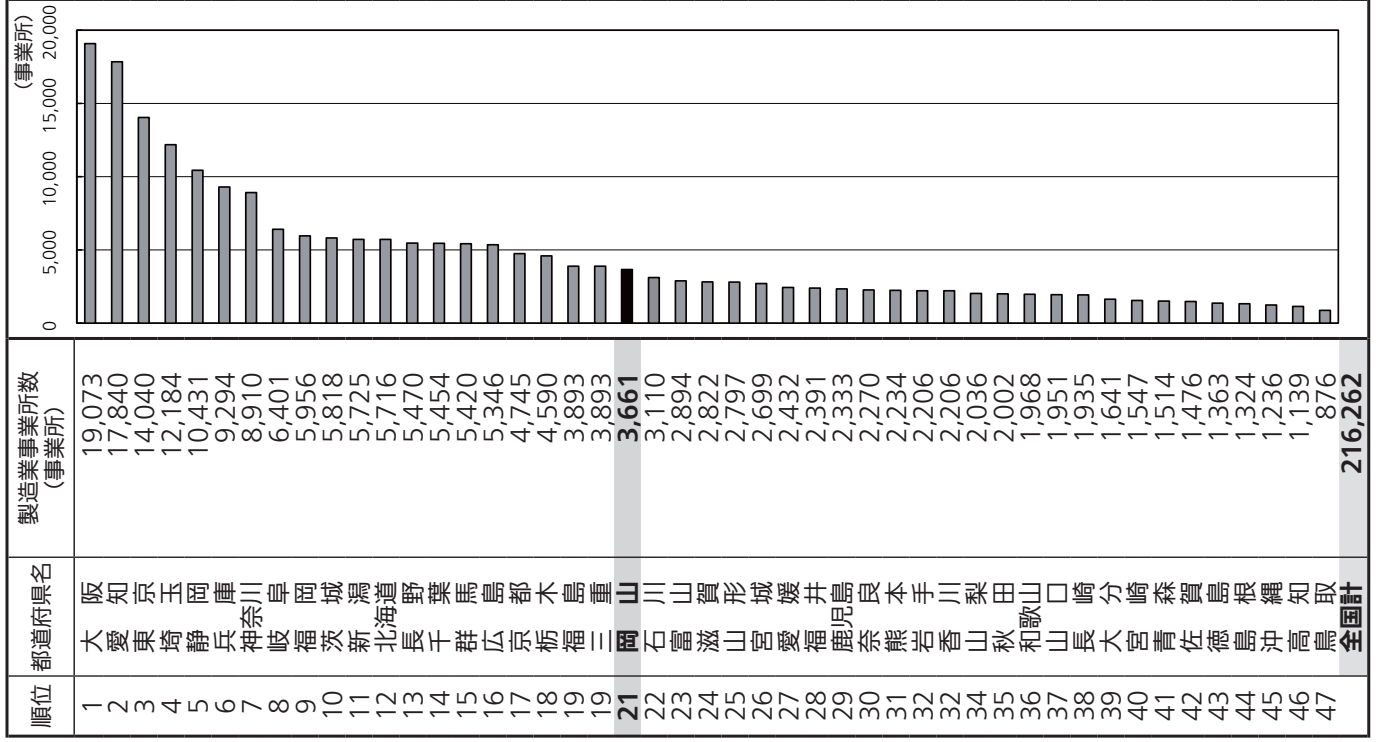
(事業所)

※平成 18 年以前は、総務省「事業所・企業統計調査」のため、平成 21 年以降の数値と接続しない。
 ※平成 21 年は総務省「経済センサス-基礎調査」による。

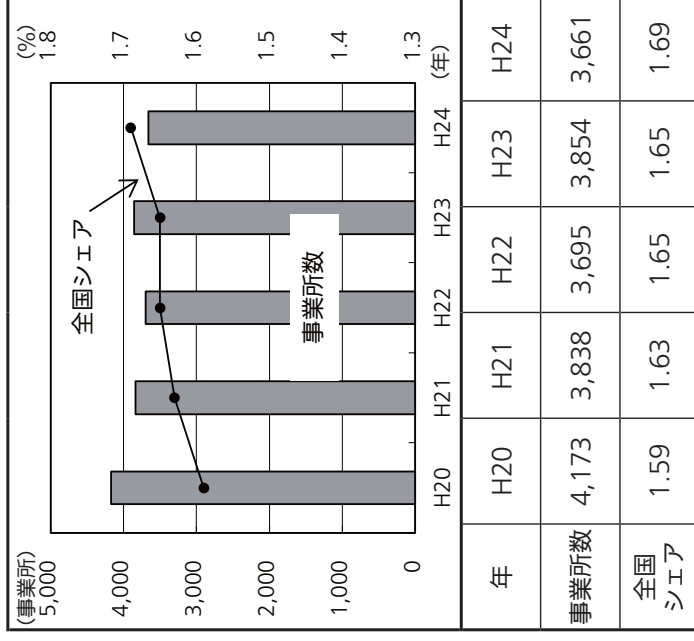
<資料出所他>

- 調査対象 全ての事業所
ただし、個人経営の農林漁業の事業所、国及び地方公共団体の事業所等を除く。
- 調査時点 平成 24 年 2 月 1 日
- 資料出所 総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス-活動調査」

C-28 製造業事業所数



<岡山県の推移>

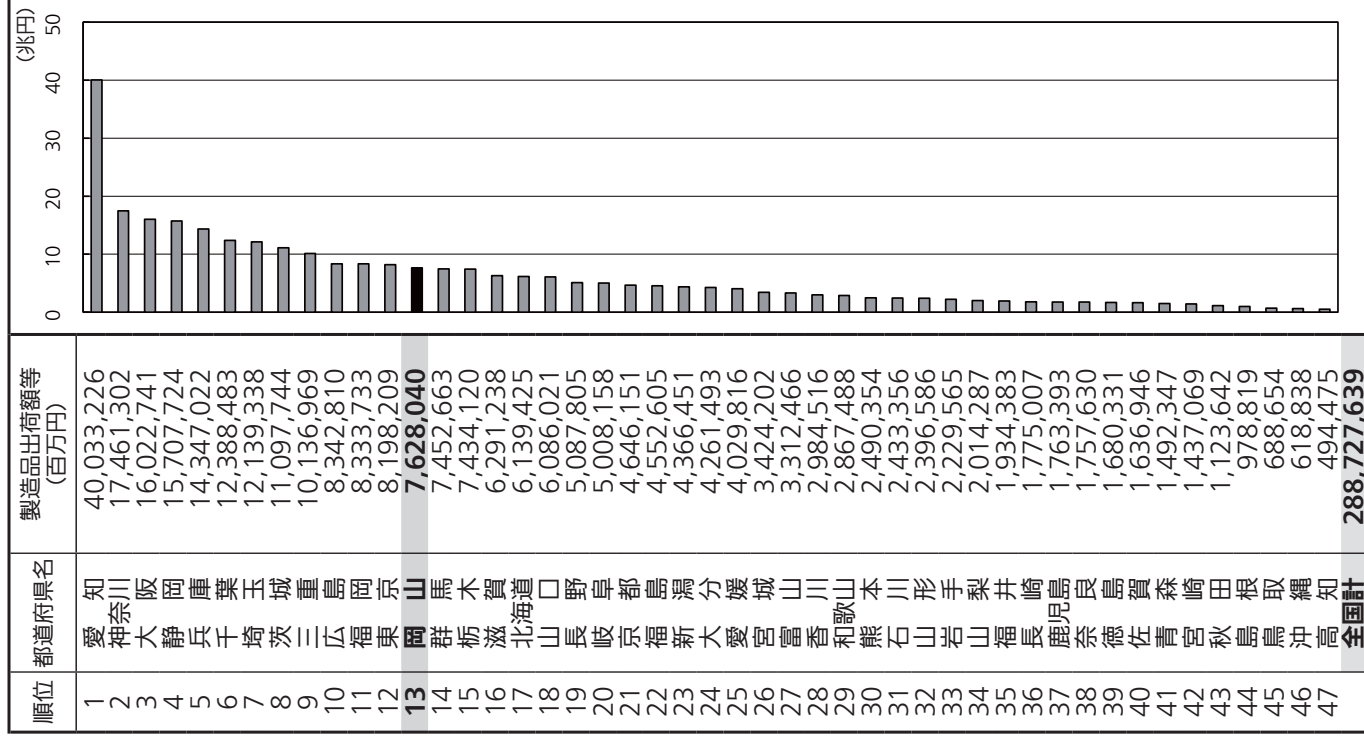


(事業所、%)
 ※平成23年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」(平成24年2月1日時点)による。

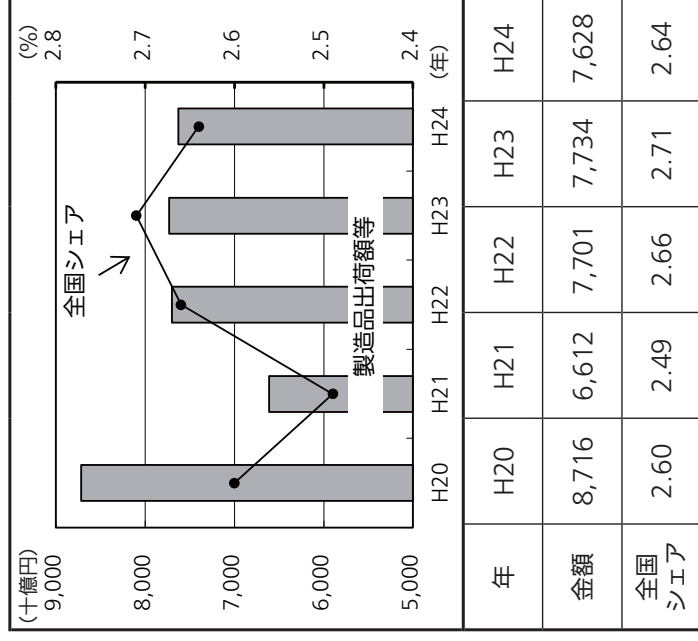
<資料出所他>

- ☆従業者4人以上の事業所
- ・調査時点 平成24年12月31日
- ・資料出所 経済産業省「工業統計表」

C-29 製造品出荷額等



<岡山県の推移>



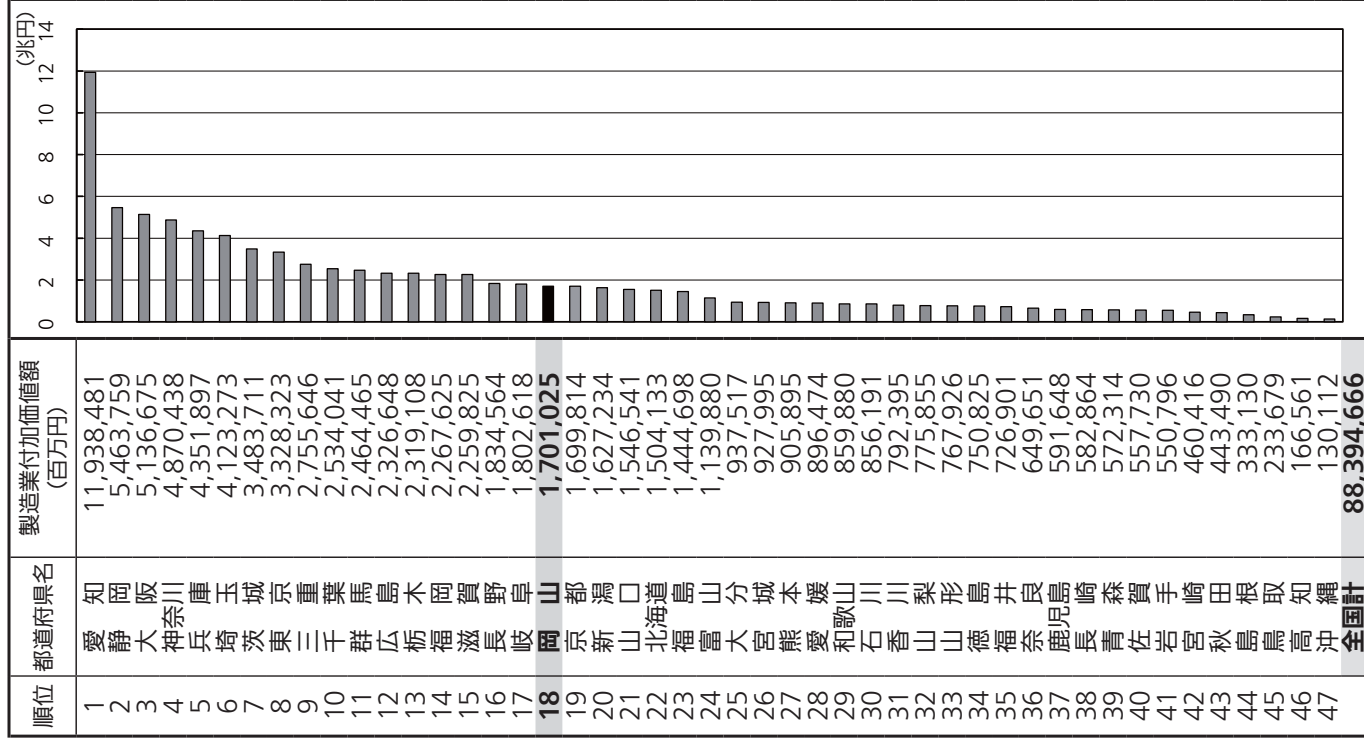
(十億円、%)
 ※平成23年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス - 活動調査」による。

C29

<資料出所他>

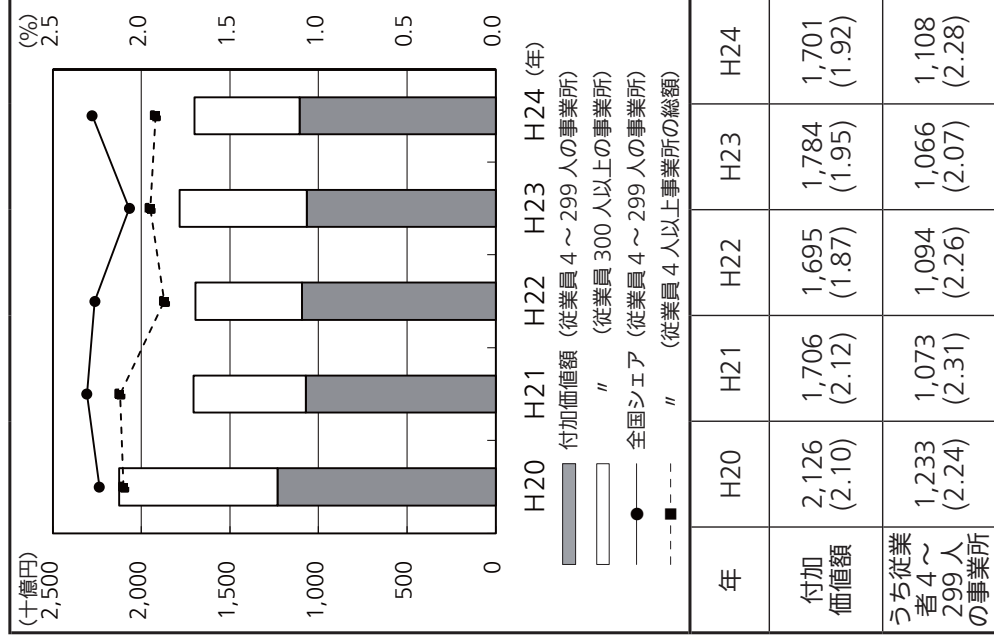
- ☆従業者4人以上の事業所
- ☆製造品出荷額等とは、製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額である。
- ・調査期間 平成24年(1.1~12.31)
- ・資料出所 経済産業省「工業統計表」

C-30 製造業付加価値額



<岡山県の推移>

C30

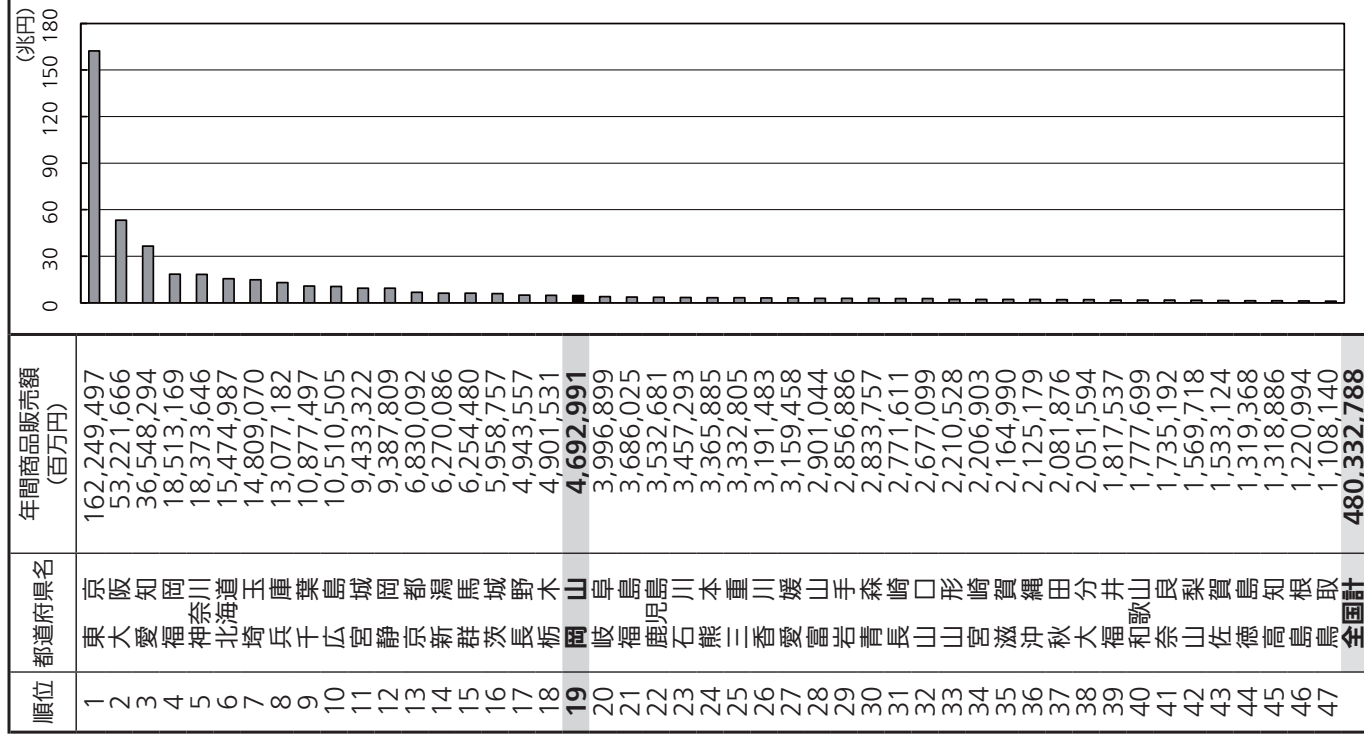


()は、全国シェア (十億円、%)
 ※平成23年は、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス - 活動調査」による。

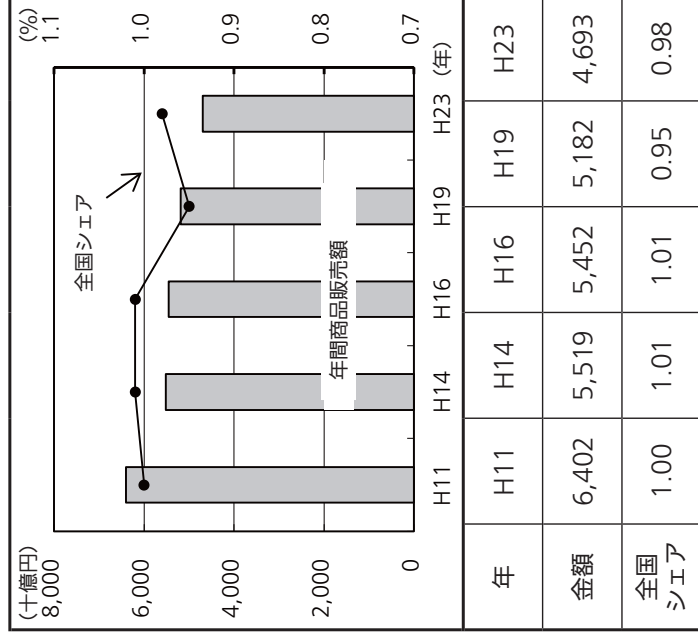
<資料出所他>

- ☆従業員4人以上の事業所
- ただし、従業員29人以下の事業所は粗付加価値額
- ・調査期間 平成24年(1.1~12.31)
- ・資料出所 経済産業省「工業統計表」

C-31 年間商品販売額（卸売・小売業）



<岡山県の推移>



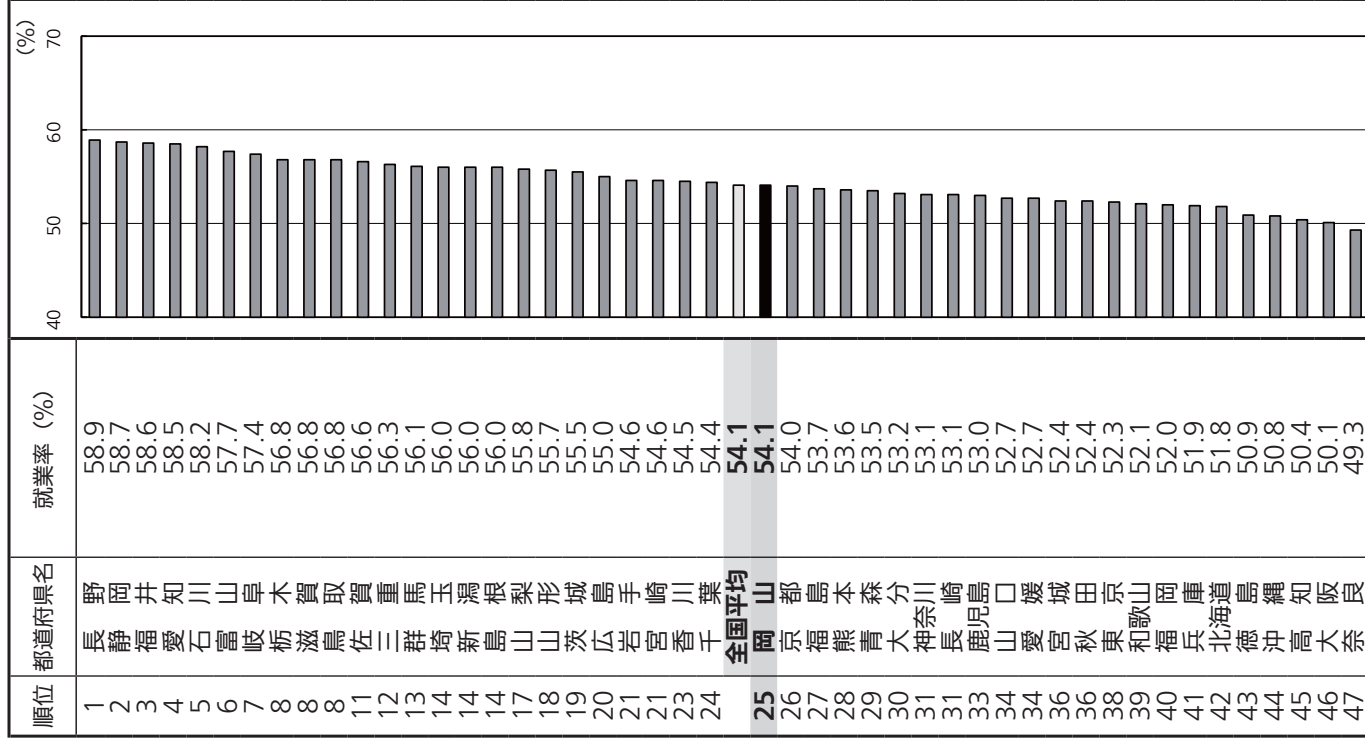
(十億円、%)
※平成19年以前は、経済産業省「商業統計表」による。

<資料出所他>

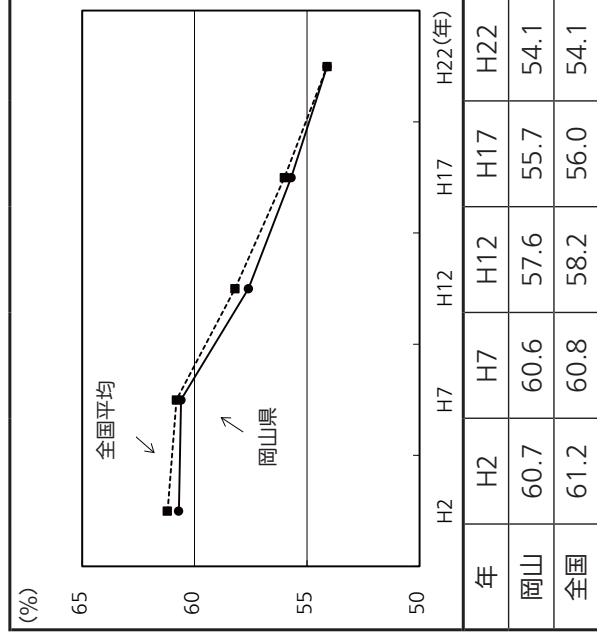
- ・ 調査期間 平成23年(1.1~12.31)
- ・ 資料出所 総務省・経済産業省「平成24年経済センサス-活動調査」

D 労働

D-32 就業率

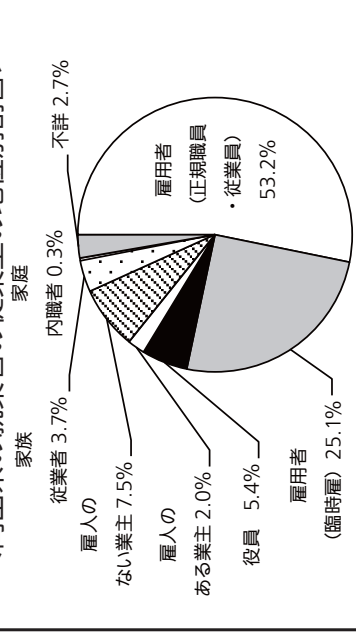


<岡山県の推移>



D32

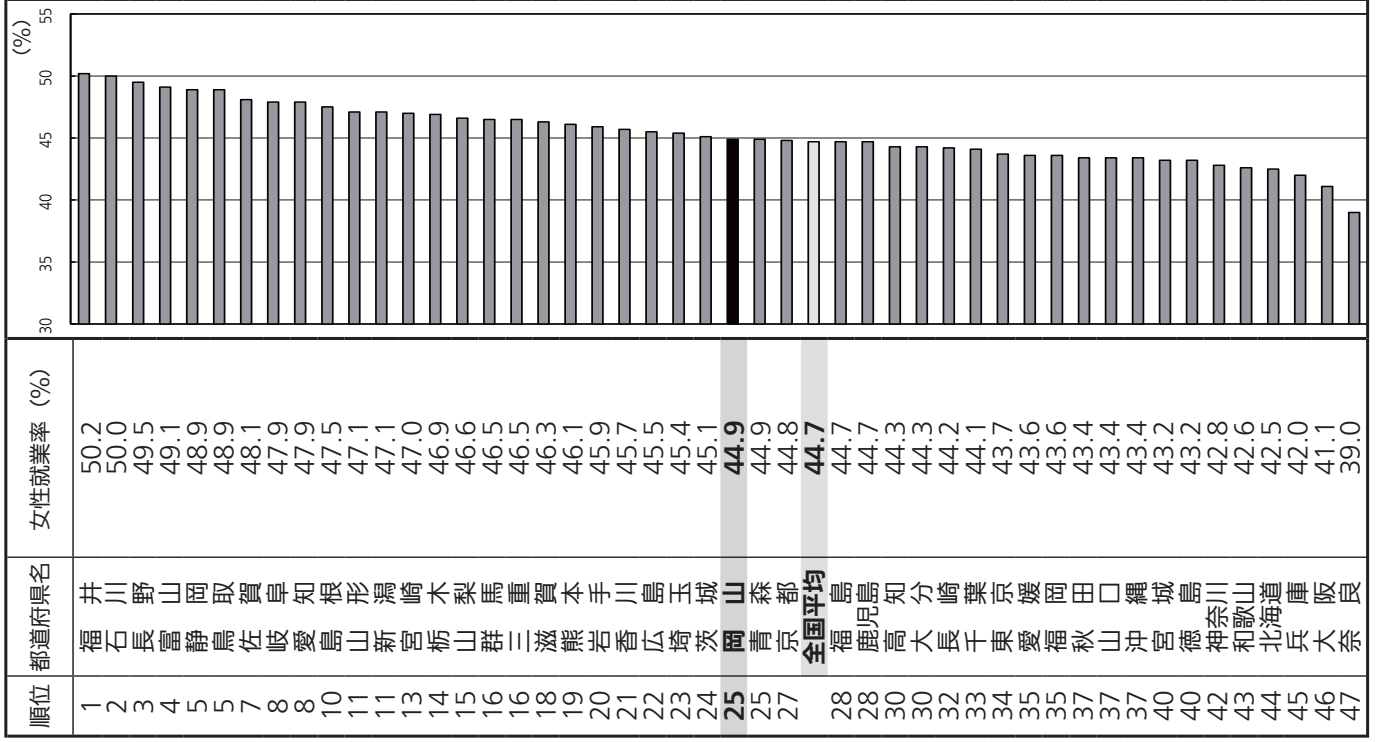
<岡山県の就業者の従業上の地位別割合>



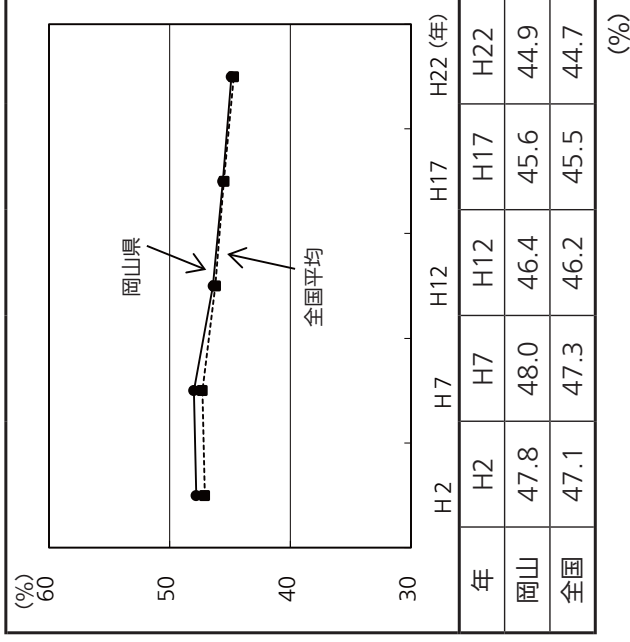
<資料出所他>

- ・ 調査時点 平成 22 年 10 月 1 日 (5 年毎)
- ・ 算出方法 $\frac{15 \text{ 歳以上就業者数}}{15 \text{ 歳以上人口}} \times 100$
- ・ 資料出所 総務省「国勢調査報告」

D-33 女性就業率

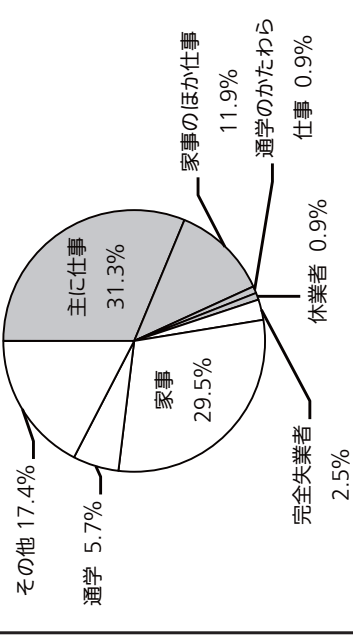


<岡山県の推移>



D33

<岡山県の女性（15歳以上）>

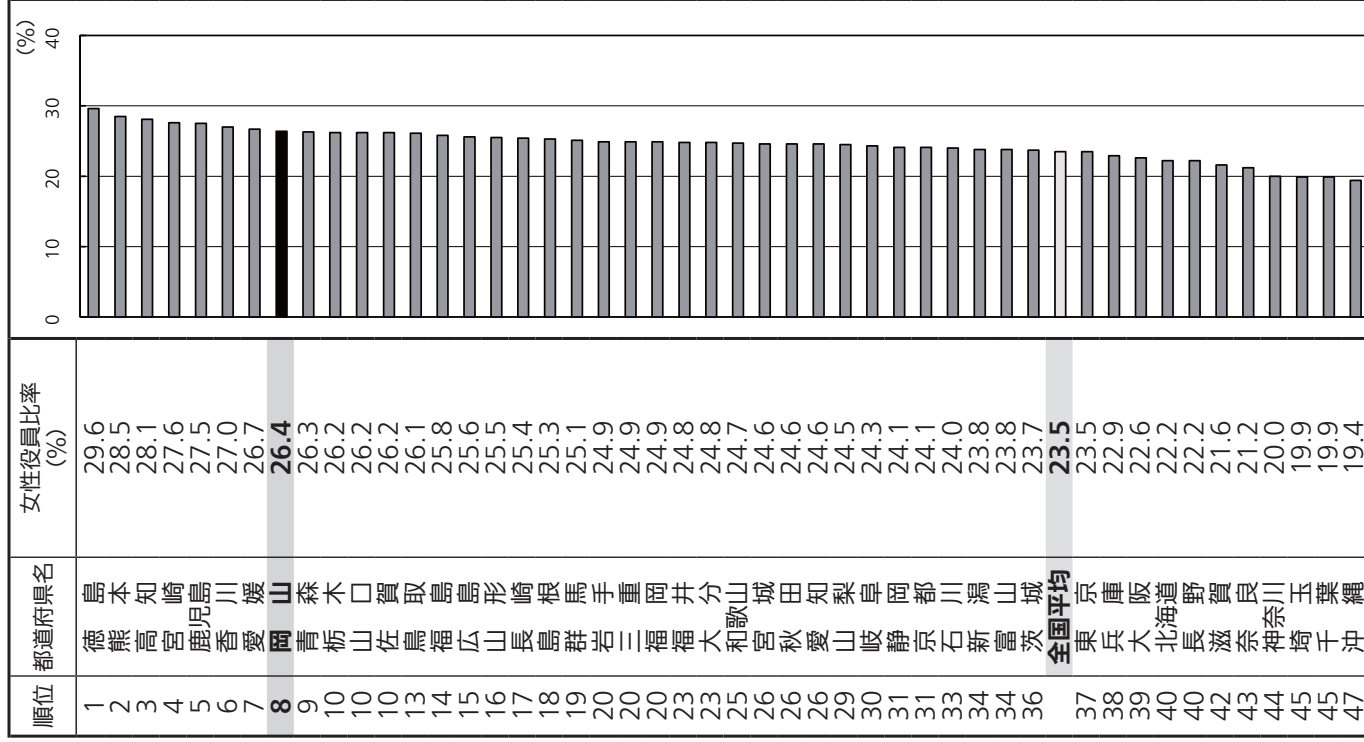


*その他には、労働力状態不詳の者を含む。

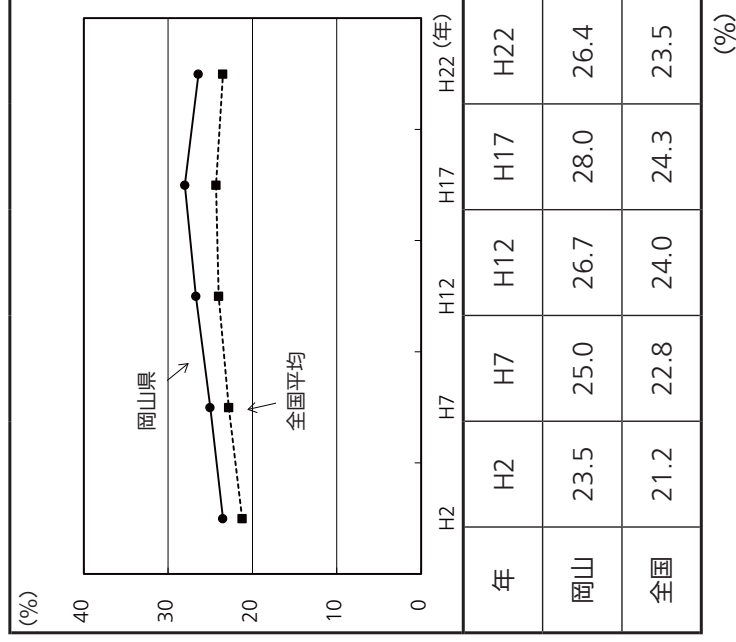
<資料出所他>

- ・調査時点 平成22年10月1日（5年毎）
- ・算出方法 $\frac{15 \text{ 歳以上女性就業者数}}{15 \text{ 歳以上女性人口}} \times 100$
- ・資料出所 総務省「国勢調査報告」

D-34 女性役員比率



<岡山県の推移>

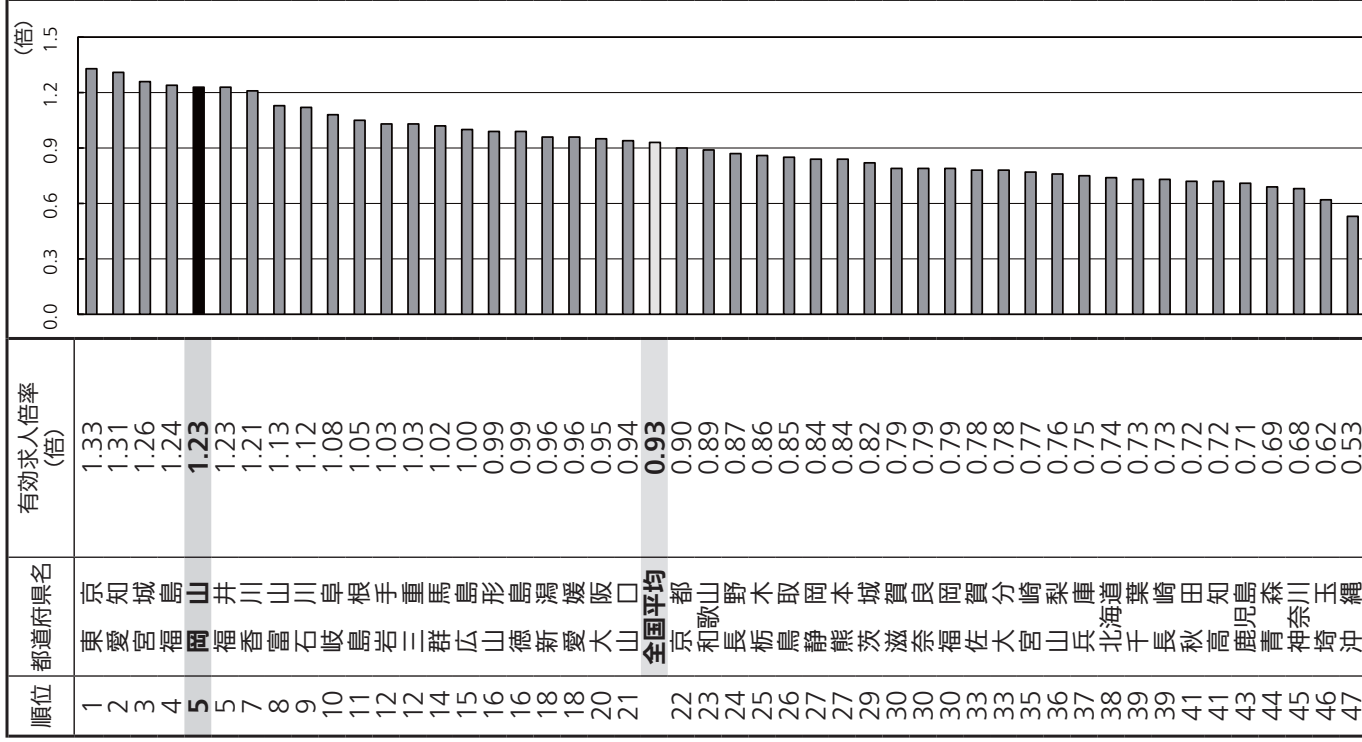


D34

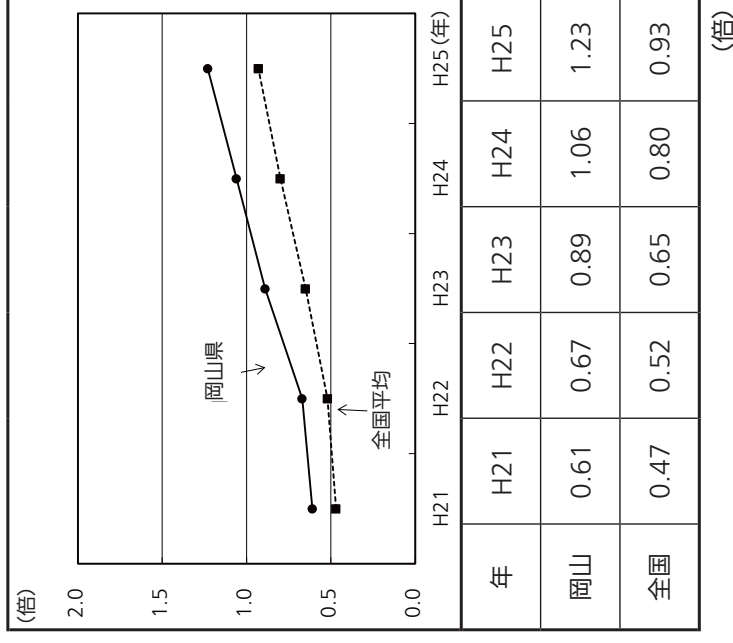
<資料出所他>

☆女性役員比率とは、従業上の地位が役員であるもののうち、女性の割合
 ・調査時点 平成22年10月1日 (5年毎)
 ・算出方法 役員(女性)÷役員(総数)×100
 ・資料出所 総務省「国勢調査報告」

D-35 有効求人倍率



<岡山県の推移>

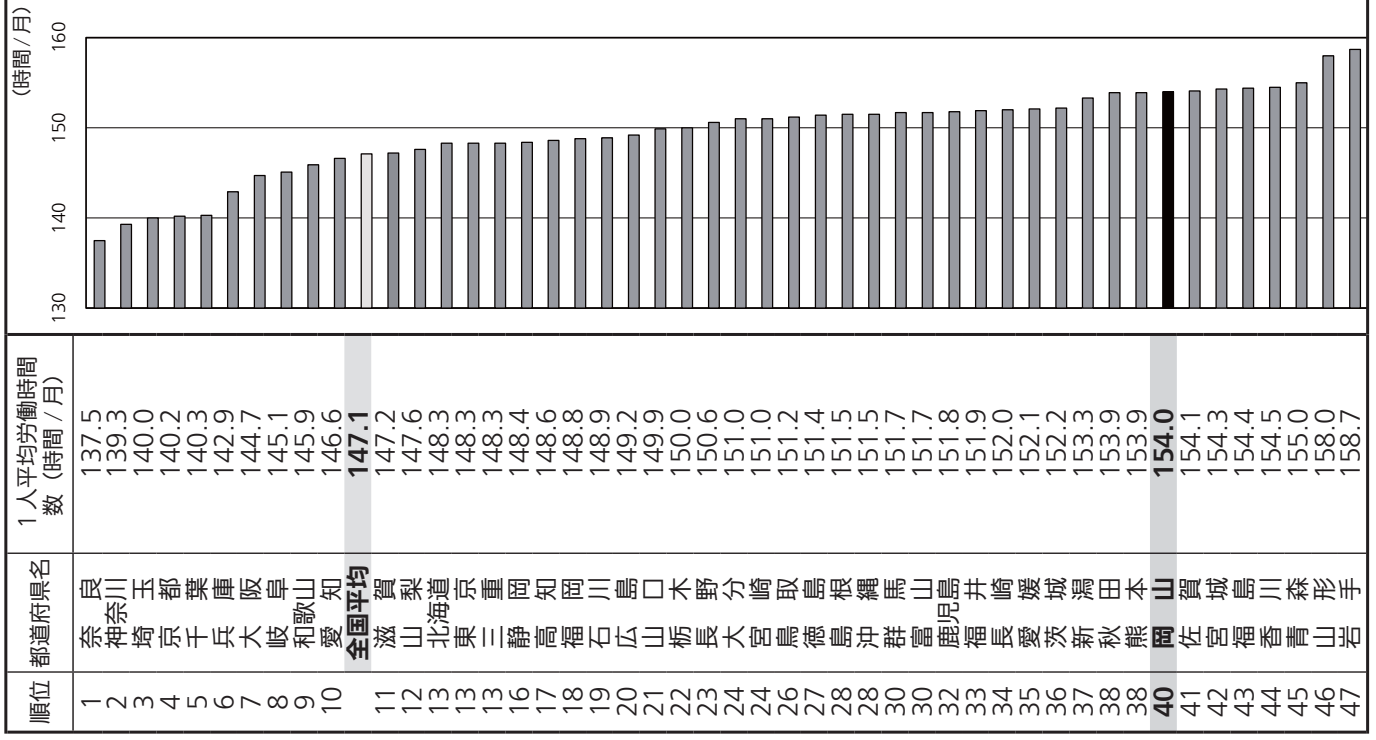


D35

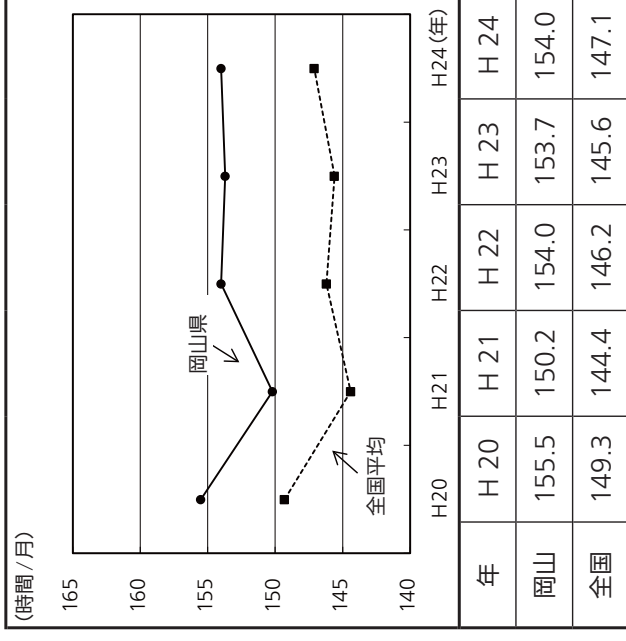
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年平均
- ・算出方法 月間有効求人数÷月間有効求職者数
- ・資料出所 厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」
- ・新規卒者を除き、パートタイムを含む。

★ D-36 労働時間数



＜岡山県の推移＞



D36

＜岡山県の総実労働時間数＞

年	H20	H21	H22	H23	H24
総数	155.5	150.2	154.0	153.7	154.0
所定内	143.7	140.2	143.0	142.4	142.9
所定外	11.8	10.0	11.0	11.3	11.1

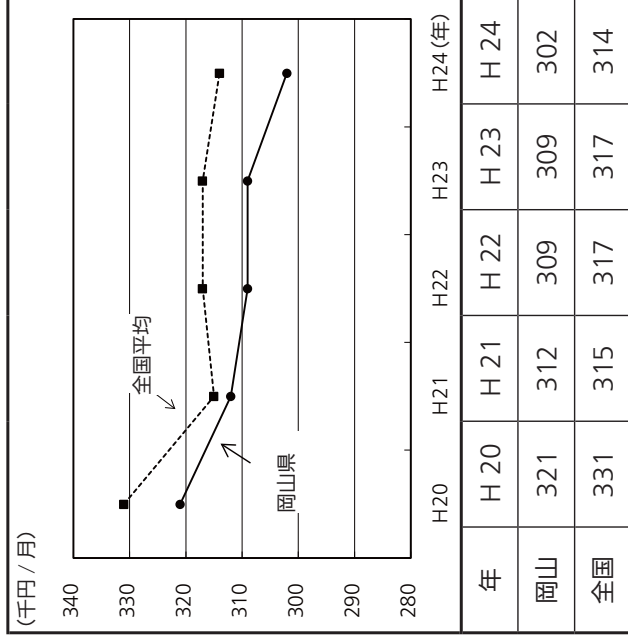
(1人当たり 時間/月)

＜資料出所他＞

- ☆事業所規模が従業員数5人以上の事業所における常用労働者1人平均月間総実労働時間数
- ☆総実労働時間数とは、所定内及び所定外労働時間数の合計のこと
- ・調査時点 平成24年の1ヶ月平均
- ・資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査地方調査年報」

D-37 常用労働者現金給与総額

順位	都道府県名	1人平均労働者現金給与総額 (円/月)
1	京	405,792
2	大	336,238
3	愛	327,693
4	神奈川	327,678
5	全国平均	314,127
6	三重	310,261
7	賀	309,859
8	岡	307,758
9	木	304,539
10	茨	304,331
11	岡山	302,256
12	兵庫	299,878
13	香	298,307
14	宮	296,964
15	山	295,572
16	福	295,212
17	群	294,758
18	馬	294,391
19	山	293,818
20	野	293,129
21	岡	292,947
22	島	292,138
23	新潟	289,161
24	千	288,735
25	福	287,502
26	和歌山	283,898
27	知	283,188
28	梨	282,692
29	石	282,122
30	埼	280,242
31	京	279,066
32	熊	274,948
33	岐	274,480
34	北海	270,077
35	愛	269,191
36	島	269,177
37	岩	267,980
38	山	264,680
39	佐	264,496
40	奈	262,429
41	鳥	259,522
42	大	256,922
43	長	256,605
44	青	252,984
45	秋	252,284
46	鹿	248,673
47	宮	246,801
	沖	242,857



＜岡山県の主な産業別1人平均常用労働者現金給与総額＞

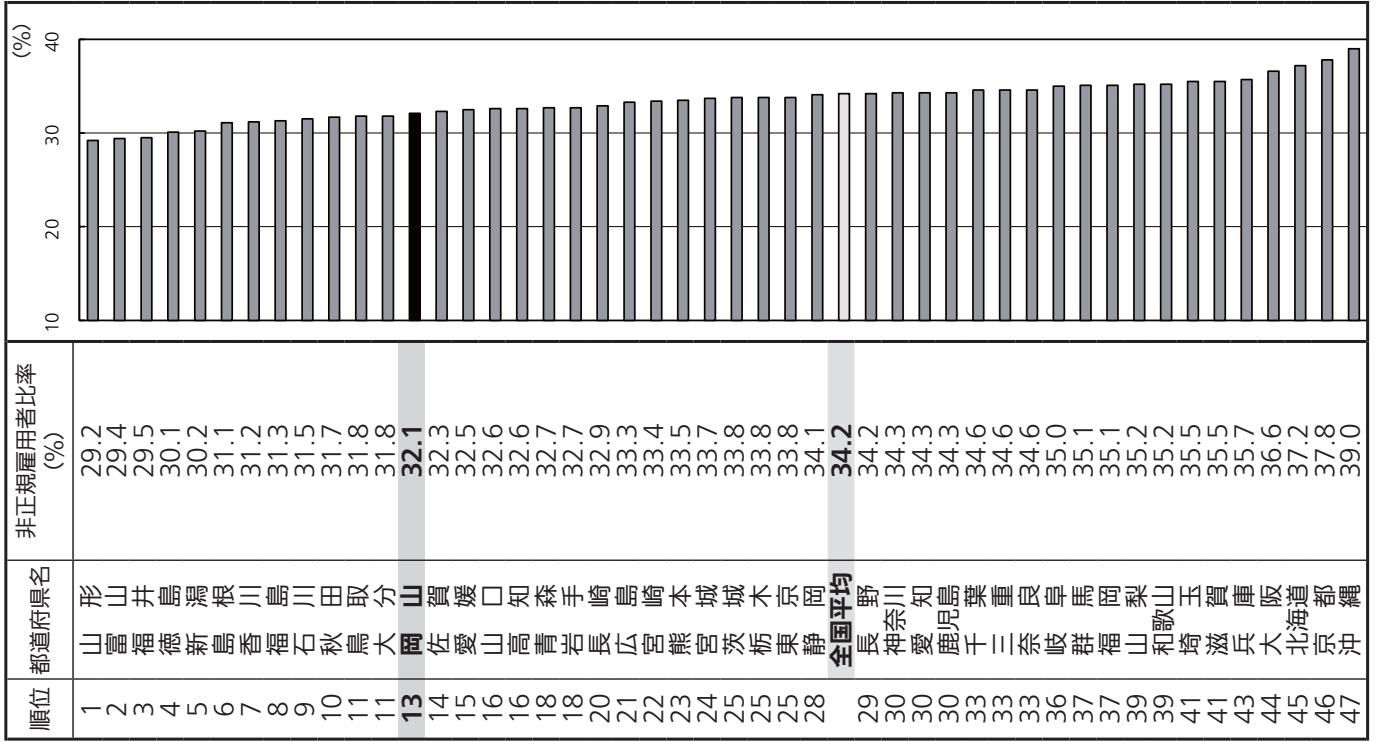
建設業	343,625
製造業	354,675
運輸・郵便業	336,704
卸売・小売業	205,745
医療・福祉	325,456
サービス業	251,783

(円/月)

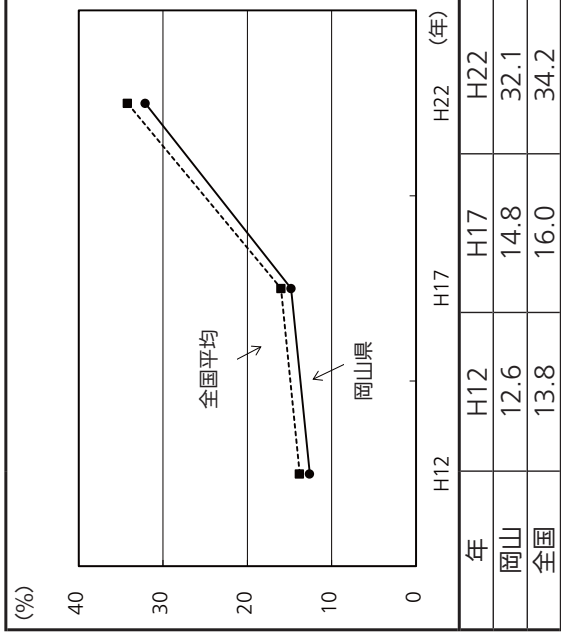
＜資料出所他＞

- ☆事業所規模が従業員数5人以上の事業所における常用労働者1人平均月間現金給与総額
- ☆現金給与総額とは、所得税、社会保険料等の引き取り前の給与総額で超過勤務手当や賞与等を含む。
- ・調査時点 平成24年の1ヶ月平均
- ・資料出所 厚生労働省「毎月勤労統計調査地方調査年報」

★ D-38 非正規雇用者比率



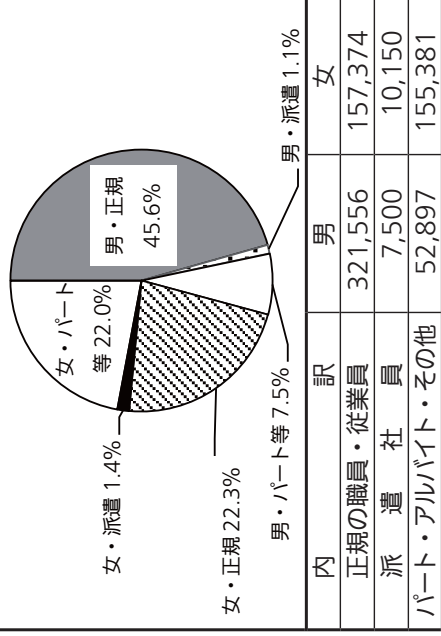
＜岡山県の推移＞



※平成 12 年及び 17 年は、臨時雇用者の比率である。(%)

D38

＜岡山県の雇用状態別割合＞



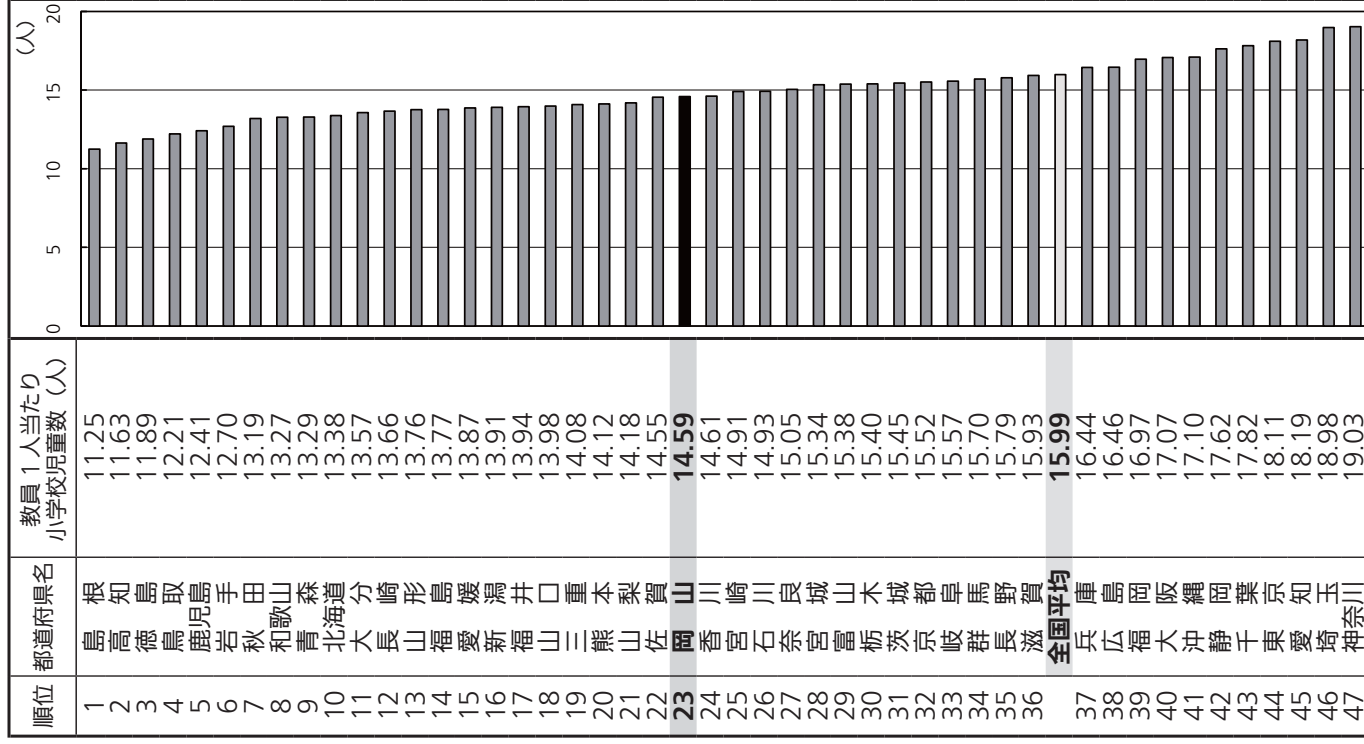
(人)

＜資料出所他＞

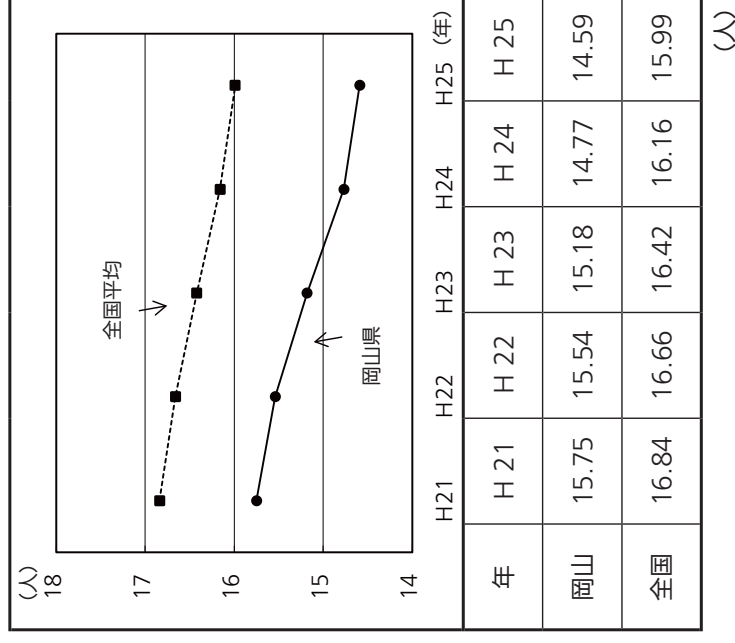
- ☆ここでいう非正規雇用者とは、労働者派遣事業所の派遣社員、パート・アルバイト・その他に区分される雇用者のこと
- ・調査時点 平成 22 年 10 月 1 日 (5 年毎)
- ・算出方法 非正規雇用者数 ÷ 雇用者数 × 100
- ・資料出所 総務省「国勢調査報告」

E 教育・文化

* E-39 小学校児童数（教員1人当たり）



<岡山県の推移>



E 39

<岡山県の小学校>

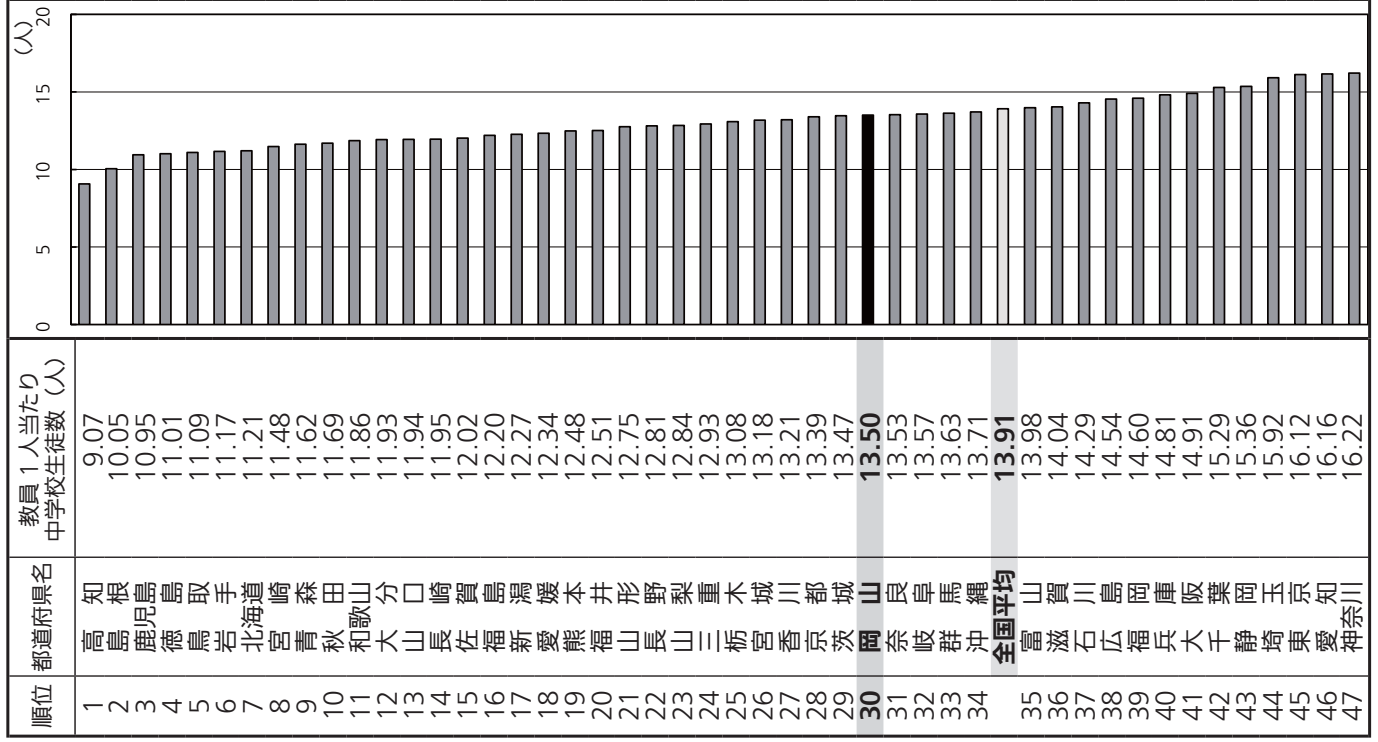
年	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
学校数	431	428	426	423	419
児童数	112,290	110,660	108,762	107,305	105,617
教員数	7,131	7,121	7,164	7,263	7,239

(校、人)

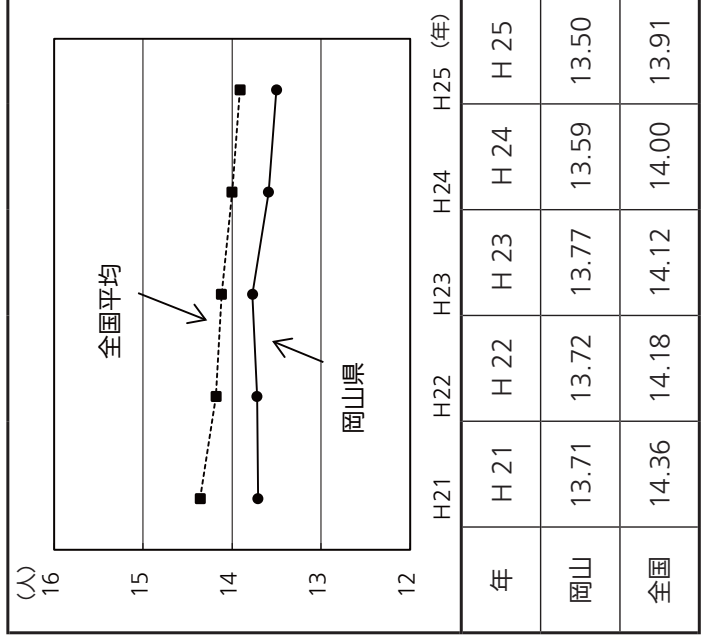
<資料出所他>

- ・ 調査時点 平成25年5月1日
- ・ 算出方法 小学校児童数÷小学校教員数（本務者）
- ・ 資料出所 文部科学省「学校基本調査」

★ E-40 中学校生徒数（教員1人当たり）



<岡山県の推移>



E40

<岡山県の中学校>

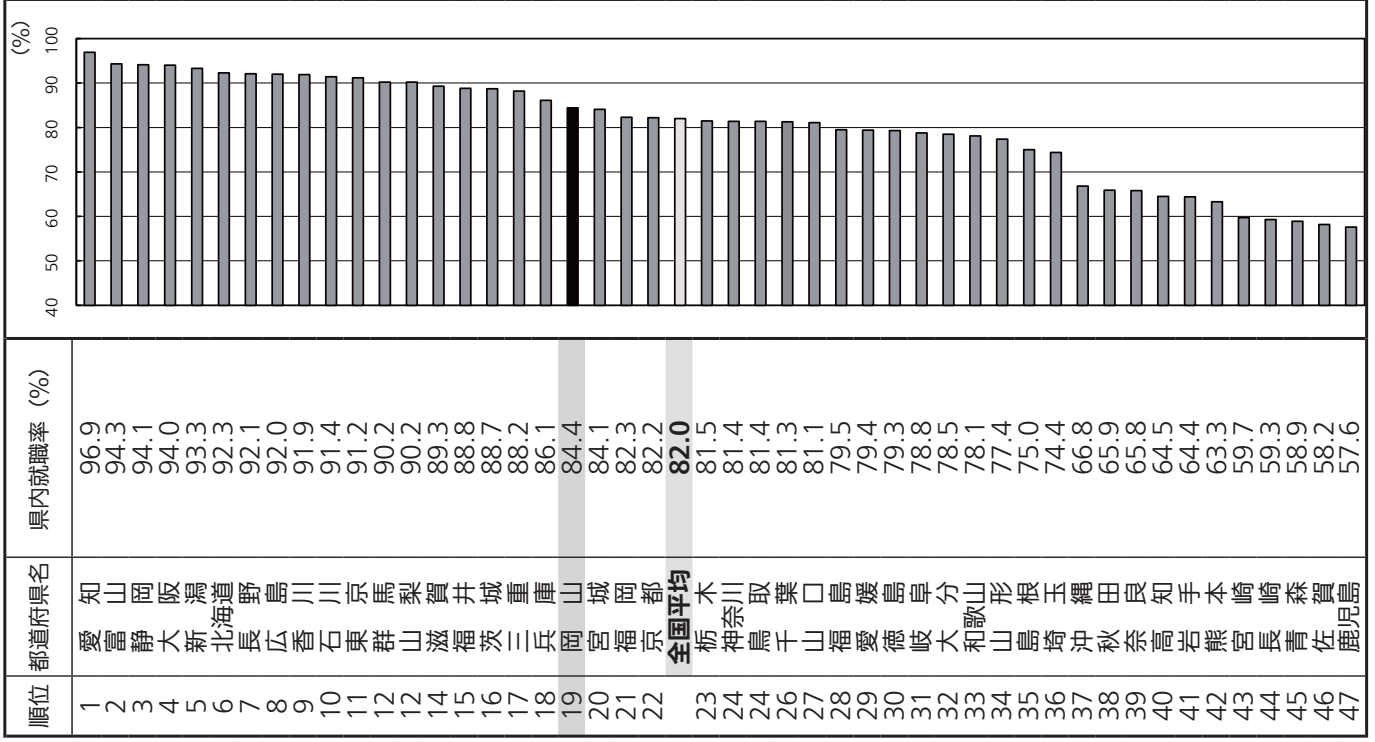
年	H21	H22	H23	H24	H25
学校数	174	174	172	172	172
生徒数	56,989	56,712	57,058	56,327	56,041
教員数	4,157	4,133	4,143	4,144	4,152

(校、人)

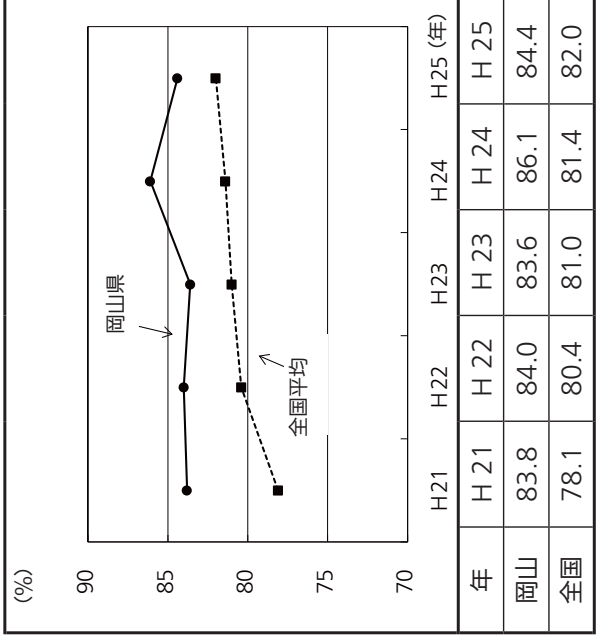
<資料出所他>

- 調査時点 平成25年5月1日
- 算出方法 中学校生徒数÷中学校教員数（本務者）
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」

E-4-1 県内就職率（高等学校卒業後の状況）

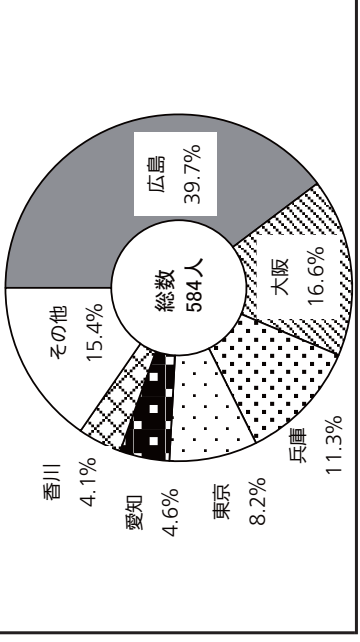


<岡山県の推移>



E41

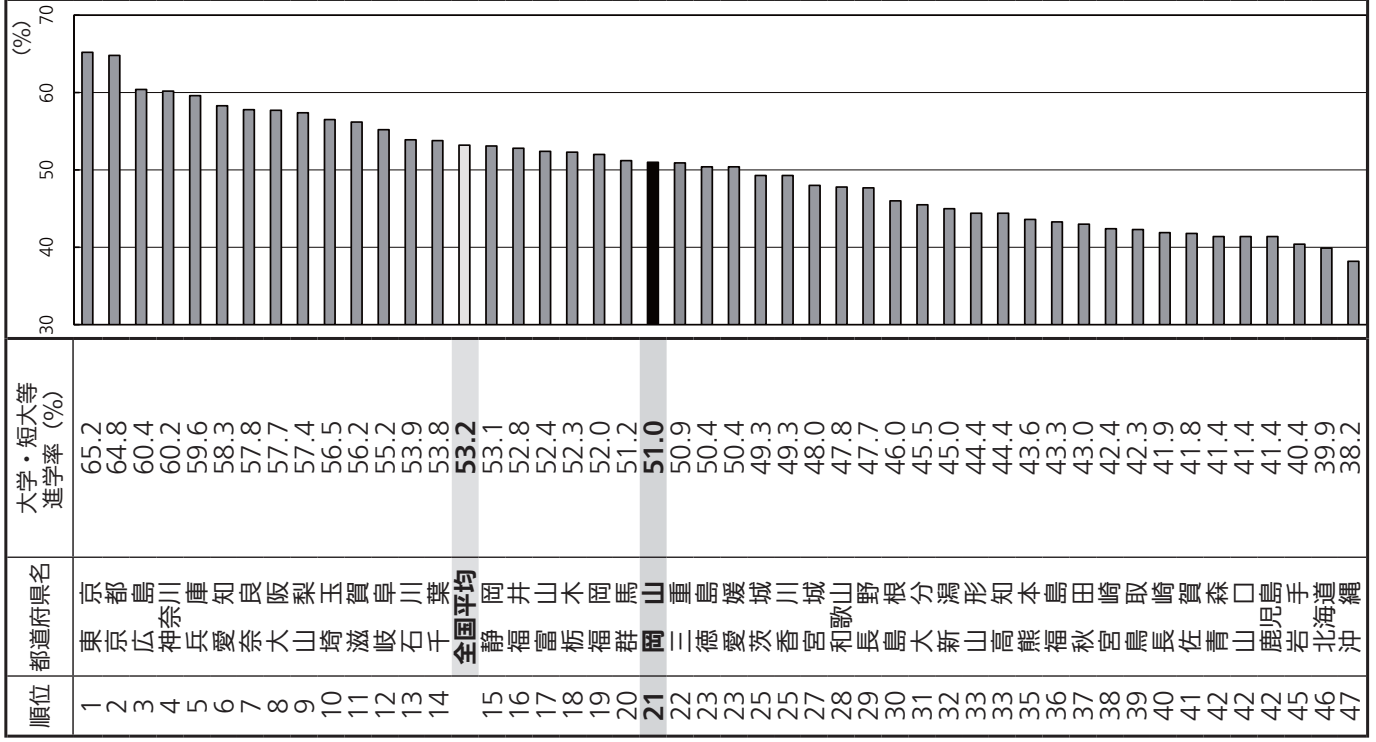
<高校卒業後の県外就職先県別割合>



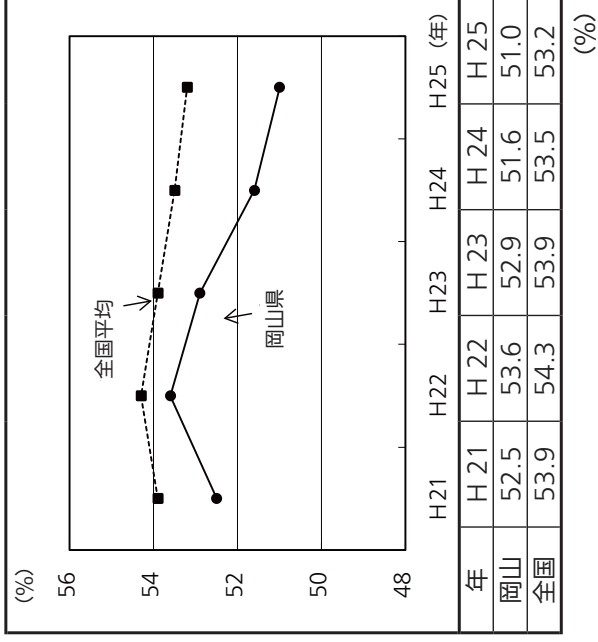
<資料出所他>

- 調査時点 平成 25 年 5 月 1 日
- 算出方法 $\frac{\text{就職者数} - \text{県外就職者}}{\text{就職者数}} \times 100$
- 就職者には、就職進学者を含む。
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- 平成 25 年 3 月に高等学校を卒業した者の状況

E-42 大学・短大等進学率

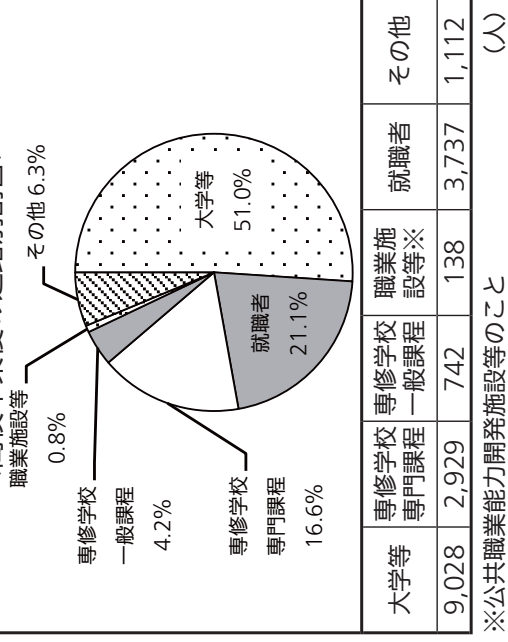


<岡山県の推移>



E42

<高校卒業後の進路別割合>



※公共職業能力開発施設等のこと

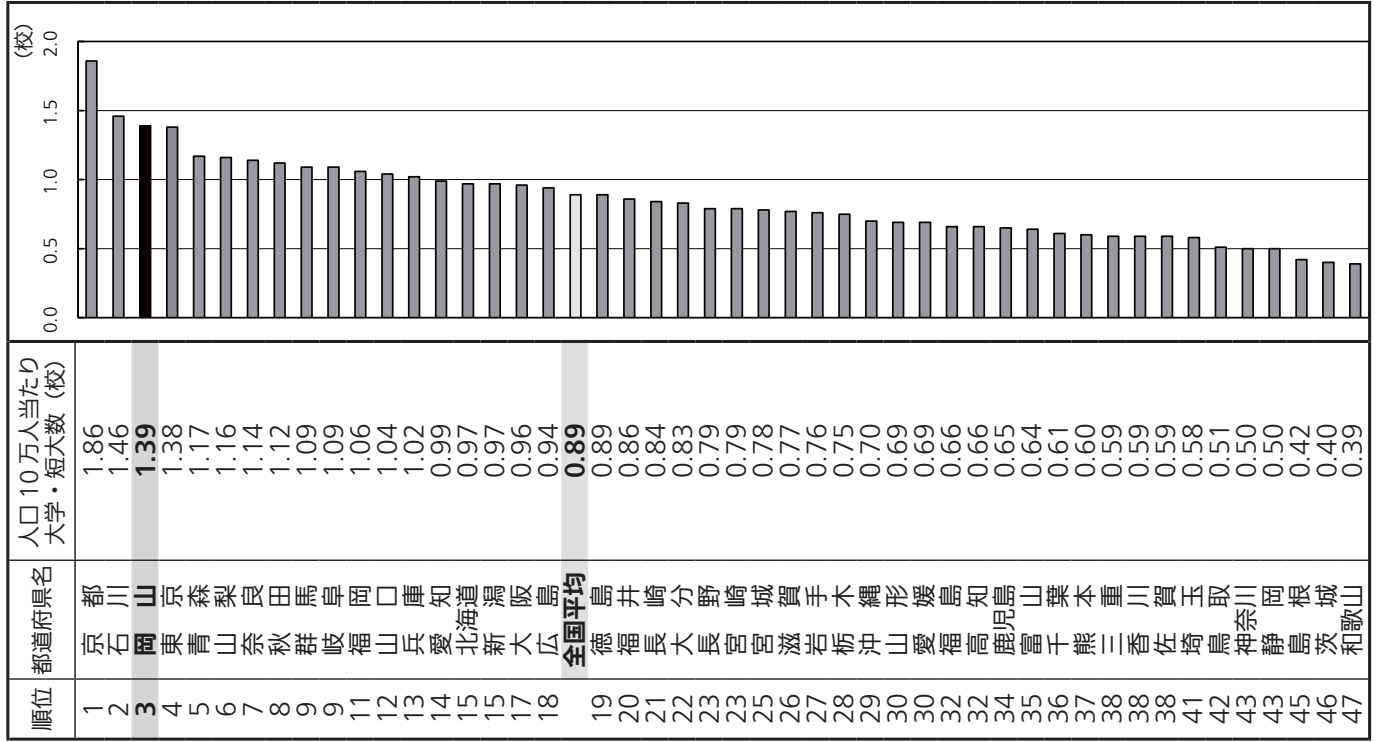
大学等	専修学校 専門課程	専修学校 一般課程	職業施設等※	就職者	その他
9,028	2,929	742	138	3,737	1,112

(人)

<資料出所他>

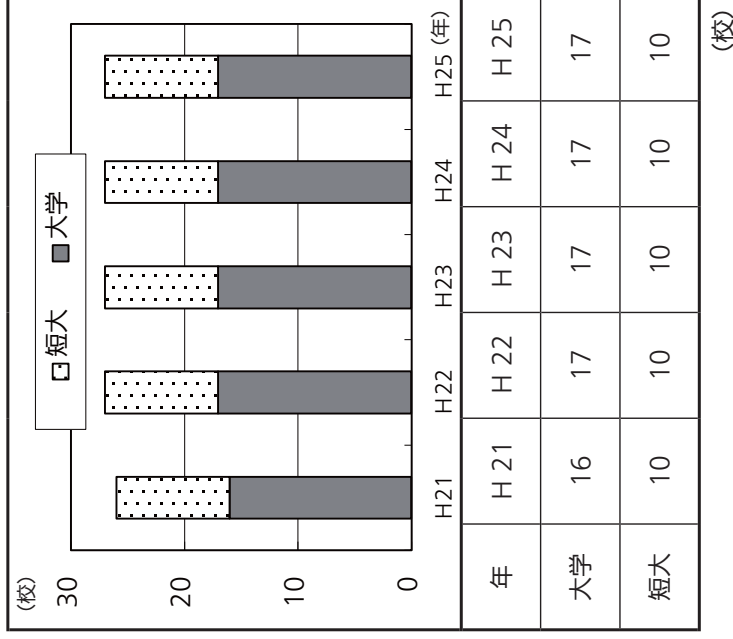
- 調査時点 平成25年5月1日
- 資料出所 文部科学省「学校基本調査」
- 通信教育部への進学者数を含む。
- 平成25年3月に高等学校を卒業した者の状況

E-43 大学・短大数（人口10万人当たり）



E43

<岡山県の推移>



<岡山県の大学・短大学生数>

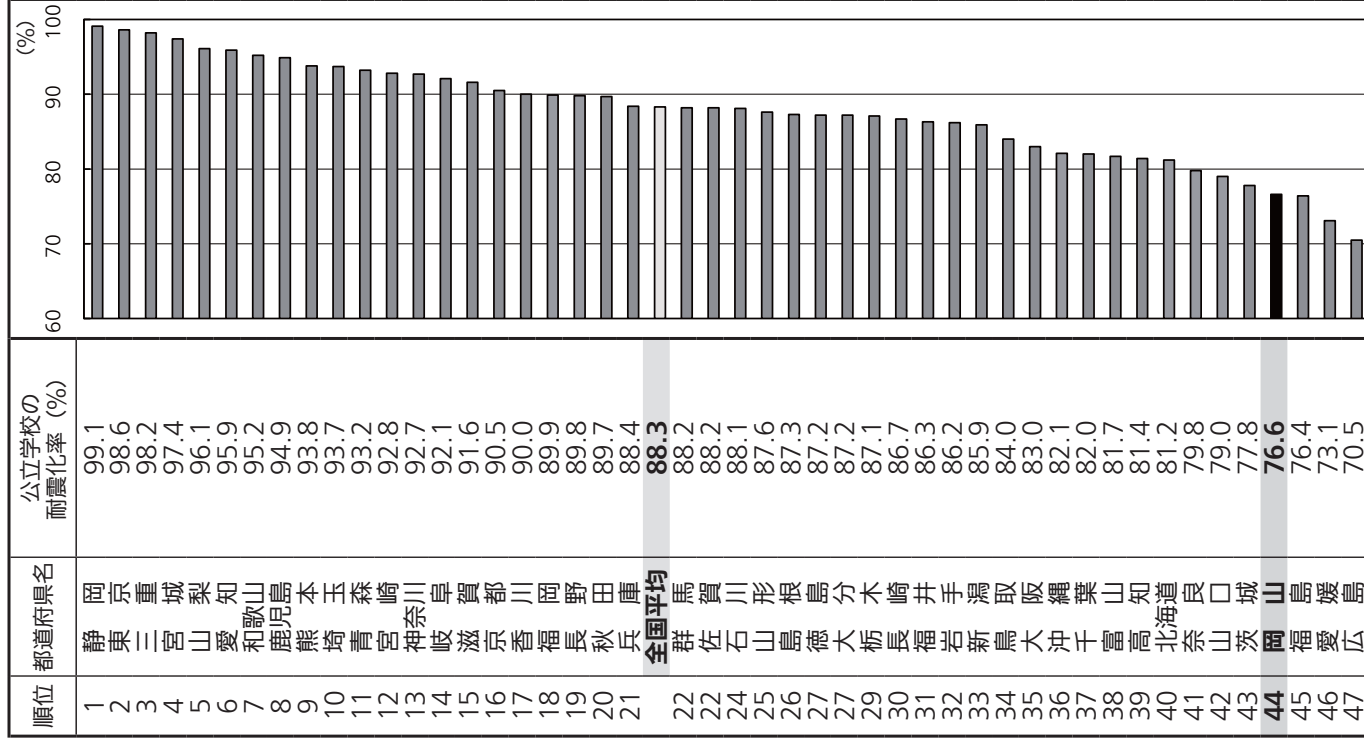
年	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
大学	40,435	41,160	41,408	41,482	41,551
短大	4,147	3,823	3,803	3,680	3,624

(人)

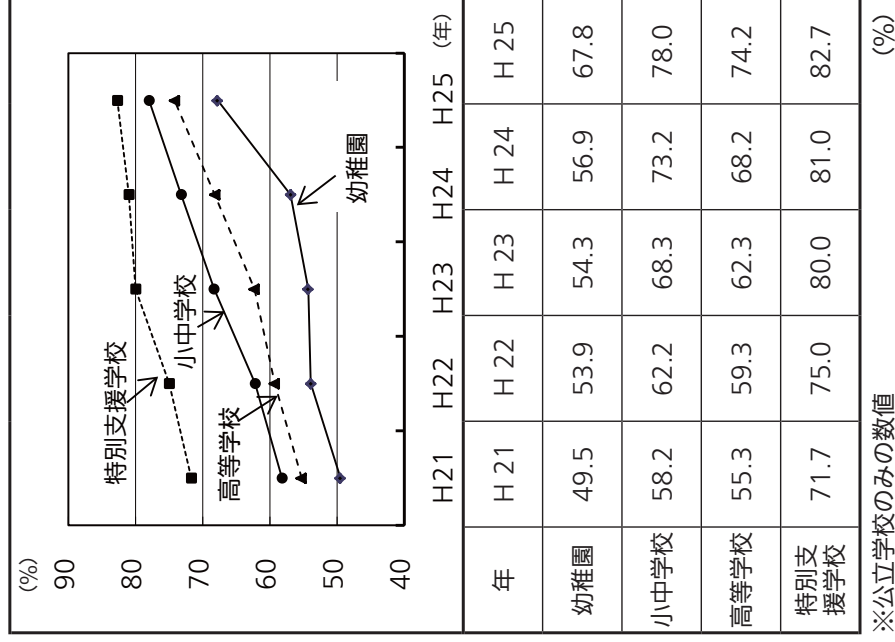
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年5月1日
- ・算出方法 大学・短期大学校数÷総人口×100,000
- ・資料出所 文部科学省「学校基本調査」
総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成25年3月31日時点）を使用

E-44 公立学校の耐震化率(幼・小・中・高・特別支援学校)



<岡山県の推移>

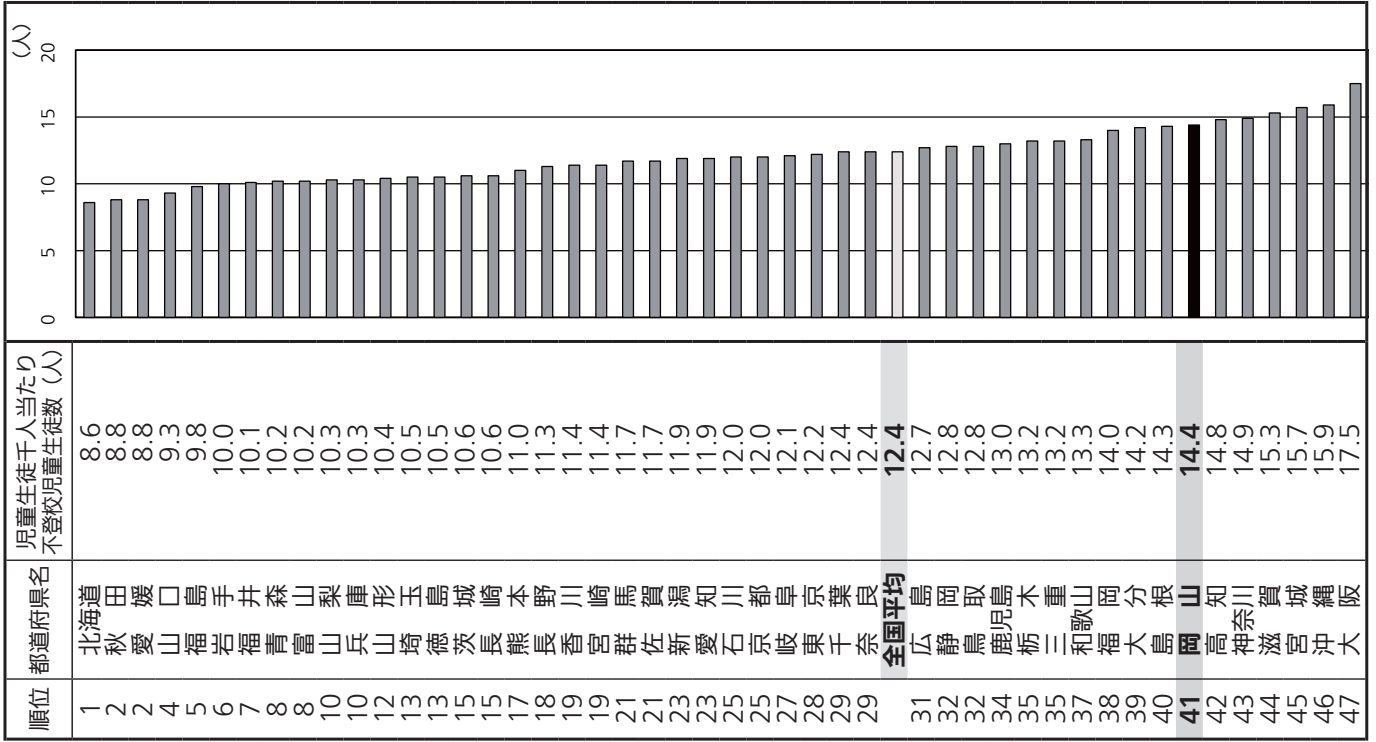


E44

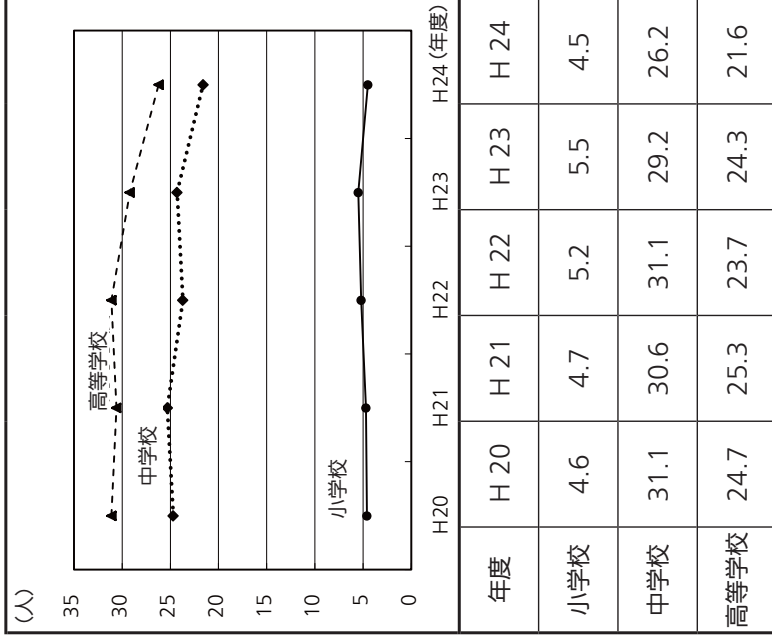
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年4月1日
- ・資料出所 文部科学省「公立学校施設の耐震改修状況調査」
- ※福島県の一部を除く。

★ E-45 小・中・高等学校不登校者数(児童生徒千人当たり)



＜岡山県の推移＞



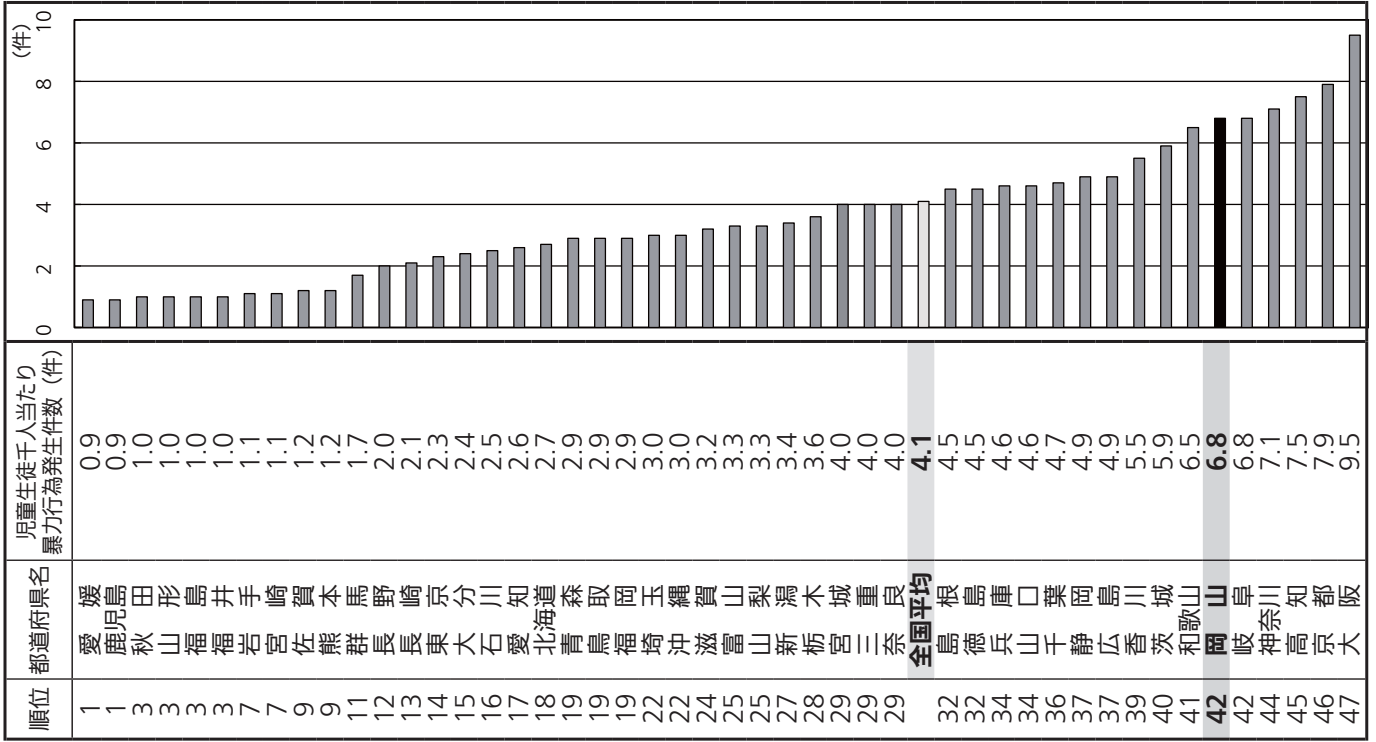
E45

※中学校には中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

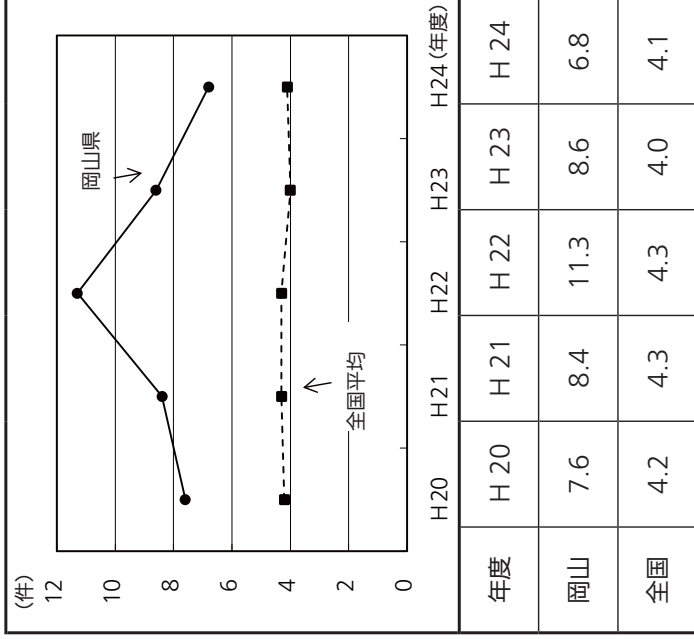
＜資料出所他＞

- ☆不登校とは、年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、欠席理由が「不登校」に該当するもの
- ・調査期間 平成24年度
- ・算出方法 不登校者数÷児童生徒数
- ・資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」
児童生徒数は、文部科学省「学校基本調査」(平成24年5月1日時点)を使用

★ E-46 小・中・高等学校の暴力行為発生件数（児童生徒千人当たり）



< 岡山県の推移 >

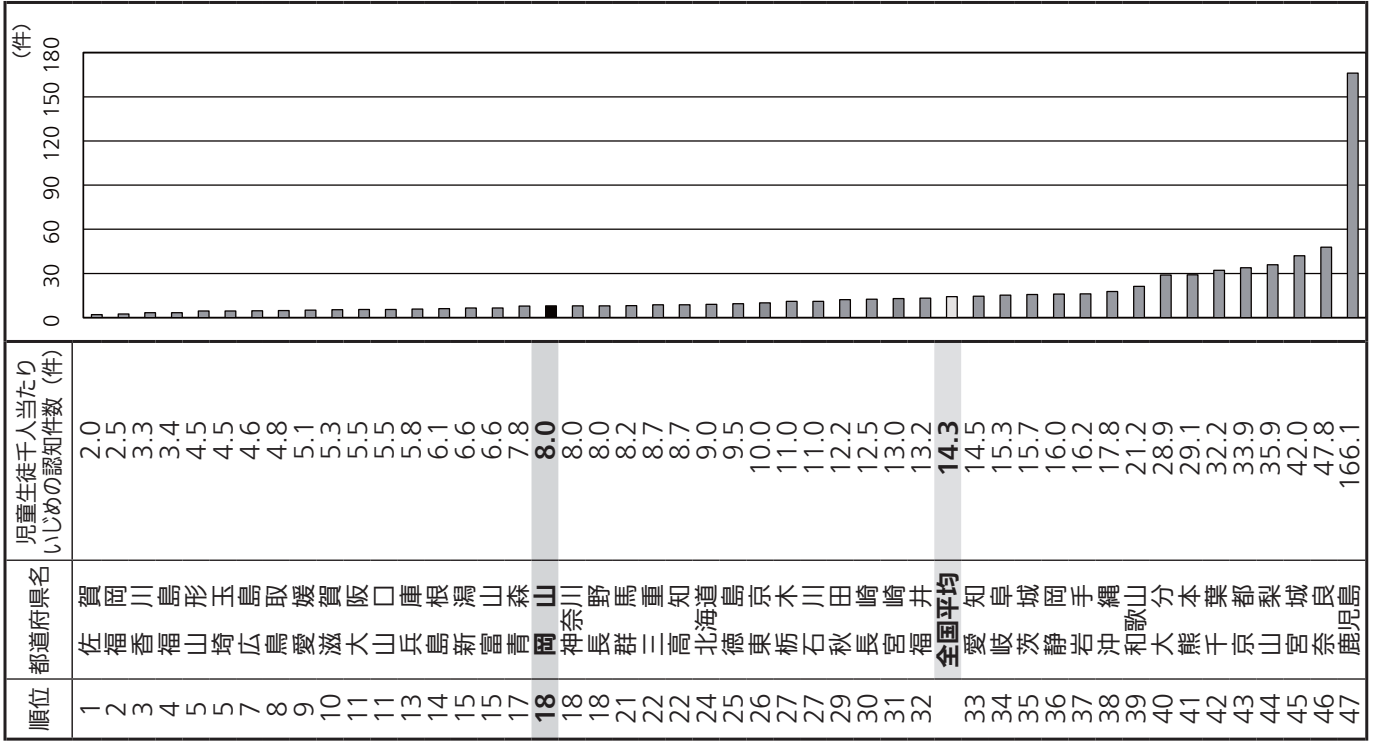


E46

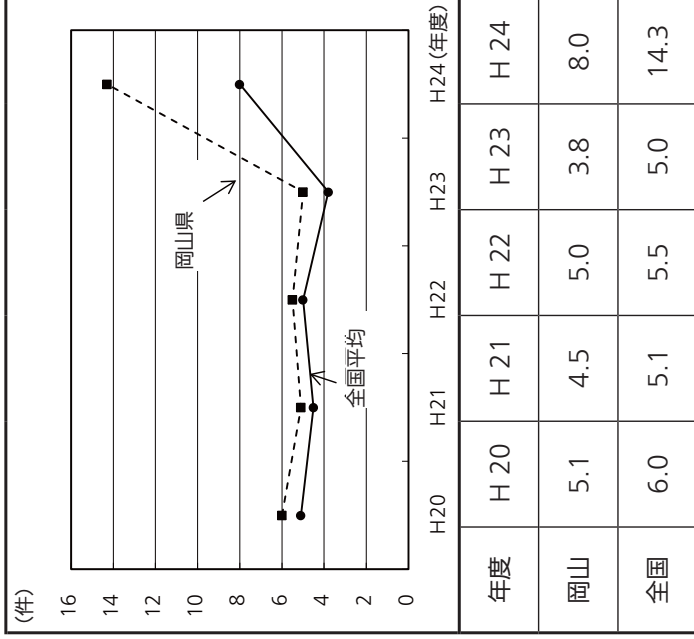
< 資料出所 >

- ・ 調査期間 平成24年度
- ・ 資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

★ E-47 小・中・高等・特別支援学校のいじめ認知件数(児童生徒千人当たり)



＜岡山県の推移＞

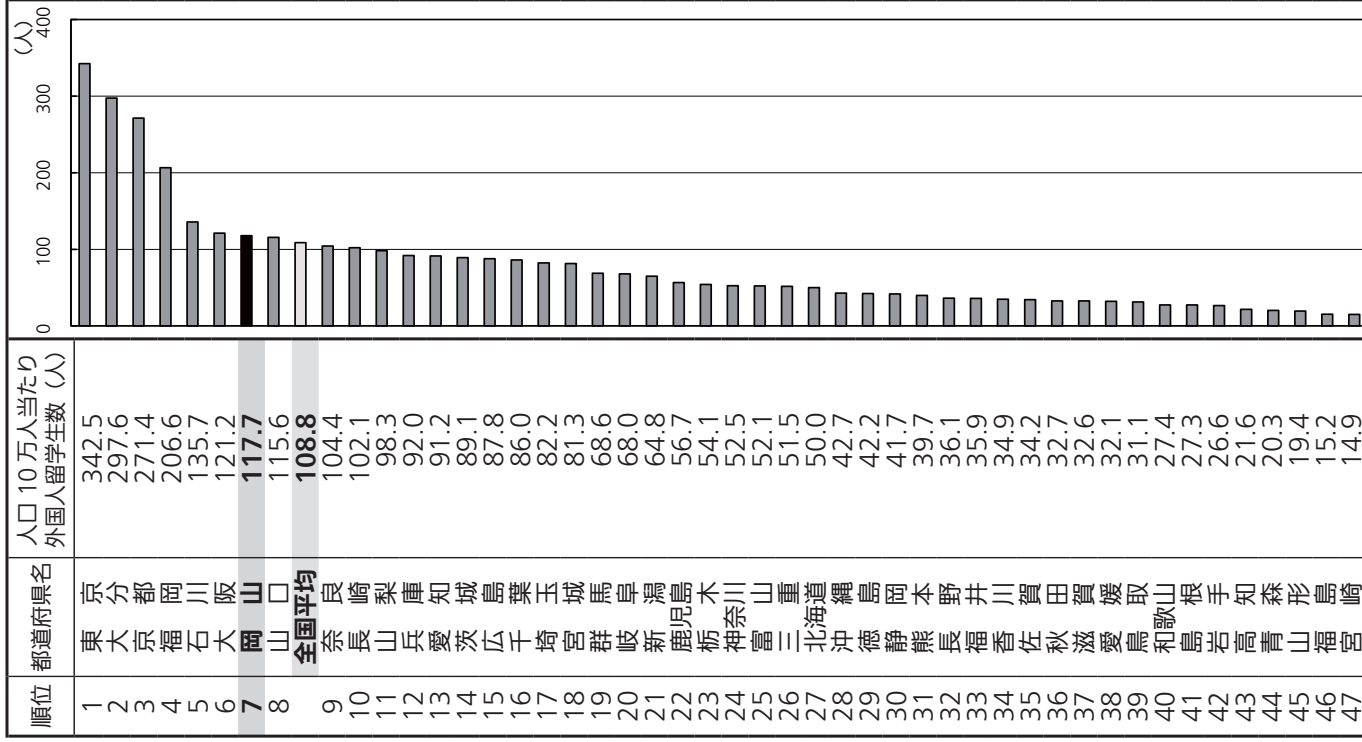


E47

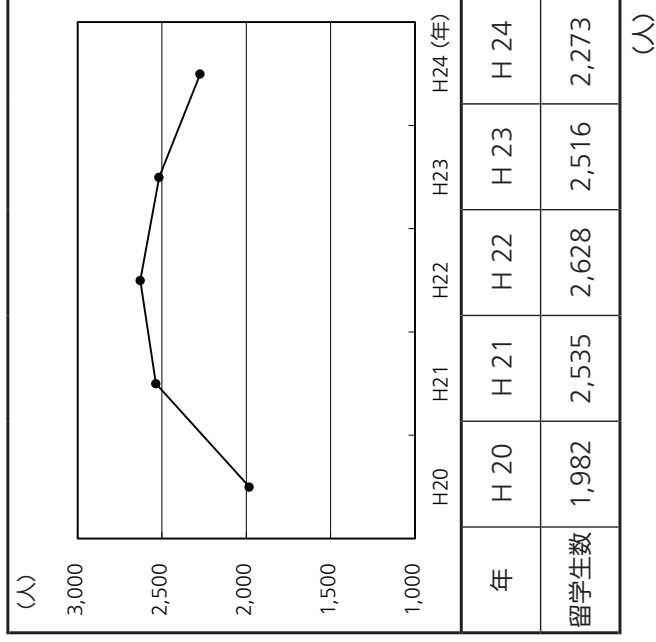
＜資料出所他＞

- 調査期間 平成24年度
- 資料出所 文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

E-48 外国人留学生数（人口10万人当たり）



<岡山県の推移>



E48

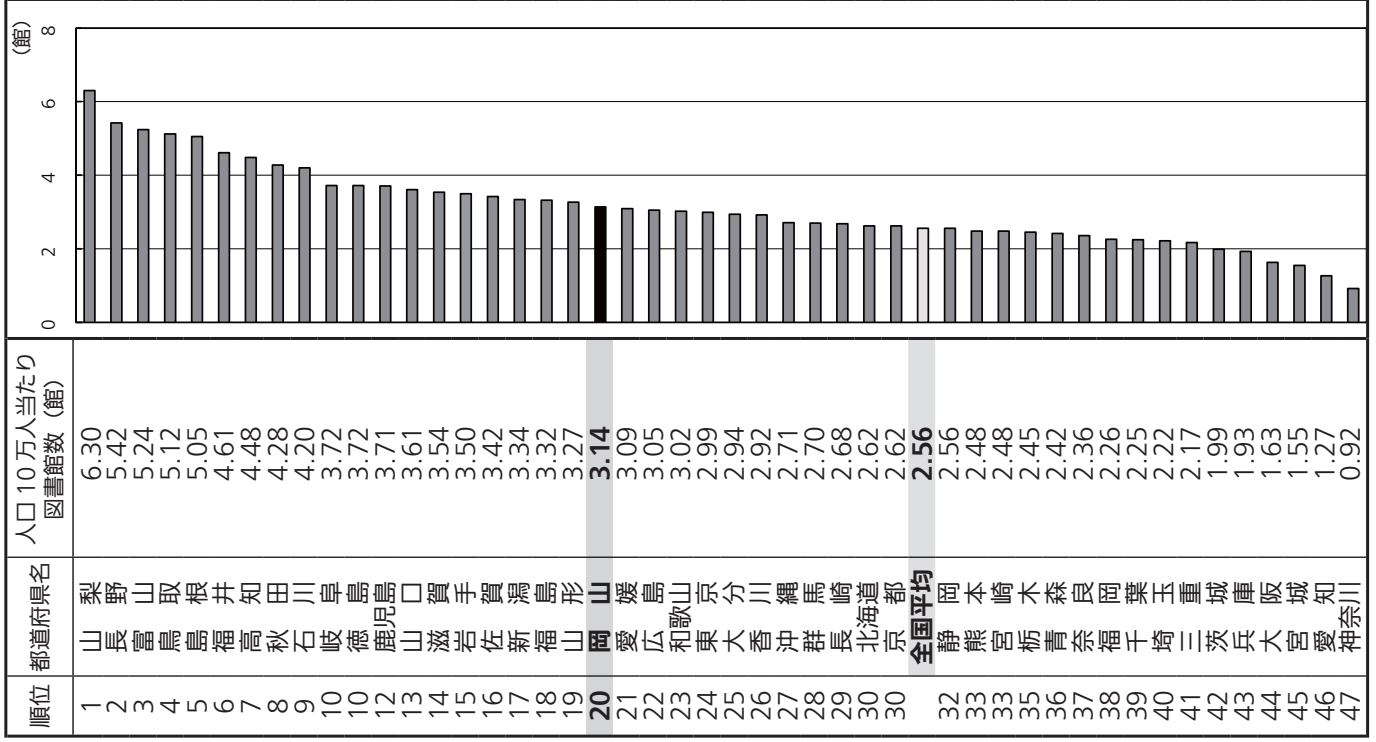
<資料出所他>

☆ここでいう留学生とは、いわゆる「留学ビザ」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生のこと

- ・調査時点 平成24年5月1日
- ・資料出所 独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

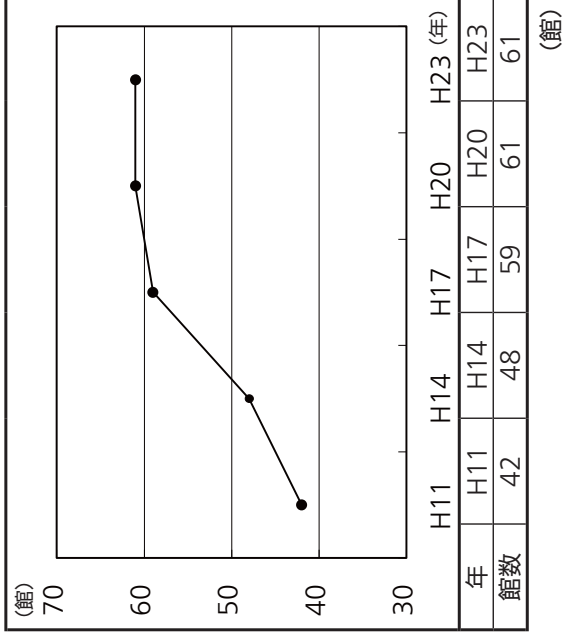
総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成24年3月31日時点）を使用

E-49 図書館数 (人口10万人当たり)

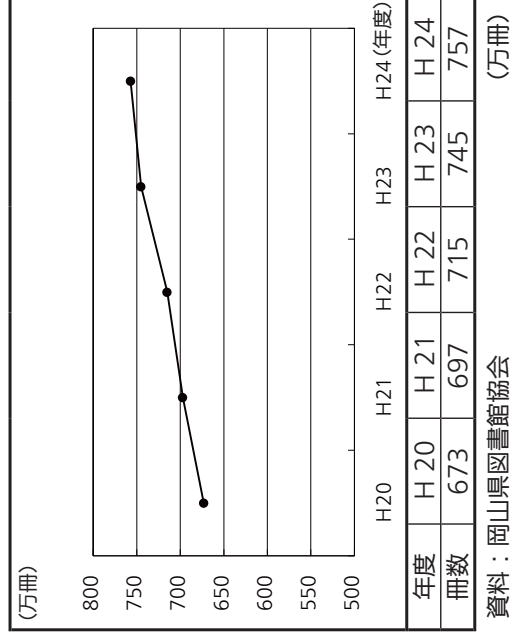


E 49

<岡山県の推移>



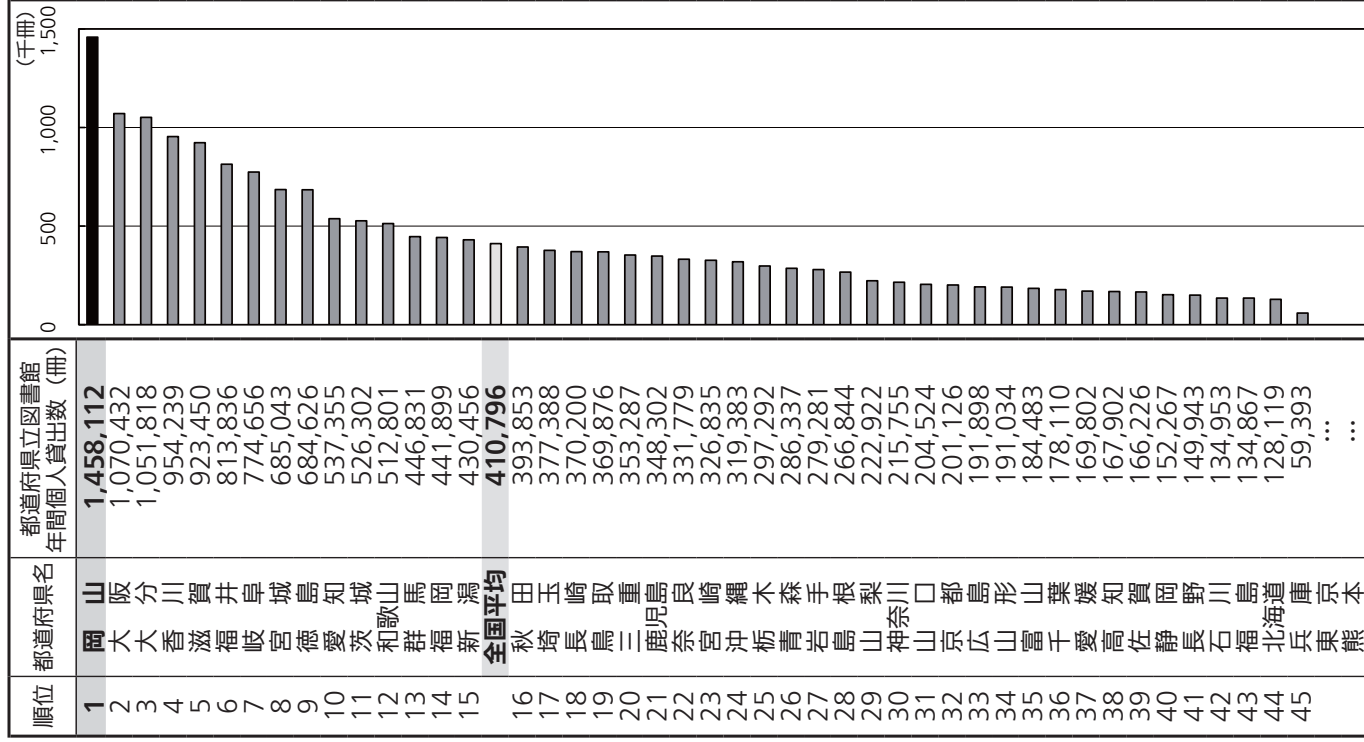
<岡山県内公共図書館蔵書冊数>



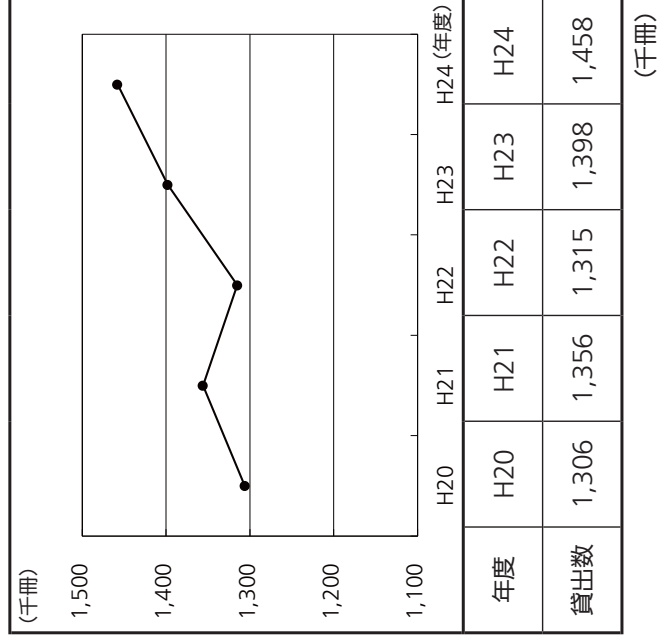
<資料出所他>

- ・調査時点 平成23年10月1日 (3年毎)
- ・算出方法 図書館数÷総人口×100,000
- ・資料出所 文部科学省「社会教育調査報告」
総人口は、総務省「人口推計年報」(平成23年10月1日時点)を使用

E-50 都道府県立図書館個人貸出数



<岡山県の推移>

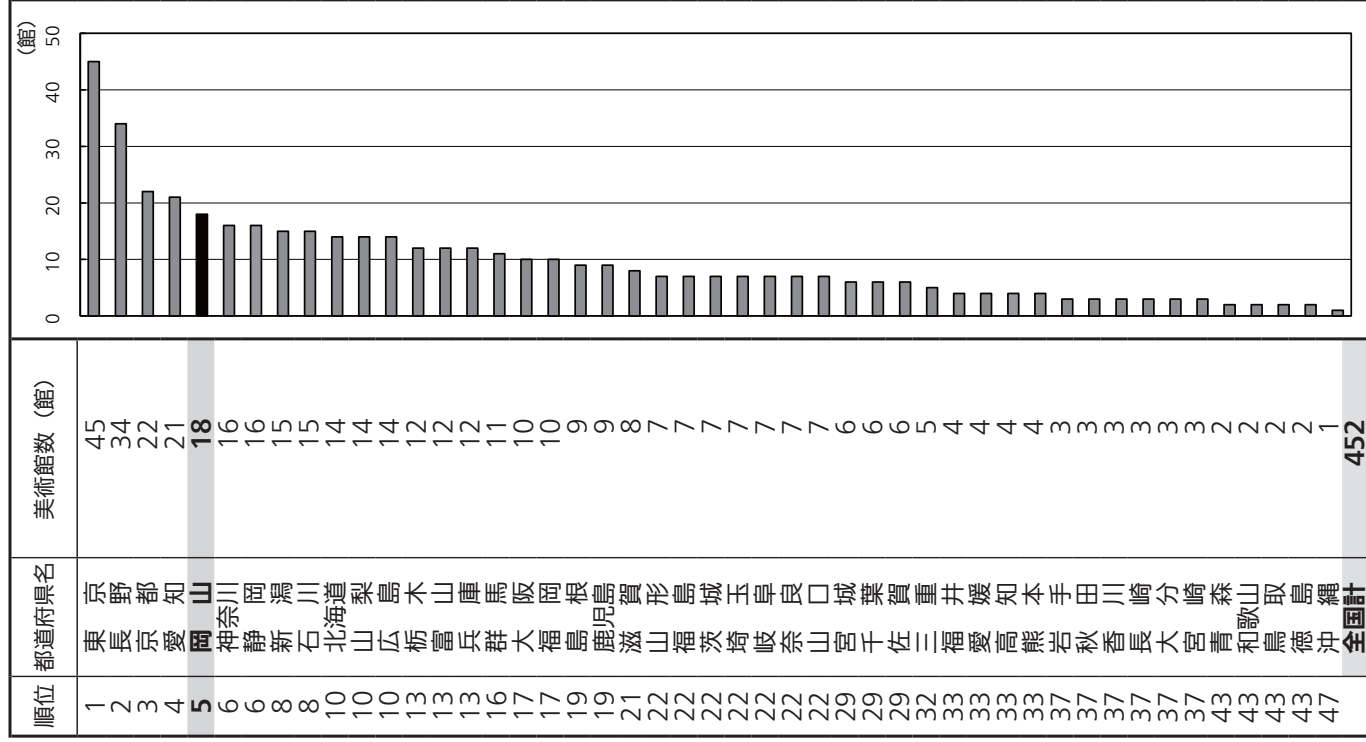


E 50

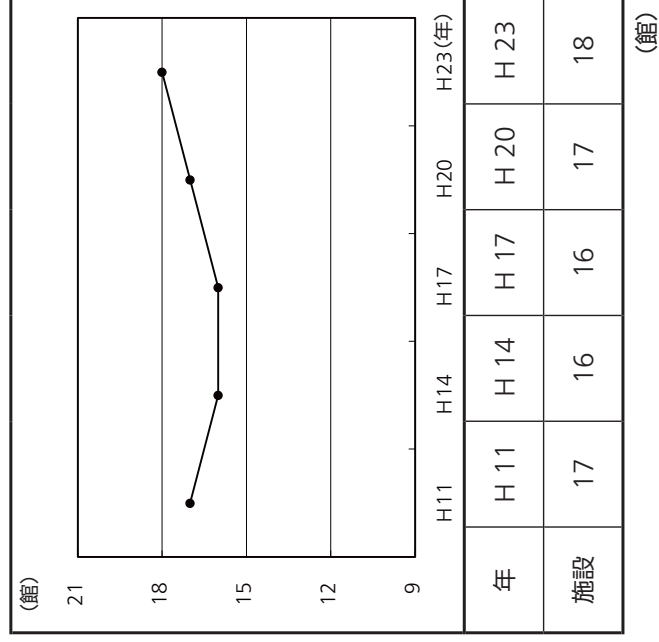
<資料出所他>

- 調査期間 平成24年度
- 資料出所 日本図書館協会「日本の図書館」
- 岡山県立図書館は平成16年9月25日開館

E-51 美術館数



<岡山県の推移>

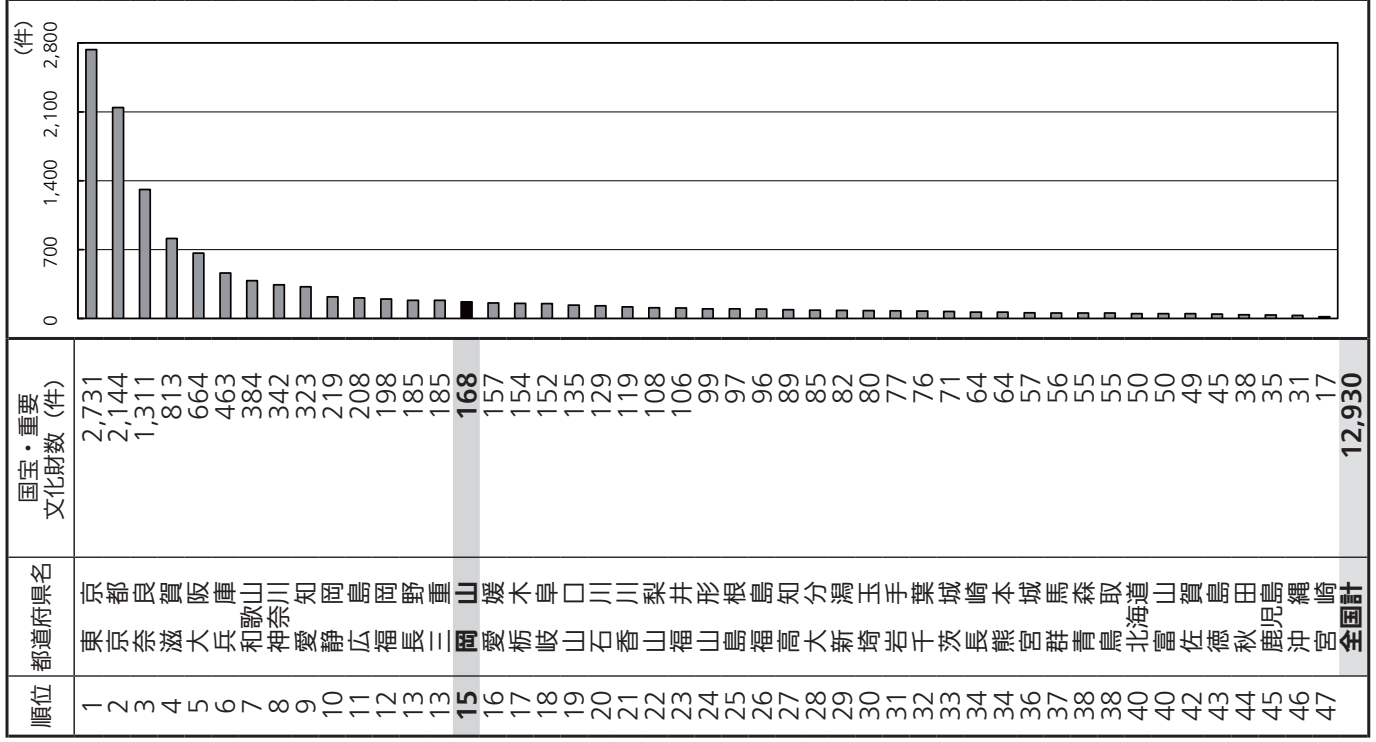


E51

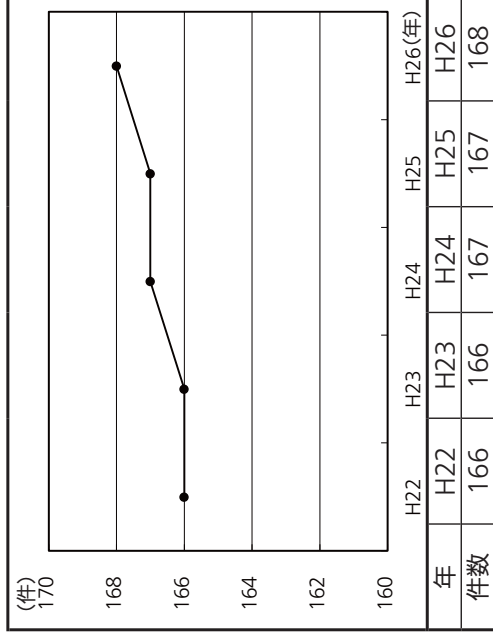
<資料出所他>

- 調査時点 平成23年10月1日 (3年毎)
- 資料出所 文部科学省「社会教育調査」

E-52 国宝・重要文化財数



<岡山県の推移>



E52

<岡山県その他の国指定文化財数>

記念物	史跡	47
	名勝	12
	天然記念物	13
	重要無形文化財	1(人)
	重要民俗文化財	4
	重要伝統的建造物群保存地区	3
	重要文化的景観	0
	選定保存技術	0

資料：県教育庁文化財課 (件)

<岡山県の国登録文化財数>

有形文化財	250
有形民俗文化財	1
記念物	1

資料：県教育庁文化財課 (件)

<資料出所他>

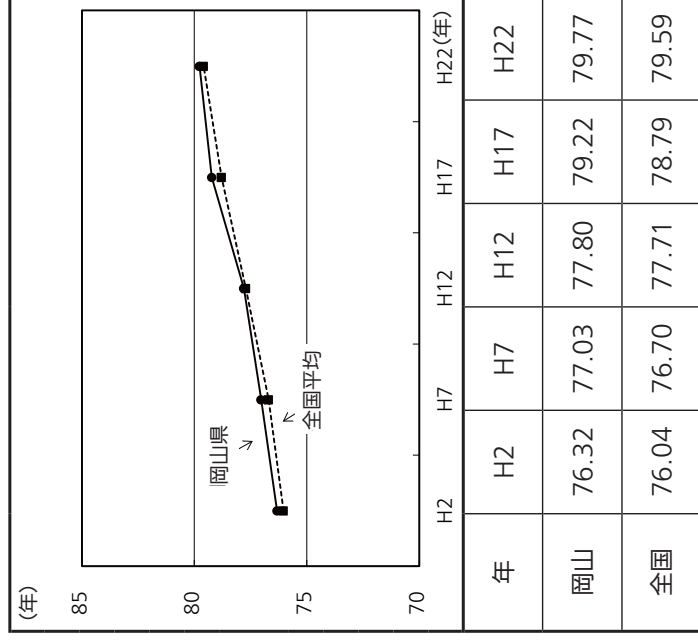
☆重要文化財とは、有形文化財（建造物・美術工芸品）のうち、特に重要なもの。そのうち、特に価値の高いものは国宝に指定される。
 ・調査時点 平成26年1月1日
 ・資料出所 文化庁 資料、県教育庁文化財課 資料
 ・全国計には、現在所有者が不明のもの等が含まれているため、都道府県計と一致しない。

F 医療・福祉

F-53 平均寿命(男)

順位	都道府県名	平均寿命(男) (年)
1	野	80.88
2	賀	80.58
3	井	80.47
4	本	80.29
5	川	80.25
6	熊	80.21
7	神	80.14
8	奈	80.06
9	都	79.97
10	大	79.95
11	山	79.92
12	静	79.91
13	岐	79.88
14	千	79.82
15	東	79.77
16	山	79.73
17	香	79.71
17	富	79.71
17	石	79.71
17	愛	79.71
20	宮	79.70
21	三	79.68
22	宮	79.65
23	埼	79.62
	全国平均	79.59
24	兵	79.59
25	庫	79.54
26	梨	79.51
27	根	79.47
28	瀧	79.44
29	島	79.40
29	馬	79.40
31	縄	79.40
31	岡	79.30
32	賀	79.28
33	佐	79.21
34	鹿	79.17
34	児	79.17
35	北	79.13
35	海	79.13
36	愛	79.09
37	茨	79.07
37	和	79.07
38	栃	79.06
39	山	79.03
40	鳥	79.01
41	山	78.99
42	大	78.91
43	阪	78.88
44	知	78.88
44	崎	78.84
45	島	78.84
46	手	78.53
47	田	78.22
47	森	77.28

<岡山県の推移>



F53

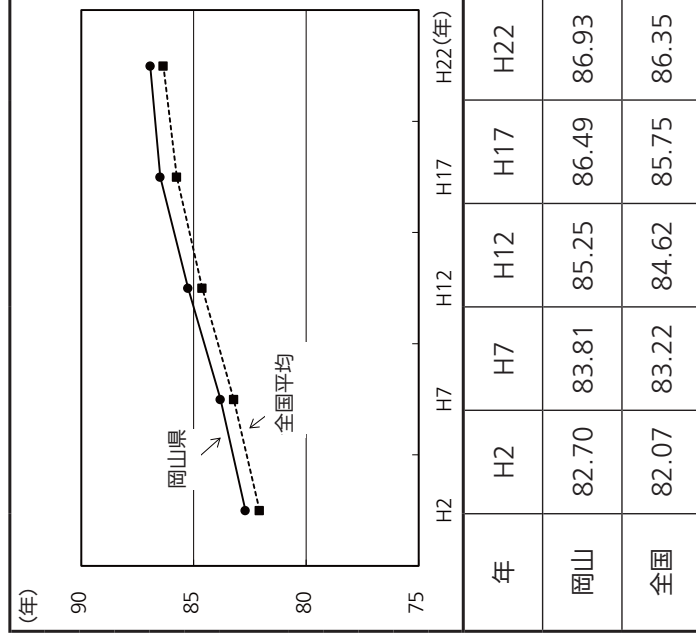
<資料出所他>

- ☆平均寿命とは、0歳児の平均余命のこと
- ・調査時点 平成22年(5年毎)
- ・資料出所 厚生労働省「都道府県別生命表」

F-54 平均寿命 (女)

順位	都道府県名	平均寿命 (女) (年)
1	野根	87.18
2	長島	87.07
3	沖繩	87.02
4	熊本	86.98
5	新潟	86.96
6	福井	86.94
6	広島	86.94
8	岡山	86.93
9	大分	86.91
10	山梨	86.75
10	山形	86.75
12	石川	86.69
12	滋賀	86.65
13	山梨	86.65
15	京都	86.63
16	神奈川	86.61
17	奈良	86.60
18	徳島	86.58
19	佐賀	86.54
20	愛媛	86.48
21	福高	86.47
22	宮城	86.39
22	東京	86.39
	全国平均	86.35
24	香川	86.34
25	北海道	86.30
25	長崎	86.30
27	山形	86.28
27	鹿児島	86.28
29	岐阜	86.26
30	三重	86.25
31	静岡	86.22
31	愛知	86.22
33	徳島	86.21
34	千鳥	86.20
35	兵衛	86.14
36	鳥取	86.08
37	山口	86.07
38	島田	86.05
39	福大	85.93
39	秋大	85.93
41	馬五	85.91
42	岩手	85.88
43	茨城	85.86
44	和歌山	85.83
45	茨和	85.69
46	山歌	85.66
47	森青	85.34

<岡山県の推移>

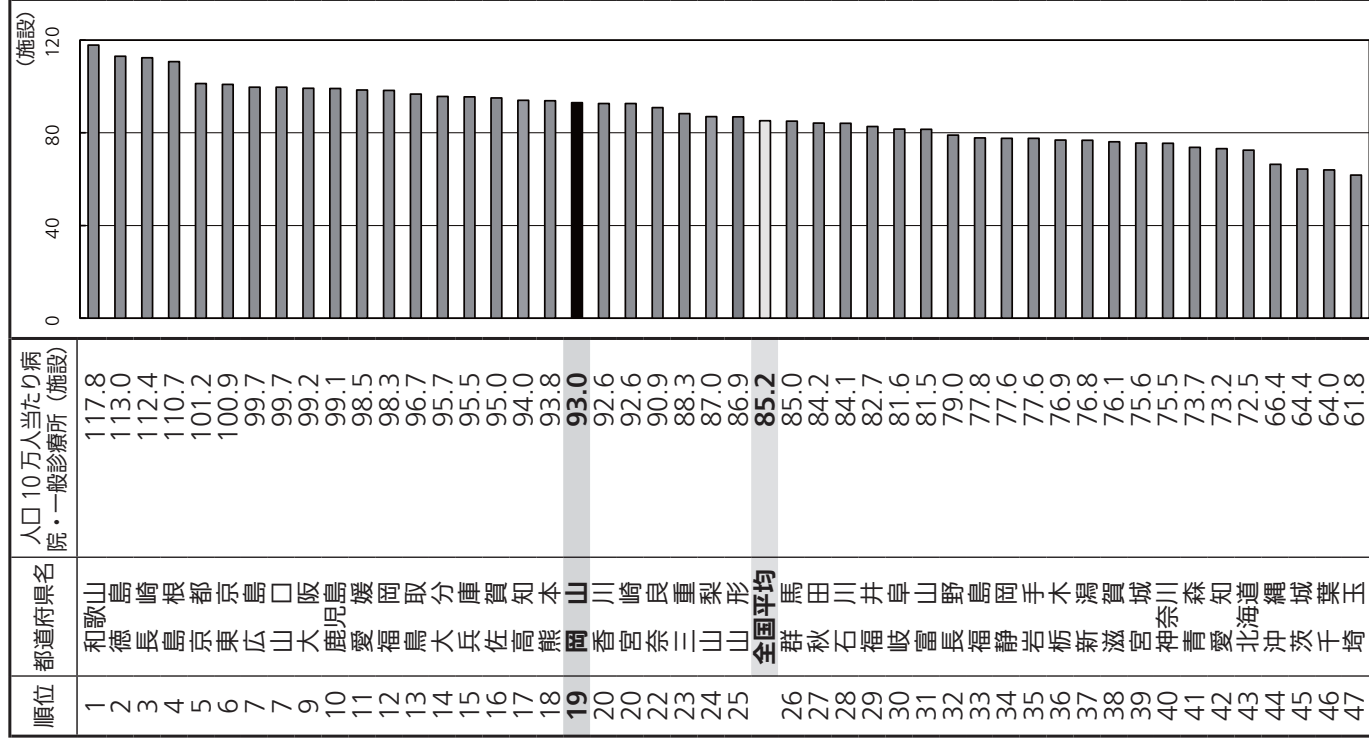


F 54

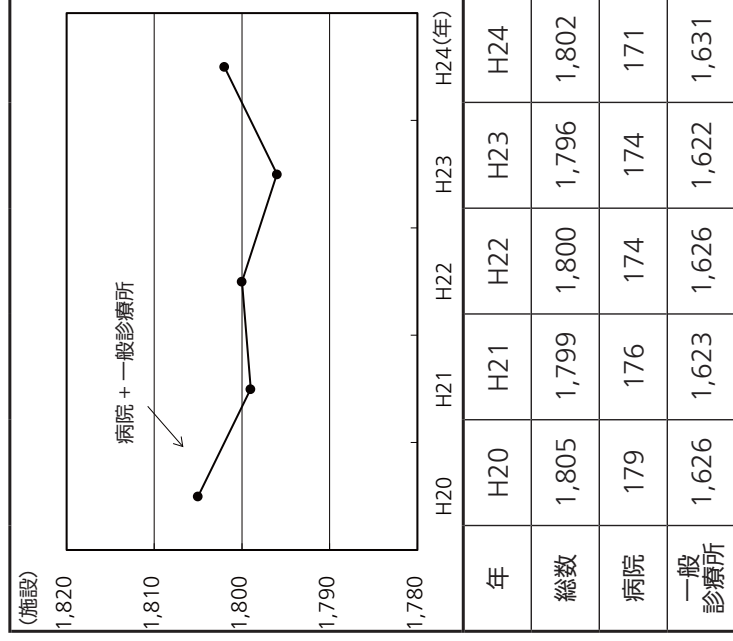
<資料出所他>

- ☆平均寿命とは、0歳児の平均余命のこと
- ・調査時点 平成22年(5年毎)
- ・資料出所 厚生労働省「都道府県別生命表」

F-55 病院・一般診療所数 (人口10万人当たり)



<岡山県の推移>



F55

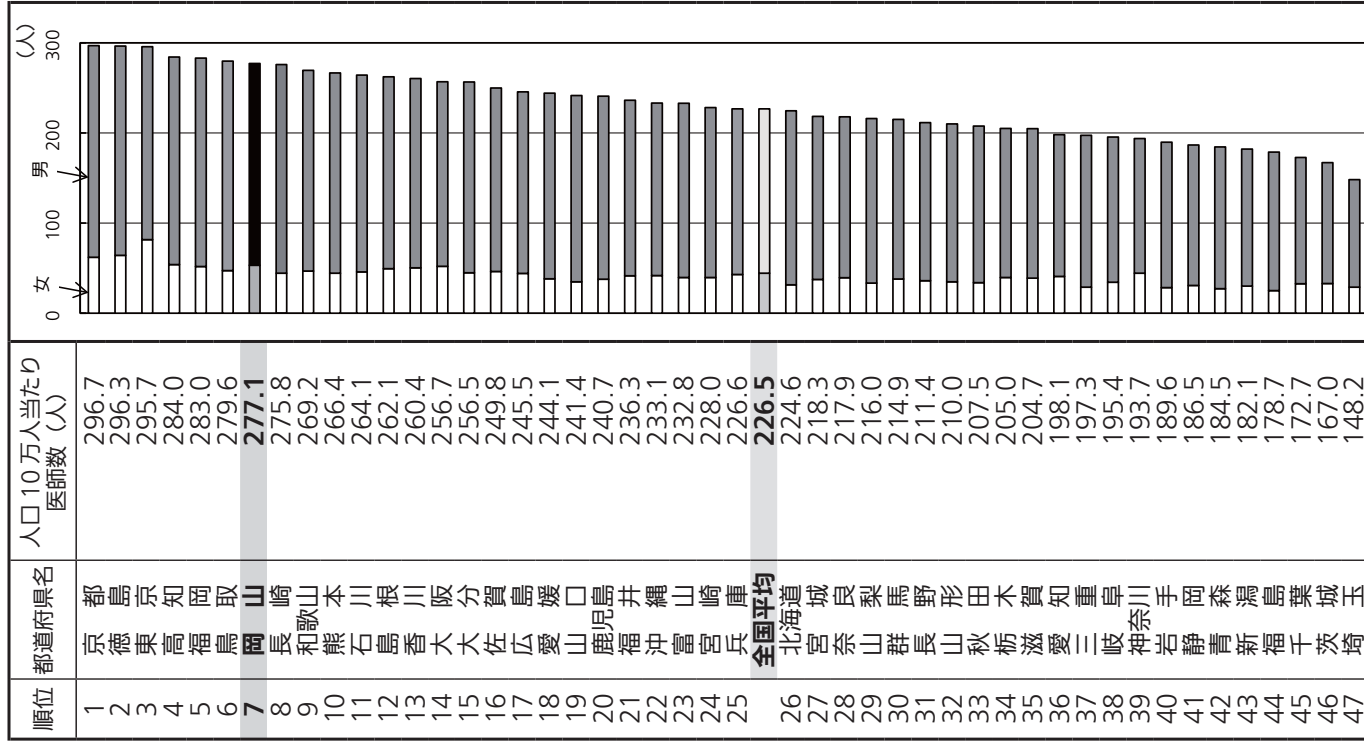
<病院・一般診療所病床数>

年	H20	H21	H22	H23	H24
病院	30,461	30,248	29,971	29,776	29,574
一般診療所	3,011	2,913	2,838	2,778	2,762

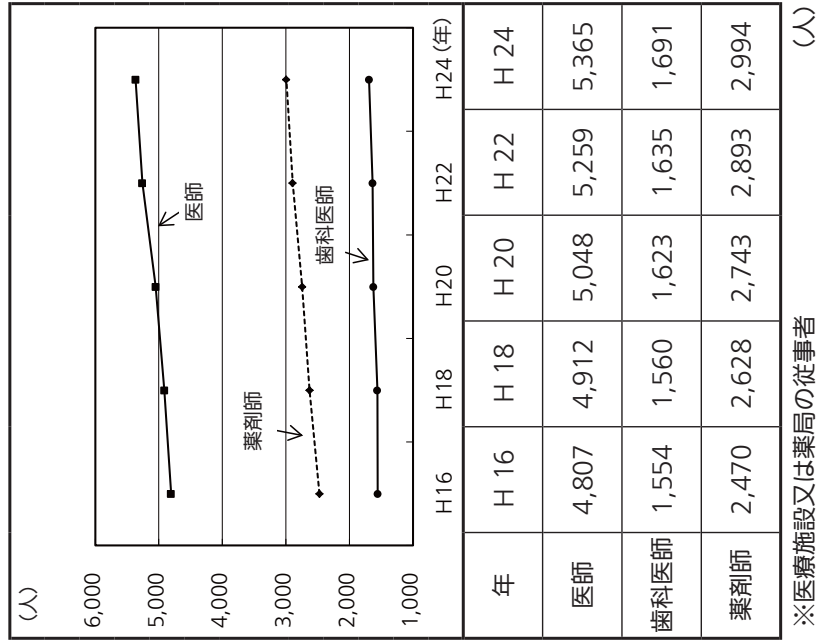
<資料出所他>

- 調査時点 平成24年10月1日
- 算出方法 病院・一般診療所数 ÷ 総人口 × 100,000
- 資料出所 厚生労働省「医療施設調査」
総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

F-56 医師数 (人口10万人当たり)



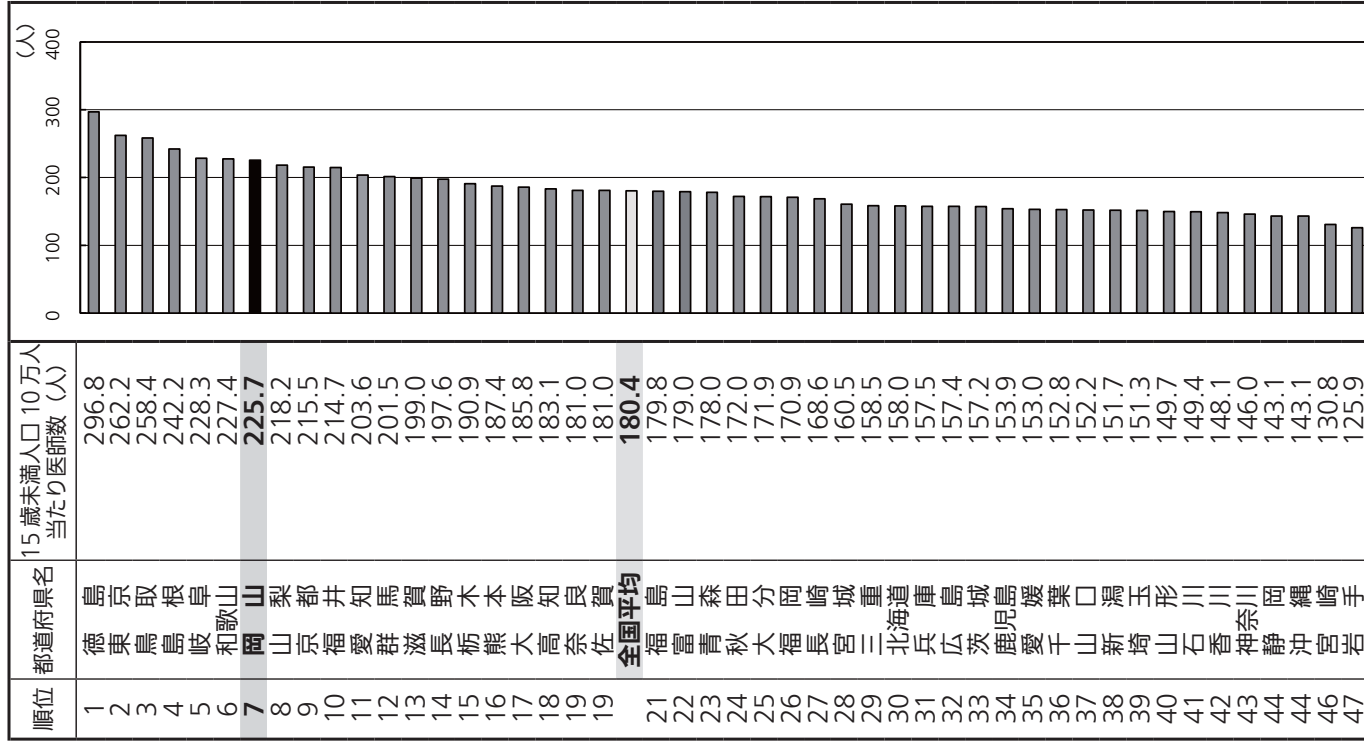
<岡山県の推移>



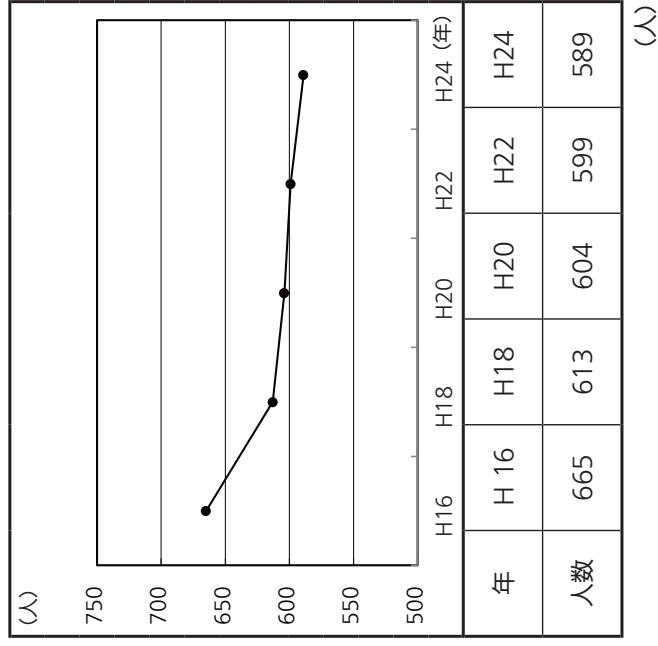
<資料出所他>

☆ 医療施設に従事している医師数
 ・ 調査時点 平成24年12月31日 (2年毎)
 ・ 資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

F-57 小児科従事医師数(15歳未満人口10万人当たり)



<岡山県の推移>

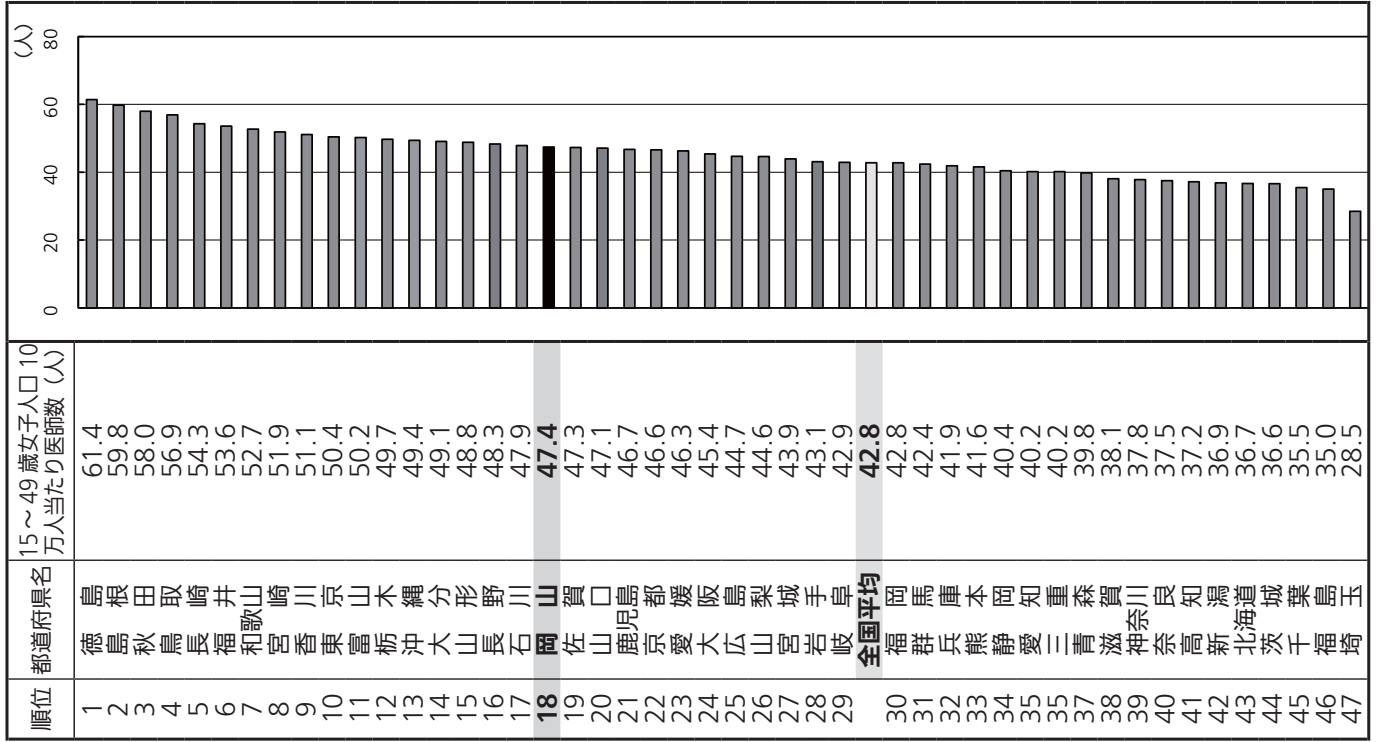


F57

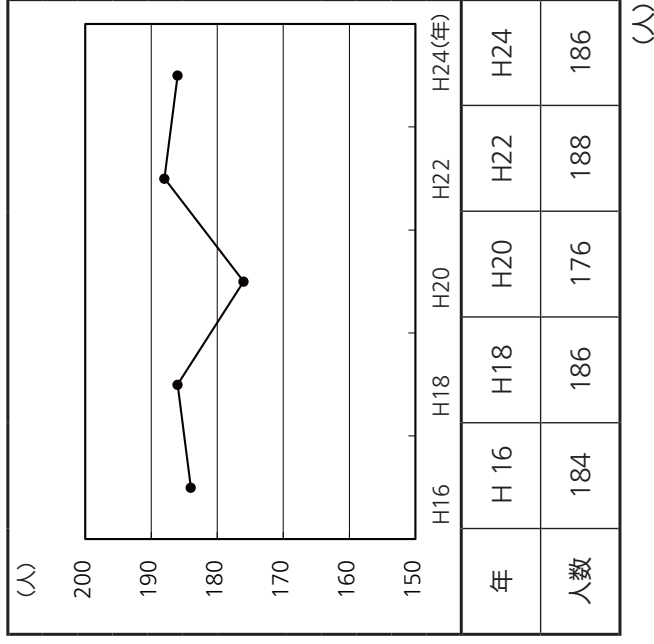
<資料出所他>

- ・調査時点 平成24年12月31日(2年毎)
- ・算出方法 小児科従事医師数÷15歳未満人口×100,000
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
15歳未満人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用
- ・従事する診療科名(複数回答)で「小児科」と回答した者の数

F-58 産婦人科・産科従事医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)



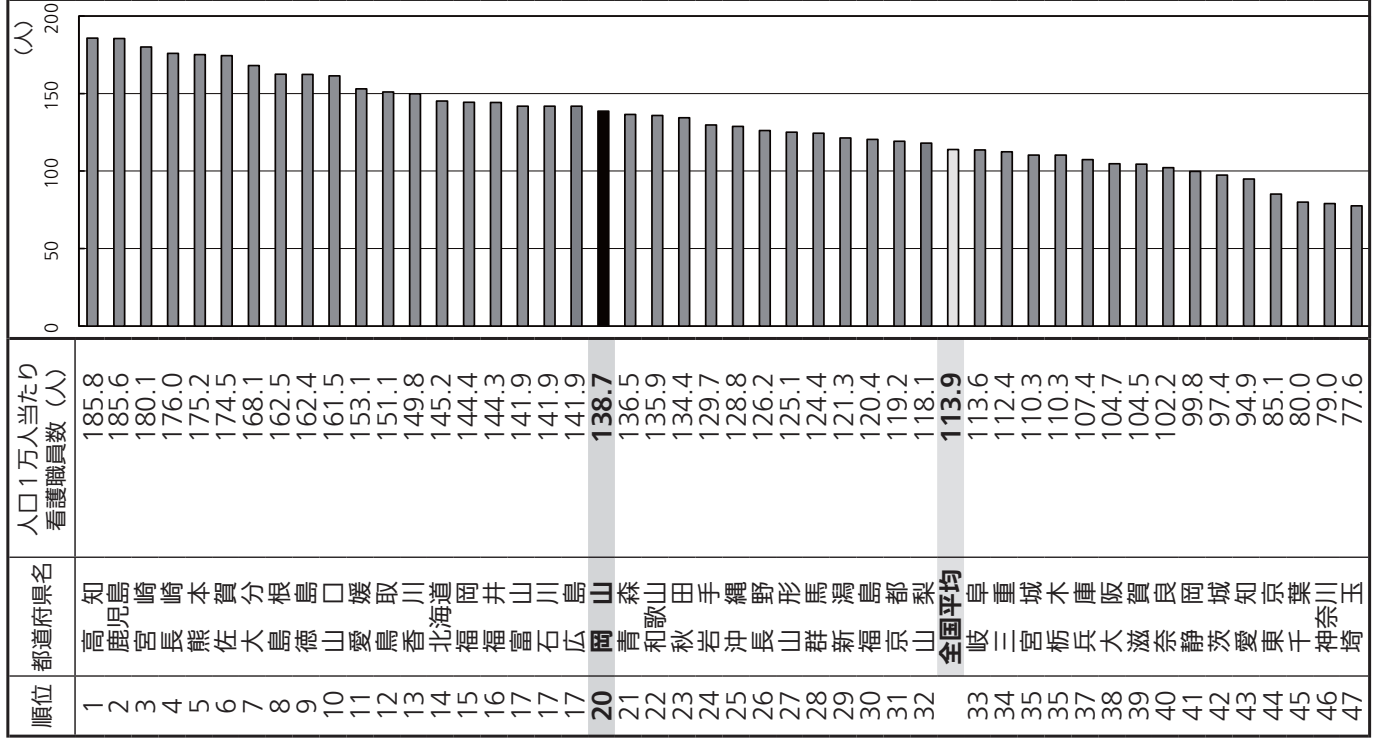
<岡山県の推移>



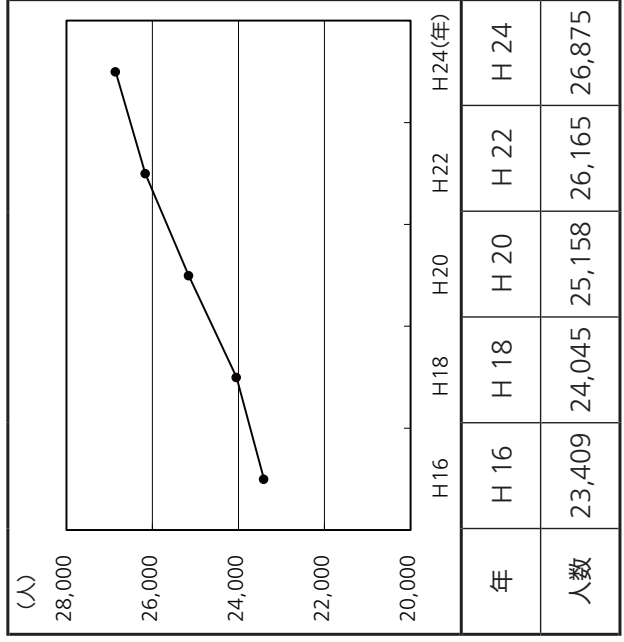
<資料出所他>

- ・調査時点 平成24年12月31日(2年毎)
- ・算出方法 産婦人科・産科従事医師数÷15～49歳女子人口×100,000
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」15～49歳女子人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用
- ・従事する診療科名(複数回答)で「産婦人科」「産科」と回答した者の数

F-59 看護職員数（人口1万人当たり）



<岡山県の推移>



F 59

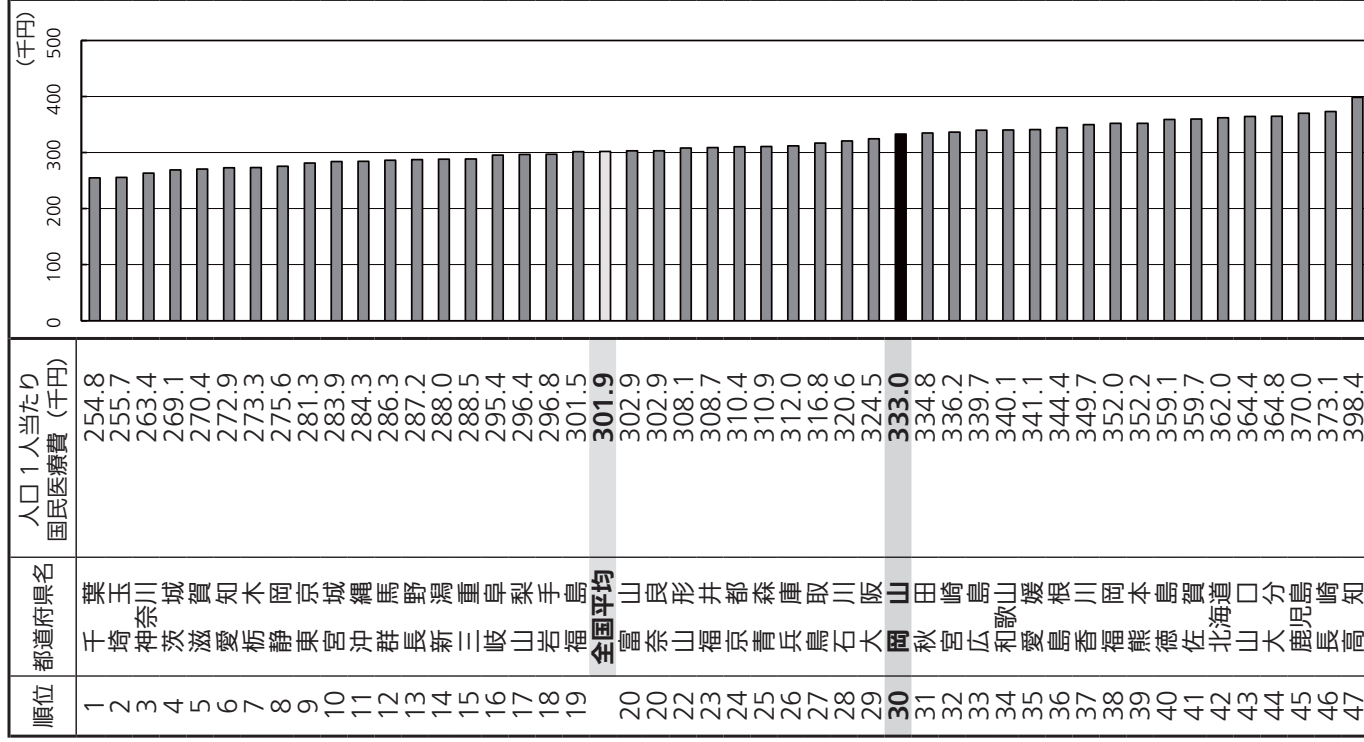
<岡山県の看護職員数>

年	H 16	H 18	H 20	H 22	H 24
保健師	803	838	914	908	946
助産師	344	355	433	437	468
看護師	14,989	15,702	17,769	19,029	19,989
准看護師	6,935	6,514	6,042	5,791	5,472

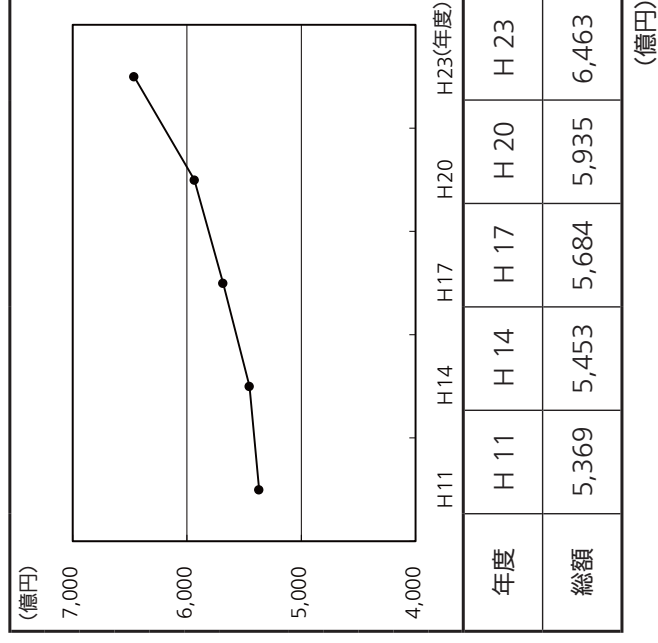
<資料出所他>

☆看護職員とは、保健師、助産師、看護師、看護師、准看護師のこと
 ・調査時点 平成24年12月31日（2年毎）
 ・算出方法 就業看護職員数÷総人口×10,000
 ・資料出所 厚生労働省「衛生行政報告例」
 総人口は、総務省「人口推計年報」（平成24年10月1日時点）を使用

★ F-60 国民医療費 (人口1人当たり)



＜岡山県の推移＞

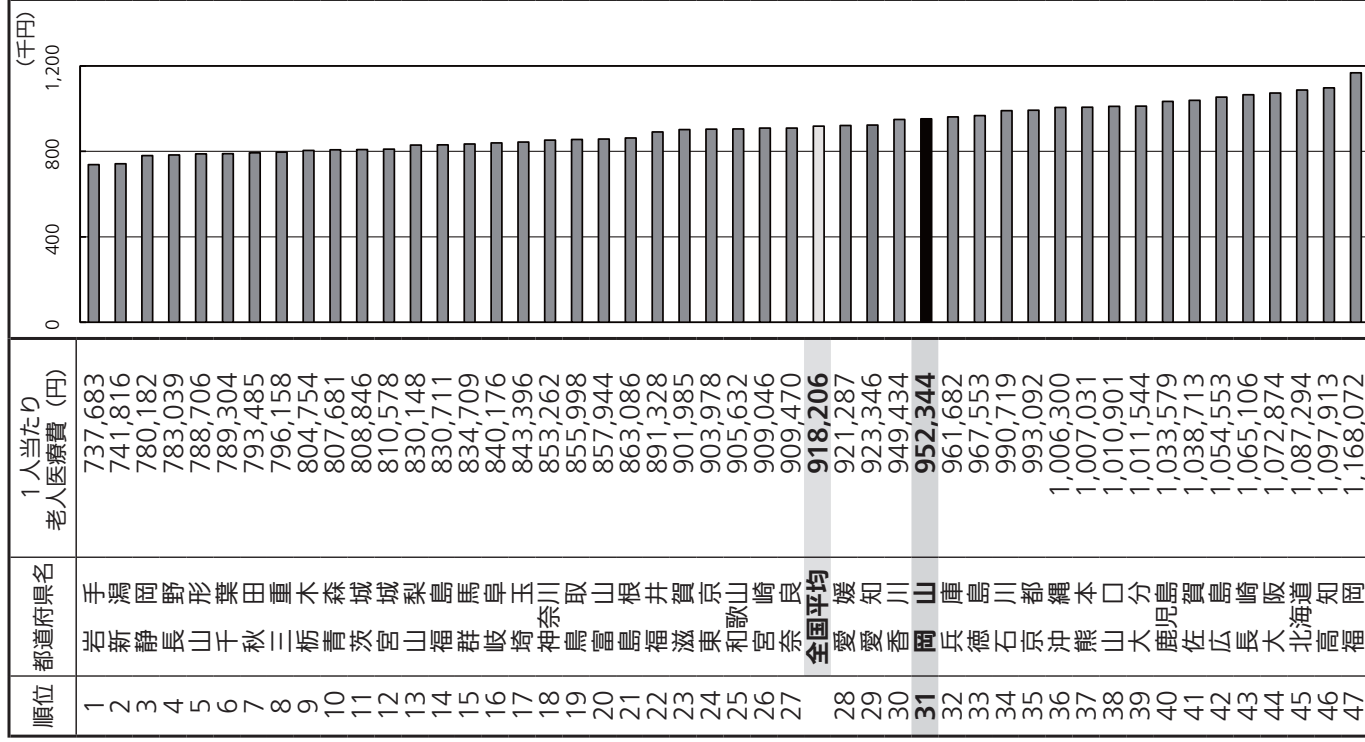


F 60

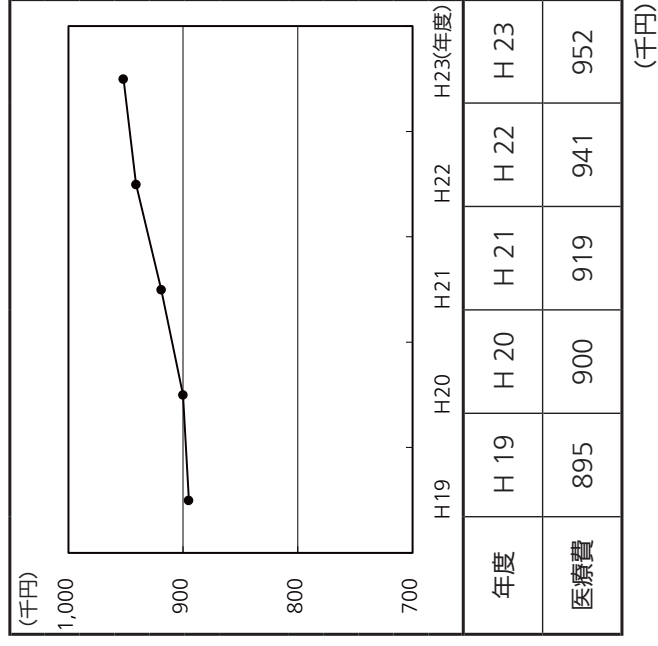
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成23年度
- ・ 資料出所 厚生労働省「国民医療費」
- ・ 都道府県別医療費の発表は3年毎
- ・ 国民医療費を患者の住所地に基づいて推計したもの

＊F-61 老人医療費（1人当たり）



＜岡山県の推移＞

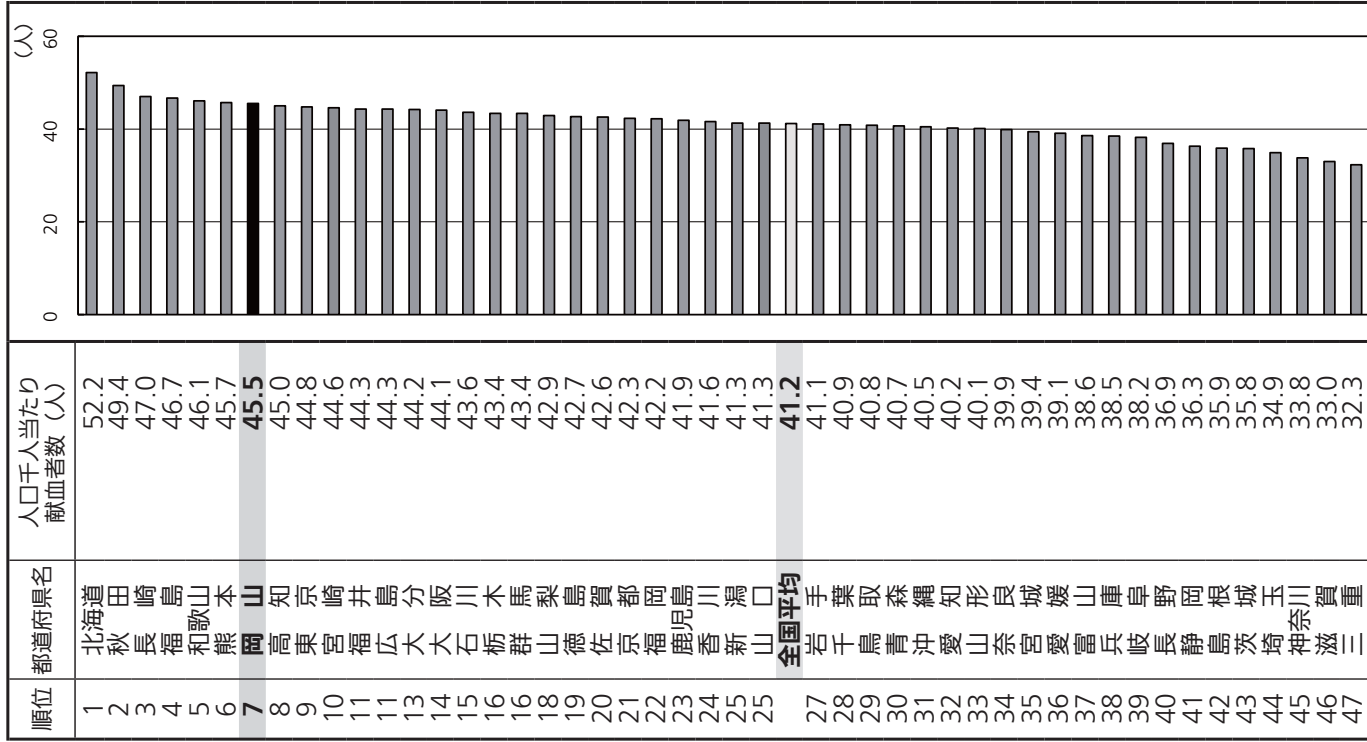


F61

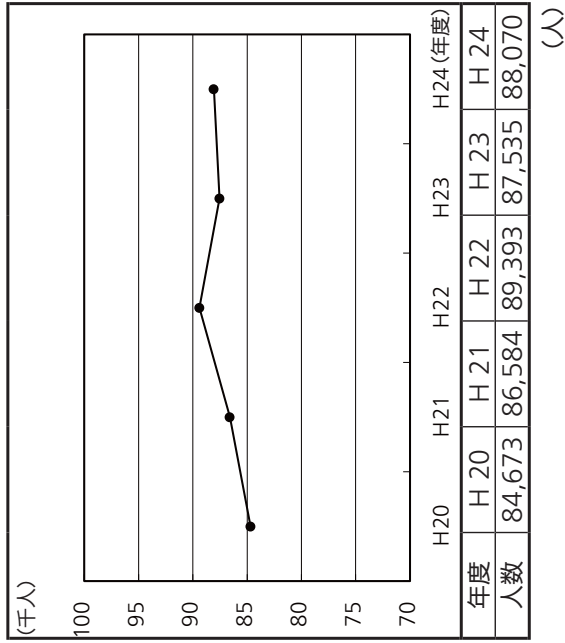
＜資料出所＞

- ・ 調査期間 平成23年度
- ・ 資料出所 厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」

F-62 献血者数（人口千人当たり）

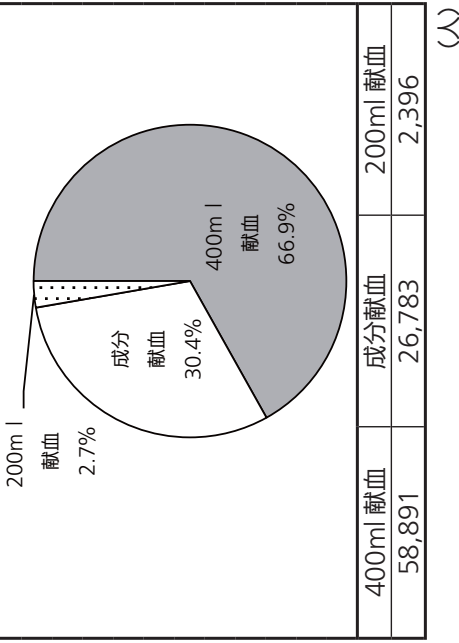


<岡山県の推移>



F 62

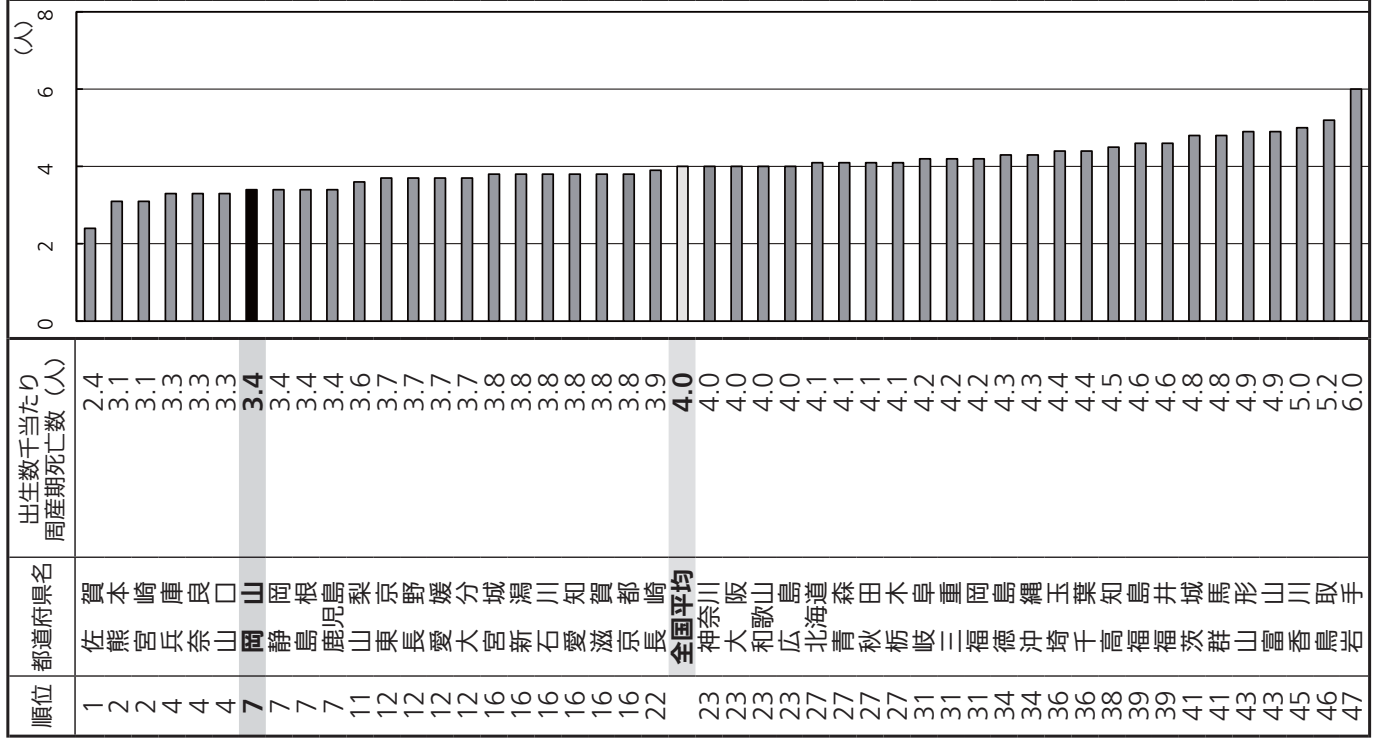
<岡山県の献血者の内訳（献血方法別）>



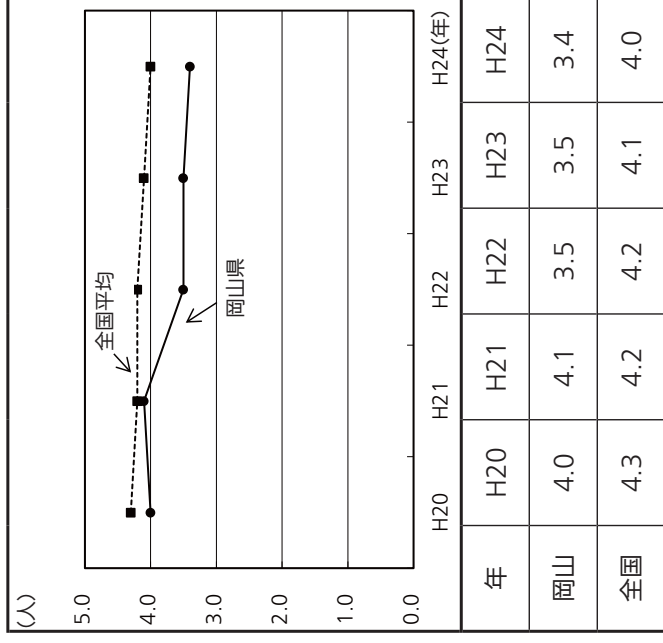
<資料出所他>

- 調査期間 平成 24 年度
- 算出方法 献血者数 ÷ 総人口 × 1,000
- 資料出所 日本赤十字社「血液事業年度報」
- 総人口は、総務省「人口推計年報」（平成 24 年 10 月 1 日時点）を使用

★ F-63 周産期死亡率（出生数千当たり）



＜岡山県の推移＞



F 63

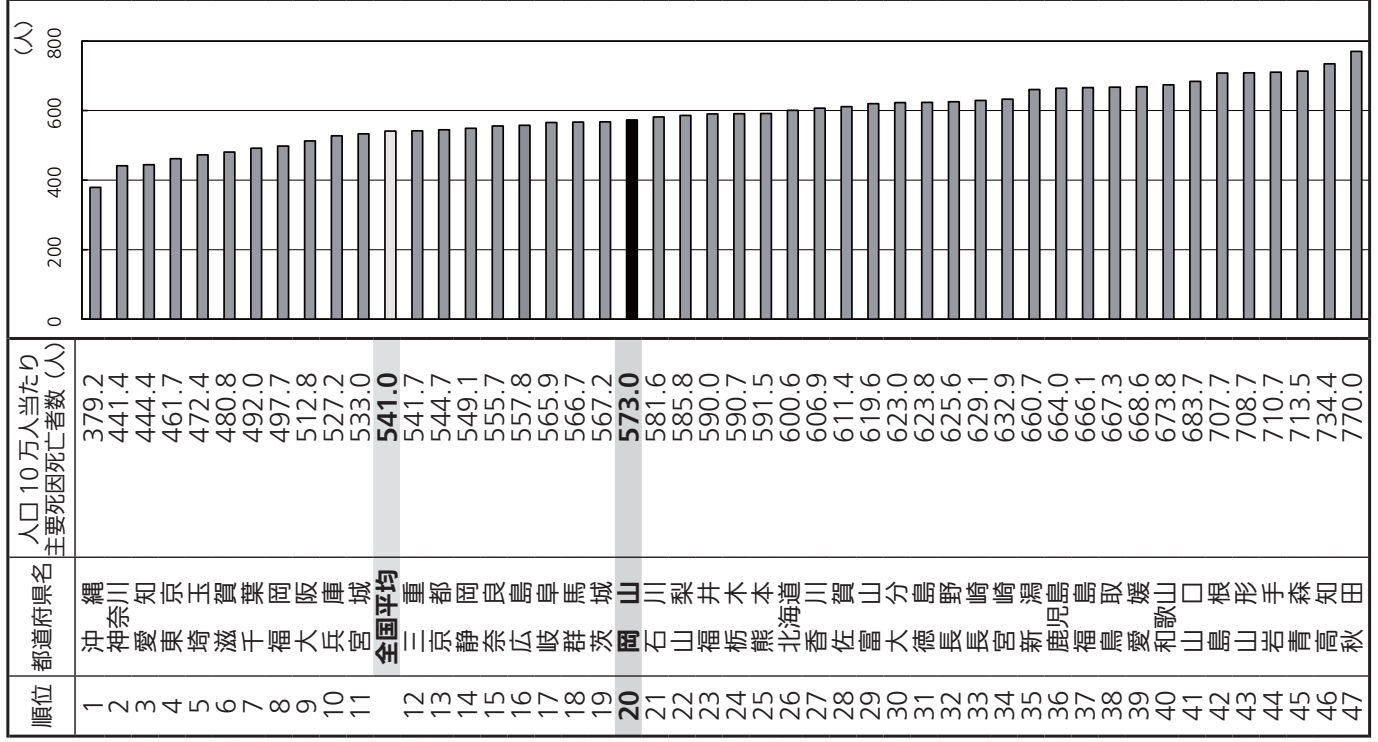
＜岡山県の周産期死亡数＞

(人)	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
年	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
妊娠満22週以後死産	47	53	48	46	43
早期新生児	22	14	11	12	12
総数	69	67	59	58	55

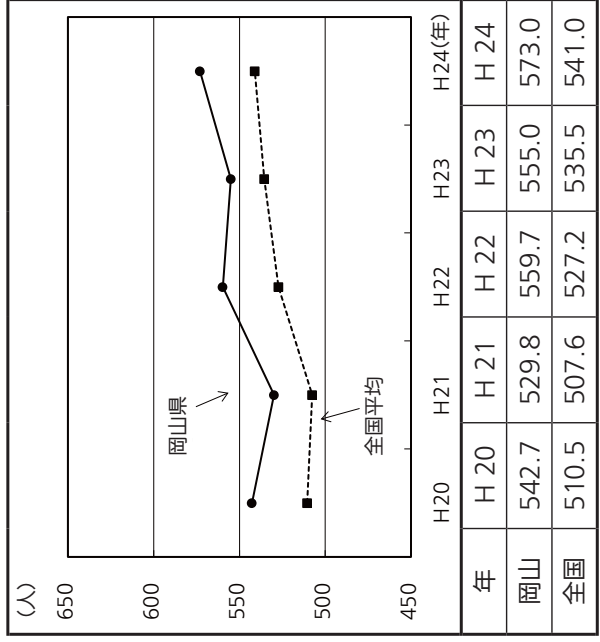
＜資料出所他＞

☆周産期死亡数は、妊娠満22週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡の合計
 ・調査期間 平成24年(1.1～12.31)
 ・資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
 ・集計対象 日本における日本人

★ F-64 主要死因死亡率（人口10万人当たり）



＜岡山県の推移＞



F 64

＜岡山県の主要死因死亡数の推移＞

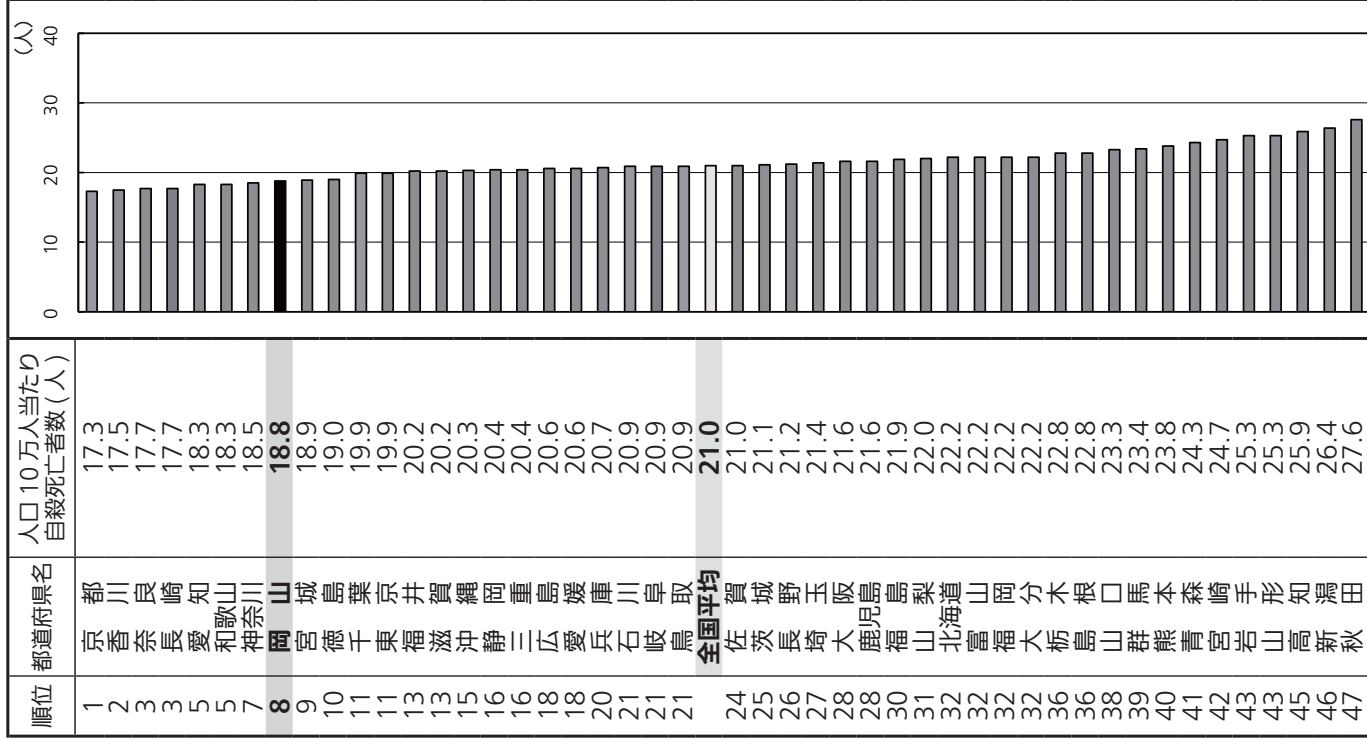
年	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
悪性 新生物	5,244	5,298	5,518	5,400	5,616
心疾患	3,049	2,850	3,121	3,210	3,322
脳血管 疾患	2,279	2,138	2,142	2,063	2,057
全死因	19,393	18,948	20,248	20,407	21,181

＜資料出所他＞

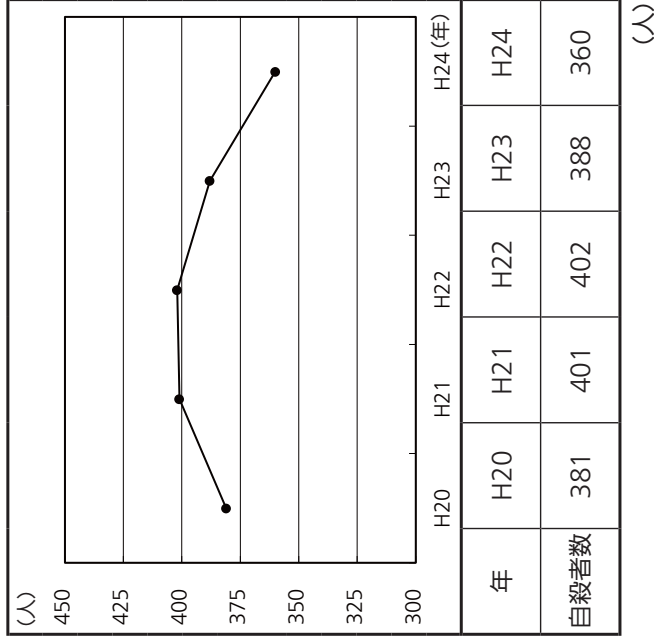
☆ここでの主要死因とは、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患のこと

- ・調査期間 平成24年（1.1～12.31）
- ・算出方法 主要死因死亡数÷日本人人口×100,000
- ・資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
- ・日本人人口は、総務省「人口推計年報」（平成24年10月1日時点）を使用
- ・集計対象 日本における日本人
- ・全国平均には、住所が外国・不詳を含む。

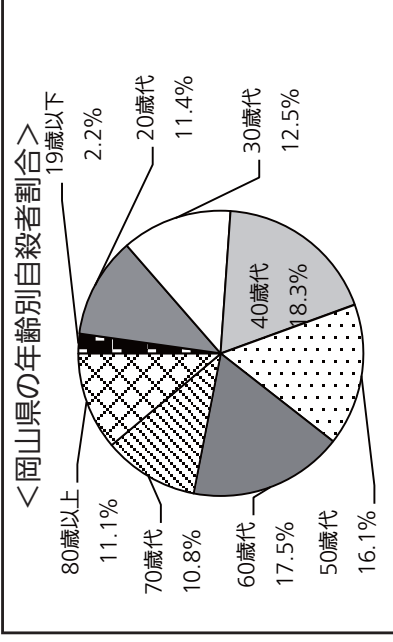
★ F-65 自殺死亡率（人口10万人当たり）



＜岡山県の推移＞



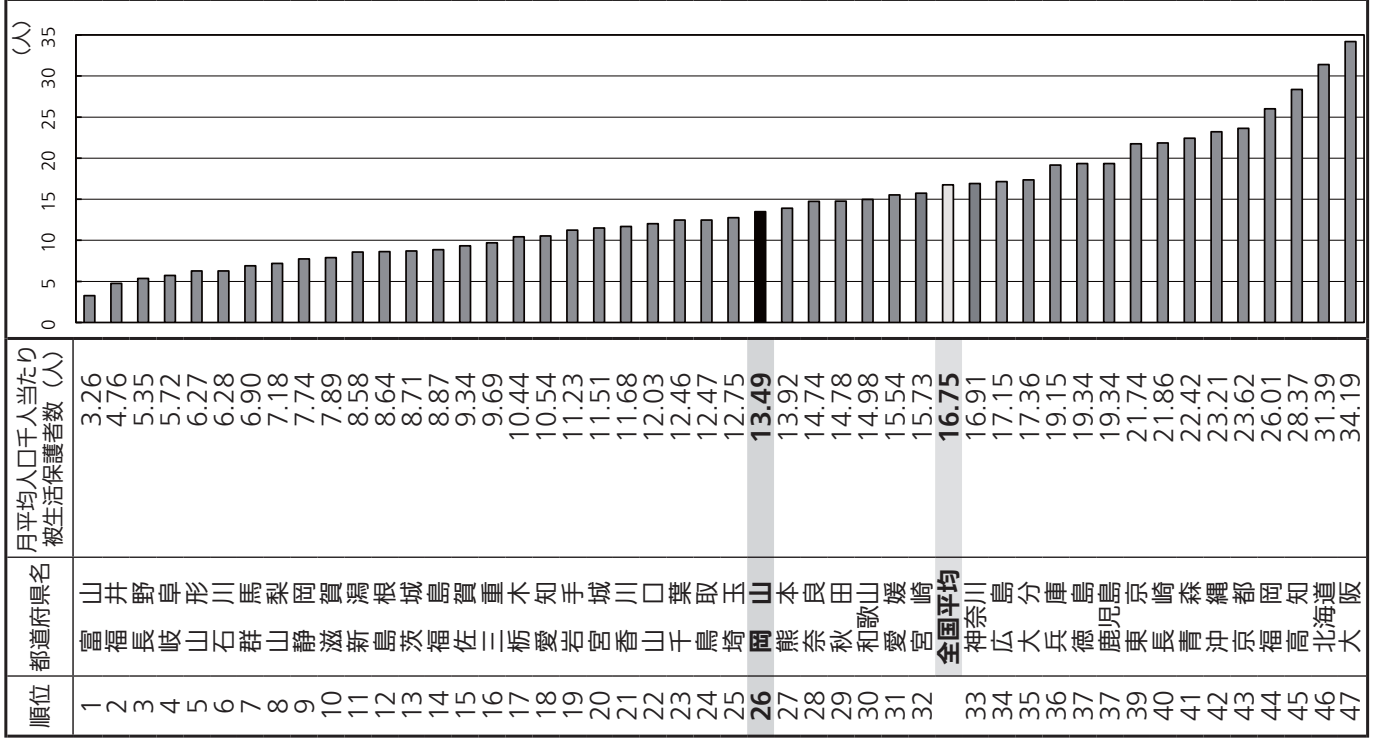
F65



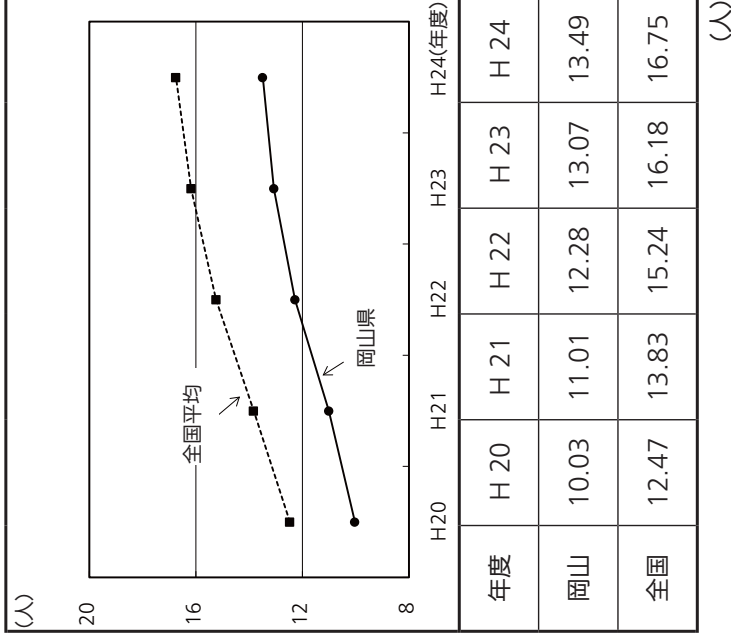
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成24年(1.1～12.31)
- ・ 資料出所 厚生労働省「人口動態統計」
- ・ 集計対象 日本における日本人
- ・ 全国平均には、住所が外国・不詳を含む。

★ F-66 被生活保護者数 (月平均人口千人当たり)



＜岡山県の推移＞



F 66

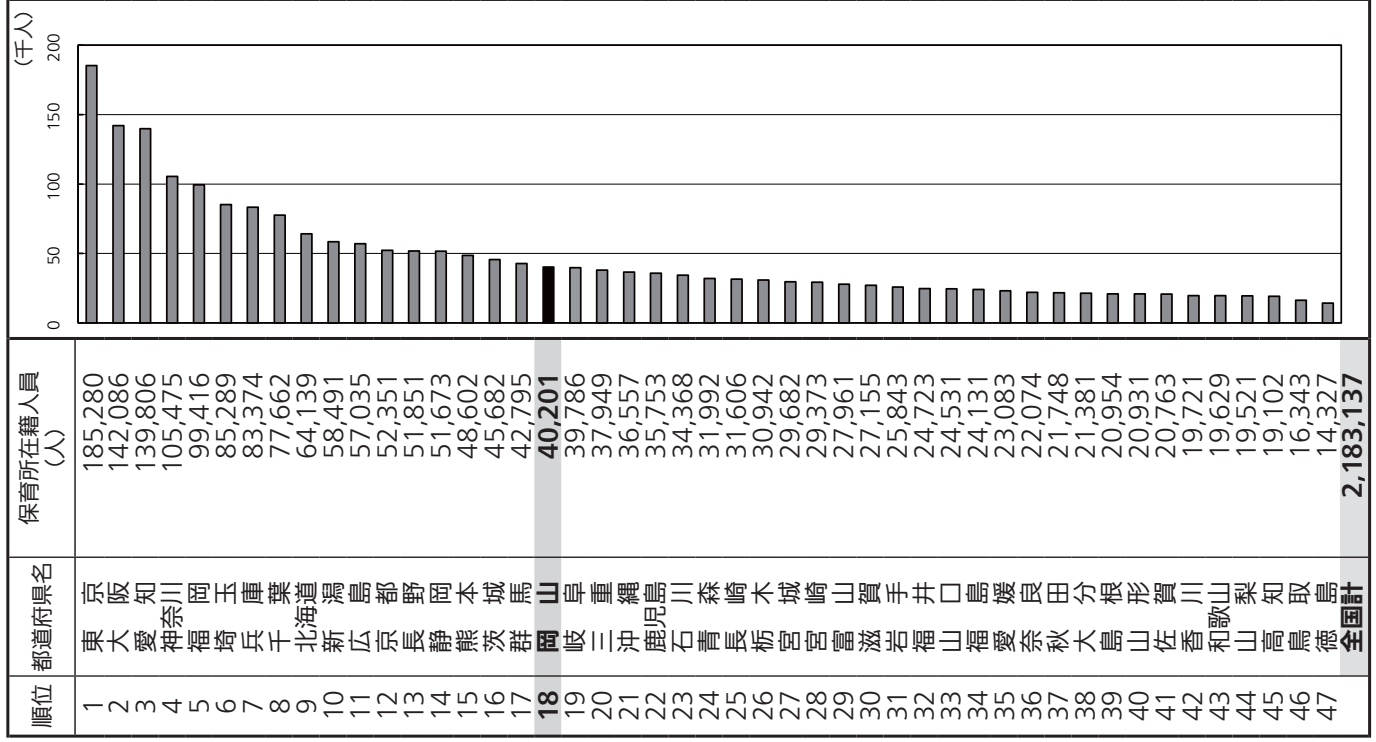
＜岡山県の被生活保護者数＞

年度	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
人数	19,541	21,370	23,882	25,358	26,112

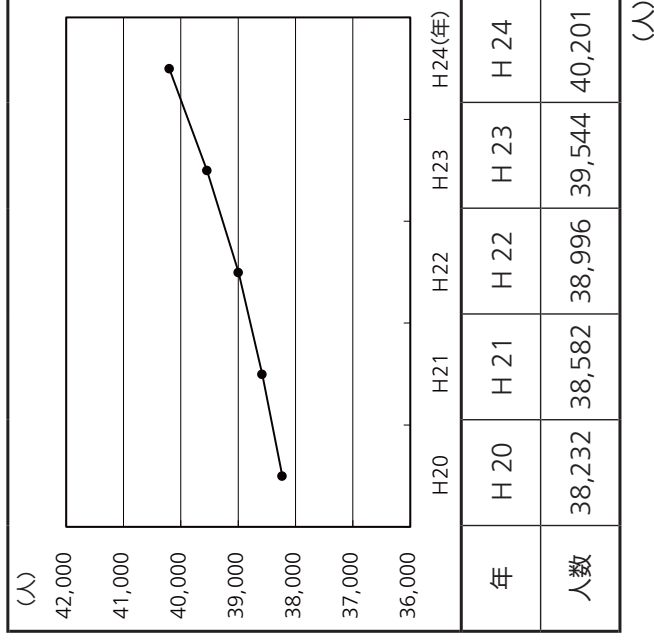
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成 24 年度
- ・ 算出方法 被生活保護実人員 (1 ヶ月平均) ÷ 総人口 × 1,000
- ・ 資料出所 厚生労働省「被保護者調査 (月別概要)」
総人口は、総務省「人口推計年報」(平成 24 年 10 月 1 日時点)を使用

F-67 保育所在籍人員



<岡山県の推移>



F 67

<岡山県の保育所数>

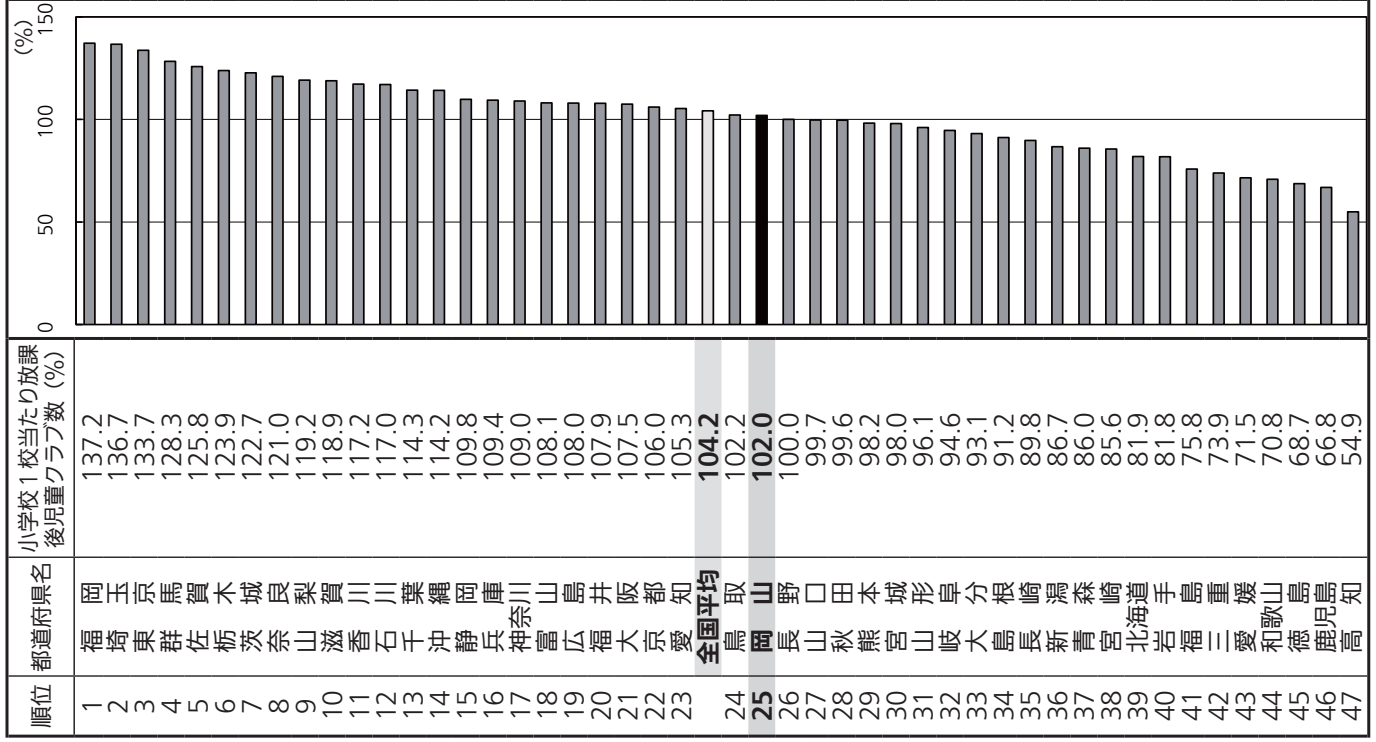
年	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
保育所数	398	396	399	402	403

(施設)

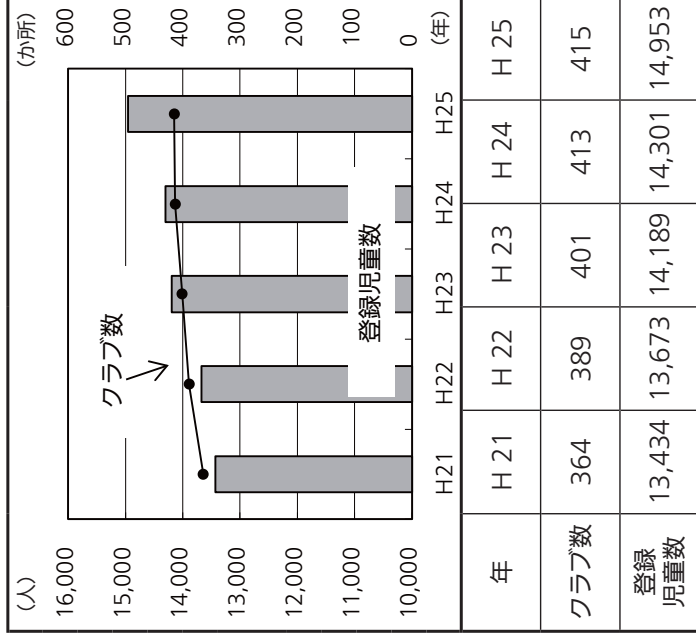
<資料出所他>

- ・調査時点 平成 24 年 4 月 1 日
- ・資料出所 厚生労働省「福祉行政報告例」
- ・東日本大震災の影響により、福島県（郡山市及びいわき市以外）の一部を除いて集計した数値

F-68 放課後児童クラブ数（小学校1校当たり）



<岡山県の推移>



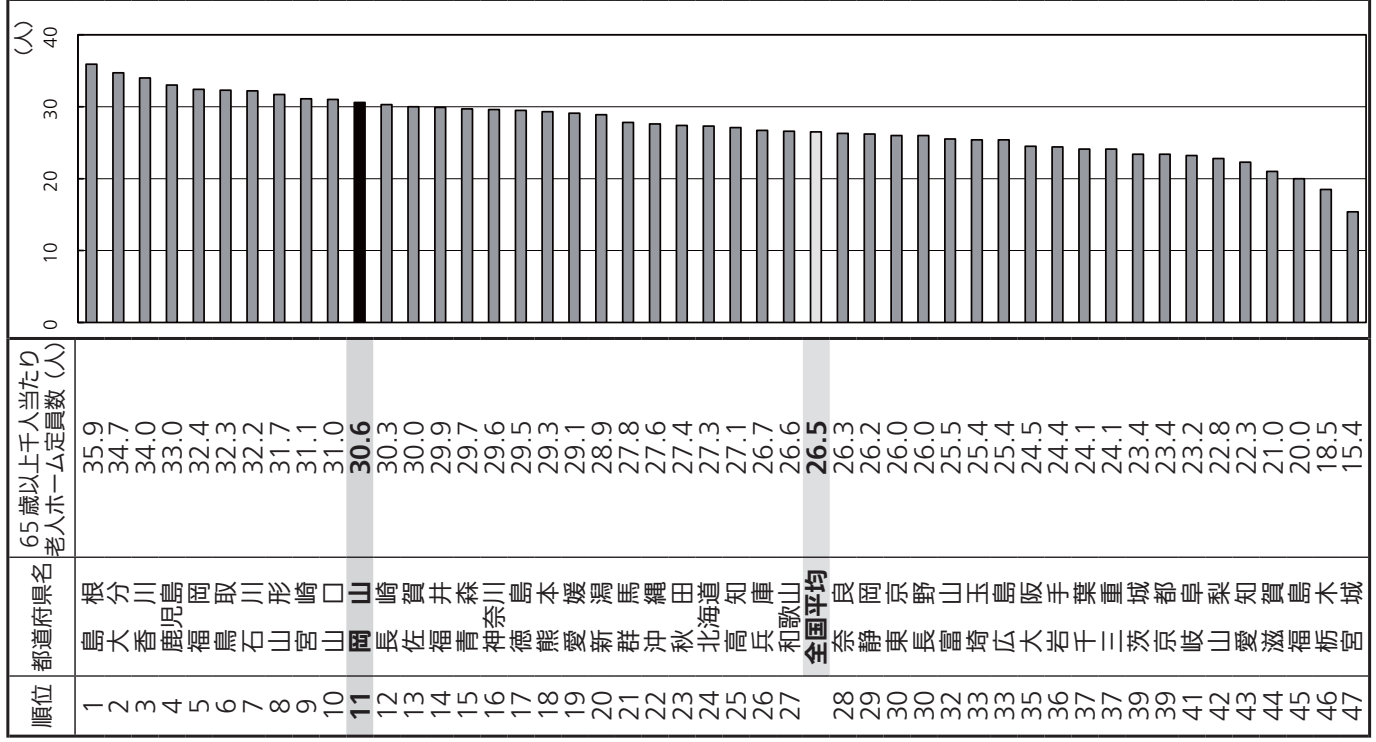
F 68

<資料出所他>

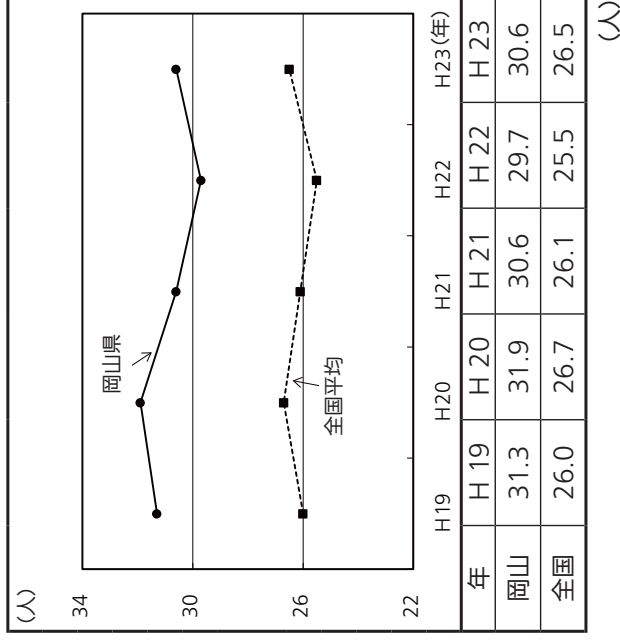
☆放課後児童クラブは、仕事や病気などで昼間保護者がいない小学校などに通う児童に、遊びや集団生活の場を提供して、その健全な育成を図る事業のことである。

- ・調査時点 平成25年5月1日
- ・算出方法 放課後児童クラブ数÷公立小学校数(本校)×100
- ・資料出所 厚生労働省 資料「放課後児童クラブ数及び登録児童数」
小学校数は、文部科学省「学校基本調査」(平成25年5月1日時点)を使用

F-69 老人ホーム定員数 (65歳以上人口千人当たり)

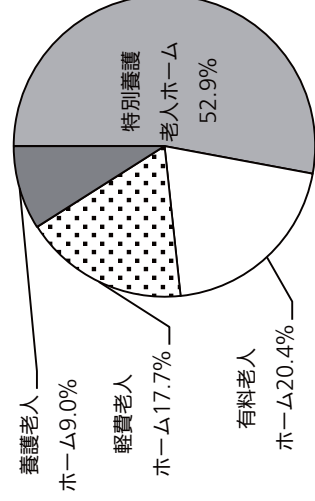


<岡山県の推移>



F 69

<岡山県の施設種類別定員割合>



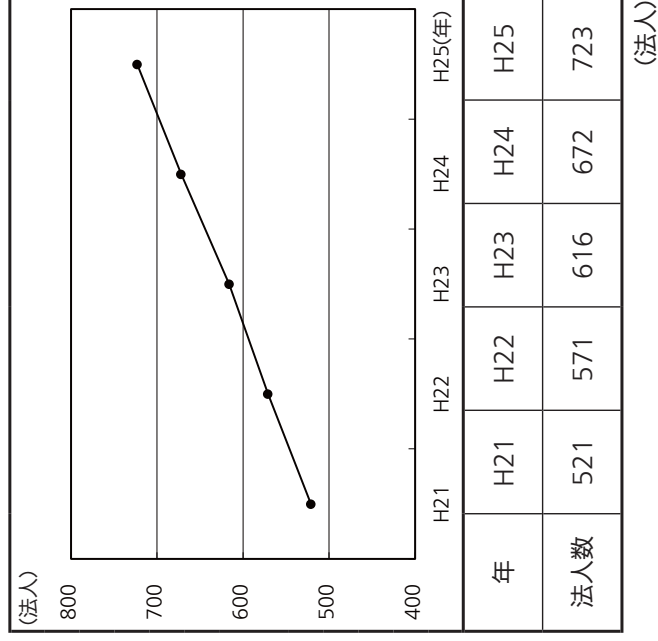
<資料出所他>

☆老人ホームとは、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームのこと
 ・調査時点 平成23年10月1日
 ・算出方法 定員数÷65歳以上人口×1,000
 ・資料出所 厚生労働省「社会福祉施設等調査」
 「介護サービス施設・事業所調査」
 ・特別養護老人ホームは、「介護サービス施設・事業所調査」にて、介護老人福祉施設として把握した数値

F-70 NPO認証法人数（人口10万人当たり）

順位	都道府県名	人口10万人当たり NPO 認証法人数 (法人)
1	京都	70.7
2	東京	50.4
3	鹿児島	48.8
4	山梨	48.4
5	長野	43.5
6	滋賀	42.6
7	大分	42.1
8	鳥取	41.6
9	徳島	41.4
9	佐賀	41.4
11	沖縄	41.3
12	高知	40.3
13	群馬	40.2
14	福島	39.2
15	大熊	38.7
16	熊本	38.5
17	全国平均	37.9
18	岡山	37.6
18	山根	37.2
19	北海道	36.6
20	和歌山	36.4
21	神奈川	36.2
22	宮崎	35.7
23	岐阜	35.6
24	三奈	35.3
24	兵衛	35.2
26	長庫	35.2
27	形手	34.2
28	福岡	34.0
29	香宮	33.5
30	長富	32.7
31	秋静	32.4
32	山田	31.7
33	岡井	31.6
34	茨城	31.0
34	静福	31.0
36	千葉	30.8
37	川島	30.7
38	愛媛	29.9
39	山口	29.4
40	徳島	29.2
41	島根	28.9
42	木島	28.7
43	濃森	27.1
44	茨城	27.0
44	青森	27.0
46	埼玉	24.2
47	愛知	24.1

<岡山県の推移>



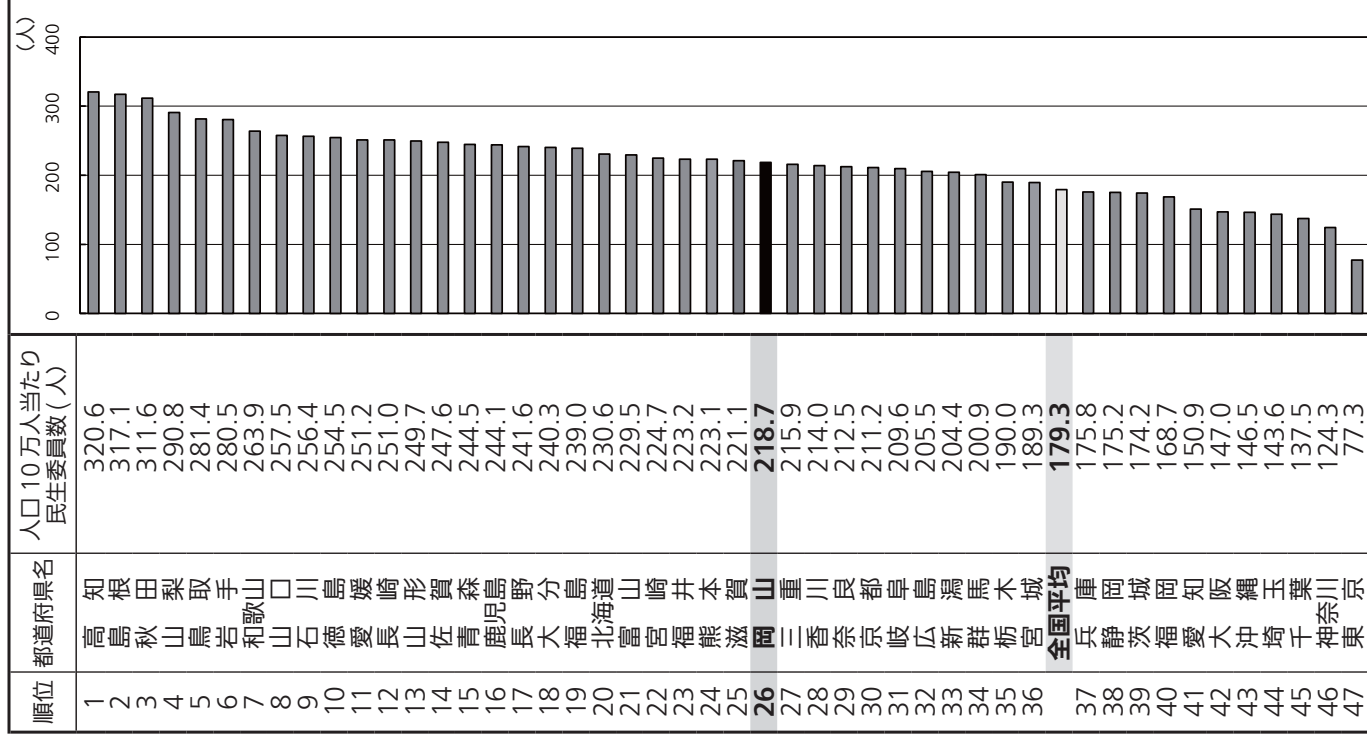
F70

<資料出所他>

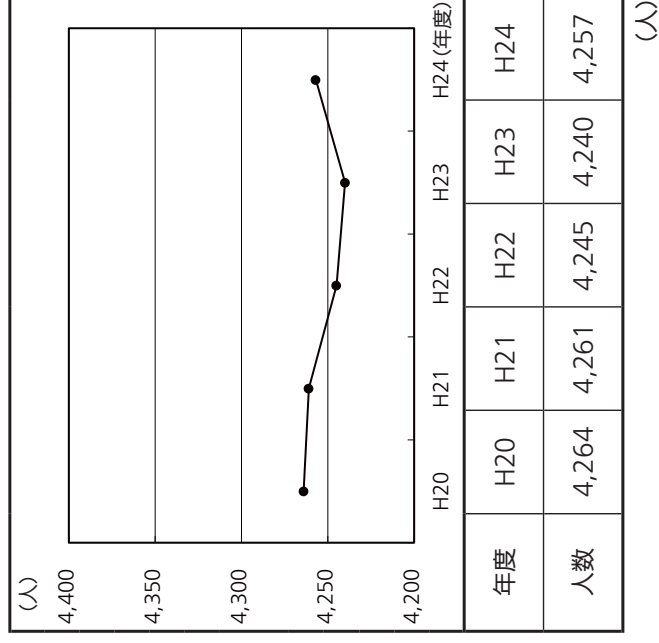
☆NPO法人とは、特定非営利活動団体のことで、不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とした活動を行う団体に、法人格を与えたもの

- ・調査時点 平成25年12月31日
- ・資料出所 内閣府 資料 NPO法人情報
- 総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成25年3月31日時点）を使用

F-71 民生委員（児童委員）数（人口10万人当たり）



<岡山県の推移>



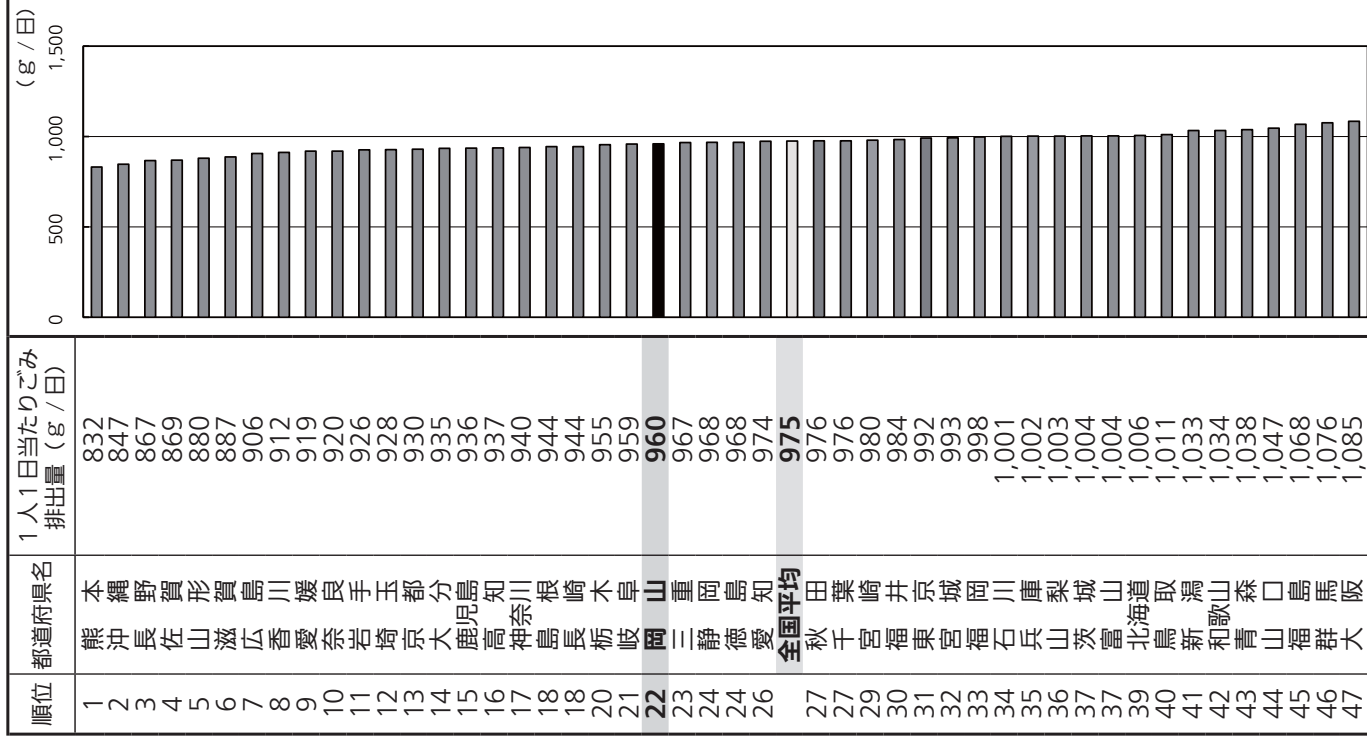
F71

<資料出所他>

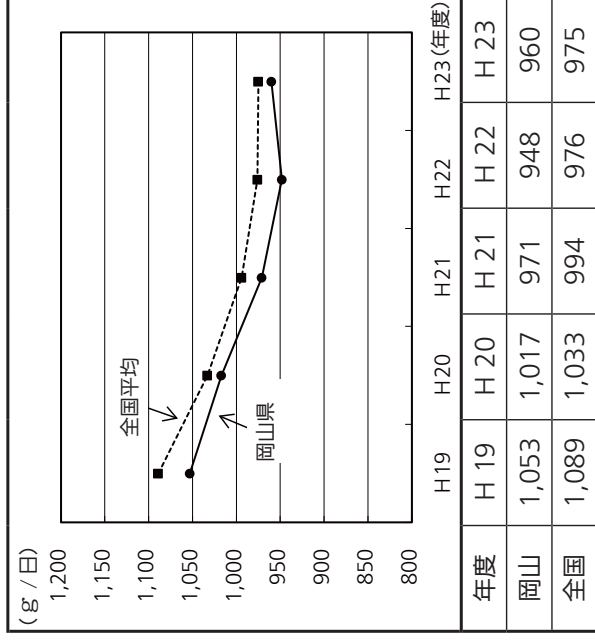
- ・調査時点 平成25年3月31日
- ・算出方法 民生委員（児童委員）÷総人口×100,000
- ・資料出所 厚生労働省「福祉行政報告例」
総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成25年3月31日時点）を使用

G 家計・居住環境

* G-72 ごみ排出量 (1人1日あたり)



< 岡山県の推移 >



G72

(1人当g/日)

< 岡山県のごみ総排出量 >

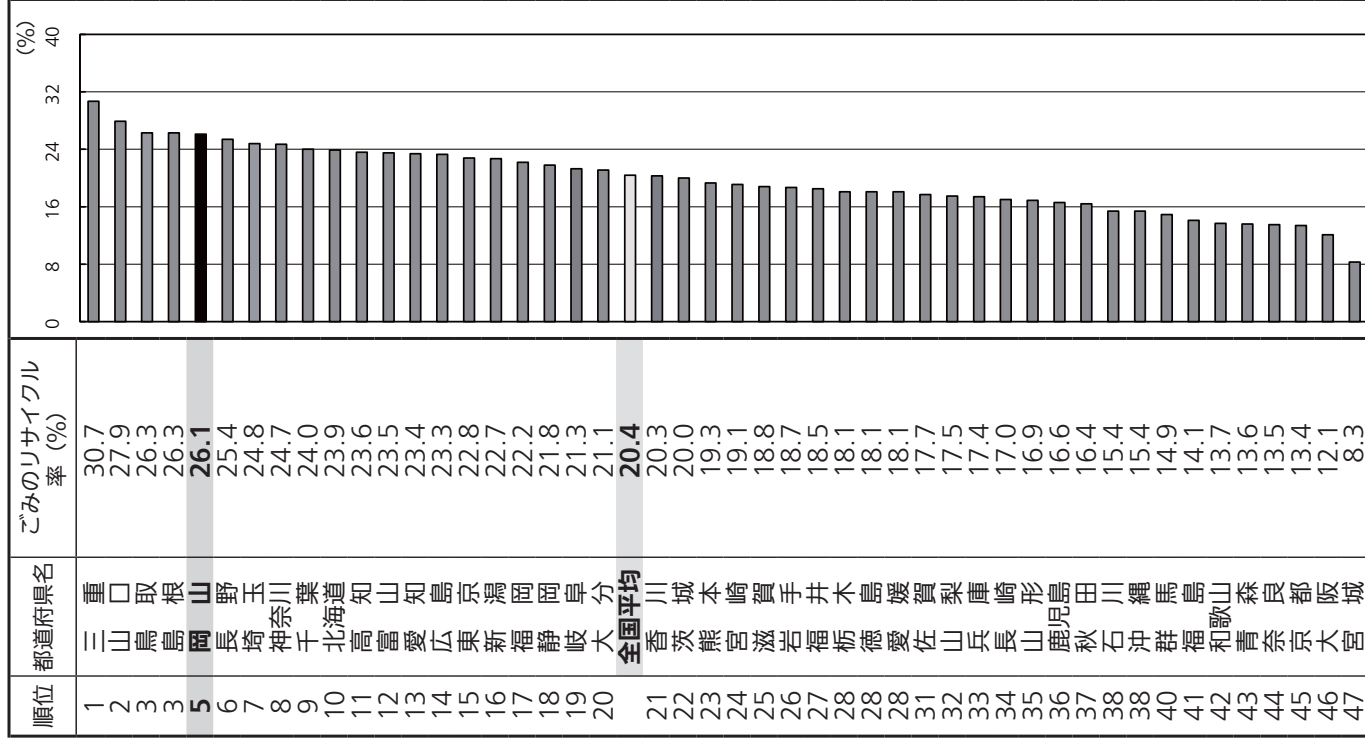
ごみ総排出量	収集ごみ量
混合ごみ	0
可燃ごみ	495,144
不燃ごみ	18,044
資源ごみ	39,464
その他	271
粗大ごみ	3,790
小計	556,713
直接搬入ごみ	77,533
集団回収量	46,699
合計	680,945

(t/年)

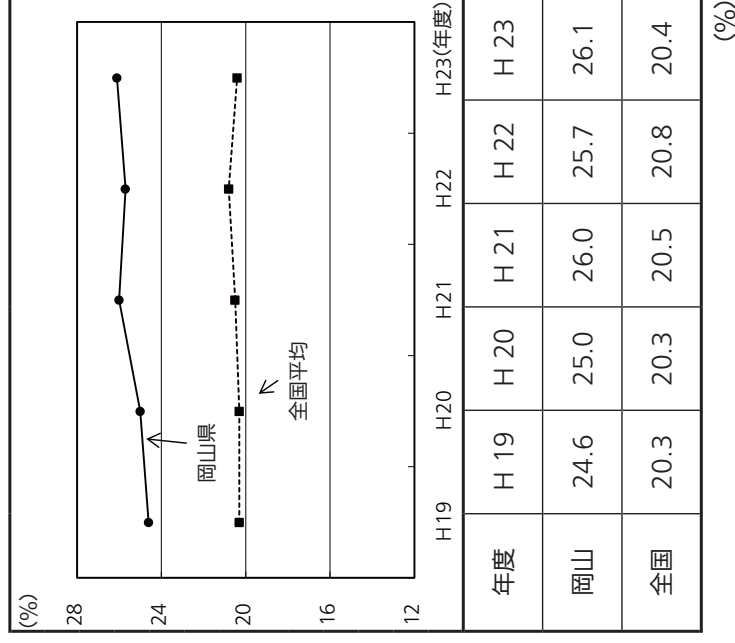
< 資料出所 >

- ・ 調査期間 平成23年度
- ・ 算出方法 (ごみ総排出量t) × 1,000,000 ÷ 総人口 ÷ 366
- ・ 資料出所 環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

G-73 ごみのリサイクル率



<岡山県の推移>

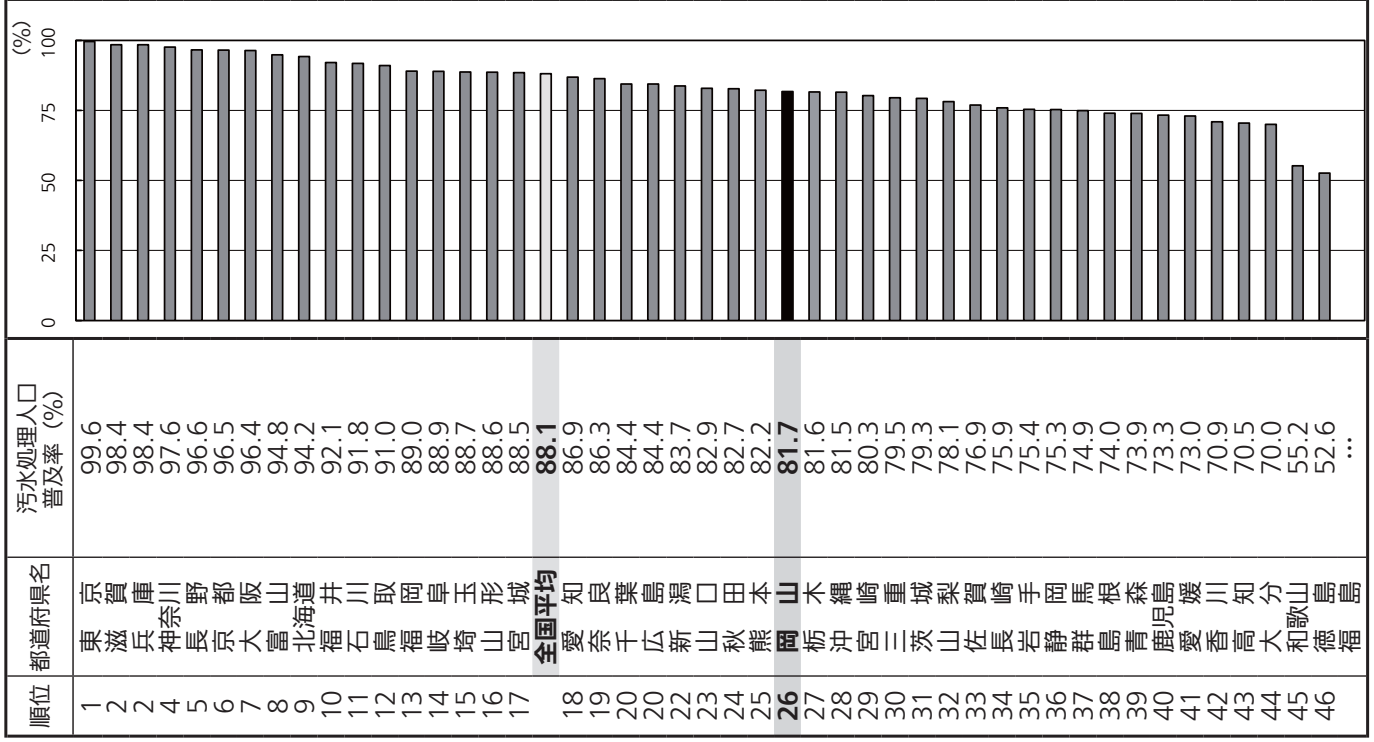


G73

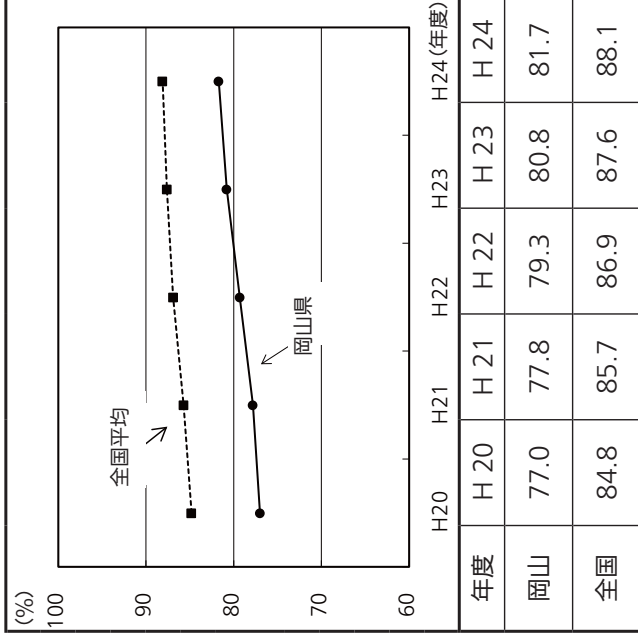
<資料出所>

- ・ 調査期間 平成23年度
- ・ 算出方法 (直接資源化量 + 中間処理後再生利用量 + 集団回収量) ÷ (ごみ処理量 + 集団回収量) × 100
- ・ 資料出所 環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

G-74 汚水処理人口普及率

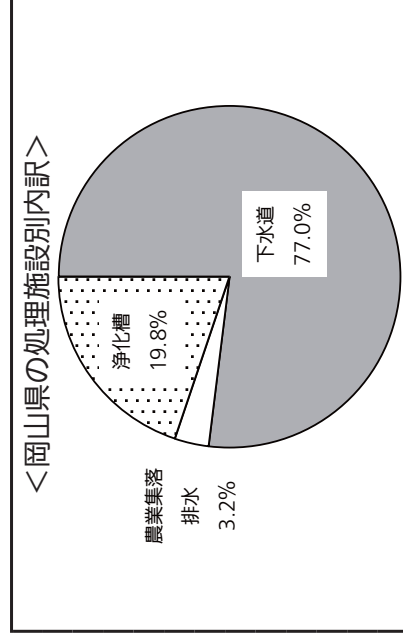


<岡山県の推移>



G74

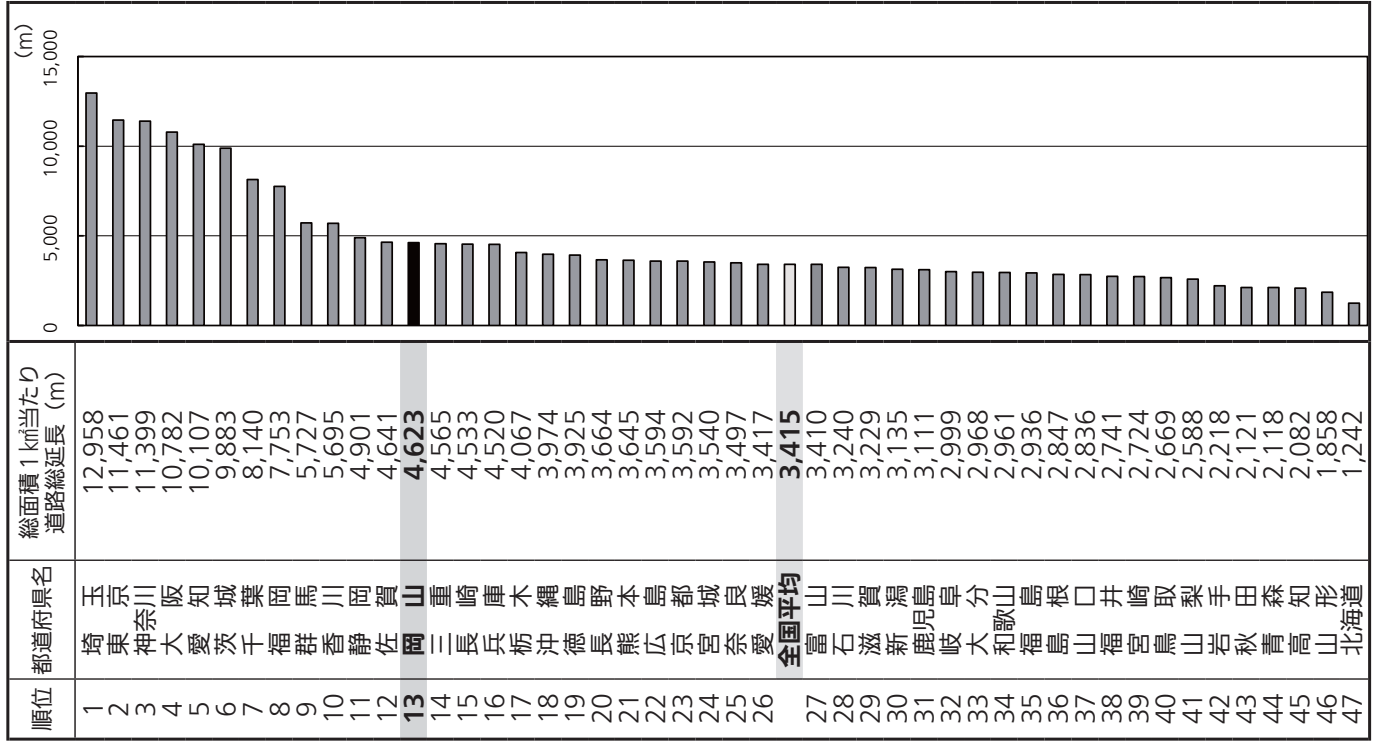
<岡山県の処理施設別内訳>



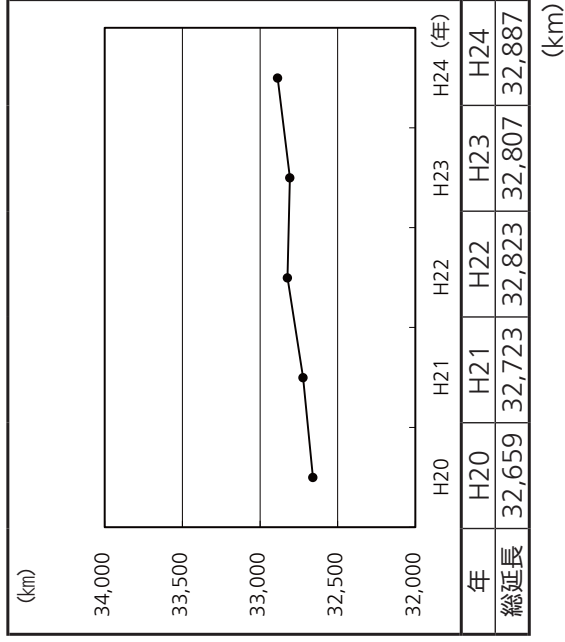
<資料出所他>

☆汚水処理施設には下水道、農業集落排水施設等、浄化槽などがある。
 ・調査時点 平成25年3月31日
 ・資料出所 国土交通省管理・国土保全局下水道部資料
 ※福島県を除く。

G-75 道路総延長 (総面積 1 km² 当たり)

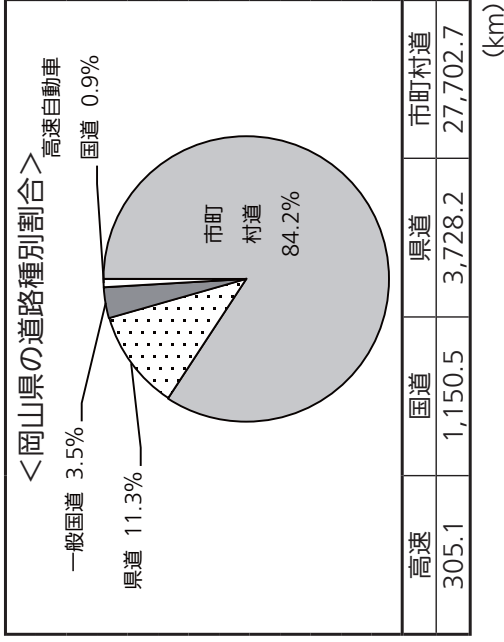


<岡山県の推移>



G75

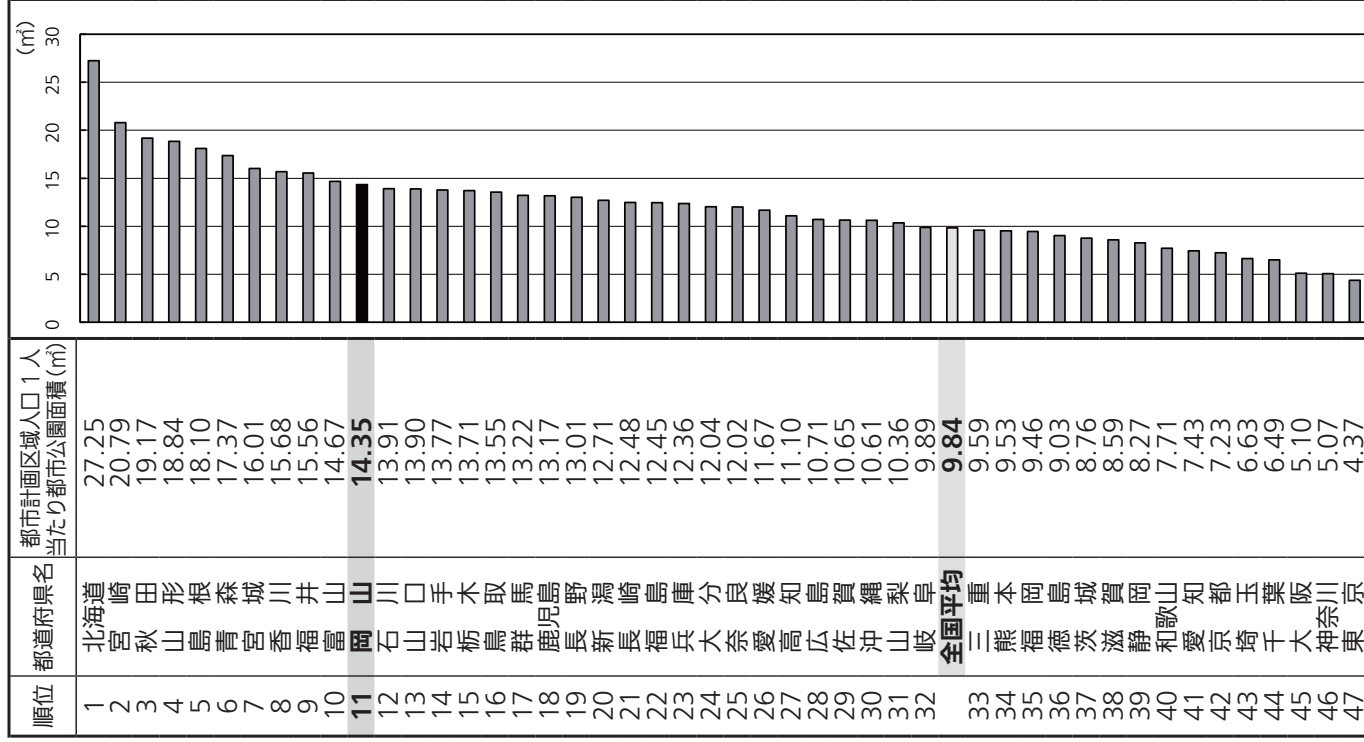
<岡山県の道路種別割合>



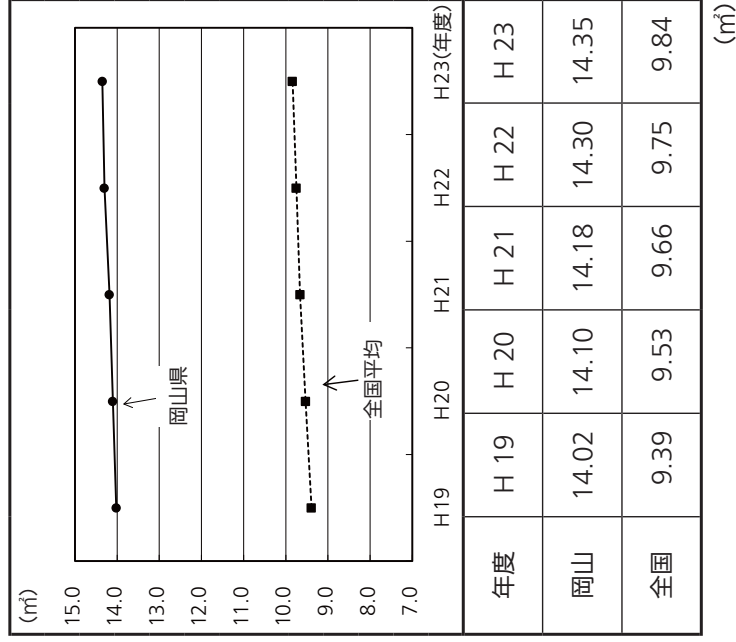
<資料出所他>

- 調査時点 平成 24 年 4 月 1 日
- 算出方法 道路総延長 ÷ 総面積
- 資料出所 国土交通省「道路統計年報」
総面積は、国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」(平成 24 年 10 月 1 日時点) を使用
※北方地域及び竹島を除く。

G-76 都市公園面積（都市計画区域人口1人当たり）



<岡山県の推移>



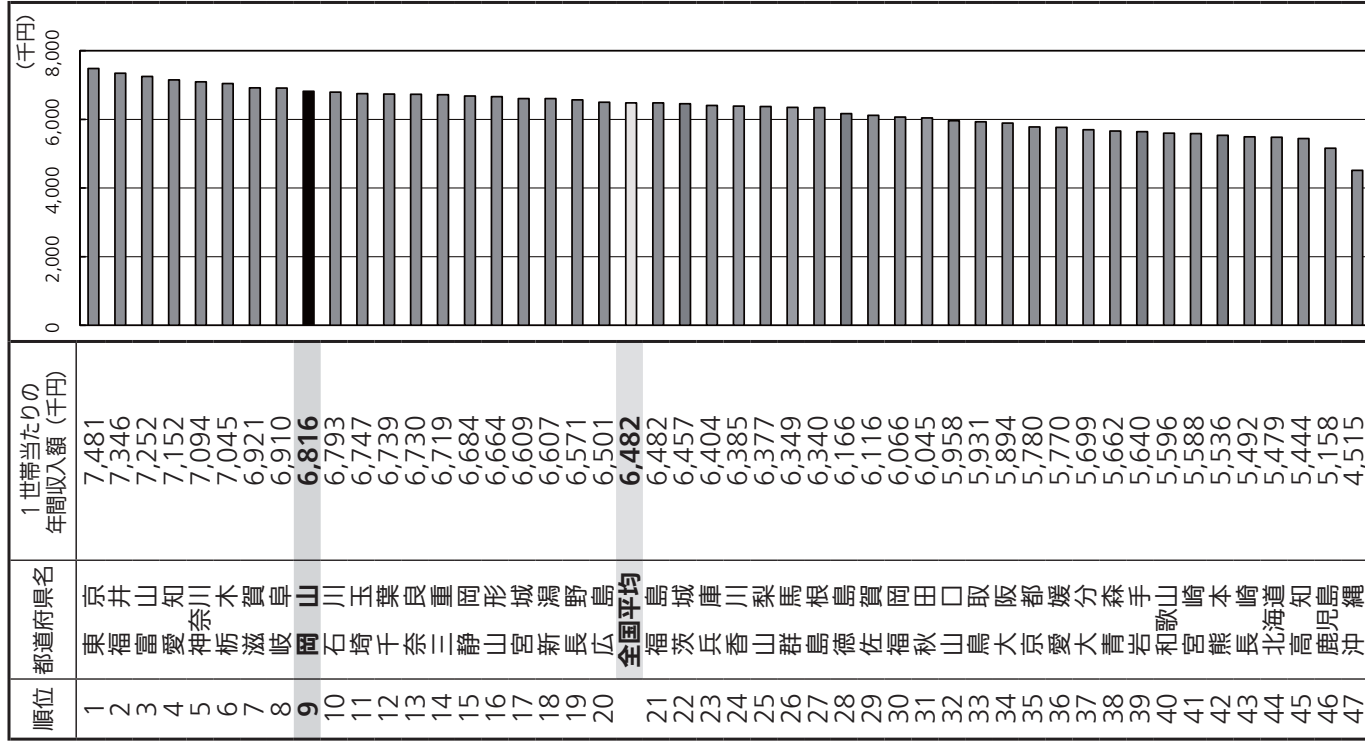
G76

<資料出所他>

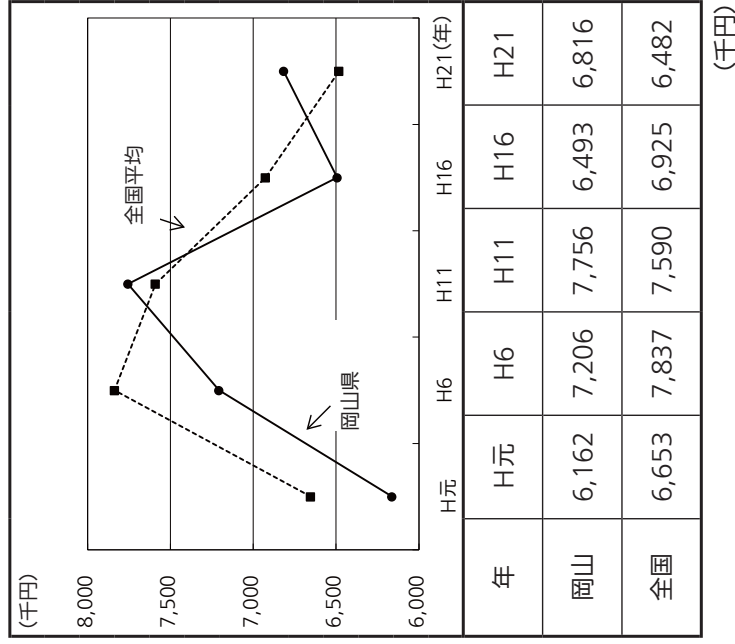
☆都市公園とは、都市計画区域において都市公園法に基づき設置された公園のこと

- ・調査時点 平成24年3月31日
- ・資料出所 国土交通省「都道府県別都市公園整備水準調査」

G-77 家計年間収入額(2人以上の世帯、1世帯当たり)



<岡山県の推移>



G77

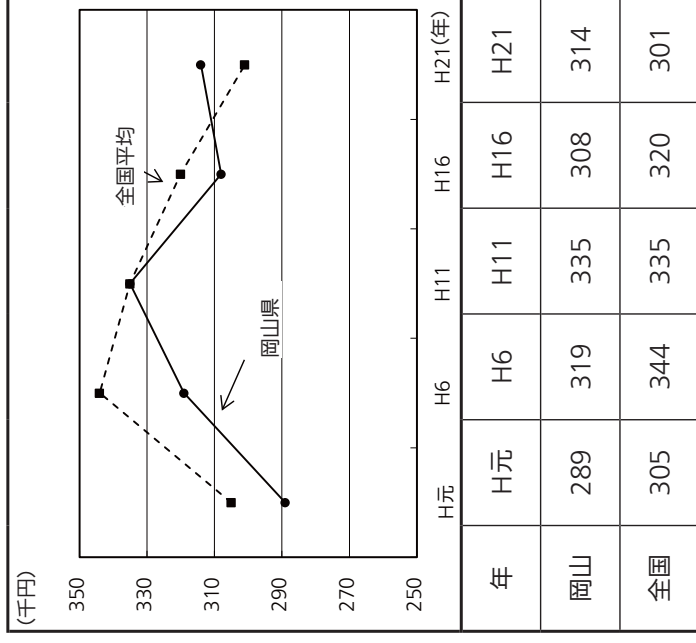
<資料出所他>

- ・調査期間 平成20年12月から平成21年11月
- ・資料出所 総務省「平成21年全国消費実態調査」(5年毎)

G-78 1か月間の消費支出額（2人以上の世帯、1世帯当たり）

順位	都道府県名	1世帯当たりの1か月間の消費支出額（円）	(千円/月)
1	山	344,212	
2	雷	329,004	
3	神	327,550	
4	奈	323,407	
5	東	323,344	
6	滋	318,444	
7	岐	318,178	
8	新	314,425	
9	岡	314,229	
10	愛	314,218	
11	千	313,685	
12	福	313,012	
13	埼	311,595	
14	広	311,479	
15	宮	311,136	
16	重	309,886	
17	庫	309,012	
18	川	307,170	
19	城	306,588	
20	岡	305,482	
21	川	305,444	
22	野	305,019	
23	島	302,849	
	全国平均	300,936	
24	山	297,262	
25	群	294,391	
26	島	293,022	
27	根	289,167	
28	梨	289,040	
29	口	288,834	
30	分	288,267	
31	島	287,995	
32	田	285,211	
33	岡	283,326	
34	都	277,930	
35	阪	273,876	
36	賀	273,764	
37	手	273,071	
38	和	272,657	
39	歌	270,331	
40	山	268,466	
41	愛	267,577	
42	鳥	263,159	
43	高	262,094	
44	北	260,126	
45	海	258,948	
46	鹿	256,032	
47	宮	223,133	
	児		
	島		
	崎		
	森		
	本		
	崎		
	長		
	沖		

<岡山県の推移>



G78

(千円)

<岡山県の消費支出額の内訳>

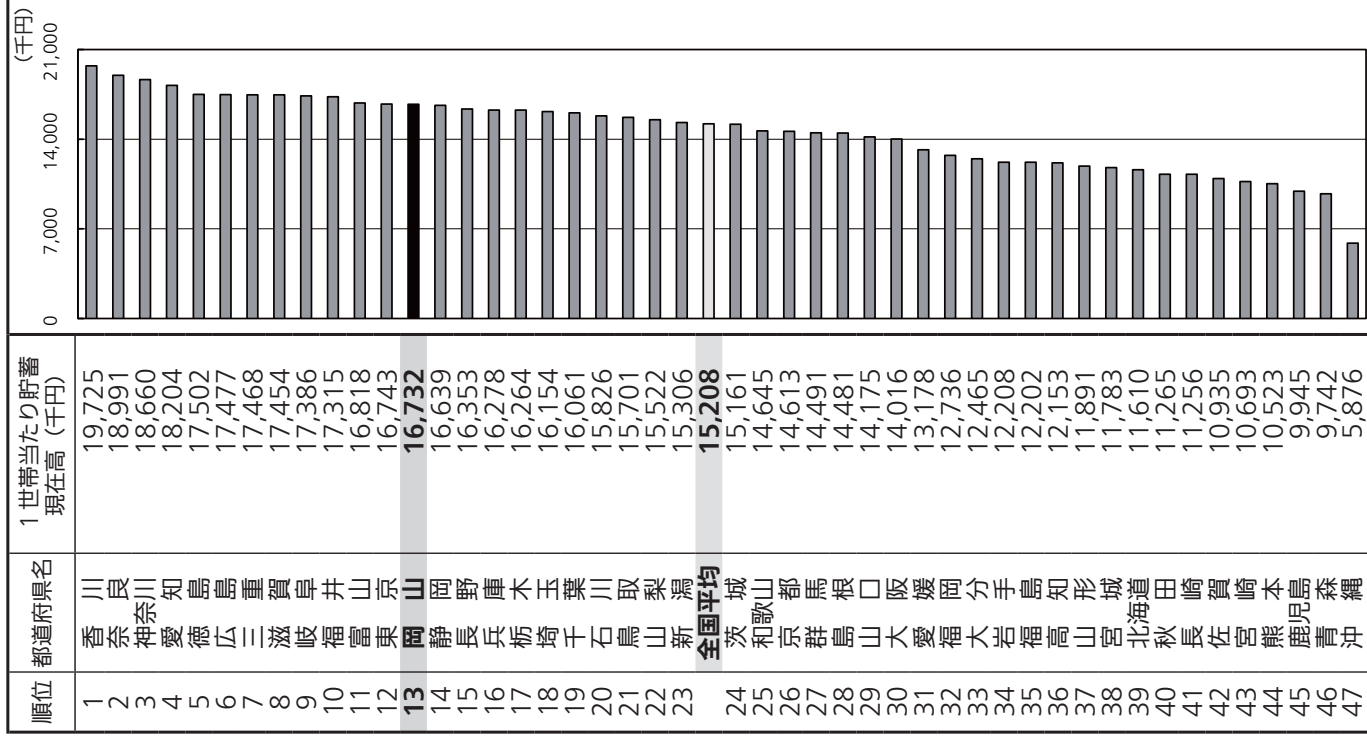
食料	66,490
住居	22,611
光熱・水道	19,784
家具・家事用品	11,174
被服及び履物	12,769
保健医療	14,535
交通・通信	45,082
教育	14,042
教養娯楽	32,377
その他	75,365

(円)

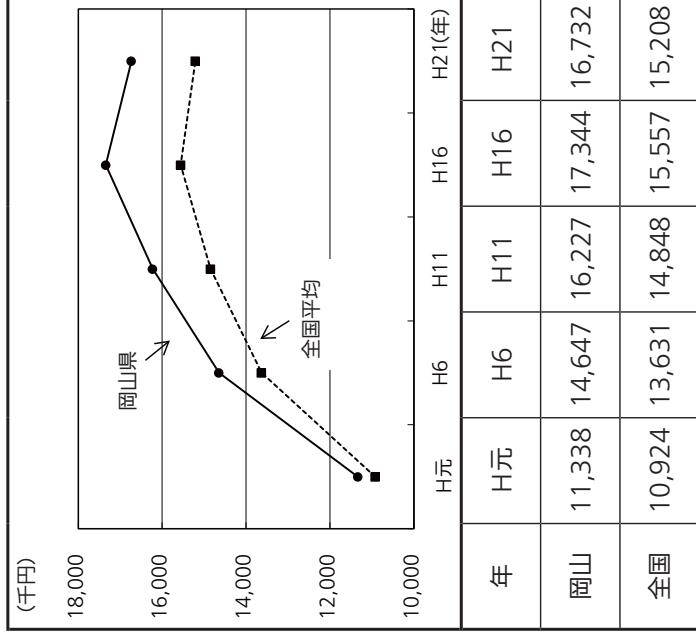
<資料出所他>

- ・調査期間 平成21年9月から11月
- ・資料出所 総務省「平成21年全国消費実態調査」(5年毎)

G-79 貯蓄現在高（2人以上の世帯、1世帯当たり）



<岡山県の推移>



G79

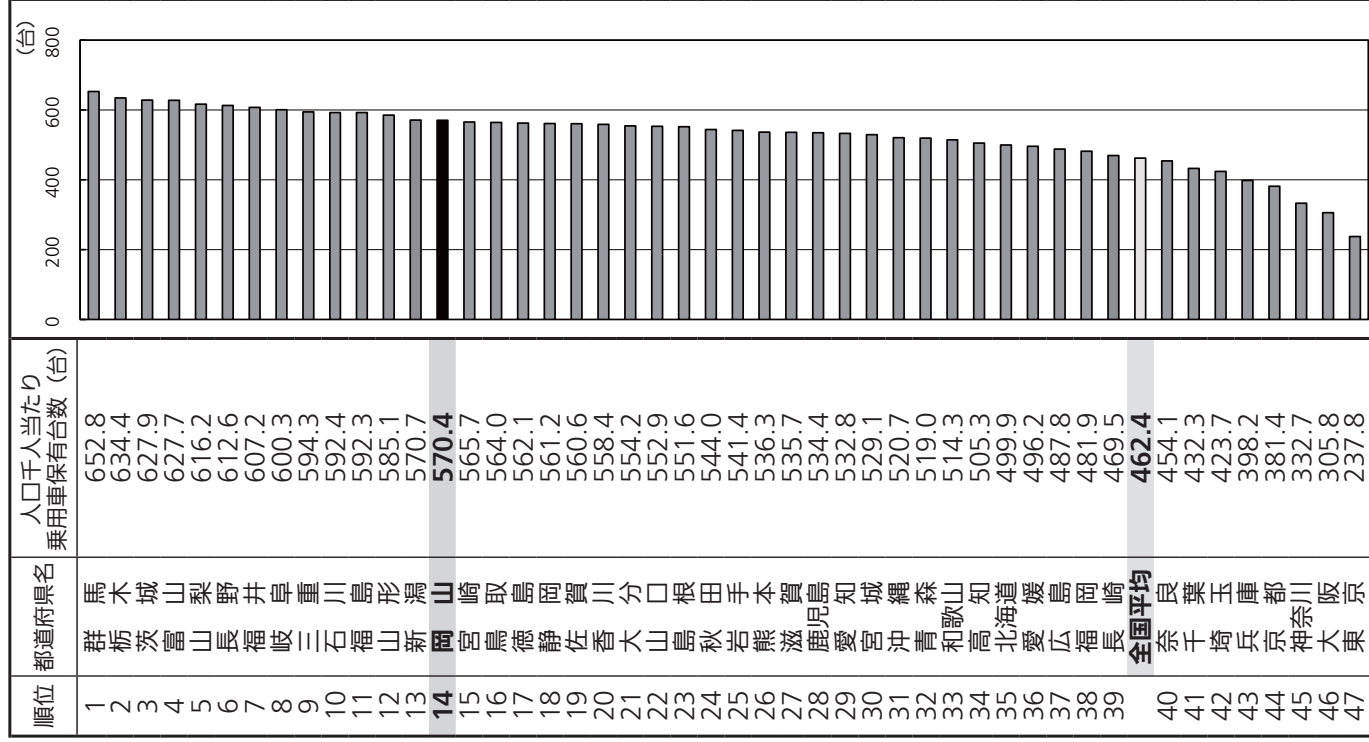
<岡山県の消費支出額の内訳>

貯蓄現在高	(千円)
通貨性預貯金	16,732
普通銀行等	2,752
郵便貯金銀行	1,990
定期性預貯金	762
普通銀行等	7,052
郵便貯金銀行	4,600
生命保険など	2,452
有価証券	4,226
その他	2,470
	231

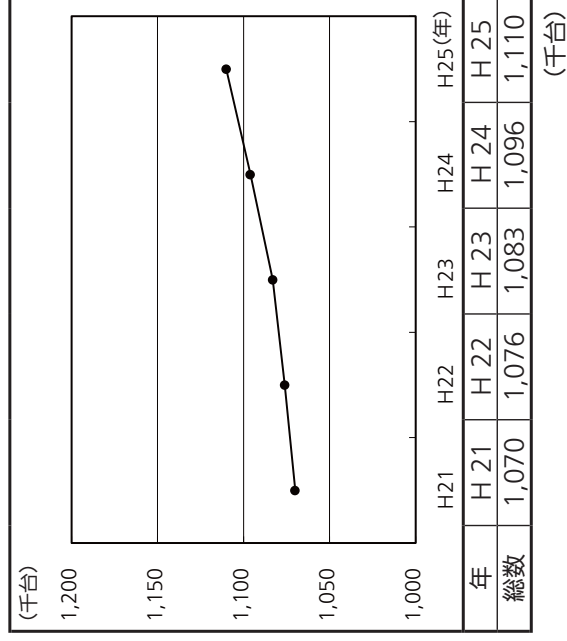
<資料出所他>

- ・調査時点 平成21年11月末
- ・資料出所 総務省「平成21年全国消費実態調査」(5年毎)

G-80 乗用車保有台数（人口千人当たり）

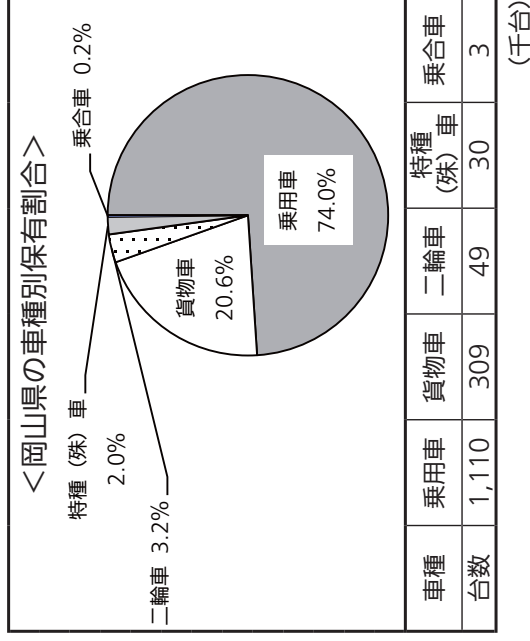


<岡山県の推移>



G80

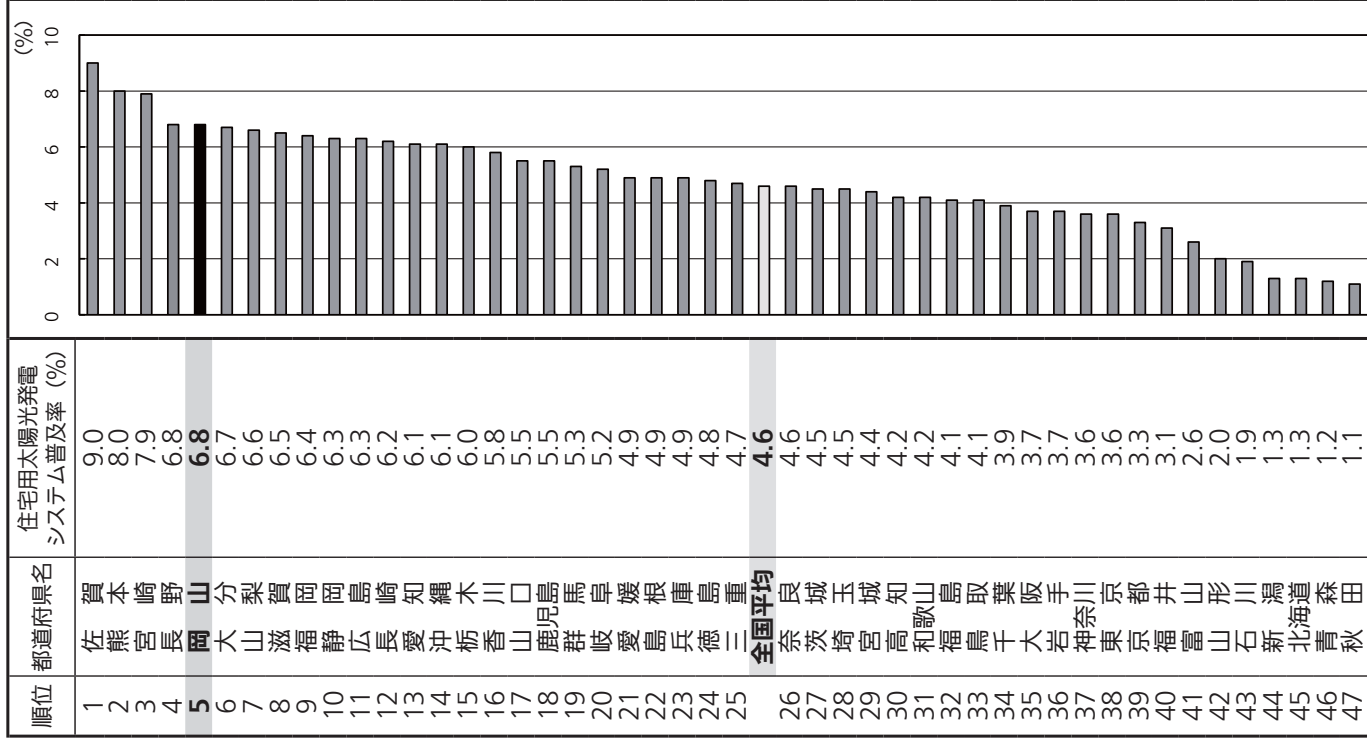
<岡山県の車種別保有割合>



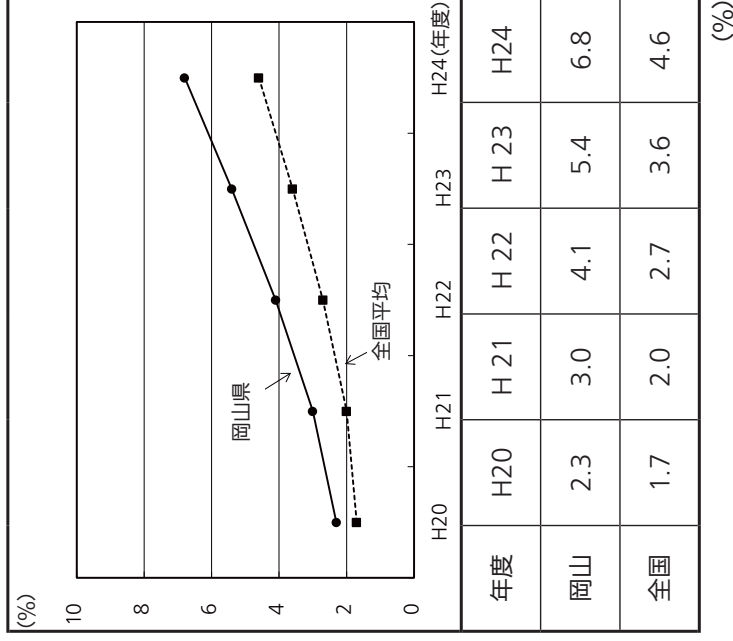
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年3月31日
- ・算出方法 乗用車保有台数÷総人口×1,000
- ・資料出所 (一財)自動車検査登録情報協会 資料
- 総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」(平成25年3月31日時点)を使用
- ・軽自動車を含む。

G-81 住宅用太陽光発電システム普及率



<岡山県の推移>



G81

<中国5県の導入件数>

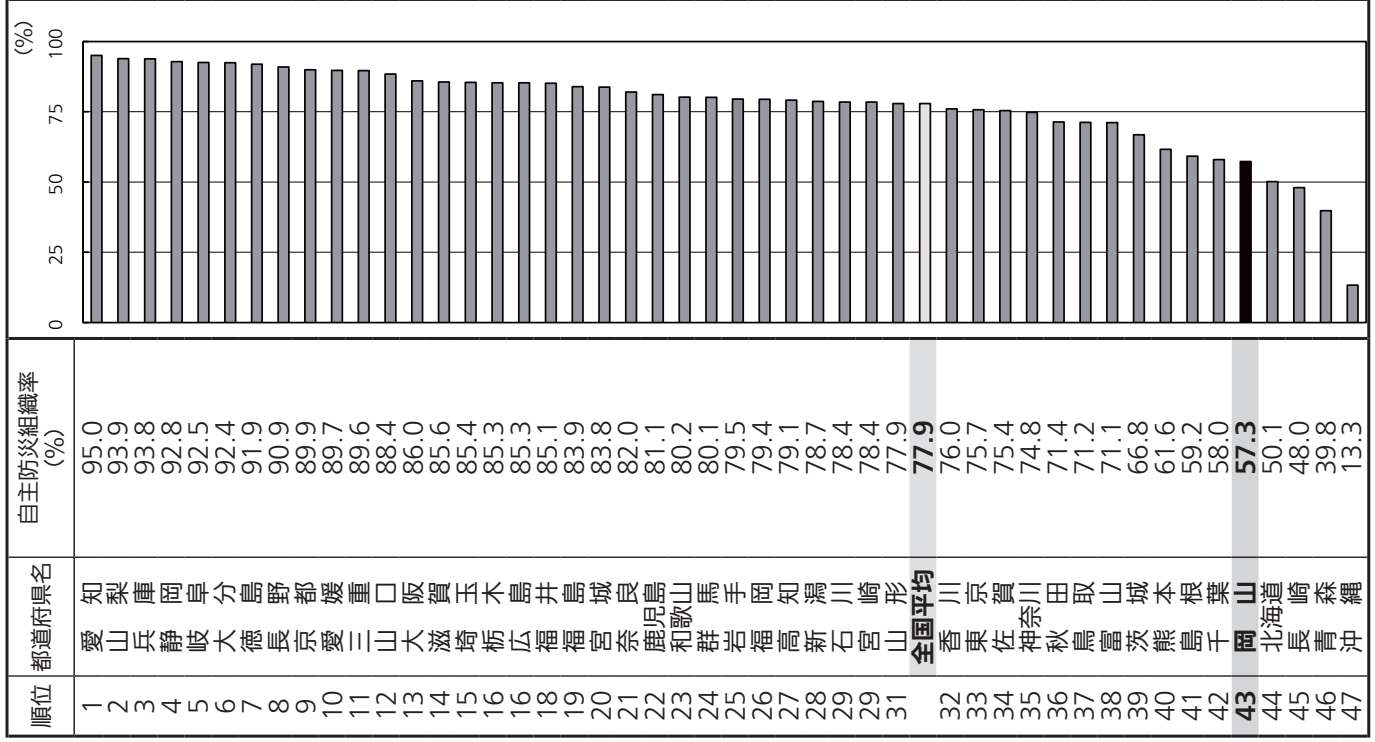
鳥取県	6,246
島根県	9,313
岡山県	34,709
広島県	41,868
山口県	22,140

<資料出所他>

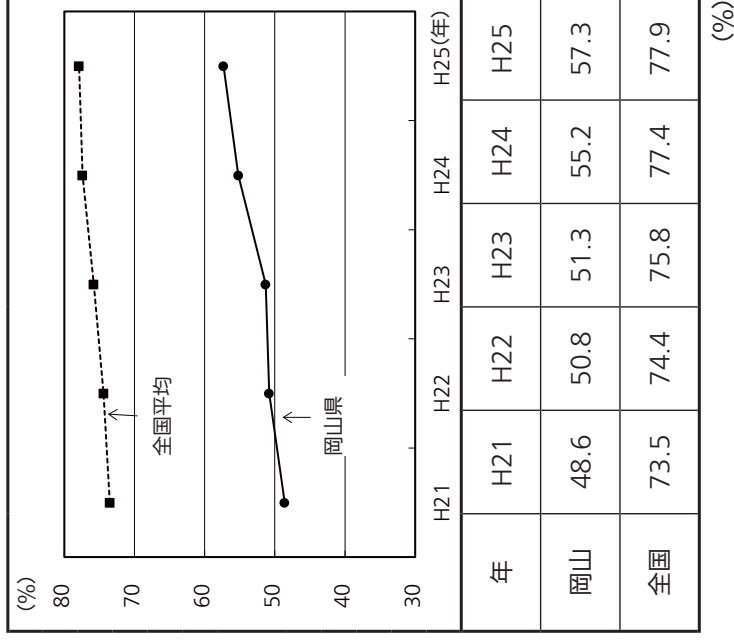
- ・調査時点 平成25年3月31日
- ・資料出所 中国経済産業局 資料「住宅用太陽光発電システム導入状況」

H 防災・安全

H-82 自主防災組織率



<岡山県の推移>



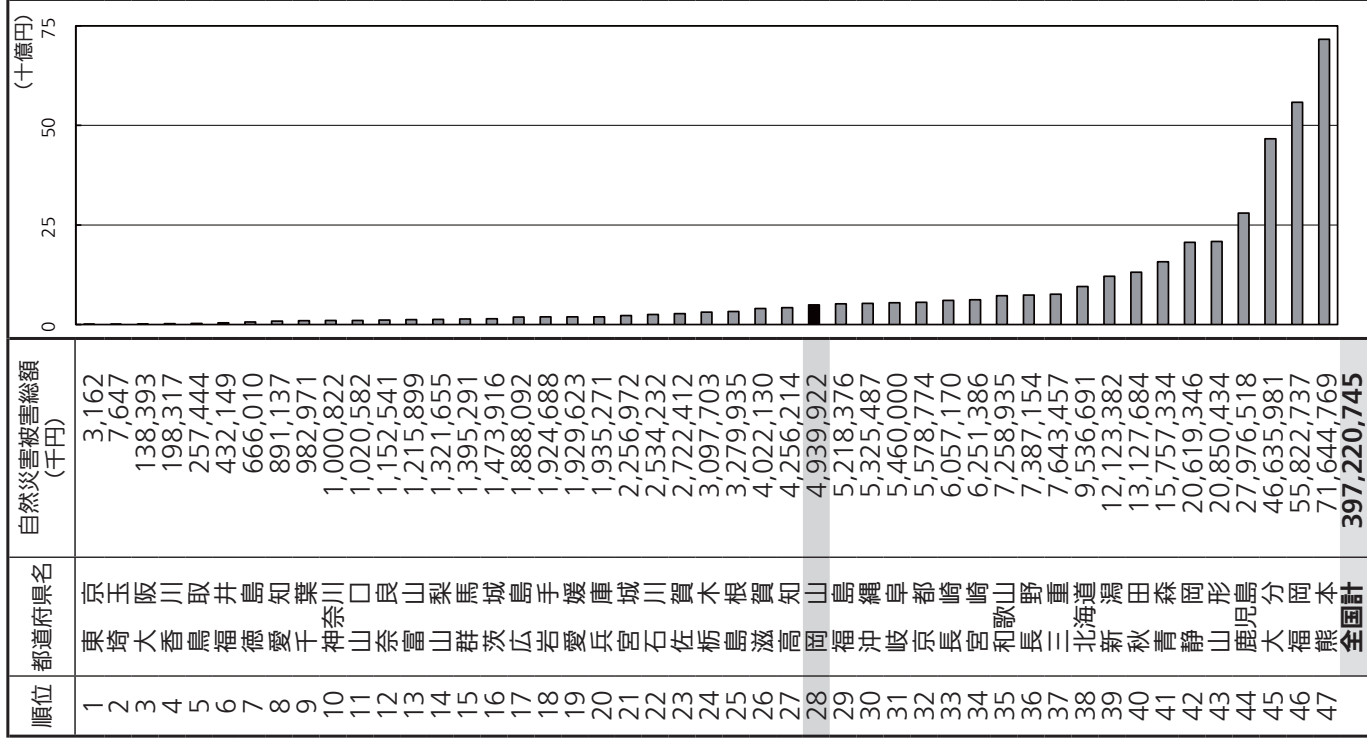
H82

(%)

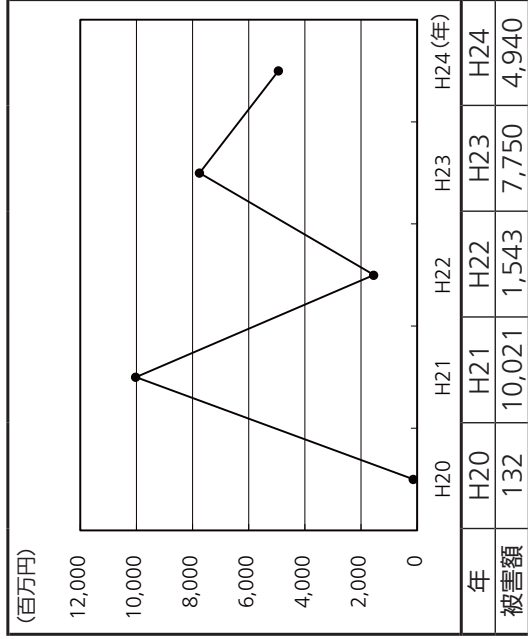
<資料出所他>

- ☆自主防災組織とは住民の隣保共同の精神に基づく自発的な防災組織のこと
- ・調査時点 平成25年4月1日
- ・算出方法 自主防災組織がその活動範囲としている地域の世帯数÷全世帯数×100
- ・資料出所 消防庁「消防白書」

★ H-83 自然災害被害総額



< 岡山県の推移 >



< 岡山県の主な被害状況 >

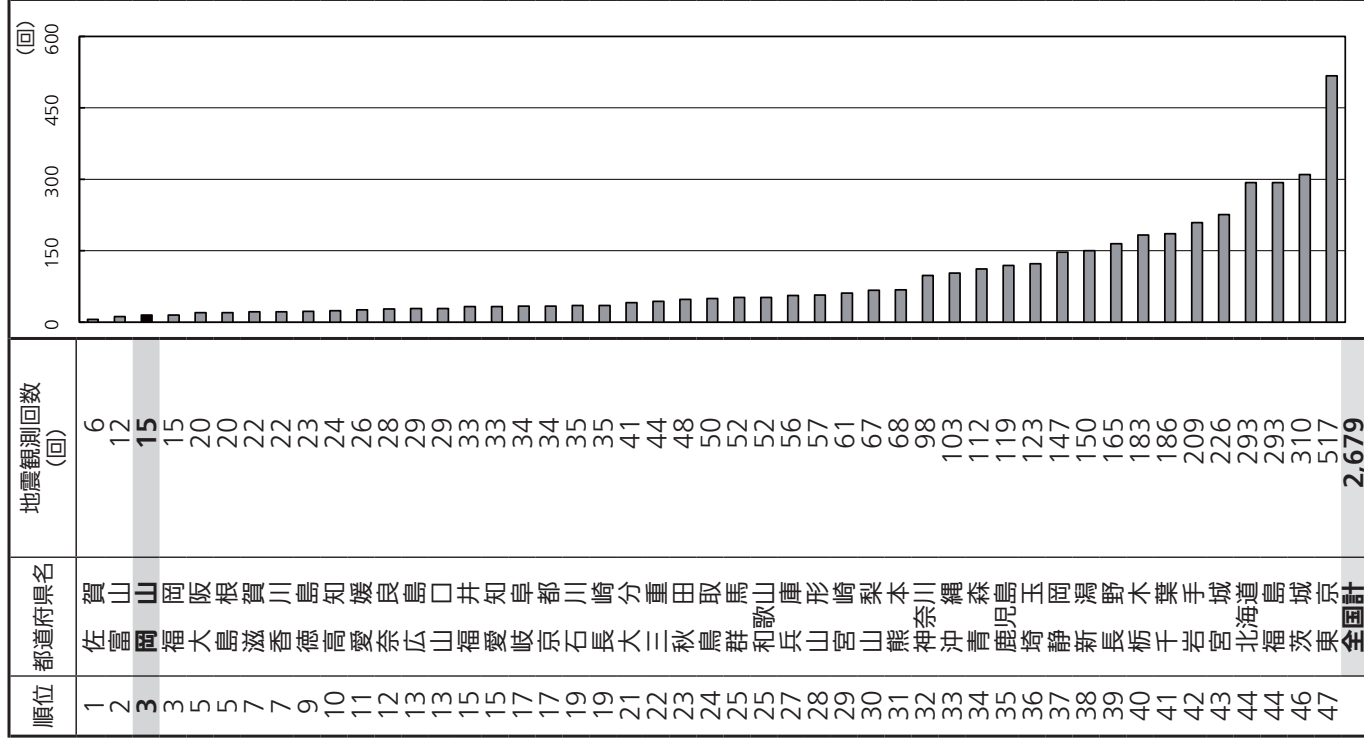
		(百万円)	
人的被害	死者 (人)		0
	行方不明者 (人)		0
	負傷者 (人)		6
建物被害	全壊 (棟)		2
	半壊 (棟)		2
	一部破損 (棟)		141
	床上浸水 (棟)		42
	床下浸水 (棟)		310
非住家被害	公共建物 (棟)		1
	その他 (棟)		10
田 (ha)			24.81
	畑 (ha)		2.69
その他	学校 (箇所)		2
	橋りょう (箇所)		3
	河川 (箇所)		347
	崖くずれ (箇所)		15
	鉄道不通 (箇所)		0
被害船舶 (隻)			0

H83

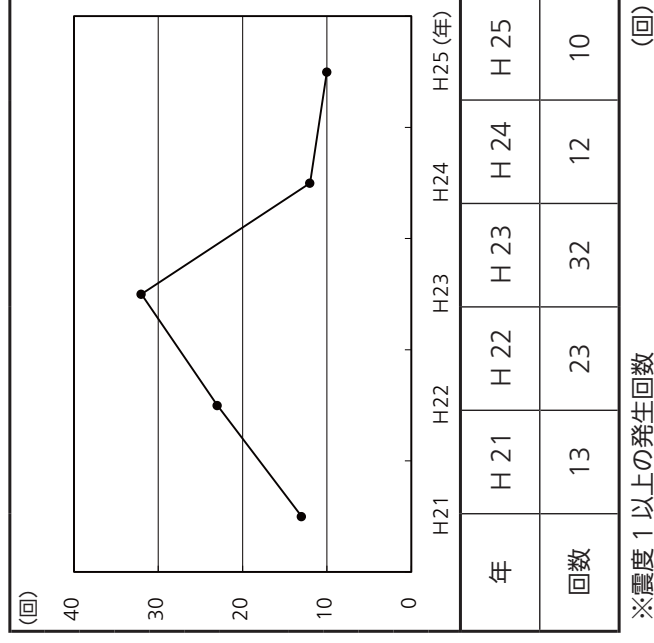
< 資料出所 >

- ・ 調査期間 平成 24 年 (1.1 ~ 12.31)
- ・ 資料出所 消防庁「消防白書」

★ H-84 地震観測回数 (震度4以上)



＜岡山県の推移＞

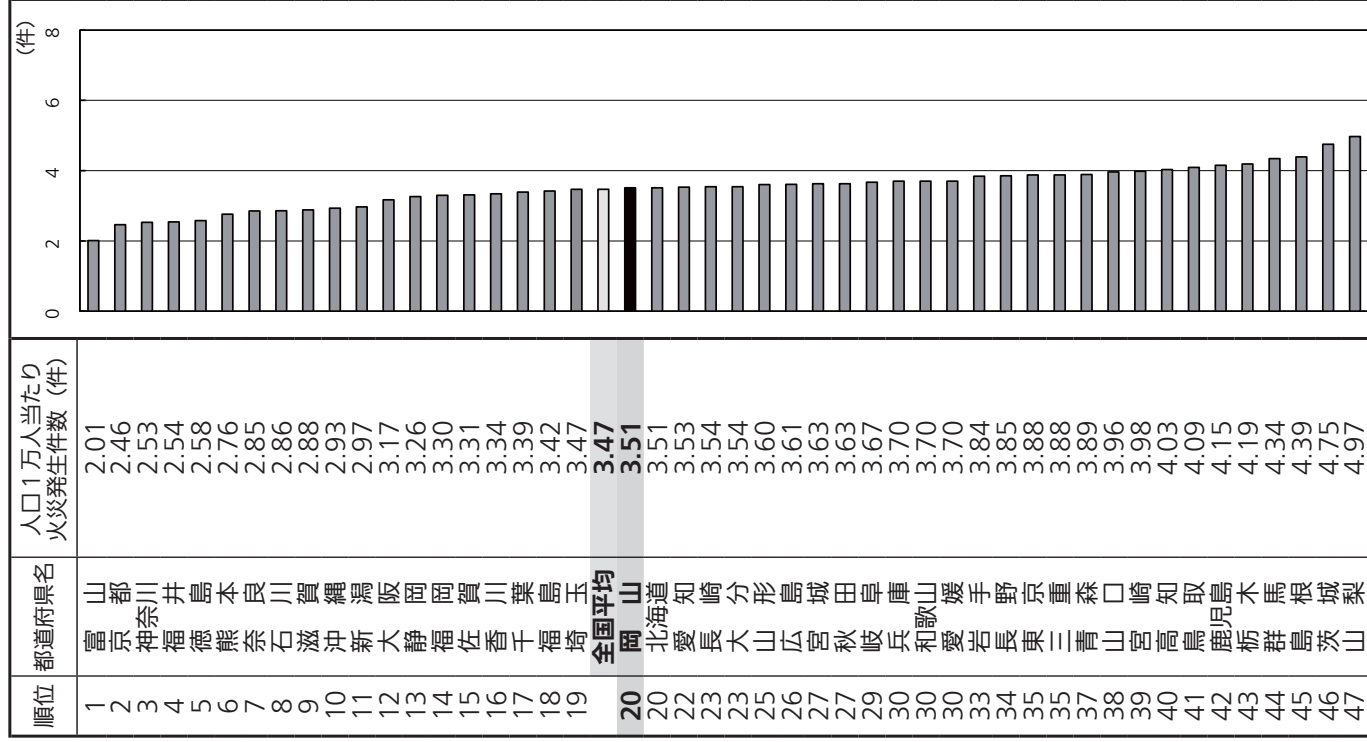


H84

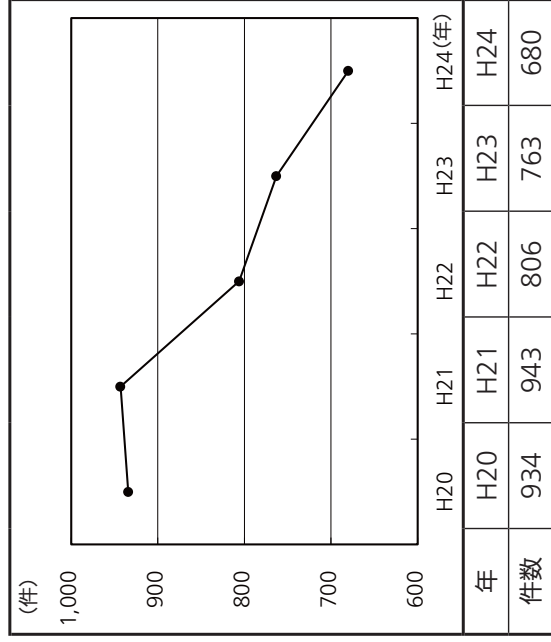
＜資料出所他＞

☆震度 4 以上の地震回数の合計
ただし、震度不明を除く。
・調査期間 1923 (大正 12) 年から 2013 (平成 25) 年
・資料出所 気象庁ホームページ「震度データベース検索」による。(平成 26 年 1 月 16 日検索)

＊H-85 火災発生件数（人口1万人当たり）

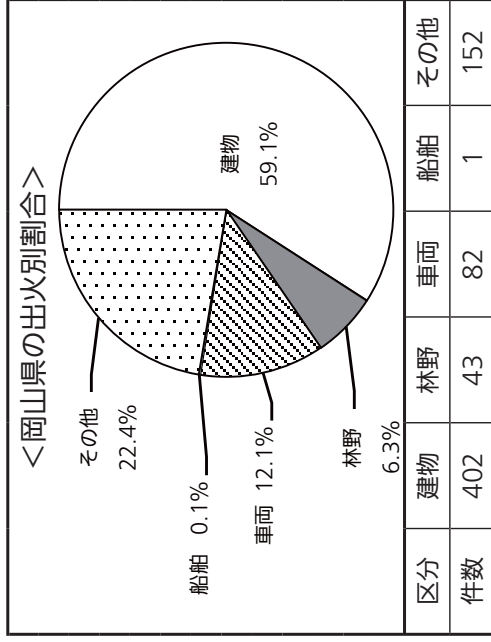


＜岡山県の推移＞



H85

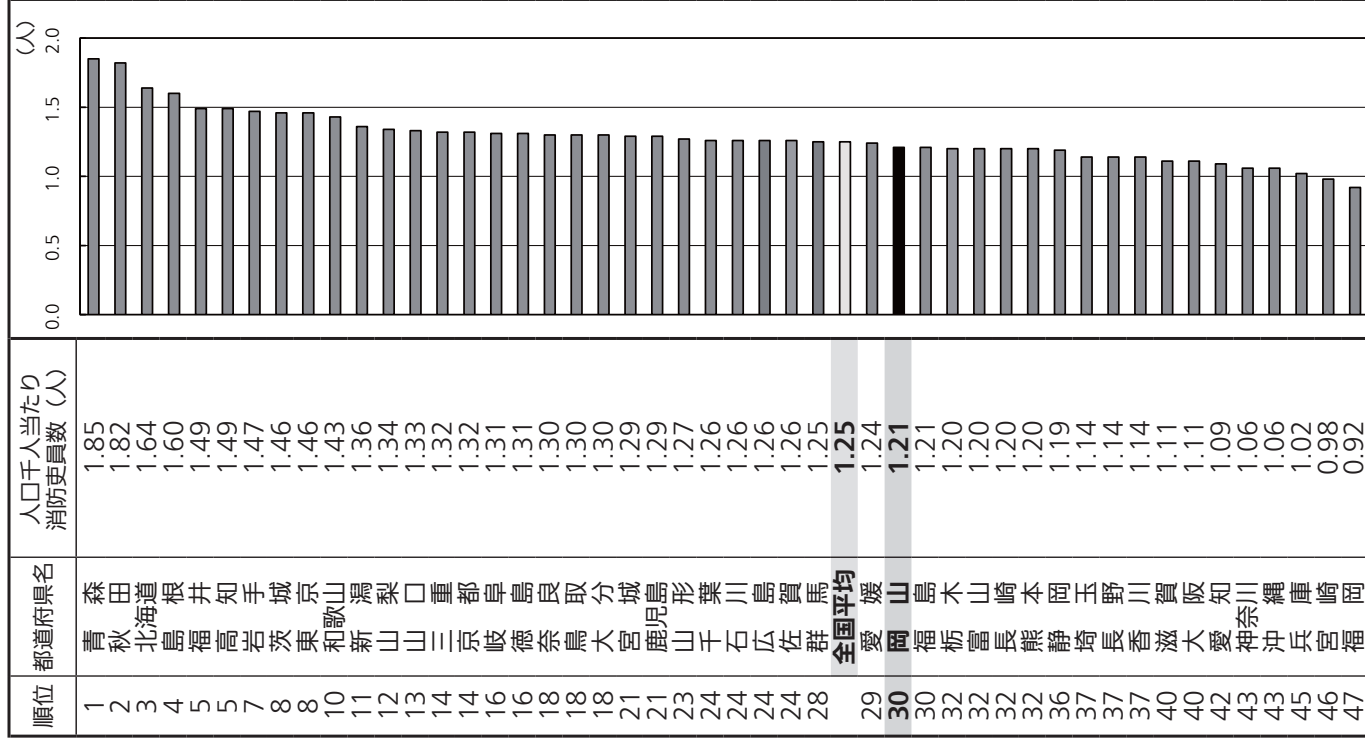
＜岡山県の出火別割合＞



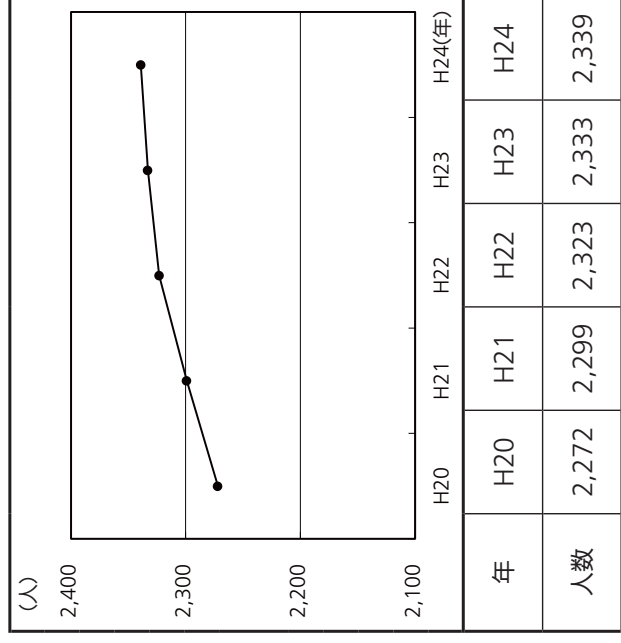
＜資料出所他＞

- ・調査期間 平成24年(1.1～12.31)
- ・算出方法 出火件数÷総人口×10,000
- ・資料出所 消防庁「消防白書」
- ・総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

H-86 消防吏員数（人口千人当たり）



<岡山県の推移>



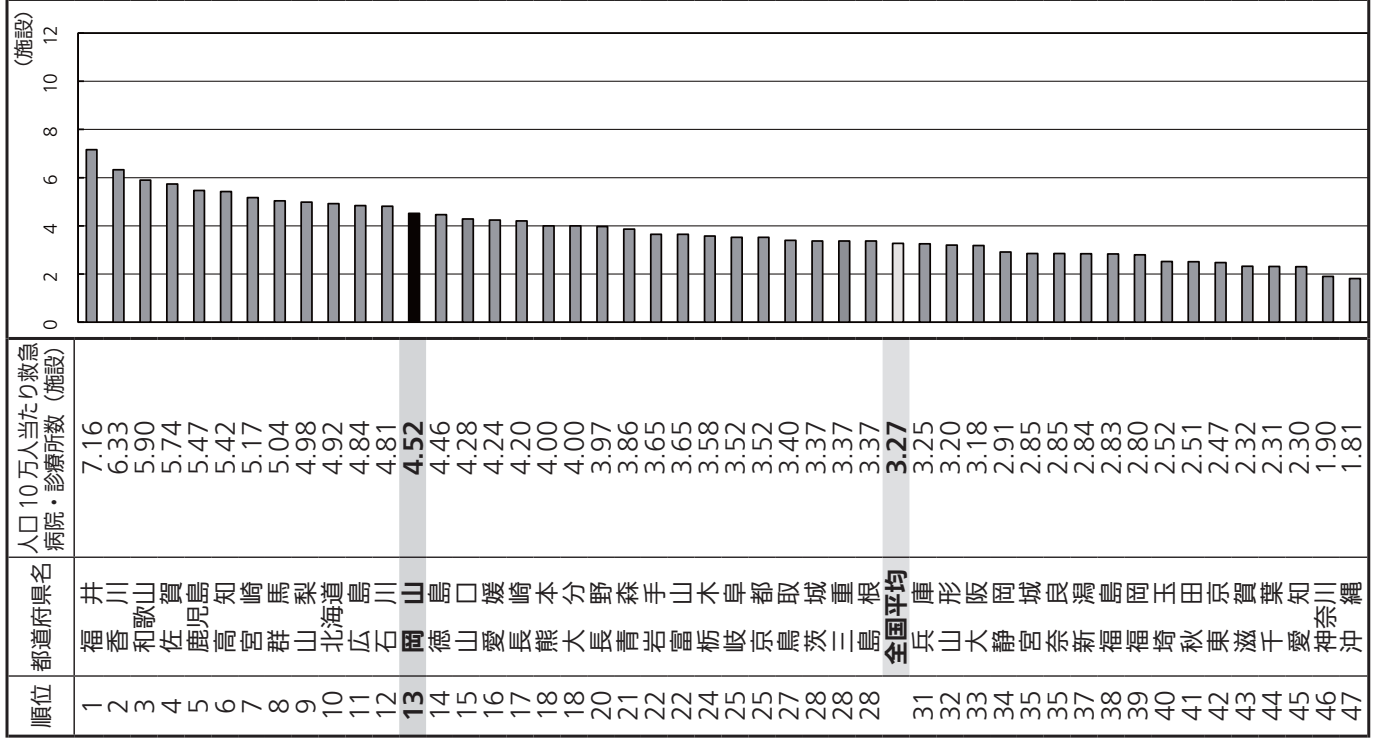
H86

(人)

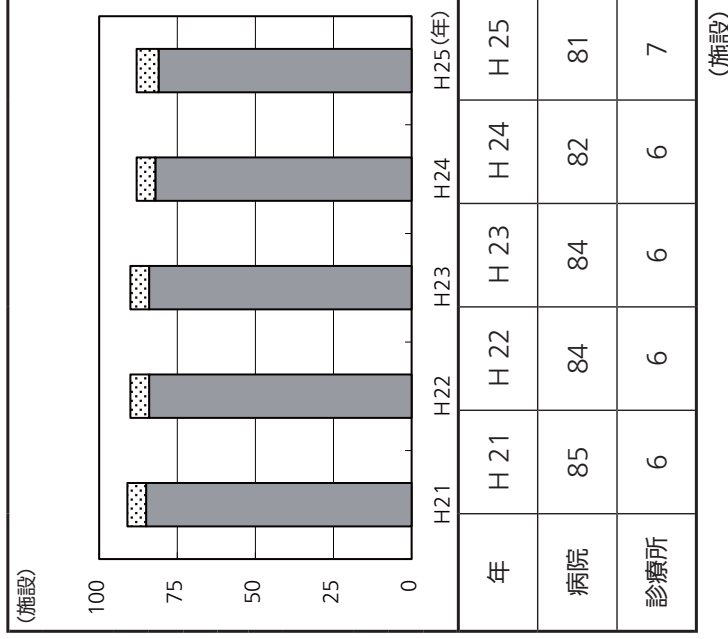
<資料出所他>

☆消防吏員とは、消防職員の中で主として消防活動に従事する者をいう。
 ・調査時点 平成24年4月1日
 ・算出方法 消防吏員数÷総人口×1,000
 ・資料出所 消防庁「消防年報」
 総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成24年3月31日時点）を使用

H-87 救急告示病院・診療所数（人口10万人当たり）



<岡山県の推移>

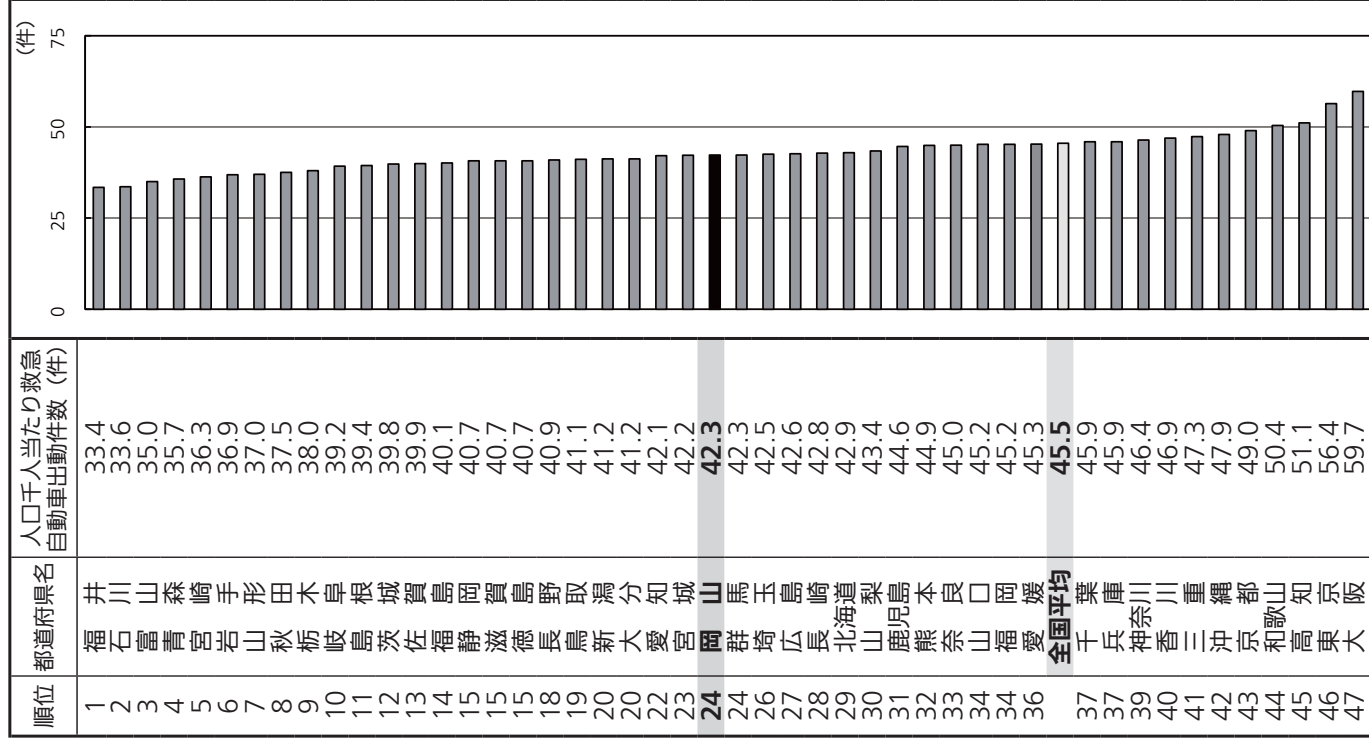


H87

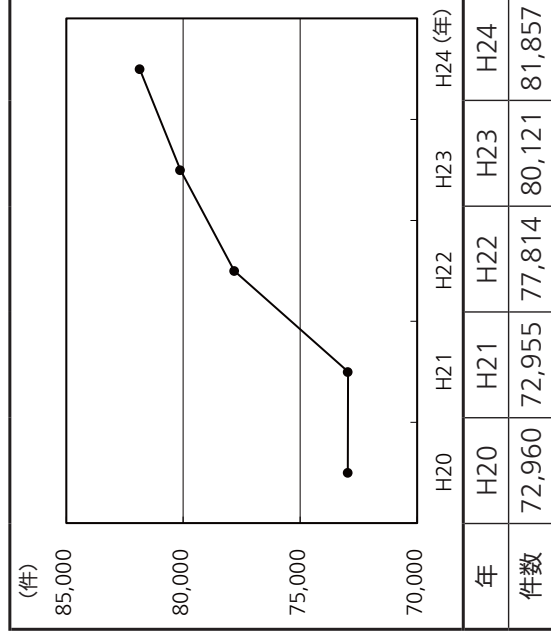
<資料出所他>

- ・調査時点 平成25年4月1日
- ・算出方法 救急告示病院・診療所数 ÷ 総人口 × 100,000
- ・資料出所 消防庁「消防白書」
総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成25年3月31日時点）を使用

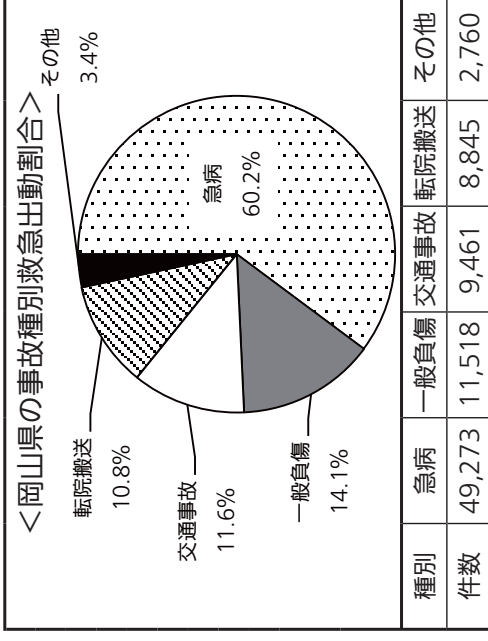
★ H-88 救急自動車出動件数（人口千人当たり）



＜岡山県の推移＞



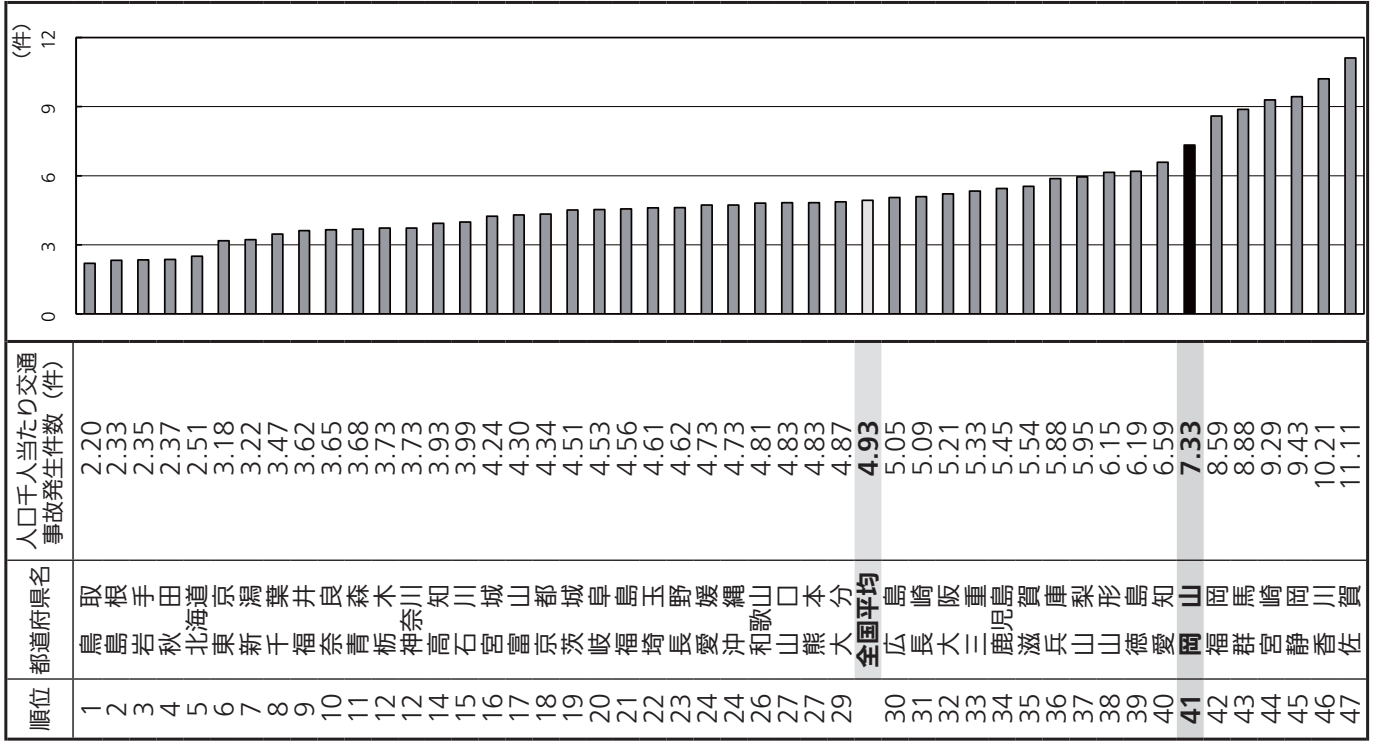
H88



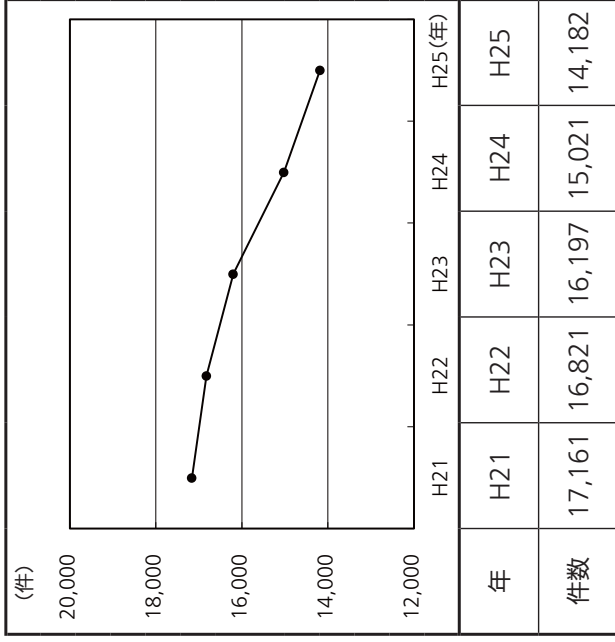
＜資料出所＞

- ・ 調査期間 平成24年(1.1～12.31)
- ・ 算出方法 救急自動車出動件数÷総人口×1,000
- ・ 資料出所 消防庁「消防白書」
- ・ 総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

＊H-89 交通事故(人身事故)発生件数(人口千人当たり)



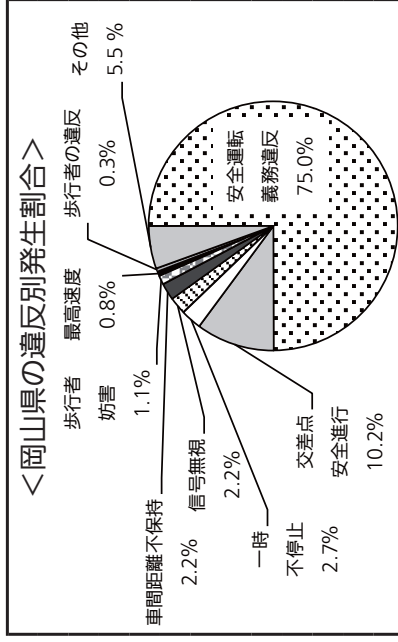
＜岡山県の推移＞



H89

(件)

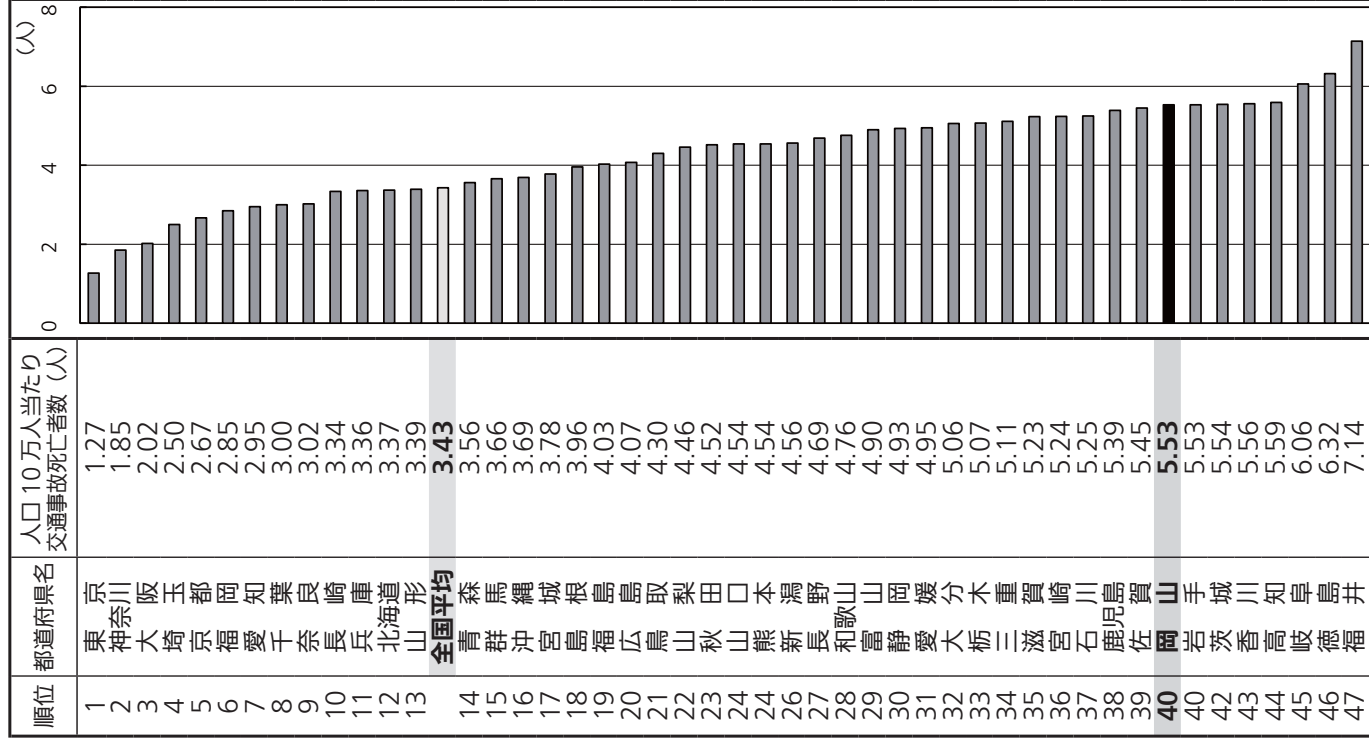
＜岡山県の違反別発生割合＞



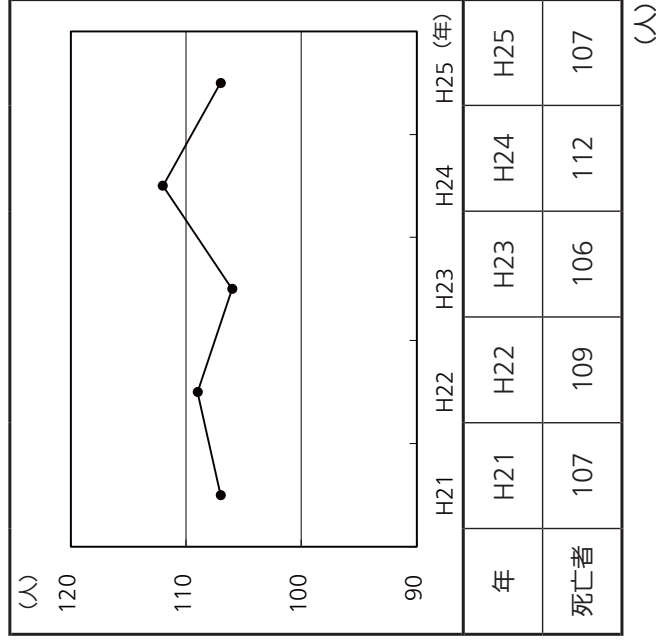
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成25年(1.1～12.31)
- ・ 算出方法 交通事故(人身事故)発生件数÷総人口×1,000
- ・ 資料出所 警察庁「交通事故統計資料」、県警交通企画課資料
- ・ 総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

＊ H-90 交通事故死者数 (人口10万人当たり)



＜岡山県の推移＞



H90

＜岡山県の交通事故負傷者数＞

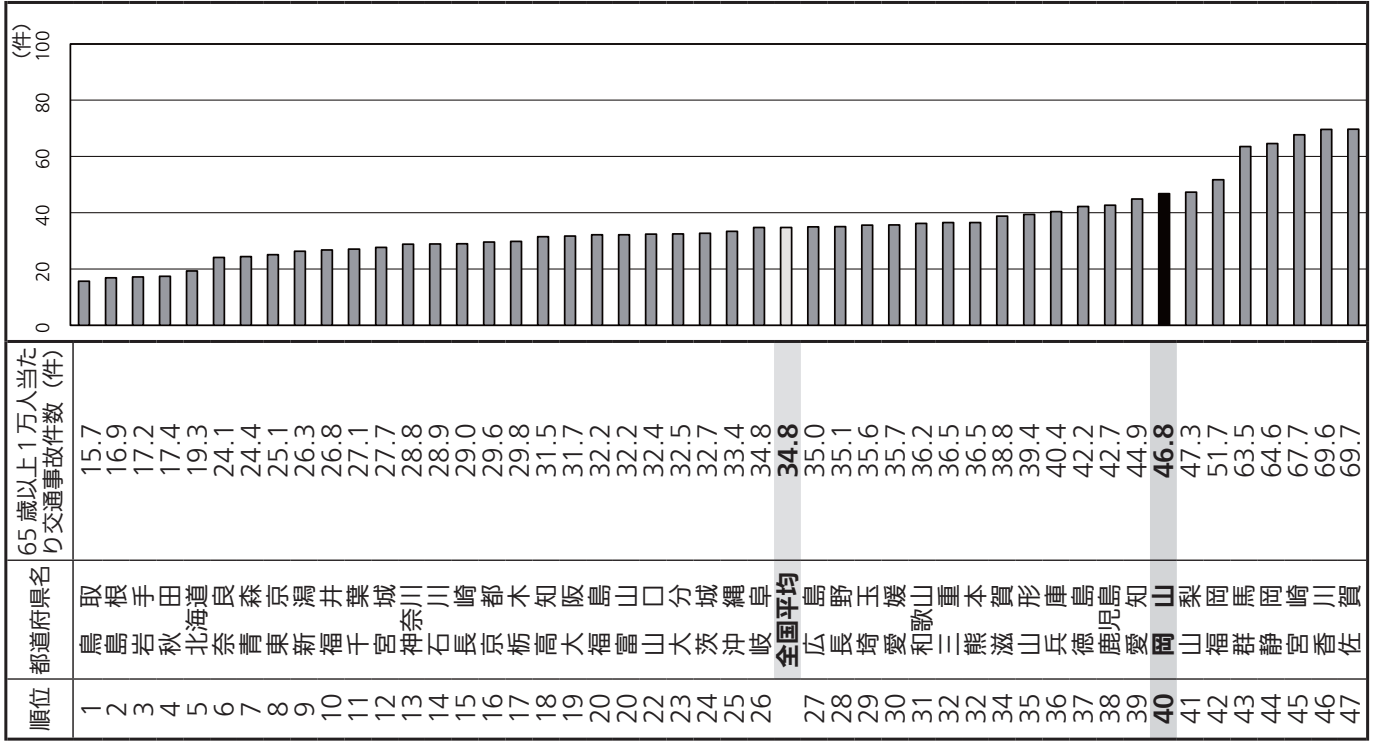
年	H21	H22	H23	H24	H25
負傷者	21,715	21,221	20,324	18,699	17,292

(人)

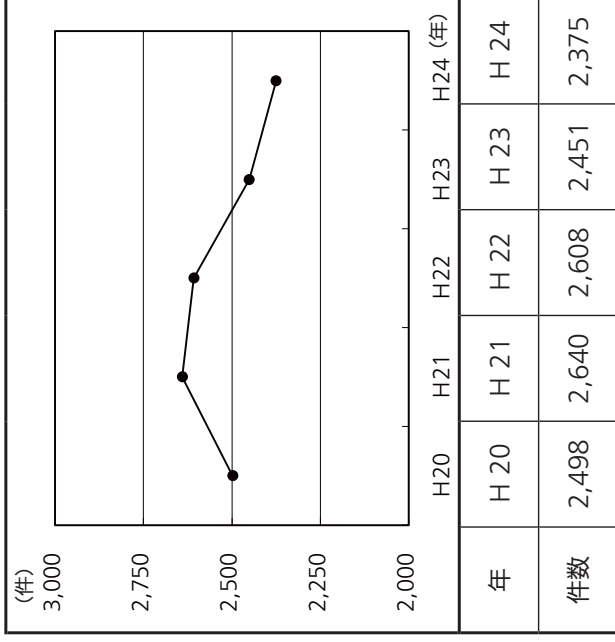
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成25年(1.1～12.31)
- ・ 資料出所 警察庁交通局 資料
- ・ 総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

★H-91 高齢者(第一当事者)交通事故件数(65歳以上1万人当たり)



＜岡山県の推移＞



H91

(件)

＜岡山県の高齢者の死傷者数＞

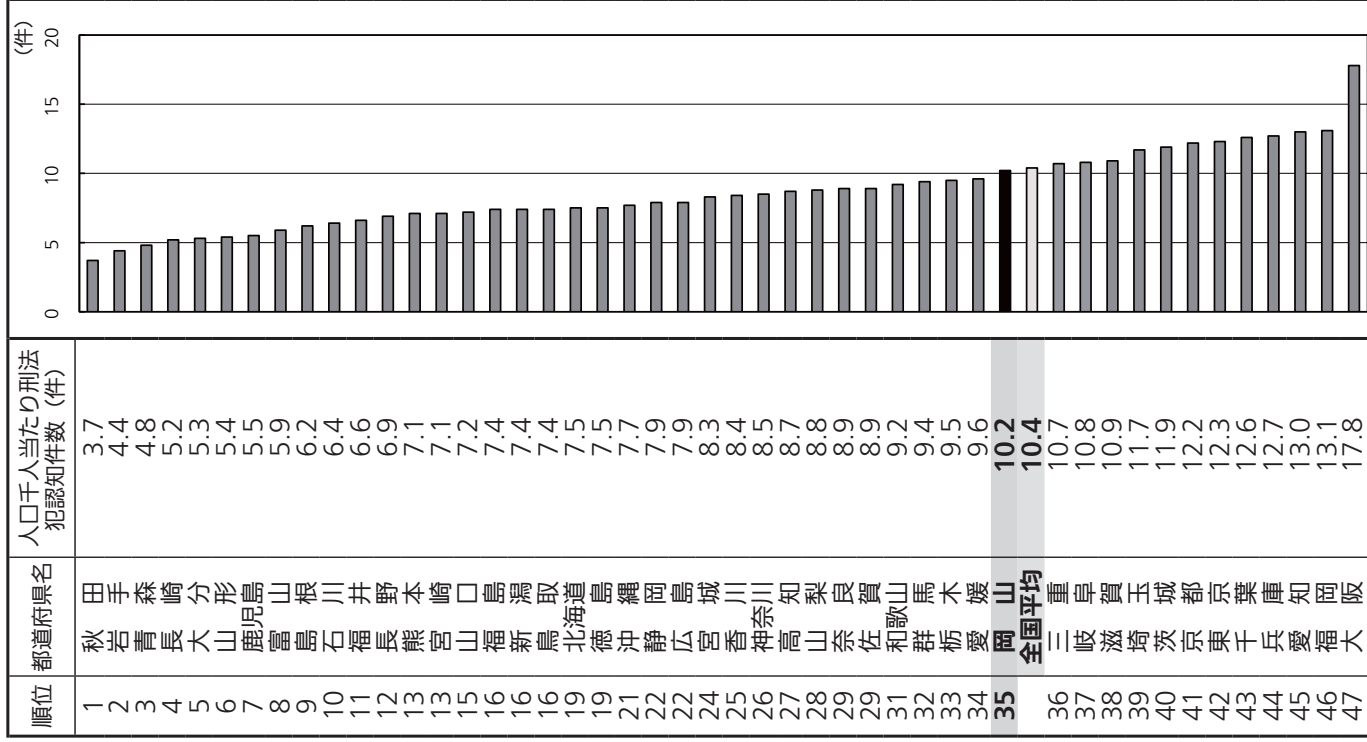
年	H20	H21	H22	H23	H24
死者数	64	60	57	47	55
負傷者数	3,002	2,942	2,991	2,791	2,643

(人)

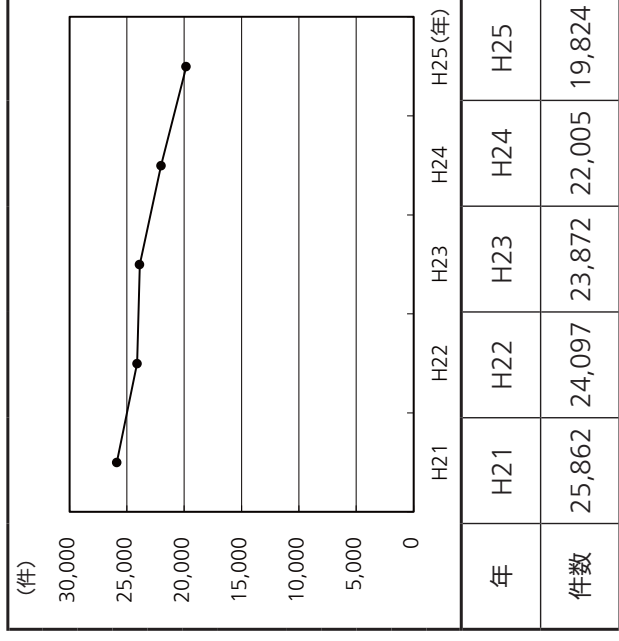
＜資料出所他＞

- ・調査時点 平成24年
- ・算出方法 高齢者第一当事者交通事故件数 ÷ 65歳以上人口 × 10,000
- ・資料出所 警察庁 交通事故統計資料、県警交通企画課資料
65歳以上人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

＊ H-92 刑法犯認知件数（人口千人当たり）



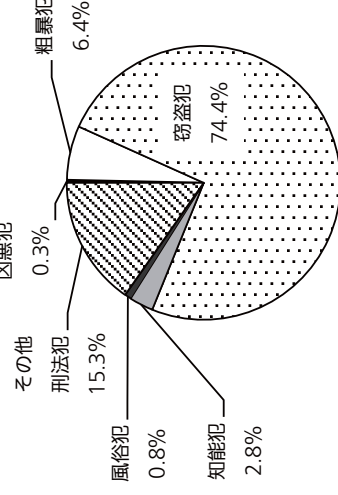
＜岡山県の推移＞



H92

(件)

＜岡山県の罪種別割合＞



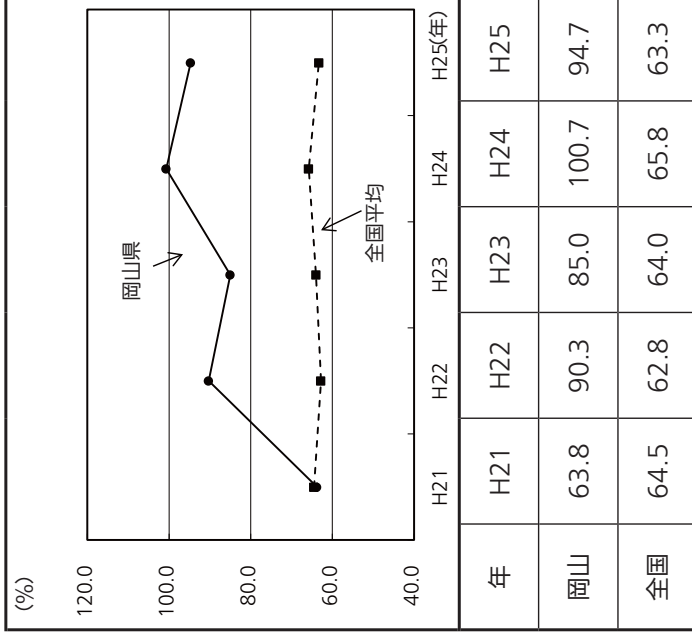
＜資料出所他＞

- ・ 調査期間 平成 25 年 (1.1 ～ 12.31)
 - ・ 算出方法 刑法犯認知件数 ÷ 総人口 × 1,000
 - ・ 資料出所 警察庁「犯罪統計資料」、県警刑事企画課資料
- 総人口は、総務省「人口推計年報」(平成 24 年 10 月 1 日時点)を使用

H-93 重要犯罪検挙率

順位	都道府県名	重要犯罪検挙率 (%)
1	知	98.4
2	高	97.8
3	山	94.7
4	分	91.7
5	大	90.4
6	栃	87.8
7	徳	87.0
8	鹿	86.0
9	愛	84.3
10	福	83.0
11	群	82.8
12	香	82.4
13	石	82.2
14	鳥	81.6
15	秋	81.3
16	青	78.7
17	佐	78.5
18	新	75.0
19	熊	74.3
20	山	73.9
21	和	72.3
22	歌	71.6
23	山	70.6
24	神	70.5
25	野	70.4
26	玉	70.4
27	京	69.0
28	北	68.2
29	海	67.0
30	岩	66.7
31	宮	66.1
32	島	64.5
33	城	63.8
34	縄	63.7
35	葉	63.4
36	長	63.3
	全国平均	63.3
37	都	62.9
38	茨	62.5
39	城	61.1
40	重	58.9
41	岡	58.8
42	阜	58.2
43	庫	56.9
44	梨	56.3
45	知	54.3
46	賀	53.7
47	岡	42.1

<岡山県の推移>



H93

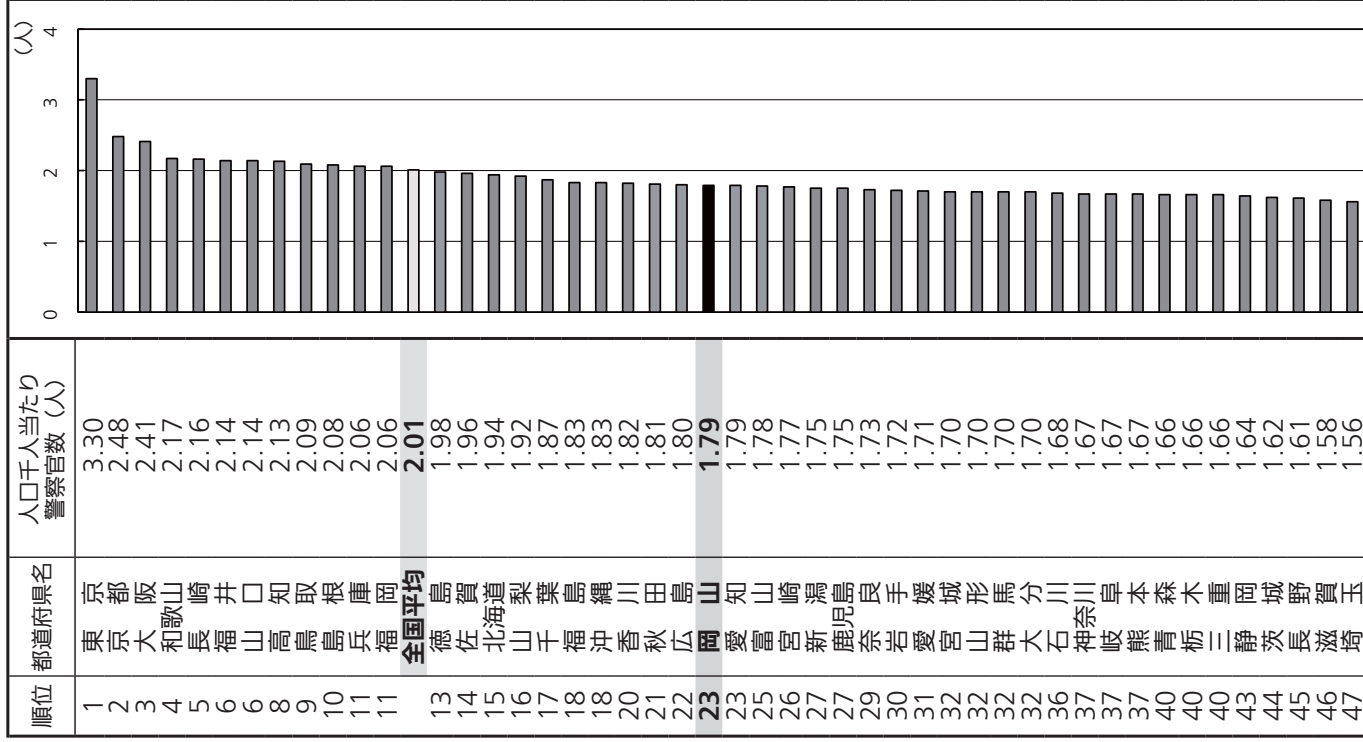
<重要犯罪認知件数>

年	H21	H22	H23	H24	H25
認知件数	188	134	153	145	133

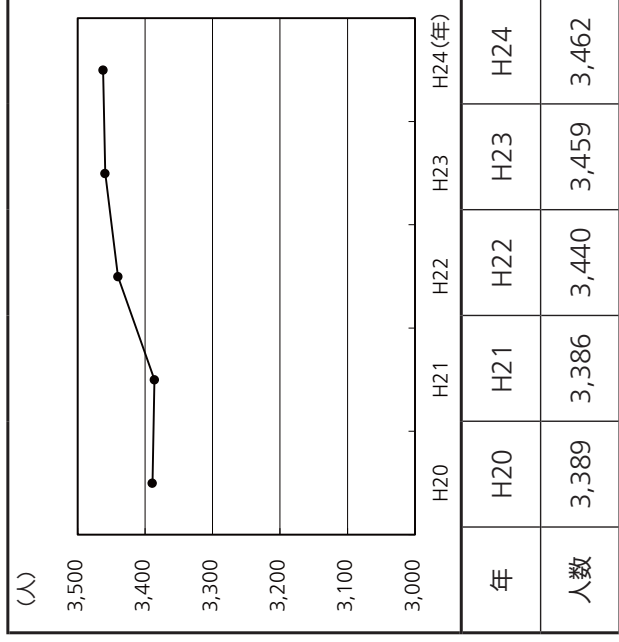
<資料出所他>

☆重要犯罪とは、殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつをいう。
 ・調査期間 平成25年(1.1~12.31)
 ・資料出所 警察庁「犯罪統計資料」

H-94 警察官数（人口千人当たり）



<岡山県の推移>



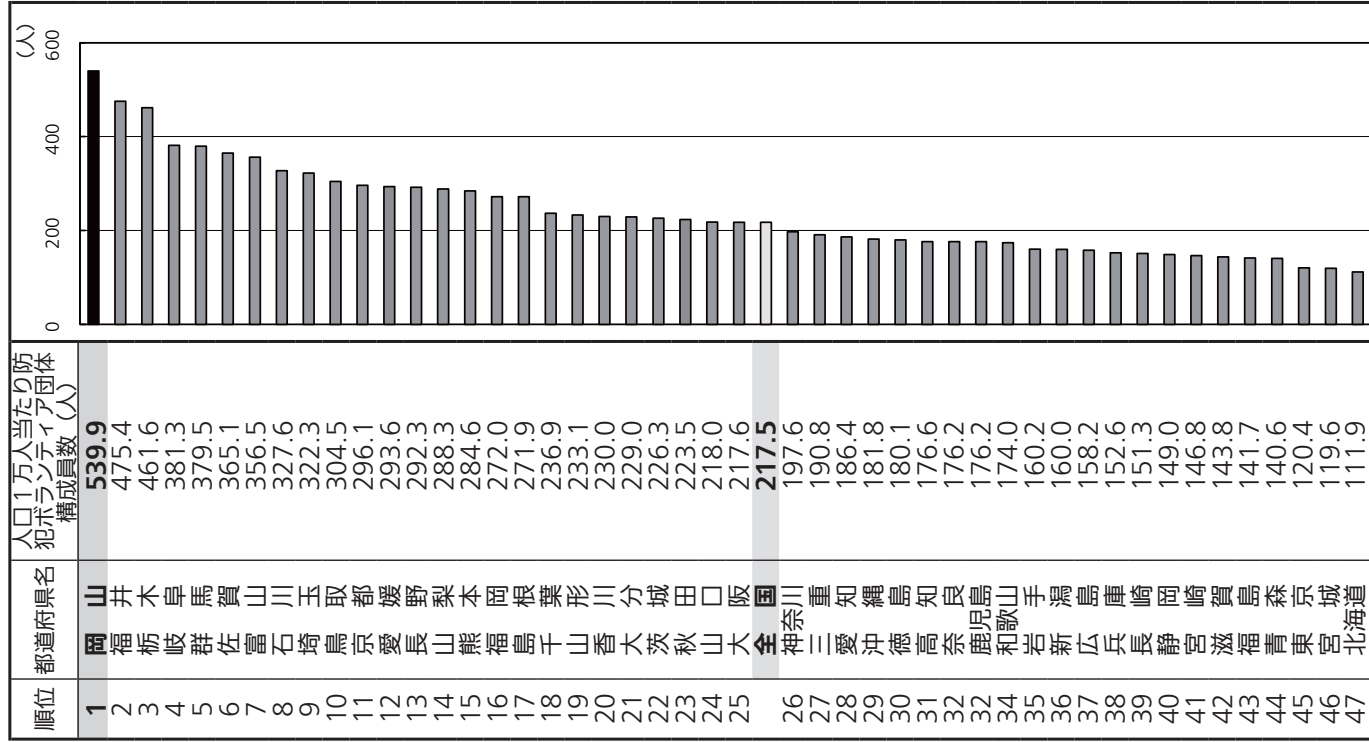
H94

(人)

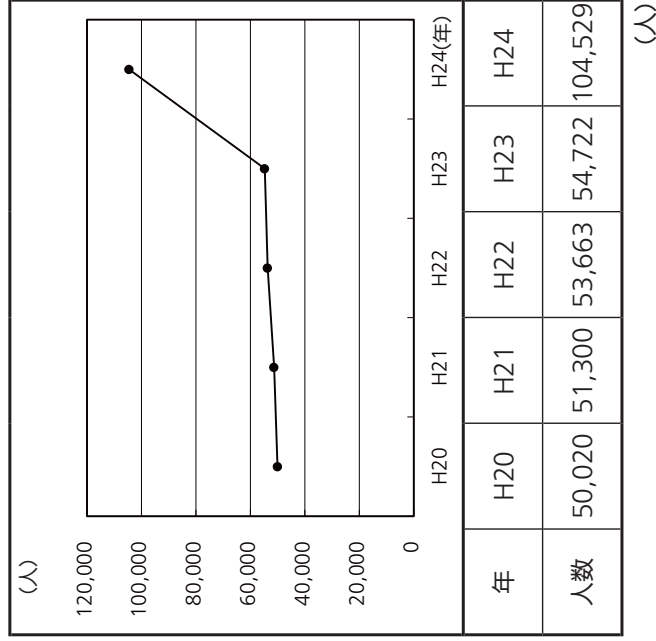
<資料出所他>

- ・調査時点 平成24年4月1日
- ・算出方法 警察官数÷総人口×1,000
- ・資料出所 総務省「地方公共団体定員管理調査」
総人口は、総務省「人口推計年報」（平成24年10月1日時点）を使用

H-95 防犯ボランティア団体構成員数(人口1万人当たり)



<岡山県の推移>



H95

<岡山県の防犯ボランティア団体数>

年	H20	H21	H22	H23	H24
団体数	640	685	721	935	1,316

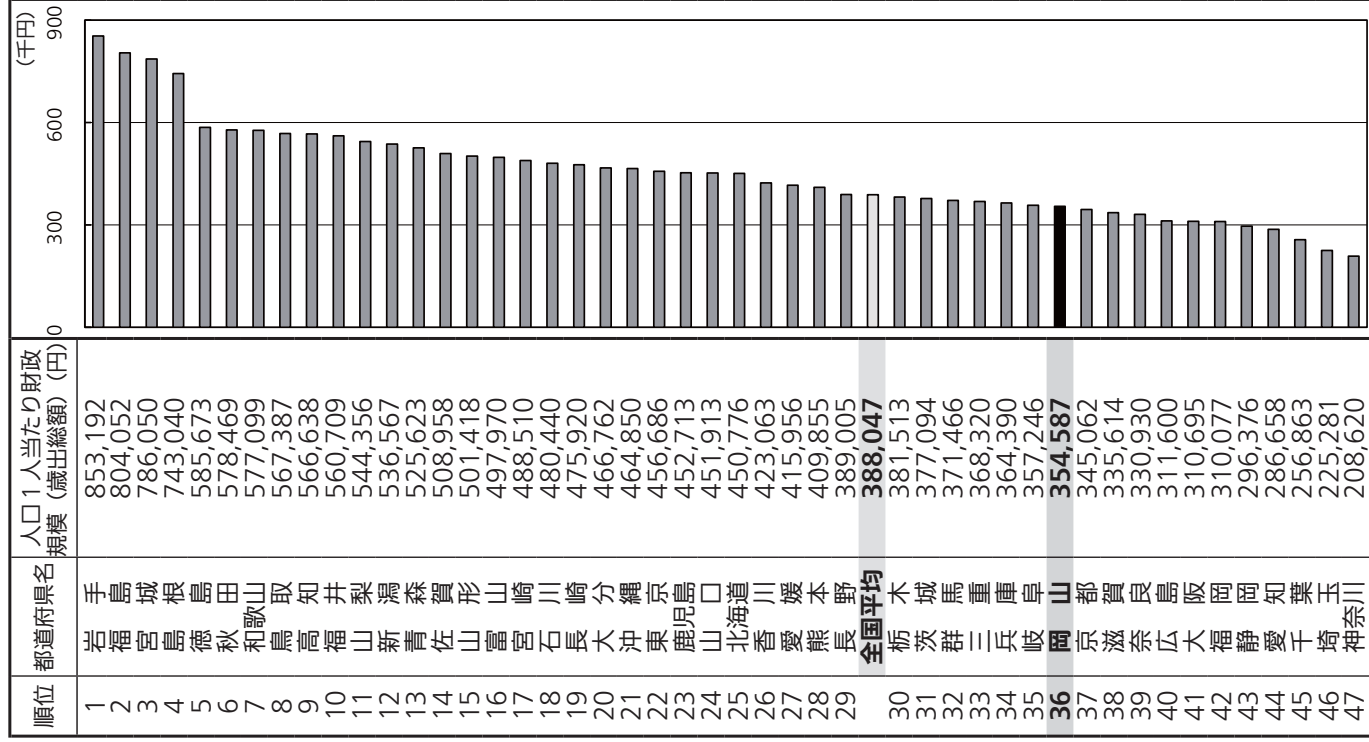
(団体)

<資料出所他>

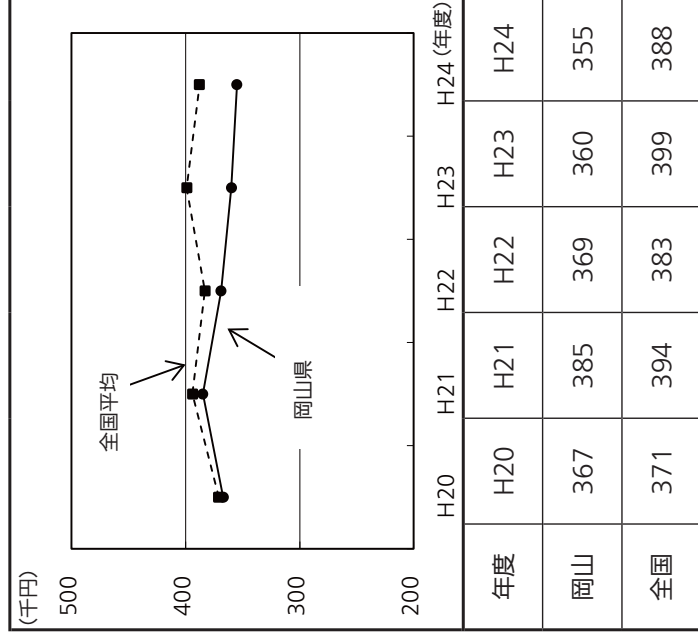
- ・調査時点 平成24年12月31日
- ・算出方法 防犯ボランティア団体構成員数÷総人口×10,000
- ・資料出所 警察庁 資料
- ・総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

I 財政

I-96 財政規模 (人口1人当たり)



<岡山県の推移>



I 96

<岡山県の歳出総額>

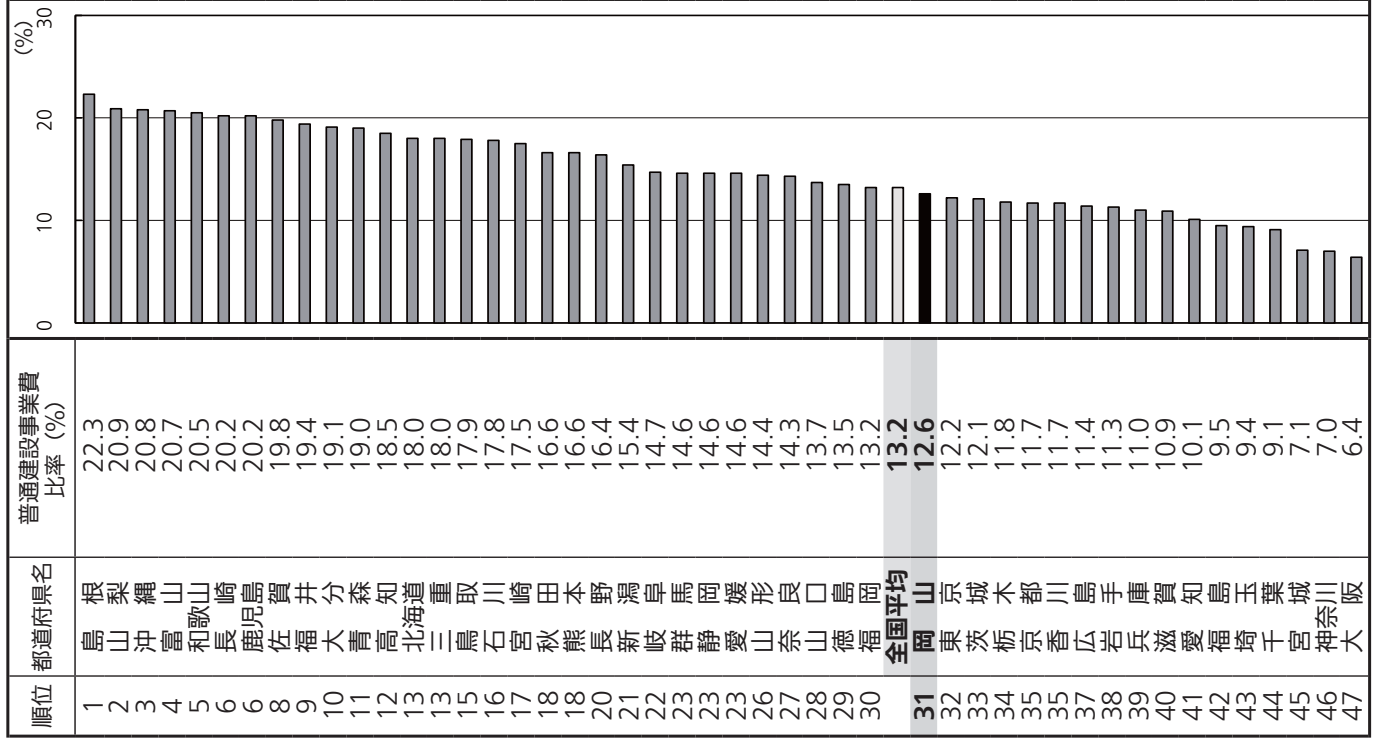
年度	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
金額	7,148	7,467	7,170	6,978	6,865

(億円)

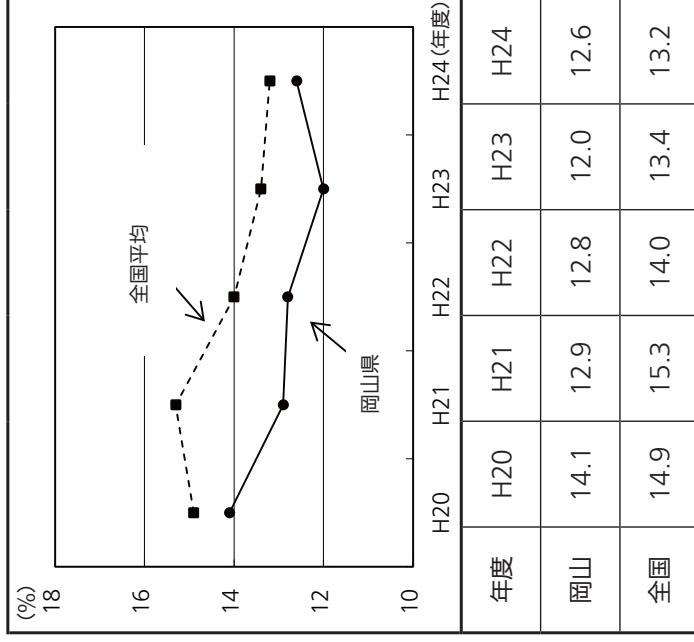
<資料出所他>

- ☆ 歳出総額とは、都道府県の普通会計の歳出決算額のこと
- ・ 調査期間 平成24年度
- ・ 算出方法 歳出総額 ÷ 総人口
- ・ 資料出所 総務省「都道府県決算状況調」
- ・ 総人口は、総務省「人口推計年報」(平成24年10月1日時点)を使用

I-97 普通建設事業費比率



<岡山県の推移>



I 97

<岡山県の普通建設事業費>

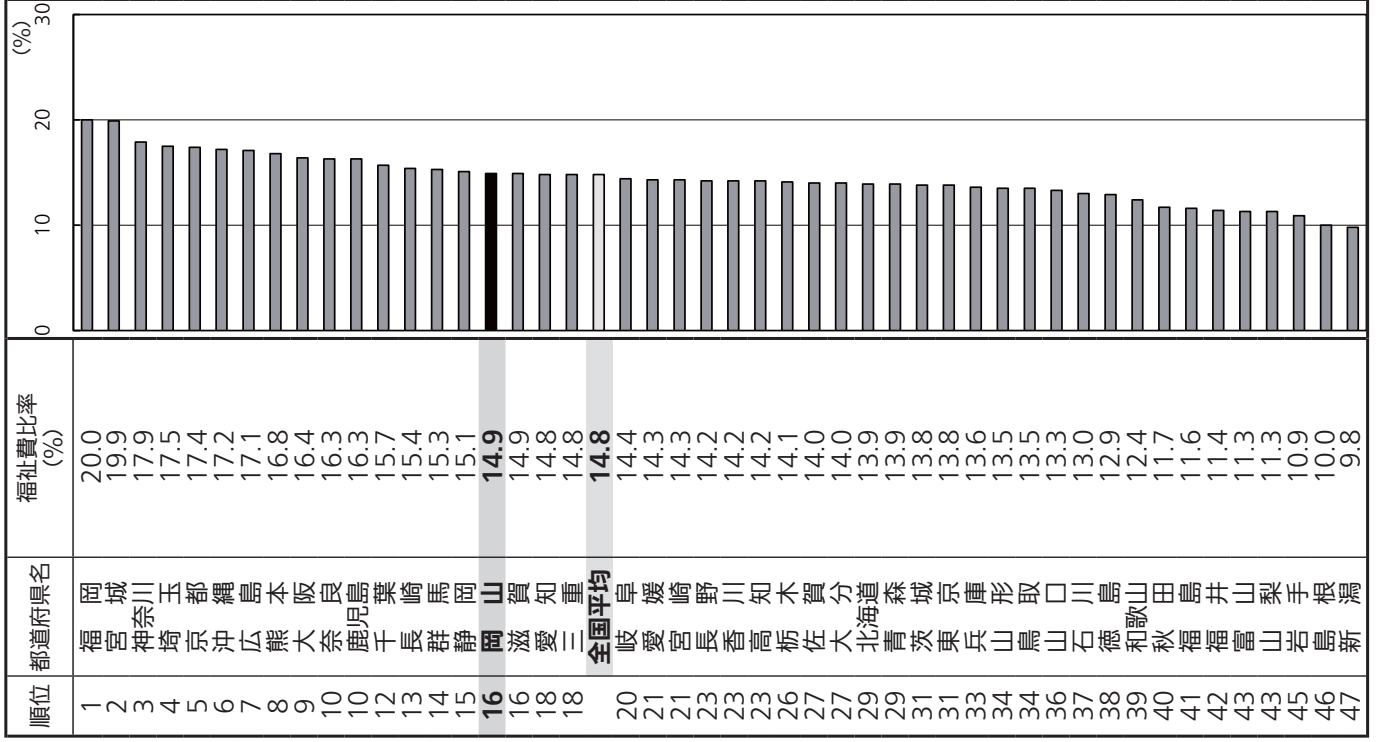
年度	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
金額	1,007	963	918	837	866

(億円)

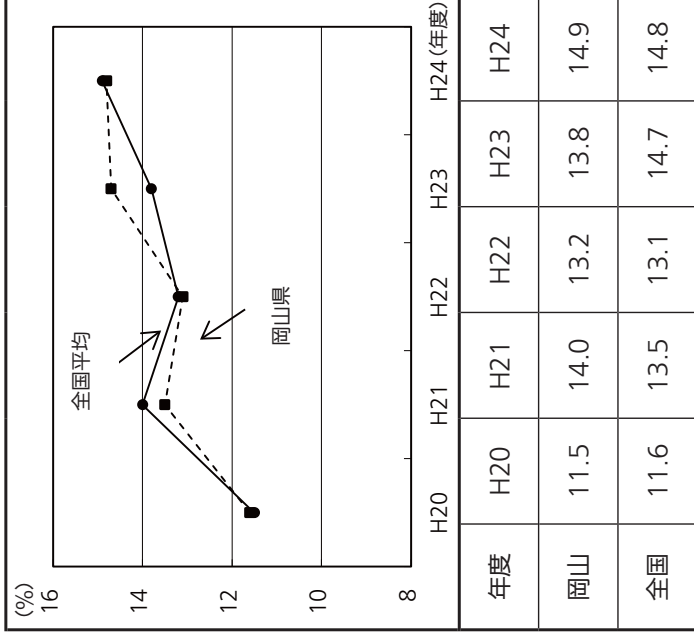
<資料出所他>

- 調査期間 平成24年度
- 算出方法 普通建設事業費÷歳出総額×100
- 資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

I-98 福祉費比率



<岡山県の推移>



I 98

<岡山県の民生費>

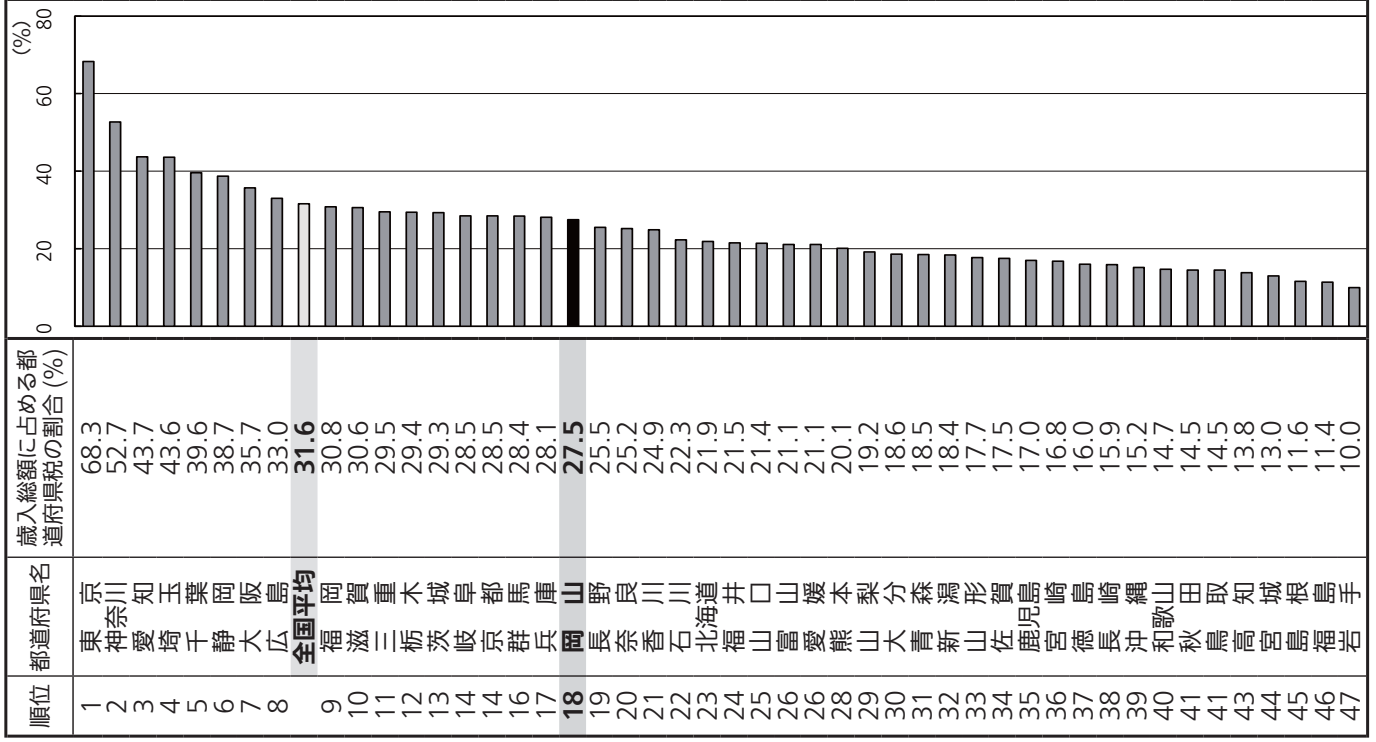
年度	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
金額	824	1,046	944	965	1,023

(億円)

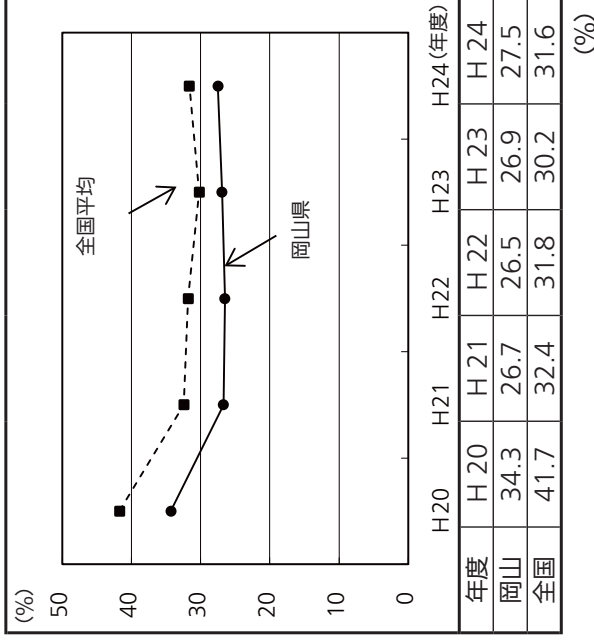
<資料出所他>

- ☆ 目的別歳出内訳の民生費を福祉費とみなし計上
- ・ 調査期間 平成 24 年度
- ・ 算出方法 民生費 ÷ 歳出総額 × 100
- ・ 資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

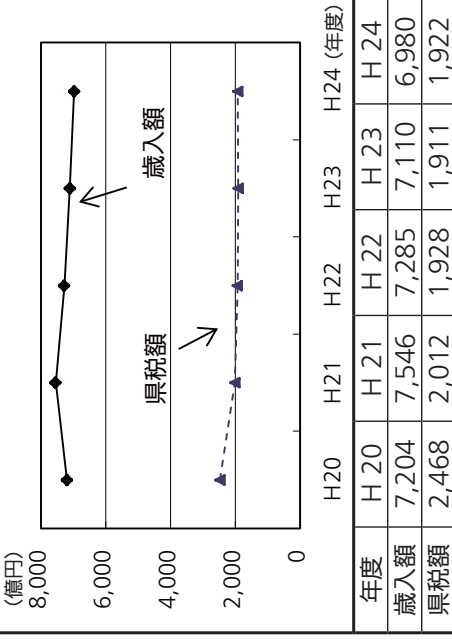
I-99 県税収入比率



<岡山県の推移>



<岡山県の歳入総額と県税収入決算額の推移>



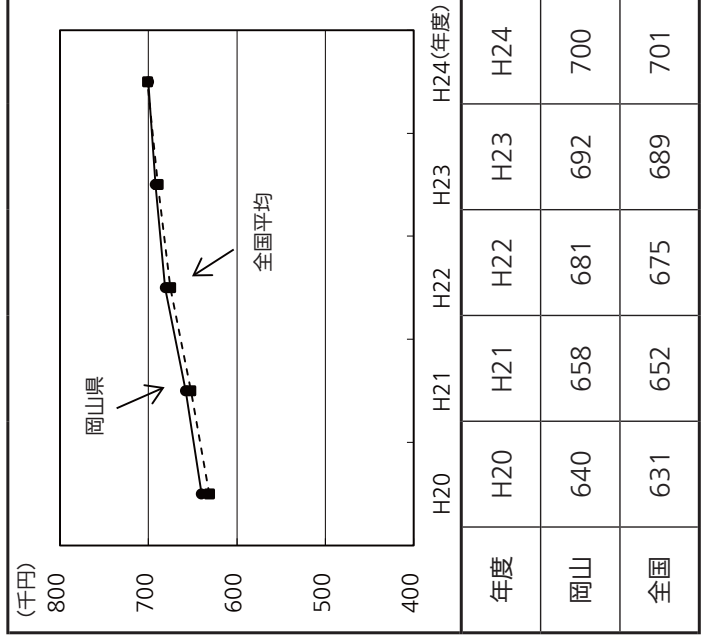
<資料出所他>

- 調査期間 平成24年度
- 算出方法 都道府県税収入決算額 ÷ 歳入決算額 × 100
- 資料出所 総務省「都道府県決算状況調」

＊I-100 地方債現在高（人口1人当たり）

順位	都道府県名	人口1人当たり 地方債現在高（円）
1	神奈川県	400,354
2	東京都	434,489
3	千葉県	460,230
4	茨城県	474,963
5	埼玉県	494,276
6	東京都	544,676
7	千葉県	564,574
8	東京都	629,219
9	東京都	630,483
10	東京都	639,699
11	東京都	683,973
12	東京都	687,672
13	東京都	688,275
14	東京都	691,471
15	東京都	691,794
16	東京都	699,160
17	岡山県	699,532
	全国平均	701,262
18	東京都	702,106
19	東京都	711,500
20	東京都	724,429
21	東京都	726,049
22	東京都	732,073
23	東京都	755,310
24	東京都	777,013
25	東京都	792,124
26	東京都	841,175
27	東京都	844,040
28	東京都	856,560
29	東京都	875,196
30	東京都	887,155
31	東京都	916,711
32	東京都	932,977
33	東京都	957,162
34	東京都	984,942
35	東京都	1,018,408
36	東京都	1,063,437
37	東京都	1,068,565
38	東京都	1,085,661
39	東京都	1,098,455
40	東京都	1,110,391
41	東京都	1,130,949
42	東京都	1,134,676
43	東京都	1,147,406
44	東京都	1,163,995
45	東京都	1,184,648
46	東京都	1,204,502
47	東京都	1,394,152

＜岡山県の推移＞



I 100

＜岡山県の地方債現在高＞

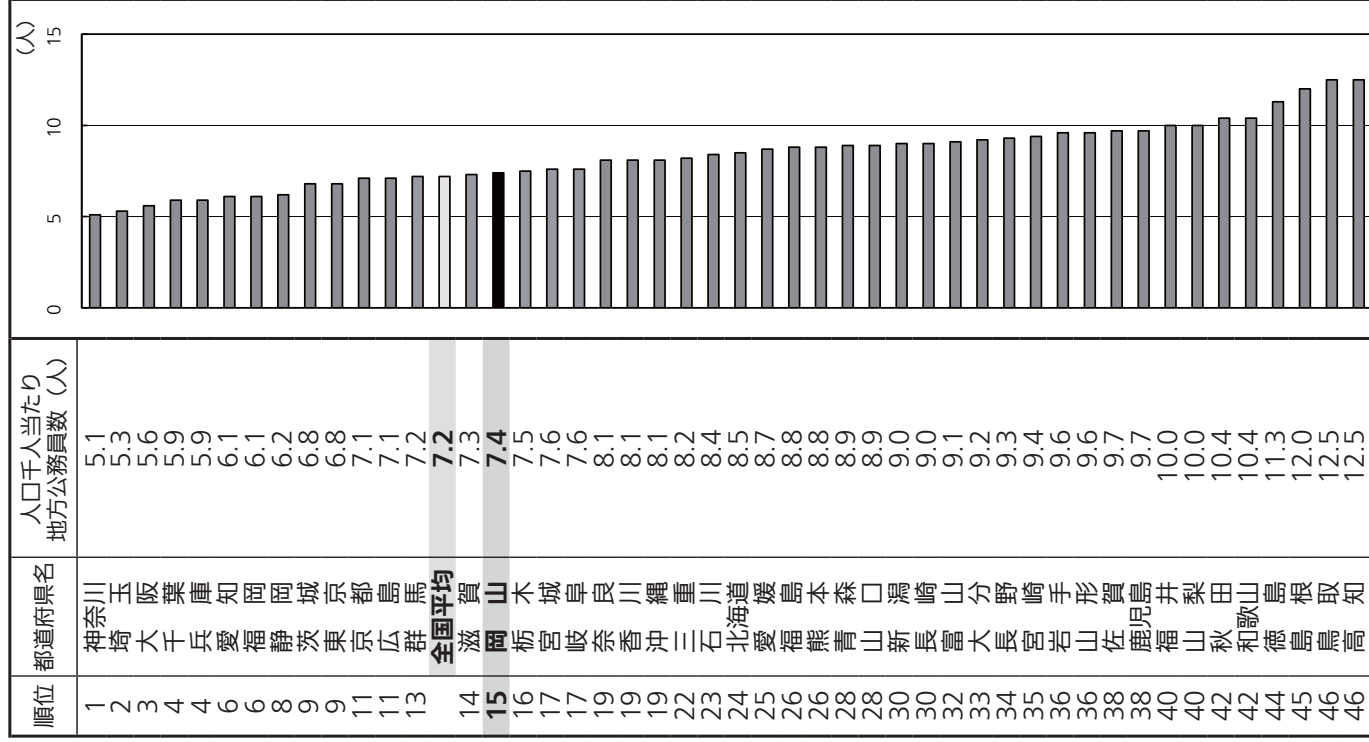
年度	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
金額	12,444	12,770	13,169	13,366	13,613

(億円)

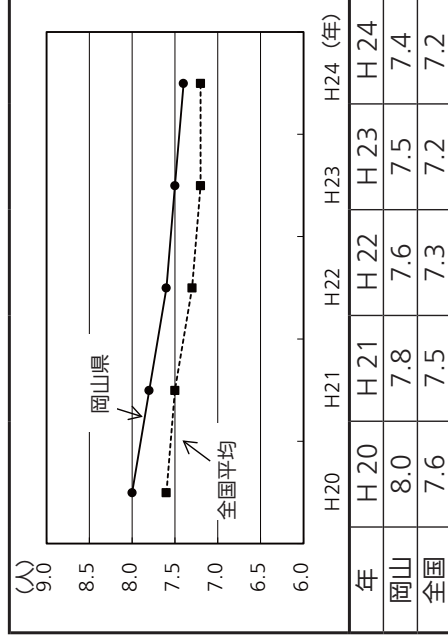
＜資料出所他＞

- 調査期間 平成25年3月31日
- 算出方法 地方債現在高（普通会計債）÷総人口
- 資料出所 総務省「都道府県決算状況調」
- 総人口は、総務省「住民基本台帳人口要覧」（平成25年3月31日時点）を使用

＊I-101 地方公務員数（人口千人当たり）



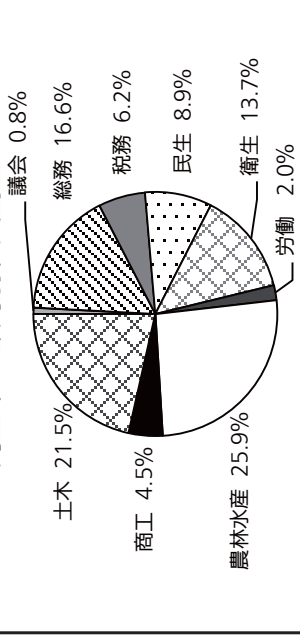
＜岡山県の推移＞



＜岡山県の地方公務員数＞

年	H20	H21	H22	H23	H24
県	4,419	4,230	4,084	3,985	3,903
市町村	11,138	10,897	10,703	10,596	10,489

＜岡山県の部門別職員割合＞



＜資料出所＞

- ☆ 消防部門、警察部門、教育部門及び公営企業等会計部門の職員数は、含まない。
- ☆ 市町村数には、一部事務組合を含む。
- ・ 調査時点 平成24年4月1日
- ・ 算出方法 一般行政部門職員数（都道府県＋指定都市＋市区町村）÷ 総人口 × 1,000
- ・ 資料出所 総務省「地方公共団体定員管理調査」
- 総人口は、総務省「人口推計年報」（平成24年10月1日時点）を使用

付表 - 1 市町村編

市町村名	1 総面積 (km ²)	2 総人口 (人)	3 人口密度 (人/km ²)
岡山県	7,113.24	1,945,276	273.5
岡山市	789.92	709,584	898.3
北区	450.75	302,685	671.5
中区	51.29	142,237	2,773.2
東区	160.42	96,948	604.3
南区	127.46	167,714	1,315.9
倉敷市	354.73	475,513	1,340.5
津山市	506.36	106,788	210.9
玉野市	103.63	64,588	623.3
笠岡市	136.03	54,225	398.6
井原市	243.36	43,927	180.5
総社市	212.00	66,201	312.3
高梁市	547.01	34,963	63.9
新見市	793.27	33,870	42.7
備前市	258.24	37,839	146.5
瀬戸内市	125.53	37,852	301.5
赤磐市	209.43	43,458	207.5
真庭市	828.43	48,964	59.1
美作市	429.19	30,498	71.1
浅口市	66.46	36,114	543.4
和気町	144.23	15,362	106.5
早島町	7.61	12,214	1,605.0
里庄町	12.23	10,916	892.6
矢掛町	90.62	15,092	166.5
新庄村	67.10	957	14.3
鏡野町	419.69	13,580	32.4
勝央町	54.09	11,195	207.0
奈義町	69.54	6,085	87.5
西粟倉村	57.93	1,520	26.2
久米南町	78.60	5,296	67.4
美咲町	232.15	15,642	67.4
吉備中央町	268.73	13,033	48.5
調査時点	平成25年10月1日	平成22年10月1日	平成22年10月1日
資料出所	国土地理院 「全国道府県 市区町村別面積調」	総務省 「国勢調査結果」	総務省 「国勢調査結果」
調査周期	毎年	5年ごと	5年ごと
算出方法等	(*)		総人口÷総面積 (面積はH22.10.1 現在)

*児島湖(7.13)の水面が境界未定のため、岡山市及び玉野市には含まず、県計のみ含む。また、玉野市の面積は香川県直島町と境界未定のため、普通交付税算定基準用面積を使用。

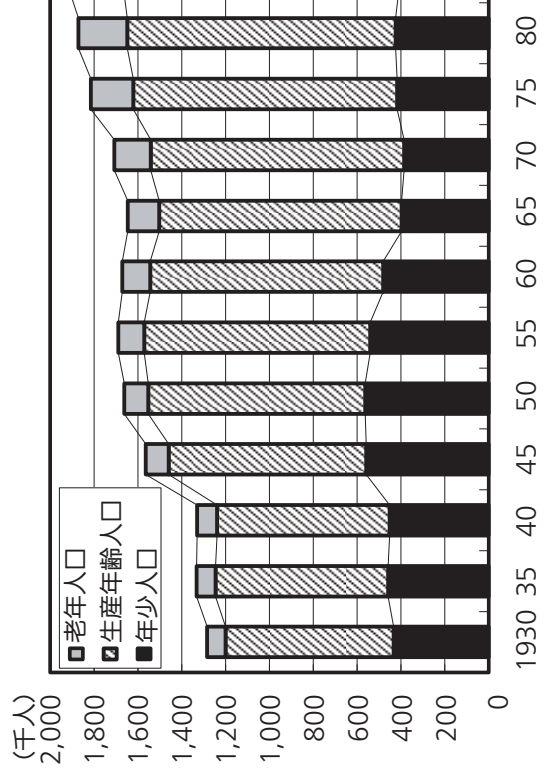
付1

市町村名	4 総世帯数 (世帯)	5 事業所数 (事業所)	6 病院・一般 診療所数 (施設)
岡山県	754,511	85,833	1,802
岡山市	296,790	33,889	739
北区	139,204	19,444	409
中区	58,961	4,481	127
東区	35,199	3,249	80
南区	63,426	6,715	123
倉敷市	183,303	19,581	380
津山市	39,876	5,409	111
玉野市	25,449	2,621	63
笠岡市	19,676	2,104	47
井原市	15,108	1,857	33
総社市	23,459	2,148	49
高梁市	14,121	1,864	37
新見市	12,208	1,719	37
備前市	14,136	2,060	36
瀬戸内市	13,343	1,349	31
赤磐市	15,274	1,339	39
真庭市	16,458	2,679	49
美作市	11,205	1,387	28
浅口市	12,280	1,062	23
和気町	5,394	592	14
早島町	4,200	472	9
里庄町	3,795	369	6
矢掛町	4,947	663	9
新庄村	342	55	1
鏡野町	4,725	517	15
勝央町	3,928	452	7
奈義町	1,989	247	4
西粟倉村	557	75	1
久米南町	1,957	214	5
美咲町	5,531	573	13
吉備中央町	4,460	536	16
調査時点	平成22年10月1日	平成24年2月1日	平成24年10月1日
資料出所	総務省 「国勢調査結果」	総務省・経済産業省 「平成24年経済セ ンサス-活動調査」	県医療推進課 資料
調査周期	5年ごと	5年ごと	毎年
算出方法等		個人経営の農林漁 業の事業所、国及 び地方公共団体の 事業所等を除く。	

付表 - 2 岡山県の人口の推移

年次	総数	男	女
1930	1,283,962	637,965	645,997
1935	1,332,647	658,773	673,874
1940	1,329,358	651,197	678,161
1945	1,564,626	728,314	836,312
1950	1,661,099	804,357	856,742
1955	1,689,800	815,837	873,963
1960	1,670,454	797,748	872,706
1965	1,645,135	781,418	863,717
1970	1,707,026	819,359	887,667
1975	1,814,305	878,132	936,173
1980	1,871,023	905,477	965,546
1985	1,916,906	926,238	990,668
1990	1,925,877	926,721	999,156
1995	1,950,750	938,439	1,012,311
2000	1,950,828	936,044	1,014,784
2005	1,957,264	938,600	1,018,664
2010	1,945,276	933,168	1,012,108
2015	1,913,145	917,805	995,340
2020	1,867,744	895,559	972,185
2025	1,811,274	867,890	943,384
2030	1,749,284	837,557	911,727
2035	1,682,159	805,082	877,077
2040	1,610,985	771,421	839,564

資料出所：総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
※総数には、年齢不詳を含む。

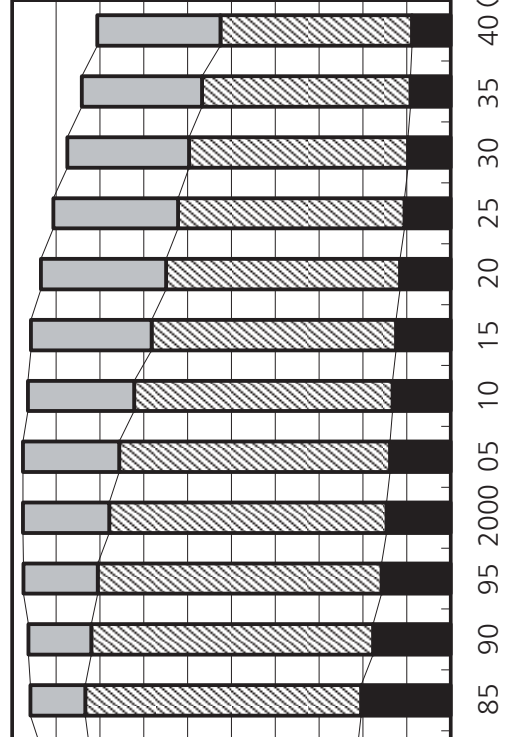


※年齢不詳を除く。

(単位：人)

年次	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
1930	434,079	765,956	83,927
1935	459,346	785,664	87,637
1940	451,300	786,723	90,969
1945	557,435	902,219	104,972
1950	562,044	989,764	109,226
1955	540,405	1,031,482	117,901
1960	480,141	1,064,304	126,009
1965	396,579	1,105,115	143,441
1970	384,967	1,155,806	166,253
1975	416,900	1,203,853	193,289
1980	424,254	1,223,235	223,306
1985	409,216	1,257,858	249,555
1990	353,191	1,286,221	285,764
1995	315,902	1,294,239	339,313
2000	291,346	1,265,122	393,658
2005	275,743	1,236,318	438,054
2010	264,853	1,178,493	484,718
2015	249,296	1,114,328	549,521
2020	230,199	1,068,402	569,143
2025	211,454	1,032,881	566,939
2030	194,587	998,536	556,161
2035	184,166	949,509	548,484
2040	176,418	874,141	560,426

付2



付表 - 3 岡山県の年齢別人口

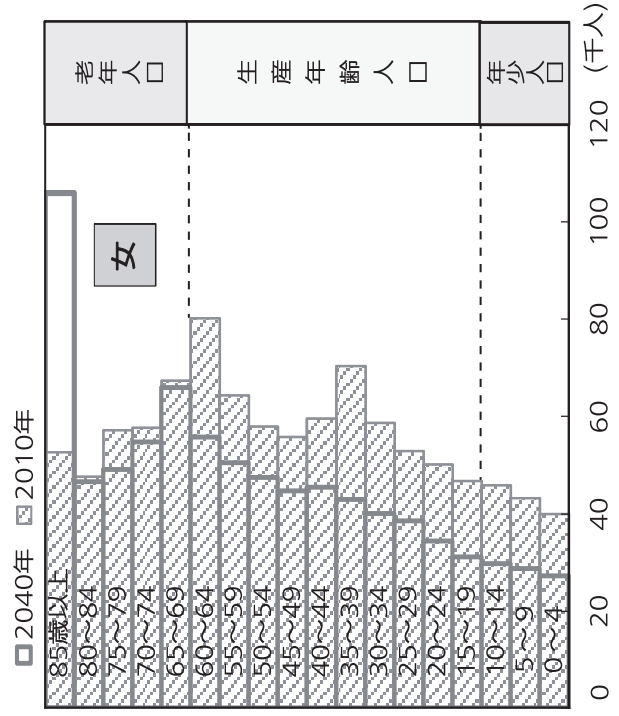
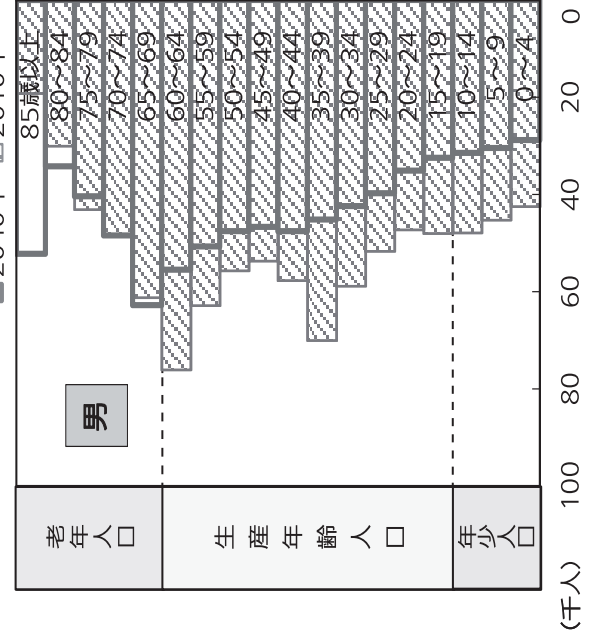
<女> (単位：人)

	2010年	2040年
総数	1,012,108	839,564
0～4歳	39,843	27,280
5～9歳	43,047	28,803
10～14歳	45,777	29,755
15～19歳	46,546	31,118
20～24歳	50,010	34,465
25～29歳	52,734	38,512
30～34歳	58,587	40,100
35～39歳	70,233	42,990
40～44歳	59,432	45,513
45～49歳	55,697	44,780
50～54歳	57,734	47,502
55～59歳	64,260	50,472
60～64歳	80,056	55,829
65～69歳	67,241	66,024
70～74歳	57,519	54,753
75～79歳	56,979	49,087
80～84歳	47,426	46,661
85歳以上	52,549	105,920

<男>

	2010年	2040年
総数	933,168	771,421
0～4歳	42,646	28,752
5～9歳	45,455	30,380
10～14歳	48,085	31,448
15～19歳	48,116	32,489
20～24歳	47,468	35,105
25～29歳	51,784	39,737
30～34歳	59,019	42,376
35～39歳	70,216	45,183
40～44歳	57,798	47,524
45～49歳	53,880	46,659
50～54歳	55,778	47,597
55～59歳	62,951	50,686
60～64歳	76,194	55,504
65～69歳	61,423	62,806
70～74歳	48,662	48,422
75～79歳	43,254	40,396
80～84歳	30,246	34,216
85歳以上	19,419	52,141

資料出所：総務省「国勢調査報告」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 ※総数には、年齢不詳を含む。



※年齢不詳を除く